

- ①全国8地域のそれぞれの冒頭で、2010年度のその地域の放送局の特記事項を要約した。
- ②「地域放送番組編集計画」(⇒p.654)

I. 地域放送番組の編成

10年度は、地域放送番組の内容の充実とともに、全国に向けた発信を強化し、存在感ある放送サービスの提供に努めた。

1. 地域の実情に応じた放送サービスの充実

10年度も各放送局は、それぞれ地域の実情に応じた全国一律でない編成に取り組んだ。GTV午前の情報番組では、『つながる@きたカフェ』(北海道ブロック)、『お昼はじょんのび 暮らし情報便』(新潟県域)、『カフェ のんた』(山口県域)などを新設した。夕方のニュース・情報番組では『ネットワークニュース北海道』(北海道ブロック)、『かがのとイブニング』(石川県域)、『ニュースTodayおおい』(大分県域)を新設した。

また、『北海道クローズアップスペシャル～ホンネで北海道～徹底討論 人口減少社会を生き抜け』(北海道ブロック)、『東北関東大震災 いま行政は～多元中継・被災県知事に聞く』(東北ブロック)、『金とく～世界の生物多様性を守りたい～若者たちのメッセージ』(中部ブロック)、『かんさい熱視線特集 被害者は問う～JR福知山線脱線事故から5年』(近畿ブロック)、『ふるさと発スペシャル 熱討ちゅうごく もう独りにはさせない～どうする？孤立高齢者』(中国ブロック)、『四国選択会議 どうする？“四国は一つ”』(四国ブロック)、『徹底討論 ふるさと再生スタジアム どう守る？ 孤立する高齢者』(九州ブロック)など、地域が直面している課題を取り上げる多様な番組を特集番組として放送した。

このほか、地域ならではの人々の思いをテーマに制作したドラマは『天王寺ブロードウェー』(大阪局)、『恋するキムチ』(岐阜局)、『農ドル!』(松江局)、『見知らぬわが町』(福岡局)、『続・遠野物語』(盛岡局)の5本。また、FMでは『たすきでつなげ群馬の力』(群馬県域)、『ゆうナビ!』(中国ブロック)などを新設した。

2. 地域発全国放送番組の充実

地域からの全国発信枠として、GTVでは、『目撃!日本列島』で地域密着のドキュメンタリーを放送したほか、『ろーかる直送便』で地域局が制

作する意欲的な番組を紹介し、地域の姿や文化を発信した。また、BSHiの『ふるさとから、あなたへ』で地域向けに放送した番組を全国放送した。R1では、水曜午後9時台に、札幌発の『もぎたて!北海道』、仙台発の『ぬくだまりの宿 みちのく亭』、名古屋発の『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』、福岡発の『博多屋台 こまっちゃん』を週替わりで編成するとともに、毎月最終土曜午後10時台に沖縄発の『沖縄熱中倶楽部』を放送し、地域の魅力をたっぷりと伝えたほか、『ふるさとラジオ』では地域からの中継や、その土地にまつわる歌を紹介した。

II. 地域放送局の組織

1. 地域拠点局

本部を除く53の放送局のうち、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、松山の7つの放送局を地域拠点局と位置づけ、域内各放送局の支援・調整機能を持たせている。

地域拠点局の組織・業務体制は、放送部(大阪・名古屋は編成部、制作部、報道部)、技術部、広報・事業部(大阪・名古屋は広報部、事業部)、営業推進部、企画総務部である。なお、これに加えて、大阪には考査部が、また、大阪に4か所、名古屋に2か所、札幌に1か所の営業センターがある。

地域拠点局は、各組織が緊密な連携のもとで、地域サービス充実のための業務運営を推進している。

2. 放送局

放送局の組織・業務体制は、放送部、技術部、営業部の各々が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

北海道

- ◇北海道では、地域の魅力を全道・全国・全世界へと発信する“まるごと体感！北海道”キャンペーンを10年度も継続し、函館・旭川・帯広・釧路・北見・室蘭の放送局ごとの特集月間を設け、番組の集中編成や新設の公開番組の収録を行うなど、地域の魅力を重点的に伝えた。
- ◇10年度、地域放送番組を大幅に刷新し、平日午後6時台に『ネットワークニュース北海道』を、金曜夜間に『北スベシャル』『北海道プラス』を、金曜深夜帯には『INFO H』を新設した。また、番組改定に合わせ、ホームページとデータ放送を全面的に改定した。
- ◇北海道で起こったさまざまな出来事や北海道が直面する課題を伝えてきた『北海道クローズアップ』が放送500回を迎えた。500回を記念して、特集番組を放送するとともに、過去の番組を『北海道クローズアップ名作選』として放送した。
- ◇地上デジタル中継局の整備は、10年度に計画していた55局の整備を完了し、年末までに道内全157局の中継局整備を完了した。（世帯カバー率98.5%）

I. 放送

1. 放送の概要

北海道の各放送局は、「北海道はひとつ」の基本方針のもと、7つの放送局が緊密に連携し、放送サービスを行っている。

報道では、7月の参議院議員通常選挙をはじめ、10月の衆議院議員補欠選挙について、正確かつ迅速な選挙報道を行ったほか、北海道大学の鈴木章名誉教授のノーベル化学賞受賞や日本ハム・斎藤佑樹投手の入団会見など、地域の明るい話題を全国・全道へ伝えた。

番組では、「知床キャンペーン」や「北方領土プロジェクト」を本格的にスタートさせ、年間を通じて関連番組を制作放送した。また、データ放送やツイッターを活用し、視聴者参加型番組を積極的に放送した。

編成では、大型連休期間や夏期、年末年始の特集編成期間に、地域の魅力を伝える番組を集中的にアンコール編成するなど、独自編成を実施した。

(1) ニュース・報道番組の充実

10年度は、平日午後6時台に『ネットワークニュース北海道』を新設し、道内7局のネットワークを活用し、地域のニュースや話題を、きめ細かく分かりやすく伝えた。

7月の参議院議員選挙では、速報CG画面の改善を行うなど、10月の衆議院北海道5区補欠選挙を含め、正確かつ迅速な選挙報道を行った。

サハリン州国立歴史公文書館と映像資料交換の合意書を締結し、日本では公開されていない北方領土の歴史を伝える映像資料を入手し、地域特集番組で紹介するとともに、『クローズアップ現代』や『NHKスペシャル』で全国放送を行った。また、11月にロシアのメドベージェフ大統領の国後島訪問を独自取材映像で全国に伝えるとともに、北海道では『北海道クローズアップ 緊急スペシャル～緊急報告 ロシア大統領北方領土訪問の衝撃』を放送し、タイムリーに視聴者に伝えた。

また、北海道の大きな課題である人口減少について、『NHKニュース おはよう北海道』『北海道クローズアップ』のシリーズ企画で重点的に伝えた。

東日本大震災では、迅速に全道6か所に中継体制を構築し、全国放送とともに地域放送でも長時間にわたって現地の状況を伝えた。同時にL字で「避難情報」「生活情報」を随時放送するとともにPCと携帯サイトに災害情報ページを開設し、詳細に情報を伝えた。被災地支援の動きや北海道への影響を継続的に伝える“震災プロジェクト”を開始した。

(2) 北海道の魅力を全道、全国へ発信

09年度に引き続き、北海道の魅力を全道、全国へ発信する“まるごと体感！北海道”キャンペーンを継続し、各局のスペシャル月間を設け、多彩な番組を集中して発信することで、各地の魅力を紹介した。

世界遺産登録から5年、“知床旅情”誕生50年と、節目を迎えた“知床”を7月から9月にかけて『北海道クローズアップ』や『北スベシャル』『さわやか自然百景』で集中して放送した。

10月には、BS2とGTV（北海道ブロック）で、ツイッターやデータ放送を活用し、視聴者の声を番組に反映する双方向型番組『旅はBS ぶっつけ本番生中継 夢のまるごと体感！北海道ツアー』を放送した。

(3) デジタルサービスの強化

デジタル放送の魅力の一つである5.1chサラウンド番組『北海道 SLの風景』を制作し、デジ

タル放送の魅力を伝えた。

『さっぽろ穴場ハンター』では、情報の募集や番組放送中にもツイッターで参加するなど、双方型の番組を制作・放送した。

データ放送では、主要道路の積雪や気象をお知らせする『雪道NAVI』を新設し、北海道の視聴者サービスとして提供した。

また、『地デジカと在札テレビ6局マスコットキャラクター共演スポット』を放送し、地上デジタル放送の周知に努めた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう北海道』 G
月～金 7:45～ 8:00

『NHKニュース おはよう北海道
土曜プラス』 G
土 7:30～ 8:00

第1回93.4.5/北海道ブロック/北海道の朝の最新ニュースと道内ネットワークを生かした企画リポート、気象情報をコンパクトにまとめた地域密着のニュース情報番組。全道各地からの中継や天気カメラで北海道の朝の表情を生き生きと伝えた。

土曜は、『土曜プラス』として地域の課題を掘り下げる「土曜プラス特集」、各局のリポーターが道内各地を訪ね歩く「ぶらりみてある記」などで、地域的话题を多彩に伝えた。

『つながる@きたカフェ』 新 G
月～金 11:30～12:00

第1回10.4.2/北海道ブロック/北海道の“人”と“生活情報”が集まる情報の広場となる番組。札幌局の1階喫茶コーナーから、公開生放送で放送。道内各局のネットワークを生かし、地域に根ざした活動をしている人々の話題や、各地のイベント情報、子育て応援の企画、ローカル鉄道線の旅企画など、多彩な話題、役立つ情報を伝えた。

『ネットワークニュース北海道』 新 G
月～金 18:10～18:59

第1回10.3.29/北海道ブロック/北海道各地のニュースを、北海道7つの放送局のネットワークを生かし、きめ細かく伝えた。キャスターの現場リポートやニュース企画、各地からの中継、詳細な気象情報で、北海道の“一日”を伝えた。

『ネットワークニュース845』 新 G
月～金 20:45～21:00

第1回10.3.29/北海道ブロック/北海道の一日のニュースを伝えるニュース番組。午後7時以降

の新たなニュースや、きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

『ネットワークニュース645』 新 G
土・日 18:45～18:59

第1回10.4.3/北海道ブロック/土曜、日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。一日の北海道のニュースや、きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

『北海道クローズアップ』 G
金 19:30～19:55
㊤土 10:05～10:30
～12月 ㊤日 23:00～23:25
1月～ ㊤日 8:00～ 8:25

第1回93.4.1/北海道ブロック/“北海道の今を見つめる”がテーマの報道番組。北海道で起こるさまざまな出来事や、北海道が直面する課題についてタイムリーに取り上げ、密度の濃い取材とわかりやすい構成で伝える情報番組。道内7局のネットワークを生かして、多岐にわたるテーマを迅速に伝えた。また、500回目を迎え、過去の番組の中から、『北海道クローズアップ名作選』を放送した。

主な内容/「支え合うから力が湧く～札幌・共同住宅の冬」「巨大船舶を解体せよ！～鉄の街室蘭が世界へ挑む」「シリーズ 人口減少社会を生き抜け①～⑤」「世界遺産をより深く より身近に～知床 5年目の挑戦」「“チャイナマネー”をつかめ ～近くなる隣の消費大国・中国」「新たな道を行け～北海道発ノーベル賞・鈴木章さん」「進化する斎藤佑樹～“プロ野球”への模索」など

『北海道クローズアップスペシャル』
「あなたは北方領土を知っていますか」
札幌局・釧路局 9. 3/第1部19:30～20:43
9. 3/第2部22:10～22:53

「ホンネで北海道
政権交代1年 北海道をどうする！」
札幌局 9.17/第1部20:00～20:55
9.17/第2部22:30～23:15

「高校生と考える 北海道のこれから」
札幌局 10. 1/19:32～20:45

「ホンネで北海道
徹底討論 人口減少社会を生き抜け」
札幌局 2. 4/第1部19:30～20:43
2. 4/第2部22:00～22:43

『北海道クローズアップ 緊急スペシャル』
「緊急報告 ロシア大統領北方領土訪問の衝撃」
札幌局 11. 5/22:00～22:43

『北海道クローズアップ 緊急特番』

「巨大地震がもたらしたもの」
札幌局 3.18/18:00~18:45
「被災地へ いま何ができるのか」
札幌局 3.25/20:10~20:55

『北海道中ひざくりげ』 G

金(年9回) 19:30~19:58
~12月 ㊟土 10:05~10:30
1月~ ㊟日 8:00~ 8:25

第1回87.4.9/北海道ブロック/道内各地の市町村をくまなく旅し、自然豊かなふるさとを再発見するとともに、新たな魅力も伝えた。地域の人々の笑顔に出会い、直接触れ合う番組としてより一層の充実を図った。また、旅心誘う観光情報・地域情報を紹介する「ふらっとひざくりげ」も継続した。

主な番組/「ハウスが育^{はぐく}むあったか家族~むかわ町」「浜の味 うけつぐ冬~えりも町」「人情市場 ぬくもりあふれ~小樽市」など

『北スペシャル』 新 G

金 20:00~20:43ほか
㊟土 10:30~11:13

第1回10.4.2/北海道ブロック/幅広い視聴者に、地域放送ならではの番組で北海道の魅力を伝えた。各地の魅力を歌で伝える公開音楽番組や、吉幾三さんが北海道の魅力に出会う旅番組、地域に根ざして活躍する人々を描くドキュメンタリー、地域の人気イベントなど多彩な番組を編成した。また、福岡局や仙台局とそれぞれ番組を共同制作し、12月に2週連続で放送した。

「夢うた」 札幌局
「苦小牧市」 4.16/20:00~20:43
「岩内町」 5.28/20:00~20:43
「深川市」 7. 2/20:00~20:43
「置戸町」 9.24/20:00~20:43
「洞爺湖町」 11.12/20:00~20:43
「清水町」 1.14/20:00~20:43
「いくぞ~!北の出会い旅」 札幌局
「早春 日高路」 4.23/20:00~20:43
「初夏 留萌線を行く」 7.30/20:00~20:43
「秋 ぐるっと十勝」 10.15/20:00~20:43
「ありがとう 函館」 11.19/20:00~20:43

「ひと物語」
「いま、夢中になっている」
札幌局・釧路局 4. 9/20:00~20:43
「きっと、きっと」
札幌局・旭川局 6.25/20:00~20:43
「好きだから、まっすぐ」

札幌局・函館局 7.23/20:00~20:43
「生きる喜びを、支えたい」
札幌局・旭川局 11.26/20:00~20:43
「いっばずつ未来へ」
札幌局・釧路局 1.21/20:00~20:43
「ただ ひたむきに」
札幌局・函館局 2.25/20:00~20:43
「美瑛の丘 風景の物語」
旭川局 4. 2/20:00~20:43
「みんなでつくるから面白い~帯広柏葉高校演劇部の4か月」
札幌局 5.14/20:00~20:43
「YOSAKOIソーランナイト2010」
札幌局 6.11/19:30~20:43
「“地の涯”^{はて}知床に生きる~森繁久彌が伝えたかったもの」
札幌局 7. 9/20:00~20:43
「夕張メロンを守れ~ミツバチ一家のたたかい」
札幌局 7.23/20:00~20:43
「わが心の知床旅情」
札幌局 8.27/20:00~20:43
「キタキツネ 大家族物語」
札幌局 9.10/20:00~20:43
「ゆめぴりかに挑む~でこぼこ夫婦の田んぼ奮闘記」
旭川局 10.29/20:00~20:43
「夢のまるごと体感!北海道ツアー特別編」
札幌局 11. 5/19:32~20:45
「おいしい闘技場~北海道VS東北」
札幌局・仙台局 12.10/19:30~20:43
「どさんこラーメン博多っ子」
札幌局・福岡局 12.17/20:00~20:43
「駆け抜ける、四季~北海道 SLの風景」
札幌局 12.24/20:00~20:43
「大冒険!ヒヨドリ 津軽海峡越え」
札幌局 1.28/20:00~20:43
「四季 羊蹄山頂」
札幌局 2.18/20:00~20:43
『北海道プラス』 新 G
金 22:00~22:43
第1回10.4.9, 最終回11.3.4/北海道ブロック/戦後65年関連番組, 若い世代向けの開発番組などを放送したほか, 視聴者の反響が大きかった番組の傑作選を放送した。
「走り続ける~倉本聡・富良野塾の26年」
札幌局 6. 4/22:00~22:43
「終わらぬイラク~“元人質”高遠菜穂子さん

の6年]

札幌局 7.16/22:00~22:43
「書道女子×ロック女子 LIVE at 函館美術館」

函館局 7.30/22:00~22:43
「北海道民の沖縄戦～ある兵士・65年目の旅」

札幌局 8.13/22:00~22:43
「戦後開拓を知っていますか」

札幌局 8.13/22:00~22:43
「北の大地を歩きつくそう！ぶらりみてある記スペシャル」

札幌局 10.22/22:00~22:43
「Small Trip～ちいさな荷物で週末旅」

札幌局 11.26/22:00~22:43

『INFO H』 新 G

土 0:45～ 1:00

第1回10.4.2/北海道ブロック/若い世代に人気のアーティストへのインタビューやライブ情報など、北海道の旬の音楽情報を伝えた。

『アナプロ』 新 G

土 1:00～ 1:05

第1回10.4.2/北海道ブロック/NHK北海道各局のアナウンサーがスポーツやレジャーに挑戦するほか、特技や趣味を披露した。札幌局ホームページのブログと連動。

『北海道釣り紀行』 G 札幌局 (年10回)

～12月 土 9:00～ 9:25

1月～ 土 10:05～10:30

第1回08.9.21, 最終回11.3.5/北海道ブロック/道内各地の旬の釣り場をリポーターと釣りのベテランが訪ね、釣りの楽しさを紹介する紀行番組。

「室蘭沖のソウハチガレイ」 4.17

「八雲町・熊石沖のウスメバル釣り」 5.15

「北見市常呂沖のマガレイ釣り」 6. 5

「網走沖のアオゾイ釣り」 7.17

「知床 羅臼のカラフトマス釣り」 9. 4

「上ノ国沖のブリ釣り」 10. 2

「広尾のアブラコ釣り」 10.30

「函館市恵山沖のマダラ釣り」 11.20

「標津のコマイ釣り」 12.18

「苫小牧沖のサクラマス釣り」 3. 5

『この街 きらり☆』 G 札幌局

～12月 土 (原則隔週) 9:00～ 9:25

1月～ 土 (原則隔週) 10:05～10:30

第1回09.10.4/北海道ブロック/道内各地を訪ね、地域に根ざして生き生きと活動している人々を紹介した。

「室蘭市, 札幌市中央区苗穂」 4.10

「札幌市北区新琴似西地区, 江別市」 4.24

「札幌市北区太平百合が原地区, 北見市留辺蘂町」 6.12

「札幌市白石区白石東地区, 北広島市」 6.26

「稚内市, 札幌市中央区幌西地区」 7.10

「札幌市北区拓北・あいの里, 小樽市」 7.31

「札幌市東区札苗, 札幌市中央区西」 8.21

「札幌市北区新陽・石狩市」 8.28

「釧路町, 札幌市南区澄川」 9.18

「札幌市西区八軒, 千歳市」 9.25

「池田町, 札幌市北区鉄西」 10. 9

「札幌市南区簾舞, 岩見沢市」 10.23

「七飯町, 札幌市厚別区もみじ台」 11.13

「札幌市豊平区美園, 札幌市清田区平岡」 11.27

「広尾町, 留萌市」 12.11

「札幌市白石区北東白石, 札幌市北区麻生」 12.25

「札幌市清田区北野, 清里町」 1.15

「札幌市白石区菊の里, 札幌市西区西野」 1.23

「札幌市東区栄東, 白老町」 2.19

「札幌市北区屯田, 札幌市西区琴似二十四軒」 2.26

『交通事故防止キャンペーン』 R1

金～月 1日4回

第1回91.1.7/北海道ブロック/北海道は交通事故による死者の数が全国トップレベルとなっているが、交通事故で亡くなる人を少しでも減らすために、事故原因の解説や防止のためのアドバイスなど、身近で役立つ情報を1分ミニ番組として放送した。

『環境キャンペーン』 R1

火～木 1日4回

第1回03.4.1/北海道ブロック/北海道の豊かな自然環境を次の世代に残すために、道内の多様な分野の人たちの環境へのメッセージを1分ミニ番組として放送した。

『おはようもぎたてラジオ便』 R1

月～土 7:40～ 8:00

第1回02.4.1/北海道ブロック/ニュースや気象情報・各種の交通情報を分かりやすく的確に伝えた。また、ボランティア・環境保護・地域振興など、曜日ごとにテーマを設けて、道内各地の人々の活動も伝えた。

『トウティ・レポート北海道』 R1

月～金 19:45～20:00

第1回95.4.3／北海道ブロック／“きょうの北海道”を15分間できめ細かく網羅した番組。1日分のニュースを、記者解説なども交えて分かりやすく伝えたほか、きめ細かい気象情報を伝えた。

『どどんと道南ラジオ』 R1

木 14:00～15:00

第1回03.4.10／函館単／函館局会館ロビーからの公開生放送。地域の活性化に取り組んでいる人たちの活動や、生活に役立つ情報を紹介した。地元を中心に活躍する音楽家の生演奏も楽しめる地域情報番組。

『あさひかわ発ふるさと便』 R1

金 14:05～14:35

第1回04.10.7／旭川単／道北各地のタイムリーな話題や週末のイベントを伝える情報番組。携帯電話による街角中継などラジオの機動性を生かして伝えた。

『フレッシュサウンド北海道』 FM

月～金 18:00～18:50

第1回99.4.5、最終回11.3.25／北海道ブロック／若年層を中心に安定したリスナーを獲得している音楽情報番組。身近な話題や、さまざまなジャンルの音楽のリクエスト曲の紹介とともに、道内を訪れたアーティストへのインタビューや新曲紹介、テーマを設定しての特集など、タイムリーに伝えた。

(2) 特集番組

(北海道ブロック)

『LIVE H』 G

札幌局 6.19／0:45～1:15

札幌局 10.23／0:45～1:33

札幌局 12.24／22:00～22:45

『北海道 SLの風景』 G

札幌局 5.22／13:50～14:00

札幌局 10.23／13:50～14:00

『北の文芸館2010』

札幌局 G 12.23／14:00～15:00

札幌局 R1 12.18／21:05～22:55

『生中継 地デジカウントダウンinさっぽろアニメひろば』 G

札幌局 7.24／9:00～9:25

『地デジ☆笑タイム in とかち』 G

札幌局 10.31／13:05～13:30

『パシフィック・ミュージック・フェスティバル2010』 G

札幌局 11.21／13:05～14:57

『さっぽろ穴場ハンター』 G

札幌局 9.11／0:45～1:14

札幌局 9.23／22:55～23:24

札幌局 10.2／0:30～0:59

『ぶっつけ本番生中継 夢のまるごと体感!北海道ツアー』 G (BS2同時)

札幌局 10.10／13:05～14:00

『NHKのど自慢予選会』 G

函館局 7.24／1:45～3:15

『NHK親子のはじめてクラシック』 G

札幌局 8.30／13:05～14:00

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2010 北海道地区大会』 G

札幌局 11.13／13:35～14:29

『ネットワークニュース北海道 ハイライト2010』 G

札幌局 12.28／17:05～19:00

『札幌FMコンサート』 FM

札幌局 6.19／14:00～15:30

札幌局 12.4／14:00～15:40

(旭川単)

『あさひかわ発ふるさと便スペシャル』 R1

旭川局 5.30／10:00～11:00

旭川局 8.29／10:25～11:50

旭川局 2.5／11:05～11:55

(帯広単)

『第50回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会』 G

帯広局 2.20／13:35～14:55

(釧路単)

『NHKのど自慢自慢予選会in厚岸町』 G

釧路局 9.5／13:05～14:25

『NHK-FMライブスペシャル HEAT VOICE LIVE～熱い想いを届けたい』 FM

釧路局 8.19／18:00～18:50

『NHK-FMライブスペシャルinくしろ氷まつり』 FM

釧路局 2.26／13:00～14:00

(各局共通)

『NHK全国学校音楽コンクール』

「北海道ブロックコンクール」 E

※北海道ブロック

札幌局 9.25／14:00～16:45

「札幌地区大会中学校の部A・B、小樽後志地区大会」 FM

札幌局 8.28／14:00～17:28

「札幌地区大会小学校・高等学校の部、空知地区大会」 FM

札幌局 9.4／14:00～17:33

「道南地区大会」 FM

函館局	9. 4/14:00~15:26
「道北地区大会」	
G 旭川局	9. 5/13:05~14:15
FM 旭川局	8.28/12:15~14:31
「十勝地区大会」	
FM 帯広局	8.28/10:57~11:55
「根釧地区大会」	
FM 釧路局	9. 4/14:00~15:44
「北見地区大会」	
G 北見局	8.23/15:15~15:55
G 北見局	8.24/15:15~15:55
FM 北見局	8.28/14:00~16:00
「室蘭地区大会」	
FM 室蘭局	9. 4/14:00~16:14
(放送体験クラブ)	
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』	E
札幌局	11.18, 11.22~25, 11.29~12.2
12.6~ 9, 12.13~16, 12.20/18:55~19:00	
『NHK放送体験クラブ 釧路・根室地区』	G
釧路局	3. 9/13:55~14:00
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ in 北見』	G
北見局	1.25/15:45~16:00
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』	G
室蘭局	12.13~14/10:05~11:00

3. スポーツ中継

(高校野球)

第49回春季北海道高校野球大会	決勝	
		R1 / 6. 6
第92回全国高校野球選手権大会	南北海道大会	
地区代表決定戦		
札幌地区代表決定戦		R1 / 7. 3~ 5
小樽地区代表決定戦		R1 / 7. 4
函館地区代表決定戦		R1 / 7. 3
室蘭地区代表決定戦		R1 / 7. 2~ 3
第92回全国高校野球選手権大会	北北海道大会	
地区代表決定戦		
空知地区代表決定戦		R1 / 7. 4
名寄地区代表決定戦		R1 / 6.27
旭川地区代表決定戦		R1 / 7. 4
十勝地区代表決定戦		R1 / 7. 4
釧根地区代表決定戦		R1 / 7. 5
北見地区代表決定戦		R1 / 7. 3~ 4
第92回全国高校野球選手権大会	南北海道大会	
1回戦~決勝		R1・FM / 7.19~26
準決勝・決勝		G・E / 7.25~26

第92回全国高校野球選手権大会	北北海道大会	
1回戦~決勝		R1・FM / 7.17~23
準決勝・決勝		G・E / 7.22~23
第63回秋季北海道高校野球大会	代表決定戦	
釧根地区代表決定戦		R1 / 9.21
第63回秋季北海道高校野球大会		
準決勝・決勝		R1 / 10.11~12
決勝		G / 10.12
(プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦)		
	※北海道ブロック	
対「西武」		G 5. 1
対「横浜」		G 5.21
対「ロッテ」		G 6.27
対「ソフトバンク」		G 8.31
対「ロッテ」		R1 4.15
対「ロッテ」		R1 6.25
対「楽天」		R1 9.16
(Jリーグ コンサドーレ札幌戦)		

※北海道ブロック

対「東京ヴェルディ」	G 5. 5
対「愛媛FC」	G 3. 5

(その他のスポーツ)

(北海道ブロック)

第28回知事杯全道サッカー選手権大会~天皇杯北海道代表決定戦	
--------------------------------	--

G 8.29

フットサルFリーグ「アジアリーグ・アイスホッケー」	
---------------------------	--

G 9.12

第63回北海道高校アイスホッケー選手権	決勝
「駒大苫小牧」対「白樺学園」	

G 12.17

アジアリーグアイスホッケー	
「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」	

G 12.19

(帯広単)

第50回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会	
----------------------------	--

G 2.20

(釧路単)

第42回NHK杯アイスホッケー大会	決勝
-------------------	----

G 11. 7

(室蘭単)

第25回NHK杯中学・高校アイスホッケー大会	決勝
------------------------	----

室蘭局 **G** 10.31

Ⅱ. 技 術

1. 地上デジタル放送の拡充

06年6月1日札幌手稲山での基幹局開局を手始めに開始した北海道の地上デジタル中継局の整備は、10年度が最終年度となり、当初計画である55局のデジタル中継局を年末までに整備し、道内全157局の中継局整備を完了した。(世帯カバー率98.5%)

NHK共聴施設(道内395施設)への地上デジタル放送の導入は、セーフティネットを利用している11施設を11年度に実施することとし、10年度末には当初計画していた全施設で導入を完了した。

また、自治体インフラ施設への移行などにより60施設の廃止を決定した。

2. 地域放送番組の充実

10年度もデジタル放送ならではの高画質・高音質に加えて積極的な3-Screens展開を図り、質の高い魅力あふれる地域放送番組の制作を推進した。

技術提案で制作した『北海道 SLの風景』は、当初10分番組3本であったが、GTVで43分(12月24日)、BSHiでは89分(2月19日)の番組へと発展し、北の大地を駆けるSLの勇姿を迫力ある映像と圧倒的な臨場感の5.1サラウンド音声で作り上げ、内外ともに高い評価を得た。また、09年度から放送を始めた『LIVE H』は、10年度3本制作し観客である若者層の支持拡大につなげた。

スポーツ中継では、「WC スピードスケート帯広大会」(12月11～12日)、「FIS-WC ジャンプ札幌大会」(1月15日)、「第52回NHK杯ジャンプ大会」(2月11日)など、いずれもこれまで蓄積してきた技術力を存分に発揮して、ウインタースポーツの魅力を発信した。

さらに、全国の地方制作番組の成果を競う「放送技術選奨全国大会」(2月24～25日)で、北海道から出品した全作品が上位を独占するなど、日頃の研鑽の成果が高く評価された。

3. 3-Screens展開

10年度、札幌局ではデジタル放送の特質を生かしたコンテンツ制作を推進する体制として「クロスメディア推進プロジェクト」を発足し、積極的に番組作りを展開した。携帯電話やパソコンからツイッターで寄せられた情報を基に札幌の隠れた

スポットを紹介した「さっぽろ穴場ハンター」(9月11日、23日、10月2日)や、ツイッターによる視聴者の中継場所のリクエストに臨機応変に対応したBS特番(GTV全道ブロック放送でも放送)『夢のまるごと体感!北海道ツアー』(10月10日)のほか、視聴者参加番組の『ホソネで北海道』(9月17日、2月4日)での視聴者意向収集、東北や九州との相互乗り入れのローカル番組『北スペシャル』(12月10日、17日)での連動データ放送コンテンツ制作などを強力に牽引して番組を成功させた。

独立データ放送コンテンツでは、降雪期を前に「札幌市除雪情報」の表示速度改善を行ったほか、従来別々のコンテンツだった「主要峠の気象情報」と「道路の通行止め情報」を統合し、現在の主要峠の映像も加えて「雪道NAVI」としてリニューアルするなど、地域に根ざしたサービスも充実させた。

4. 緊急報道・災害報道への対応

道南でのセスナ機墜落事故(7月28日)、相次いで発生した日高山脈での遭難・山岳事故(8月2日、12日)の緊急報道では、札幌局と道内局が連携して初動から迅速に対応し、事故の状況を伝えた。

3月11日に発生した東日本大震災では、地震・津波により各地に甚大な被害をもたらすとともに、東京電力福島第一原子力発電所の被災に伴う放射能漏れでかつてない大災害となった。この震災では、北海道の太平洋沿岸地域も津波により大きな被害を受けたが、震災発生から3日後の津波注意報解除まで道内局が一体となって防災情報等の提供に努めた。また、東北地方や本部への北海道からの要員支援は、3月末時点で延べ100人を超えた。

5. 放送設備の整備

緊急報道に対応する設備では、札幌局のCS受信設備の狭帯域伝送(DVB-S2)対応整備による受信機能向上や、道東の美羅尾FPU基地局および汎用FPUのハイビジョン化、旭川・帯広・釧路のFPU基地局回転台の更新、連絡無線基地局の更新など、伝送インフラの充実・補完を図った。更に、インターネットを通じてハイビジョン映像を伝送できる「北海道緊急一報サーバー」を構築し、海外からの伝送や視聴者提供映像の伝送も簡便に出来るよう整備した。

送出設備では、09年度に着手した道内局のラジ

オ運行装置の更新を進め、既に函館・帯広・釧路の3局で整備を完了、残り3局（旭川・北見・室蘭）は11年度内に完了する予定である。

6. デジタル放送の普及促進と視聴者活動

道内各局と札幌局が連携し積極的に戦略的なCS活動を推進する「どさんこ広域プロジェクト」が中心となり、各種公開派遣番組・中継キャラバンなどの機会を捉えて「地デジ相談」や「ふれあいミーティング」「出前授業・中継車公開」ほか多彩な活動を展開した。

技術部が主体となって取り組んでいる「のど自慢予選会」での「出場者写真プレゼント」や「出場者が自分の歌唱映像を後で見られるサービス」「中継車公開」などを、滝川市・稚内市・音更町で実施し多くの参加者から好評を得たほか、技術業務の理解促進にもつなげることができた。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

北海道事業では、09年度に引き続き、全局が一丸となって取り組む「まるごと体感！北海道」キャンペーンを踏まえ、北海道の自然・食・スポーツ等の魅力を道内外に向けて発信するなど、質量ともに充実したイベント展開を図り、地域貢献に努めた。また、イベントの場を利用し、都市部在住者に向けてNHK接触者を拡大する活動や「お客さま満足度」を高める施策にも取り組んだ。

（1）「公共放送ならではの」活動強化

公開番組については、地域の要望に応え『NHKのど自慢』や『BS日本のうた』などの全国放送番組を道内29会場で実施したほか、家族そろって豪華ゲストの歌をじっくり楽しむ歌謡番組『夢うた』を開発、6本を公開収録し全道に向けて放送した。

社会的なテーマに基づきNHKが全国展開しているキャンペーンについて、北海道では環境・防災・福祉・食料などに積極的に取り組んだ。

環境イベントは、心身と地球に優しいライフスタイルを提案する「北海道口ハスな旅」（8月・赤井川村、10月・美唄市）や、釧路湿原ラムサール条約登録30年を記念した「湿原たからばこ」（12月・釧路市）などを実施。都市部に住む若年層が郊外で環境問題について考える機会を提供し、公共放送の存在意義をアピールした。

防災イベントは、家族ぐるみで参加できる「防

災ワンデー」（9月・釧路市）を地元消防本部で実施、地域住民に災害への備えを呼びかけた。

福祉イベントは、「NHK歳末たすけあい」への協力を募る「プラザミュージッククリスマスチャリティー2010」（12月・室蘭市）や、障がい者の放送利用促進を図る「“ハートでみる”NHKバリアフリーシアター」（12月・釧路市）を実施した。

食料イベントは、道内各地で「ふるさとの食につぼんの食」地域フェスティバルを開催し、北海道の多彩な食の魅力を取り上げた。

教育イベントも積極的に展開。道内7局で実施した「NHK放送体験クラブ」には69校（106クラス）3,117人の小学生が参加したほか、「NHK全国学校音楽コンクール」には、道内9地区大会と北海道ブロックコンクールを合わせて142団体（151校）4,537人の小中高生が出場した。大学生向けには、「NHK大学セミナー」（4月・札幌市）や「NHKプロフェッショナルトーク」（いずれも10月・札幌市、釧路市）を実施、プロの仕事や生き方について若い世代に学んでもらう場を提供した。

（2）地域視聴者と結び付きを強める活動

札幌局では、「さっぽろ雪まつり」に連動して「NHKさっぽろ雪まつりわくわくブース」「NHKゆきんこフェスタ 大河でGO！」（いずれも2月・札幌市）など、幅広い層を対象にしたイベントを複合的に展開し、地域社会の活性化に取り組んだ。

函館局では、「書道女子×ロック女子～Live at 函館美術館」（6月）、「解説！啄木と一握の砂」（1月）などの企画イベントを函館市内で積極的に展開し、文化拠点としてのイメージ向上に努めた。

旭川局では、旭川市開村120年記念事業に協力した「あなたの街へin食べマルシェ」（10月）を開催し、全国中継とイベントで79万人を超える動員に貢献、地域放送局としての存在感を高めた。

帯広局では、10月に「地デジ☆笑タイムinとかち」（音更町）と「NHKデジタルふれあいひろば」（帯広市）を実施するなど、デジタル普及推進活動を通じて地域視聴者との接触に努めた。

釧路局では、「特選！蔵出し番組上映会」（4～3月・釧路市）をほぼ毎月実施し、多くの視聴者が集まりNHKの番組に親しんだ。

北見局では、元五輪選手・本橋麻里さんを迎えて恒例の「NHK杯カーリング選手権大会」（11月・北見市）を開催、地域文化興隆を図りつつ、NHKファン層の拡大に努めた。

室蘭局が毎年2回実施してきた「NHKアナウンサートークショー」（5月、2月・室蘭市）は、札幌局の登坂アナウンサーの起用が好評で、道内各局でも開催される人気イベントとなった。

このほか、「NHK親子のはじめてクラシック」（8月・釧路市、北斗市、札幌市）や前出「北海道ロハスな旅」などで、イベントを契機に都市部在住の若い家族や女性層との交流を深める試みを行った。

（3）完全デジタル化に向けたイベントの展開

11年7月の「完全デジタル化」を目前に控え、放送との連動や総務省・在札幌放5社との連携を図りつつ、イベント活動を通じて広く道民にデジタル化推進を呼びかけた。

地上デジタル放送への完全移行1年前の7月24日には、ゲームやステージショーを通じて親子連れにデジタルの魅力を紹介する「さっぽろアニメひろば724」（札幌市）や「NHK地デジワンダーランド」（釧路市）を実施した。

年間を通じては、デジタル放送普及のためのコンテンツをパッケージ化した「いいね！デジタル北海道キャラバン」を、全道で延べ78地点・148日間展開し12万5,538人の視聴者と接触するなど、デジタル放送普及を図る活動を推進した。

2. 営業

3か年経営計画の2年目となる10年度は、08年10月の訪問集金廃止や09年2月の事業所割引・家族割引の導入等の営業改革を更に推し進めると同時に、営業業績の確保に取り組んだ。

4月から5月にかけては、素人モデルを起用したフリーペーパー「札幌美少女図鑑」とタイアップしてNHKホームページでNHKへの理解促進を深めると同時に、北海道大学・帯広畜産大学・室蘭工業大学の3つの学校生協と受信契約の業務委託を行うなど、学生からの受信契約増加に努めた。

また、更なる契約開発・支払再開業務へのパワーシフトのため、10年10月に、地域スタッフの契約種別の変更を実施した。

加えて、ホテルや旅館・病院を中心に、年間を通じて事業所割引を案内しながら事業所契約の増加にも粘り強く取り組んだ。

これらの活動の結果、道内8つの営業部・センターがすべての営業目標を達成することができた。

3. 広報

NHK経営2目標の達成に向け、より深化・浸

透を図るため、09年に引き続き10年度も「まるごと体感！北海道」「デジタル普及全力投球！」のキャンペーン広報活動を道内7局の連携により積極的に取り組んだ。

（1）「まるごと体感！北海道」キャンペーン

北海道7局が連携して取り組む「どさんこ広域プロジェクト」活動の一環として、地域の活力ある取り組みや魅力を紹介する番組・イベントを集中して展開する「各局スペシャル月間」を行った。

- ・4月「いぶり・ひだかスペシャル」（室蘭局）
- ・5月「とがちスペシャル」（帯広局）
- ・6月「オホーツクスペシャル」（北見局）
- ・7月「旭川スペシャル」（旭川局）
- ・9月「釧路・根室スペシャル」（釧路局）
- ・10月「とがちスペシャル」（帯広局）
- ・10月「オホーツクウィーク」（北見局）
- ・11月「道南スペシャル」（函館局）
- ・12月「旭川ウィーク」（旭川局）

各局のスペシャル月間に合わせ、札幌局アナウンサーを派遣してトークショーを開催するなど、視聴者のニーズに応えた展開を図った。

また、3-Screens展開として行った札幌局HPコンテンツ「みんなの写真ブログSNAP！北海道」と「webひざくりげ」のサイトも継続し、3月にはそれぞれ写真集とマガジンとして編集・出版するなど、写真を投稿された視聴者の方々や、取材に協力いただいた各自治体等に配付し、各方面から好評を得た。

（2）「デジタル普及 全力投球！」キャンペーン

4年に一度のスポーツビッグイベント「W杯サッカー南アフリカ大会」では、PRスポットを映画館のプレシネで上映したほか、さっぽろ地下街の柱巻き広告、新聞テレビ欄の色網掛け広告などさまざまな広報展開を行い、デジタル放送でのW杯視聴を積極的に広報した。また、釧路局では接触者層の拡大を目指し、大型の映像で観戦するパブリックビューイングを実施するなど、広くデジタル放送の魅力をアピールする活動も行った。

また、札幌局の2台の中継車にデジタルPRのラッピングを行い、全道各地での中継を通じたデジタル周知に活用するなど、さまざまな機会を捉えた普及活動に取り組んだ。

（3）地域独自の視聴者活動、広報展開

函館局では、11年12月に放送予定の『スペシャルドラマ 坂の上の雲』第3部のロケ地に函館市郊外の牧草地が選ばれ、およそ1か月の収録が行われたのを機に、現地取材会を実施した。出演者

東 北

の高橋英樹、柄本明、村田雄浩の3人に、地元新聞社やケーブルテレビ会社などの取材やインタビューに応じてもらった。新聞4社とケーブルテレビ会社1社がロケをもようを紹介し、番組の視聴促進に一役買った。

旭川局では、旭川市開村120年を記念して地域の古い映像を編集したミニ番組『なつかしの旭川』をシリーズで放送し、好評を得た。さらに「もっと見たい」という要望に応え、専門家の解説を交えた「なつかしの旭川 映像セミナー」を3回シリーズで開催し、毎回、満席となった。

帯広局では10月、放送会館を公開する「デジタルふれあいひろば」を開催し、ななみちゃんの地デジ探検隊、親子ラジオ工作教室、食育クイズ、十勝地方を舞台とした番組の上映会、カメラマン体験コーナーなど多彩なメニューを用意した。期間中、累計で632人が来場した。

釧路局では地域の秋の代表的なイベント「第7回くしろ大漁どんぱく」（9月・釧路市）に参加した。「ななみちゃんのふわふわジャンボ」に1,400人が、2ステージ実施した「わんわんとあそぼうショー」には計4,000人が参加した。

北見局では、旧設備などを活用した番組制作体験ができる見学スタジオを開設した。小学校を中心に周知したところ、10年度は、前年度に比べておよそ2割増の1,612人が来館し、小学生に楽しみながら放送の仕組みを学んでもらった。

室蘭局では、09年と10年の2年にわたって、管内の全18市町で地デジ普及活動を実施した。「BSななみDEどーも！」などの公開番組会場や自治体のイベント会場などに、体験コーナーや受信相談窓口を設け、地デジの魅力をPRするとともに、放送のデジタル化の理解促進に努めた。

◇2010年度は、前年度にスタートさせた「おいしい東北・闘技場」を全国各地域との対抗戦へと発展させたほか、東北各界の第一線で活躍する人々をシリーズ『東北未来人』で紹介するなど、東北の魅力を見つめる番組を多彩に編成し、地域放送サービスの充実に取り組んだ。

◇11年3月に発生した東日本大震災により東北地方の太平洋沿岸が広範囲にわたり大津波に襲われた。各局とも、素早く中継態勢を立ち上げ、沿岸部のロボットカメラやヘリコプター中継を駆使し未曾有の災害の実態を余すところなく伝えた。

◇10年12月、東北新幹線が全線開業。12月4日の開業日を中心に「全線開業」が地域にもたらす期待や課題をさまざまな視点で放送した。

◇地上デジタル放送への完全移行に向け、東北域内で新たに103局のデジタル中継局を整備した。この結果、域内における地上デジタル放送の世帯カバー率は09年の94%から95%に拡充したが、東日本大震災により設備の流失や損壊等の被害が発生し完全地デジ移行の取り組みが大きな影響を受けた。

I. 放 送

1. 放送の概要

東北の各放送局は、地域に希望と活力を呼び起こす情報の発信とサービスの提供に努め、金曜夜間や平日夕方6時台を中心とした各時間帯で地域の課題や魅力、関心の高い話題について多彩な番組を編成した。

金曜夜間は“地域放送の重点ゾーン”として、地域が直面する農業・医療・産業経済・過疎などの課題に正面から向き合う番組や東北の魅力を伝える番組を放送した。東北の若者たちがふるさとの食材でオリジナル料理を競う『おいしい闘技場』は2年目を迎えて全国各地域との対抗戦へと発展させた。また、東北各界の第一線で活躍する人々をシリーズ『東北未来人』で紹介した。さらに、『冬・北国からのコンサート』や『東北民謡コンクール』など、イベントと連動した公開番組で視聴者との結び付きを強めた。

平日夕方6時台は、地域の“今”を伝えるニュース・情報番組として各地域が直面している課題

や、事件・事故の背景を掘り下げて分かりやすく伝えたほか、防災や経済など視聴者の関心の高いテーマを積極的に取り上げた。

平日午前11時台の『情報パレット』は、前半を東北ブロック向け、後半は各県向けとし、それぞれの地域に密着した生活情報とともにイベントや健康など暮らしを豊かにする情報や東北各地の豊富な話題を地域の人々とともに生き生きと伝えた。

10年2月に発生したチリ地震津波を受け、津波の脅威や避難率を高める取り組みなどを紹介して、来たるべき大地震・津波への備え、防災意識の啓発を多角的に展開する特集番組を放送した。

プロ野球やJリーグ、bjリーグなど関心の高い地元チームの試合を中継したほか地域で活躍するアマチュアスポーツ選手も積極的に取り上げた。

地上テレビ放送の完全デジタル化に向け、スポットや広報番組を制作して周知を図るとともに、番組連動データ放送やマルチ編成など、デジタル放送の特性を生かした番組を放送した。

全国放送番組では『証言記録 市民たちの戦争～宮城県白石・集団学童疎開の記録』(G, 4.25仙台局)、『日本の祭2010「青森ねぶた祭」(HV, 8.6)、「秋田大曲 全国花火競技大会」(HV, 8.28)』、『ETV特集～なぜ希望は消えた?～あるコマ農家と霞が関の半世紀』(E, 10.3仙台局)などの番組を制作し、東北からさまざまな情報を全国に発信した。

11年3月11日に発生した東日本大震災では、発生直後からテレビ・ラジオで震災関連ニュースを長時間にわたって放送した。さらに、発生5日後の16日からGTVで、被災地に向けた生活情報番組『東北ライフライン情報』を開始し、データ放送やホームページ、逆L字放送などとも連動してきめ細かい震災報道を実施した。また、被災者の思いを直接語ってもらう『被災地からの声』

(G, 3.20～)や不自由な生活を送っている被災地の方々へ向け、医療・防災・法律などの専門家が役立つ情報を提供する『いま被災者に伝えたい』(G, 3.23～)などを放送した。また、4月19日から5月27日まで東北ブロック向けの「震災関連ニュース」と「東北ライフライン情報」をインターネットのライブストリーミングで発信した。

〔仙台局〕

夕方6時台の『てれまさむね』では、県内の一日の動きや、生活に直結する情報をいち早く、分かりやすく伝えた。県内各地を訪ね、地元のニュースや話題を中心に伝える「てれまさキャラバン」を、登米市(10.5～6)と角田市(3.9～10)

の特設スタジオから放送した。また、県内で始動した自動車産業の課題や展望などをシリーズで検証したほか、東北新幹線全線開業に伴う経済効果や影響などをシリーズでレポートした。

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」や、サッカー「ベガルタ仙台」、バスケットボール「仙台89ERS」などの地元チームの活躍を詳しく紹介するとともに、アマチュアアスリートたちの活動もきめ細かく伝えた。

仙台の秋の風物詩、定禅寺ストリートジャズフェスティバルの20周年を記念してコンサートを実施・放送したほか、フェスティバル会場で即興バンドのメンバーを探し歩く『ワンダフル東北～ぶらバン』を放送した。

東日本大震災では、東北各局と連携し被害状況や被災地の動き、復興へ向けた取り組みなどをきめ細かく取材・放送した。また、ニュース・生活情報に加えて、震災関連の地域放送番組をはじめ、全国放送番組の制作にも数多く参加し、被災地からの情報を全国へ発信した。

〔秋田局〕

夕方6時台の地域情報番組『ニュースこまち』では、地域の課題に向き合い、踏み込んだ報道を心がけるとともに、県民の関心の高いスポーツや健康情報なども盛り込み、分かりやすく伝えた。また、県内6市町村からの中継キャラバンも展開した。

昼前の生活情報番組『ひるまえこまち』は、視聴者と触れ合う番組として引き続き放送会館1階オープンスタジオからの公開生放送を行った。

金曜夜間は『あきた・よる金』を編成。地域を見つめるドキュメンタリーやスタジオに集った若者たちの本音に迫るバラエティーなど多彩な内容で放送した。また、データ放送・インターネットを活用した双方向番組の試みも行った。

また、地域放送番組での取材を積み上げ、ブロック放送番組や全国放送番組に展開し、秋田県情報を広く発信することに努めた。

東日本大震災では、県内の被害状況やライフライン情報をテレビ・ラジオで詳細に伝えたほか、被災地局に応援要員を派遣し、被災地からの災害報道を支えた。

〔山形局〕

夕方6時台の『やまがたニュースアイ』は、県内のニュースや話題などを記者解説や中継も交えてビビットに分かりやすく伝えた。また、J1で2年目の「モンテディオ山形」など、地域スポーツを積極的に紹介した。

昼前の情報番組『やまもり!』は、県内の幅広い生活情報や暮らしに役立つ身近な情報を数多く発信した。

金曜夜間の『ディスカバーやまがた』と『やまがたスペシャル』では、地域の産業や文化、課題などを伝えた。『ボイス〜きみの声がききたい』では県内出身のゲストと若者がスタジオで山形の未来について語り合い、インターネットサービスの充実やアンケートなどを試みた結果、若い視聴者層の獲得に成功した。

山形の魅力や話題を山形弁で語り合う『今夜はなまらナイト』ではホームページや携帯サイトを通じて幅広い世代が番組に参加した。また、番組初のテレビ公開収録を実施し、多くの観覧者が訪れた。

J1「モンテディオ山形」の中継をテレビとラジオで行うなど、県民に関心の高い地域スポーツを積極的に取り上げた。

東日本大震災では、県内の動きやライフライン情報などをテレビやラジオ、インターネットなどさまざまなメディアを用い発信した。また、応援体制を組み被災地からの報道を支えた。

〔盛岡局〕

夕方6時台の『おぼんですいわて』では、行政の動きや事件・事故、生活情報に至るまで“岩手の一日”を振り返るとともに、「特集」コーナーの充実を図り、あらゆる角度から“岩手の今”をとらえ分かりやすく伝えた。

金曜夜間は、『いわてんぼ』を新設し、岩手の街に流れる空気感を伝えた。『フロントライン』では、岩手の産業を担う挑戦の最前線を追い、『ドキュメント13min.』では、岩手で頑張る人たちをドキュメンタリーで紹介した。また、遠野物語発刊百周年を記念して『ドラマ 続・遠野物語』を制作するとともに、公開イベント『語りと幻想の舞台 遠野物語』を実施・放送した。

『いわてみんなのうた』は「がんすけ&なはん音頭」「大根コン」を放送し県民から好評を得た。

東日本大震災では、発生直後から県内の被害状況や行政の動きなどをテレビとラジオで迅速に伝えた。また、データ放送やホームページとも連動して、被災地に情報を届けた。ラジオでは、県内の安否情報を独自に放送した。

〔福島局〕

夕方6時台の『はまなかあいづToday』は、きょうのニュースにこだわり、視聴者の目線で、県内の課題を最優先に、特集やライブ感のある中継、スポーツなど幅広い内容を盛り込んだ。

昼前の情報番組『ふくみみ』は、県内の耳寄りな情報を伝える番組として、趣味・料理、エンターテインメント、旅・イベント情報など役立つ情報をさまざまな角度から取り上げた。

金曜夜間は、『主役は福島!みんなのテレビ』を放送。スタジオでの収録に加えて、局外での公開収録にも取り組み、福島を元気にする番組を発信した。また、『クローズアップふくしま』では、福島が抱える課題や、人間ドキュメントなど、さまざまな視点から福島を“今”を伝えた。

開局70周年を迎えるにあたり、HVで放送の『私が初めて創ったドラマ〜エコ婚』を制作したほか、『NHKふくしまアーカイブス』として福島の70年を振り返る番組を放送した。

スポーツの分野では、女子サッカー「マリエーゼ」の中継など、地域のスポーツを応援した。

東日本大震災とそれに引き続く東京電力福島第一原子力発電所事故に対しては、特別態勢で取材・放送にあたった。また、インターネットを通じたテレビとラジオの放送を行い、県外に避難した県民にも福島の情報伝えた。

〔青森局〕

夕方6時台の『あっぷるワイド』では、その日の青森が分かるニュース、地域の課題を掘り下げ分かりやすく伝えるレポート、そして暮らしに役立つ情報を紹介した。東北新幹線の全線開業に伴う各方面での取り組みなど、県内に関心の高い話題をきめ細かく取り上げ、積極的に情報発信した。「生活情報コーナー」では、注目の人物に迫るインタビュー、豊かな食材や旅の企画、地域を元気にするイベントなどを中継も交えて放送した。

金曜夜間は、青森の“方言”を生かした川柳を視聴者から募集、紹介する『お国ことばで川柳なもあんだも』を定期的に放送した。番組内で、地域に伝えるわらべ歌を現代風にアレンジ・振付をして放送したところ、多くの好評意見が寄せられ、ホームページやミニ番組にも展開した。

また、東北新幹線全線開業に関連した特別番組も2本制作するなど、地域の話題をタイムリーに捉えて、県民の関心に応えた。

東日本大震災では、深刻な津波被害を受けた太平洋沿岸の情報を全国発信したほか、被災者に向けた生活情報などを県内向けに放送した。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう宮城』 G
月～金 7:45～ 8:00

第1回00.4.3／宮城県域（一部東北ブロック）
／県内のニュースのほか、東北各地の話題や中継
などで朝の表情を生き生きと伝えた。

㊥土 10:30～11:13

㊥日 0:50～ 1:33

〔各局タイトル〕

『おはよう秋田』 『おはようやまがた』

『おはよういわて』『おはようふくしま』

『おはよう青森』

『ウイークエンド東北』 G 土 7:30～ 8:13

第1回85.10.12／東北ブロック（一部県域）／
東北各県のニュースや問題に迫るレポートなど、
NHKのネットワークを生かして東北のさまざま
な動きや話題を伝えた。

『情報パレット』 G

月～金 11:05～11:30ブロック

11:30～11:54各県域

第1回08.4.2／東北ブロック、宮城県域／東北
地域の多彩な生活情報を届けるとともに、観光イ
ベントや祭り、文化情報や地域の活動、旬の食材
情報・料理や健康情報などをゲストとともに親し
みやすく伝えた。

〔各局タイトル〕

（秋田局）『ひるまえこまち』

（山形局）『やまもり！』 11:45～11:54

（盛岡局）『ひるっこいわて』

（福島局）『ふくみみ』

（青森局）『情報ランチ』 11:45～11:54

『てれまさむね』 G 月～金 18:10～18:59

第1回03.3.31／宮城県域／一日の動きや生活
に直結する情報をいち早く、分かりやすく伝える
地域密着型のニュース番組。地域の最新ニュース
や関心の高い話題・情報などを生き生きと伝えた。
また、プロ野球「楽天」や、J1「ベガルタ仙
台」、bjリーグ「仙台89ERS」などの地元チーム
の活躍を詳しく紹介した。

〔各局タイトル〕

（秋田局）『ニュースこまち』

（山形局）『やまがた ニュースアイ』

（盛岡局）『おぼんですいわて』

（福島局）『はまなかあいづ Today』

（青森局）『あっぶるワイド』

『クローズアップ東北』 G 金 19:30～19:55

㊥土 10:05～10:30

第1回02.4.5／東北ブロック／地域が抱える課
題や関心事、時代を先取りする人々の動きにタイ
ムリーに迫り、東北の“今”を見つめた。

また、地域に密着したさまざまなテーマを多角
的に取材し、東北の未来を展望した。

『ワンダフル東北』 G 金 20:00～20:43

第1回06.4.7、最終回11.3.4／東北ブロック／東
北の豊かな自然や文化、そこに暮らす人々の姿を
魅力的に伝えた。東北各地で生まれた手仕事の
“技”を訪ねる紀行番組や“食”を通してふるさ
との素晴らしさを見つめる番組、東北で活躍する
人々を描くドキュメンタリーなど多彩な番組で、
東北の素晴らしさを多様な視点で発信した。（深
夜・再）放送は字幕付き。

◇ここに技あり／仙台局

「技 ふるさと駆け巡る～福島県相馬地方」 4.16

「真心むすんで米の里～宮城県大崎市」 5.14

「笑顔作る技 受け継いで～山形県置賜地方」 7.2

「イーハトーブの職人めぐり」 9.3

「お山が見守る 手仕事の里～青森県・津軽地
方」 10.1

「心受け継ぐ物作り～秋田県・内陸地方」 11.5

「蔵めぐり 技めぐり～福島県喜多方市」 2.4

「ここ技 スゴ技 大集合！」 7:32～8:45 3.4

◇おいしい闘技場～ふるさと究極の一皿対決

仙台局19:30～20:43

第1回「岩手VS愛媛」 7.30

第2回「秋田VS京都」 10.29

第3回「福島VS広島」 11.26

第4回「山形VS北海道」 12.24

第5回「宮城VS三重」 1.28

第6回「青森VS福岡」 2.25

◇東北未来人

第1回「柴田三兄妹」 19:55～20:43

仙台局／ 6.25

第2回「飯森範親」 山形局／ 7.23

第3回「畑澤聖悟」 青森局／ 9.24

第4回「羽生結弦」 秋田局／ 11.19

◇その他

「山の神さま 来ました～山形県西川町大井
沢」 仙台局／ 4.2

「世界を目指せ 未来のなでしこ」
福島局／ 5.21

「いざ！イタリア 食の聖地へ」
仙台局／ 5.28

「われ、遠野を語り～佐々木喜善物語」
仙台局／ 7.9

「春色のスープ」 19:30～20:43 福島局／ 7.16

「来年も来いなあ 山形県大井沢の短い夏」
仙台局／ 8.27

「百年の時を越えて～秋田・小坂町康楽館」

秋田局／9.17
 「ぶらバン～定禅寺ストリートジャズフェスティバル」 仙台局／10.8
 「なまっテレ!～YES 方言 ラブ」 仙台局／10.15
 「一つ輪になって～秋田・白百合保育園一輪車クラブ」 秋田局／11.12
 「ドラマ 続・遠野物語」19:55～20:43 盛岡局／12.10
 「見えない世界が、そこにはある」 盛岡局／12.17
 「第10回 冬・北国からのコンサート」 19:33～20:46 仙台局／1.14
 「富士よ姿を見せてくれ～富士遠望の北限に挑む」 福島局／1.21
 「クイズ フロンティア・ハンター」 19:55～20:43 盛岡局／2.18
『東北ラジオあさいちばん』 R1
 月～土 7:40～8:00
 第1回99.4.1／東北ブロック／東北各地のニュースや話題、交通情報・気象情報などを盛り込んだ情報番組。東北6県の地域リポーターの電話リポートや支局・報道室からの記者リポート、スポーツ情報、週末情報などをコンパクトに伝える。
『情報ボックスみやぎ』 R1 金 16:05～16:55
 第1回08.4.4／宮城県域／週末のイベント情報や旬の食材を使った料理など、暮らしに役立つ生活情報のほか、「川柳・短歌コーナー」で投稿作品を選者の講評とともに紹介する視聴者参加番組。
『民謡をどうぞ』 R1 日 22:45～23:00
 ㊦金 14:40～14:55
 第1回54.11／東北ブロック／昭和29年にスタートした東北の最長寿番組。東北ならではの民謡を季節に応じたテーマで放送。8月29日の放送で2,500回を迎えた。
『特選・ぬくだまりの宿 みちのく亭』 R1
 日(隔月・年6回) 16:05～16:55
 第1回10.5.30／東北ブロック／東北にこだわって熱く生きる魅力的な人々を、伊奈かつぺいさんとともに紹介するトークバラエティー。全国放送2話分を再構成。
『夕べのひととき』 FM 月～金 18:00～18:50
 第1回73.4.2, 最終回11.3.10／東北ブロック／リスナーからのリクエストにこたえながら、多彩な音楽をお届けするディスクジョッキー番組。
『仙台音楽倶楽部』 FM
 土(月1回) 16:00～18:50

宮城県域／とことん地元宮城のアーティストにこだわり、毎月1回、NHK仙台放送局第3スタジオからゲストの生ライブとトークを放送。

(2) 特集番組

(東北ブロック)

『クローズアップ東北スペシャル』 G

「どう備える 大地震 大津波」

仙台局 6.4/19:45～20:58

『東北特集「なしてダメになった?～あるコメ農家と霞が関の半世紀」』 G

仙台局 8.28/19:30～20:30

『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコンテスト2010～東北地区大会』 G

仙台局 11.13/15:05～15:59

『第14回熱血! オヤジバトル 東日本ブロック予選』 G 仙台局 2.11/13:05～14:18

『第32回NHK東北民謡コンクール～各県大会』 FM 18:00～18:50

福島 2.7 山形 2.8 岩手 2.9

宮城 2.10 秋田 2.14 青森 2.15

(県域)

(仙台局)

『みやぎラジオプロジェクト～地震・津波、あなたの備えは大丈夫?～命を守る 安心ラジオ』

R1 6.14/18:00～19:00

『仙台音楽倶楽部 Autumn Special』 FM

10.23/16:00～18:50

『2010 てれまさむね年末スペシャル』 G

12.28/17:05～19:00

『情報ボックスみやぎ特集～第10回 川柳短歌大会』 R1 2.5～6/16:05～16:55

(秋田局)

『あきた・よる金 これがわたしの進む道～

2010年春“新”社会人の肖像』 G

4.2/19:30～20:43

『あきた・よる金 心の病 支えあって生きる～自殺対策の新たな取り組み』 G

5.28/19:32～19:57

『あきた・よる金 歌うことは生きること～テノール歌手 本田武久』 G 7.23/20:00～20:30

『あきた・よる金 100年目のドラマ! 秋田大曲全国花火競技大会2010』 G

9.3/19:30～20:43

『生中継 わがまち元気自慢!!』 G

9.18/10:05～11:54

『AKITAアニソン大運動会』 FM

10.9/14:00～16:00

『あきた・よる金 いよいよ開幕戦! 秋田ノーザ

- 『ンハピネッツ〜bjリーグを100倍楽しむ』 G
10.15/20:00~20:43
- 『ひるまえこまち クリスマススペシャル』 G
12.24/11:05~11:54
- 『ニュースこまち 年末スペシャル2010』 G
12.28/18:00~19:00
- 『あきた・よる金 山の里にっこり〜上小阿仁村・八木沢集落の一年』 G 2. 4/20:00~20:43
- 『あきた・よる金 おもしろ大研究! 秋田の日本酒』 G 3. 4/19:32~20:45
(山形局)
- 『今夜はなまらナイト』 G・R1・FM
「なまらナイトジュニア! スペシャル」 R1
8.31/20:05~21:55
「秋の夜長のいも煮スペシャル3」 G
11.12/19:30~20:43
「生放送! お昼になまらナイト」 R1
12. 4/13:00~14:00
「カーニバル in 河北町」 G
3. 4/19:32~20:45
- 『夢・米・ラジオ2010!』 R1
10.16/10:05~11:50
- 『やまがたスペシャル ボイスツ〜きみの声がききたい』 G 11. 5/19:32~20:45
- 『モンテディオ山形 さらなる飛躍を!』 R1
12.16/20:05~21:55
- 『やまがたニュースアイ2010 熱かった1年! 来年は?』 G 12.28/18:00~19:00
(盛岡局)
- 『いわてんぼ』 G 19:30~19:55
「file.1 盛岡」 4. 2
「file.2 花巻」 7. 2
「file.3 宮古」 9. 3
- 『フロントライン』 G 19:30~20:30
「岩手のもの作り 挑戦の最前線」 5. 7
「岩手の食・挑戦の最前線」 3. 4
- 『ドキュメント13min.』 G 20:30~20:43
「僕が普通じゃないために」 5. 7
「音楽が、力になるように」 3. 4
- 『いわてみんなのうた』
G 土 12:40~12:45, 日 18:40~18:45
E 月~金 8:40~ 8:45, 16:15~16:20
R1・FM 月~金 11:55~12:00
- 『認知症フォーラムin盛岡』 G
「あきらめない〜最新医療と社会の支え」
6.20/14:00~15:00
- 『高校放送コンテスト・優秀作品』 E
9.11/13:30~13:55
- 『公開ラジオ生放送 ラジオ タイムトラベル2010』 R1 9.12/14:05~15:55
- 『ストップ・ザ・交通事故』 R1
9.21/15:05~16:00
- 『語りと幻想の舞台 遠野物語』 G
11. 5/20:00~20:43
- 『こどもが語る遠野物語』 E
12. 4/ 9:25~ 9:55
- 『NHK盛岡ビデオ便り大賞2010』 G
12.27/18:00~18:45
- 『おぼんですいわて年末スペシャル』 G
12.28/18:00~19:00
- 『いわてんぼスペシャル』 G
1. 7/19:30~20:43
- 『第32回NHK東北民謡コンクール岩手県大会』 G
2. 4/19:30~20:39
(福島局)
- 『主役は福島! みんなのテレビ』 G
19:55~20:43
「出かけよう! 福島再発見の旅」 5.14
「福島美人をさがせ!」 6.25
「満喫! 大自然 福島の山を楽しもう!」 9.24
「温泉バンザイ! 福島 湯めぐり紀行」 12.17
「ぐるっと福島 ご当地検定バスツアー」 2.18
- 『国府弘子・叶正子スペシャルジャズコンサート』 FM 8. 7/ 9:00~10:57
- 『“合唱王国” 福島の歌声〜全国学校音楽コンクール』 G 10.16/10:05~10:41
- 『福島に生まれなかったら僕は〜風とロック芋煮会ドキュメント』 G 11. 6/10:05~10:30
(青森局)
- 『お国ことばで川柳』 G 19:30~19:55
お題「萌え」「からやぐ・からばねやむ」
4. 2, 5.14
お題「穴」「じぐなし」 7. 2, 9. 3
お題「めえ」「新幹線」 10. 1, 11. 5
お題「学校」「べろっと」 2. 4
- 『クローズアップあおもりスペシャル〜38年目の開業〜証言で綴る新幹線青森駅舎問題』 G
4.16/20:00~20:43
- 『日本の祭2010 青森ねぶた祭』 Gサブ
8. 6/19:00~21:00
- 『すべて見せます! 予選会』 G
8.23~27/11:05~11:30
- 『朗読の世界へようこそ〜高橋竹山がのこしたものの』 R1 12.18~19/16:05~16:55
- 『あっぷるワイド 年末スペシャル2010』 G
12.28/18:00~19:00

『お国ことばで川柳 なもあんだもスペシャル』
G 3. 4/19:32~20:45
(各局共通)

『第77回 NHK全国学校音楽コンクール』
「宮城県」 E 9. 4~ 5/FM 9.11
「秋田県」 G 9. 5/FM 9. 4
「山形県」 E 9. 4~ 5/FM 9.11
「岩手県」 FM 9.18
「福島県」 G 10. 4~ 6, 25~28
「青森県」 E 9.18/FM 9.11
「東北ブロック」 E 9.25/FM 10. 2

3. スポーツ中継 (地域放送)

* ブロックと特記した以外は県域

(高校野球)

第92回全国高等学校野球選手権 地区大会

宮城県 4回戦 R1 7.20~22
準々決勝 G・E・R1 7.23
準決勝 G・E・R1 7.25
決勝 G・E・R1 7.26
秋田県 3回戦~準々決勝 R1 7.19~21
準決勝 G・E・R1 7.23
決勝 E・R1 7.24
山形県 3回戦~準々決勝 R1・FM 7.22~25
準決勝 G・E・R1 7.27
決勝 G・R1 7.28
岩手県 3回戦~準々決勝 R1 7.19~20, 22~23
準決勝 G・E・R1 7.25
決勝 G・R1 7.26
福島県 3回戦~準々決勝 R1・FM 7.17, 19~20
準決勝 G・E・R1 7.22
決勝 G・R1 7.23
青森県 3回戦~準々決勝 R1 7.17~18, 20~21
準決勝 G・E・R1 7.22
決勝 G・E・R1 7.24

『第63回秋季東北地区高等学校野球』

◇地区大会 (準決勝, 3位決定戦・決勝)

宮城 R1 9.24~26
福島 R1 9.24~25, 10. 4
山形 R1・FM 9.25, R1 9.26
岩手・青森 R1 9.25~26
秋田 R1・FM 9.25~26

◇東北大会 (東北ブロック)

1~2回戦 R1・FM 10. 8~ 9

準々決勝 R1 10.10
準決勝 R1 10.11
決勝 FM 10.12

(その他のスポーツ)

NHK杯東北高校ラグビー選手権・決勝

「秋田工」対「黒沢尻工」(ブロック)
E 6.19

NHK杯東北高校バスケットボール選手権・決勝

女子「明成」対「聖和学園」(ブロック)
E 6.27
男子「能代工」対「明成」(ブロック)
E 6.27

NHK杯東北アイスホッケー選手権・少年の部決勝

「青森」対「宮城」(ブロック) G 12. 5

第52回NHK杯 青森県卓球選手権大会

G 11.28

第90回天皇杯全日本サッカー選手権

G 8.29

宮城県代表決定戦

「ソニー仙台」対「NECトーキン」

秋田県代表決定戦

「ブラウブリッツ秋田」対「秋田FCカンピオーレ」

山形県代表決定戦

「日大山形高校」対「山形大学」

岩手県代表決定戦

「グルージャ盛岡」対「FCガンジュ岩手」

福島県代表決定戦

「福島ユナイテッドFC」対「バンディッツいわき」

青森県代表決定戦

「八戸大学」対「ヴァンラーレ八戸FC」

プロ野球

「楽天イーグルス」(仙台・ブロック)

対「オリックス」 G 4. 9
対「オリックス」 G 4.10
対「オリックス」 G 4.11
対「日本ハム」 G 4.23
対「中日」 R1 6. 9
対「中日」 R1 6.10
対「ヤクルト」 G 6.12
対「ソフトバンク」 R1 6.25
対「日本ハム」 R1 7. 2
対「ロッテ」 R1 7. 8
対「ロッテ」 R1 8. 5
対「西武」 R1 9. 3
対「西武」 G 9. 4

対「オリックス」	G	9.10
対「日本ハム」	R1	9.16
対「日本ハム」※オープン戦	G	2.27

サッカーJ1リーグ

「ベガルタ仙台」(仙台)		
対「セレッソ大阪」	G	5. 1
対「モンテディオ山形」	R1	7.17
対「モンテディオ山形」	G	9.19
対「ヴィッセル神戸」	G	11. 6
「モンテディオ山形」(山形)		
対「横浜F・マリノス」	G	4.17
対「アルビレックス新潟」	G	5.15
対「ベガルタ仙台」	R1	7.17
対「ベガルタ仙台」	G	9.19
対「清水エスパルス」	G	10.23

女子サッカー なでしこリーグ

「マリーゼ」(福島)		
対「AS狭山」	G	4. 4
対「浦和レッズレディース」	G	10.24

バスケットボール bjリーグ

「仙台89ERS」(仙台)		
対「秋田ノーザンハピネッツ」(ブロック)	G	10.16
対「宮崎シャイニングサンズ」	G	12.25
対「大阪エヴェッサ」	G	1.29

ラグビー トップイーストリーグ

「釜石シーウェイブス」対「栗田工業ウォーターガッシュ」(盛岡)	G	11. 7
「秋田ノーザンブレッツ」対「JALウイングス」(秋田)	G	11.21

II. 技 術

1. 地域番組の制作

金曜夜間のさらなる充実と公開番組・地域のスポーツ番組の定着を図るとともに、年間大型企画『ワンダフル東北 おいしい闘技場』の全国展開、『東北未来人』の制作など地域放送の充実に努めた。また、東日本大震災関連番組をさまざまな視点から制作し、被災地への情報提供と復興支援にあたった。

簡単な操作で気象情報を入手できるデータ放送コンテンツ「テレビ温度計」を開発しデジタル放送のサービス向上を図った。

2. 緊急報道

国内観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大

地震に襲われた東日本大震災では、関西以東のCS SKとヘリコプターが東北地方の緊急報道対応にあたりるとともに、青森・盛岡・福島局を結び、サブステ方式で時々刻々と変化する各地の状況を伝えた。また、L字送出システムを活用し、避難所情報やライフライン情報など、地域に向けた関連情報をきめ細かく送出した。

年間を通して緊急報道対応に備え、実践的な想定訓練や設備整備に努めたとともに、参院選をはじめ各種の選挙対応を着実に実施した。

3. 放送設備整備

緊急報道強化に向け、仙台局CS受信設備の狭帯域化整備・スカイホン設備の更新、山形局天元台回転台、山形会館SDIヘリ追尾機能追加等を実施した他、盛岡局釜石報道室・天気カメラをHV化更新した。

放送サービスの充実と安定送出のため、緊急地震速報の迅速化整備や気象警報細分化に対応した整備を行った。また、福島局には小型HV中継車を整備した。一方、老朽化した電源・給排水・空調の設備は計画的に更新・補修を行った。

電波の安定確保のため、羽黒(山形)、八幡小路(福島)のラジオ放送設備、花輪(秋田)、岩泉、野田(盛岡)のFM放送設備、湯沢(秋田)、只見(福島)の自家発電装置の老朽更新などを実施した。

4. 電波サービスの充実

東北域内で新たに103局のデジタル中継局を整備し、ロードマップ局290局が完成した。さらに新たな難視地区への恒久対策として域内で7局の中継局を建設した。域内における地上デジタル放送の世帯カバー率は、09年の94%から95%に向上した。また、電波確保に向け、年3回を重点月間として電波サービスの安定運用に取り組むとともに、緊急バックアップ訓練を実施した。

東日本大震災では、太平洋側を中心に長時間の停電や、中継局・NHK共聴施設の流失・損壊の被害が発生した。発生直後から電源確保や設備の応急復旧にあたり電波サービスの確保に努めた。

5. デジタル放送の普及促進

デジタル放送の一層の普及を図るため、各県の放送事業者や総務省東北総合通信局等で構成する地上デジタル放送推進協議会と連携し、アナログ終了までの節目の日に合わせて、地デジ普及イベントや放送による周知広報活動を行った。

また、アナログ放送終了告知スーパーの実施とともに、『情報パレット』などの地域情報番組や夕方の地域ニュース番組などの放送を通して、デジタル受信の解説やデジタル中継局の開局情報、デジサポ活動のPR等を積極的に実施した。

6. 良好な受信環境の確保

地上デジタル放送の受信インフラ環境の整備を進めるため、受信状況の調査や視聴者からの受信相談に的確に対応した。また、デジサポ等の関係機関とともに、障害対策共聴や集合住宅共聴のデジタル化促進のための講習会や情報提供を行った。NHK共聴について、光ファイバーを用いた老朽更新工事を13施設、地上デジタル放送の導入改修工事を190施設実施した。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

(1) 地域の文化拠点としてのイベントの展開

東北各局で『NHKのど自慢』や『ふるさと自慢うた自慢』などの全国放送公開番組を40本実施したほか、「わくわくテレビまつり」(仙台市8.11～12)や、「会館公開」(各局)を実施し、地域の視聴者との結び付きをより確かなものとした。

また「定禅寺ストリートジャズフェスティバル20回記念コンサート」(仙台市8.19)、「語りと幻想の舞台 遠野物語」(岩手県遠野市10.11)、「朗読の世界へようこそ」(青森県平内町10.24)など地域と一体となった多彩な企画イベントを実施し、地域の文化振興と活性化に寄与した。

(2) 東北に根ざしたイベント展開

①第10回冬・北国からのコンサート

冬をテーマに北国にちなんだ名曲の数々を歌い上げる大型公開番組。10回目となる10年度は宮城県名取市で実施(12.2)。津軽三味線と東北ゆかりの曲をコラボレーションするコーナーを設けた。

②第32回NHK東北民謡コンクール

東北6県と新潟県で県大会、宮城県多賀城市で優勝大会(2.27)を実施。各県大会には18歳以下のジュニア部門に50人、19歳以上の大賞部門に538人が応募。優勝大会の「大賞」は中田桂敏さん(岩手県)、「ジュニア大賞」は富岡沙樹さん(秋田県)が受賞した。

③第28回NHK東北ふるさと賞

東北各県のさまざまな分野で顕著な成果を上げ地域活性化に貢献した個人・団体6件を顕彰し

た。進藤秋輝さん(宮城県)、酒蔵5社の若手経営者グループ「NEXT5」(秋田県)、矢口末吉さん(山形県)、照井真実都さん(岩手県)、劇団シアターF(福島県)、木村聡さん(青森県)が受賞した。

(3) 子どもや若者層を対象としたイベント展開

①第77回NHK全国学校音楽コンクール

各県コンクールと東北ブロックコンクール(宮城県名取市9.11～12)を実施。東北各県から小学校208校、中学校240校、高等学校33校が参加。東北代表に郡山市立大島小学校、弘前市立小沢小学校、郡山市立郡山第五中学校、郡山市立郡山第二中学校、福島県立安積黎明高等学校、宮城県仙台三桜高等学校が選ばれた。

②第57回NHK杯全国高校放送コンテスト

6月を中心に各県大会を開催。アナウンス、朗読、ドキュメント番組(テレビ・ラジオ)、創作ドラマ(テレビ・ラジオ)の6部門に東北各県から145校が参加。

③第27回NHK杯全国中学校放送コンテスト

7月を中心に各県大会を開催。アナウンス、朗読、テレビ番組、ラジオ番組の4部門に東北各県から52校が参加。

④アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2010

東北地区大会は秋田工業高等専門学校で開催(10.10)。優勝した仙台高等専門学校(名取)Aチームと、審査員から推薦された八戸工業高等専門学校Bチーム、鶴岡工業高等専門学校Bチームが全国大会にエントリーされた。

2. 営業

10年度は、3か年経営計画の2年目として、営業部門では「支払率の向上」と「営業経費率縮減」という大きな経営方針に向かって取り組むとともに、東北地方の営業諸目標確保のために活動を展開した。

また、地域スタッフを削減して効率化を図るとともに、契約・未収対策に一層パワーシフトした。更に民間の法人外部パワーを活用した契約・収納業務を行うエリア型の法人委託による業績確保と営業経費の削減を目指す活動を展開した。

また、事務処理業務全面委託化の2年目として仙台局を除く各局で着手し、外部委託によりスリムで効率的な営業職員体制の構築に取り組んだ。

民事手続きによる支払督促は、秋田県・青森県を新たに加え、東北全県での取り組みを強化した。

3月は東日本大震災に見舞われたものの厳しい

状況を乗り切り、東北全体として営業収納額を始め全目標達成を成し遂げることができた。10年度末の東北地方の放送受信契約数は307万7,138件、衛星契約は136万8,222件となった。

3. 広 報

(1) 東日本大震災での対応

3月11日に発生した東日本大震災では、各局とも視聴者電話対応、来館者対応や災害ホームページ運営などに迅速に取り組んだ。福島局には福島第一原発関連の情報照会の問い合わせが多数寄せられた。発生当日夜の仙台局には、停電のため情報を求めて、会館近隣の視聴者の方や帰宅困難者の方など約100人が来局し、待機所として開放したハートプラザで一夜を明かした。

被災直後から時間の経過とともに内容は変わりつつも、各局ともライフライン情報等のホームページ等での発信を継続した。

(2) 番組広報活動

盛岡局では、遠野物語発刊百周年記念ドラマ『続・遠野物語』を制作し、12月10日に東北ブロック放送、12月21日には全国放送した。

ドラマを核に、取材会や関連イベントも実施し、幅広い展開を行った。

(3) 地上デジタル放送の普及広報

地上デジタル放送推進協議会と連携し、「1年前イベント」「半年前イベント」など節目を捉えたイベントを実施したほか、各局とも公開番組や会館公開、地元祭りと連動して地デジ周知広報イベントを積極的に実施した。

(4) 視聴者との結び付きを強化する活動

「ふれあいミーティング」を公開番組・イベント、会館見学などのさまざまな機会を捉えて実施し、NHKへの理解促進・視聴者意向把握に努めた。また、会館公開イベント（7月福島、9月秋田・盛岡、11月青森、12月山形）を実施し、視聴者とのふれあいを深めた。

仙台局では恒例の「わくわくテレビまつり」を8月に実施しファミリー層とのふれあいを深めた。

(5) 公共放送ならではの取り組み

福島局では、第8回水風景写真展を福島市や郡山市で開催して自然環境保護に貢献した。

仙台局では、防災意識の向上と災害報道への取り組みについて理解を深めてもらうことを目的に、小学生対象の「地震防災教室」を県内小学校5校で実施するとともに8月には一般を対象にした「まるまる1日防災デー」を仙台市で実施した。

関東甲信越

2010年6月の鳩山総理の辞任を受けて菅内閣が誕生するが、厳しい政権運営を迫られていた最中の11年3月に東日本大震災が発生した。未曾有の災害直後の11年4月に行われた統一地方選挙で民主党は歴史的な大敗を余儀なくされた。被災地のひとつでもある首都圏はまさに歴史的な1年を経験した。

◇6月の鳩山総理の辞任の際には、関東各地の街の声や群馬県八ッ場ダムの関係者の声など波紋を伝えた。一方、菅内閣の発足時にも各地の期待や反応を多角的に伝えた。さらに、企業の人口減少社会への対応策や、GDP速報値の公表の際には街の商店や中小企業を密着リポート。経済の動向を身近な視点から伝えた。また、政権交代後、初の本格的な国政選挙でもある参議院選挙を前に、特報首都圏の枠を使って、選挙の焦点や各候補者の訴えを分かりやすく伝えるため参院選特番を放送した。

◇7月25日、埼玉県秩父市で発生した県の防災ヘリの墜落事故には、山岳経験の豊富なカメラクルーが墜落現場に到着し、墜落したヘリの機体を撮影、他社に先がけて放送した。

◇7月の東京都板橋など局地的な大雨による浸水被害や、9月の台風9号の影響による神奈川県を中心とした豪雨の際も、さいたま局、横浜局などと連携し、いち早く報道した。また、『NHKスペシャル～首都水没』では、気候変動が誘発する新たな都市型水害に警鐘を鳴らした。

◇過去113年で最も暑いと言われた10年の夏に、「おはよう首都圏』『首都圏ネットワーク』を通じて熱中症への警戒を呼びかけた。この中で、死亡者の多くが高齢者だったことが明らかになり、生活弱者を襲う新たな都市災害として『クローズアップ現代』でも放送した。

◇8月12日、前橋局では日航機墜落事故25年に際して御巢鷹の尾根からの中継を行い、慰霊式典の様子をはじめ、墜落事故から25年の節目を多角的に伝えた。

◇10月15日、新潟県胎内市で突風が発生。車20台が横転する被害が発生した現場の様子を速報した。また、12月上旬神奈川、千葉、茨城などで強風被害が頻発した際の被害についても詳しく伝えた。

◇11月、都内最高齢とされていた111歳の男性がミイラ化した遺体でみつかった事件をきっかけ

に、不明高齢者の問題が東京都内各地で次々と明らかになった。その広がりを実態をいち早く伝えるとともに、杉並区の家族のケースを徹底取材、『NHKスペシャル』で家族の証言を軸に無縁社会の闇を照らし出した。

- ◇11月13日から14日、横浜市でAPEC首脳会議が開催された。各国首脳の話し合いの行方とともに、厳しい警備体制や首脳と神奈川県民の交流の様子などを詳しく伝えた。
- ◇11月27日、横浜新会館が同市中区山下町に神奈川県劇場（神奈川芸術劇場）と合築施設としてオープン。「横浜ななみフォトモザイク壁画」の除幕式などのイベントも開催され、オープニングウイーク期間は延べ1万6,000人が訪れた。
- ◇12月17日、茨城県取手駅前でバスに乗っていた中高生14人が男に包丁で刺された事件では、通勤で現場に居合わせたNHK関係者からの第一報を基に迅速な取材体制を敷き、他社に先がけて現場の様子を伝えた。
- ◇3月11日の東日本大震災の発生直後から首都圏での被害、避難の情報はもとより、交通情報、計画停電と市民生活への影響をきめ細かく伝えた。被害の大きかった茨城、千葉を中心にレポートなども全国放送と連携して発信し続けた。また、東北の被災地をはじめ全国に向けて、逆L字型の文字情報を出し、震災や原発事故関連の情報を24時間体制で、ほぼ20日間にわたって発信した。

I. 放送

1. 放送の概要

（関東）

およそ4,200万人が暮らす関東地域を中心に東京から電波を送り出し放送サービスを行っている。関東甲信越1都9県の視聴者のさまざまな要望に応えるため、各時間帯に地域の情報を提供している。

3月11日の東日本大震災以後は被災者の支援や安全のための情報提供に全力を傾けた。関東地方の被災地へ生活支援に必要な情報を提供するために、震災発生から3日後には「震災生活情報番組」を立ち上げ、毎朝5時台から夜11時台まで毎時間、15～30分間、教育テレビと衛星第2で18日まで放送した。

さらに、3月22日からは「いと6けん震災生

活情報」に引き継ぎ、午前11時半から24分間の枠で放送した。内容は、茨城県のひたちなか市や大洗町、千葉県の旭市や香取市など被災地を取材した企画「被災者の声」と、被災地の生活に役立つピンポイント情報「震災生活情報」を2つの柱として避難所中継を交えながら放送した。

震災から10日後には「首都圏震災ニュース」（午後5時10分～6時）を立ち上げ、首都圏の被災地からのニュースや中継、レポート、放射性物質の大気中の濃度など震災関連の情報を関東甲信越向けに発信した。全国的に東北の被害に関心が集中する中で、連日、茨城、千葉を中心に精力的に首都圏の被害を取材し、生活者の目線でライフライン、食生活に直結した動きを報道した。

一方、首都圏管内の各局と連携して、首都圏での被害、避難の情報はもとより、交通情報、計画停電と市民生活への影響をきめ細かく取材し、報道を続けている。管内では被害の大きかった茨城、千葉を中心にレポートなども全国放送と連携して発信し続けた。

大震災発生後の3月25日、『特報首都圏』を43分に拡大し、「東北関東大震災 首都圏でいま何が」を放送。それまで全国に知られていなかった茨城や千葉の被災状況を全国放送で詳しく伝えた。また、首都圏が東北の被災地などに向け、逆L字型の文字情報を担い、震災や原発事故関連の情報を24時間体制で20日間にわたって送出した。

さらに、震災発生から10日後、被災者の生の言葉を伝えるための番組『被災者 いま訴えたいこと』を立ち上げた。東北の被災地に独自に取材クルーを送り込み、小型デジタルビデオカメラを使った機動性あふれる取材を行い、被災者たちの切実な訴えを全国に伝えた。初回の放送では視聴者からのメールが1,200件に及ぶなどこれまでに4,000件を超える反響があった。

さらに、『特報首都圏』や『小さな旅』という定時番組を週1回放送したほか、金曜夜の時間帯に43分の地域特集番組『イキだね！私の東京時間』（10年は30本）を放送した。

『特報首都圏』では身近に潜む危険や不安について警鐘を鳴らした「防げるカライター火災」、千葉県銚子市立病院の抱える問題を集めた「救急なしの病院再開」、カラーコンタクトレンズなどで広がる感染症の危険性を指摘した「増えるコンタクトレンズ感染症」、東名高速道路の鉄筋コンクリートの老朽化の実態を伝えた「高速道路 迫りくる“危機”」など、生活の中の安全に眼を向けた。

また、「85歳・辰巳芳子“日々の料理”を問う」は「手間をかけて料理する」大切さを伝えた。

さらに、「内定率過去最低・いま何が必要か」(11.19)では、学生側と企業側とのミスマッチの実情を伝えた。また、「縮む日本・何を残し、何をあきらめるか」(12.10)では、今後の人口減少に備え、公共施設やインフラをどう管理していくのか、地域社会の未来を探った。

また、「追跡! AtoZ～“心の病”の薬に何が」では、向精神薬の密売ルートの実態に迫った。

「B級グルメ」コンテストの舞台裏を密着取材した『クローズアップ現代～安い うまい 珍しい “B級グルメ”が町を救う』『ワンダー×ワンダー～めざせ日本一! B級ご当地グルメ』など、B級グルメをテーマに年末特集『ととのいました! B級ご当地グルメランキング2010』とさまざまな切り口で放送した。

◇長野局では、8月8日の長野県知事選挙で、最終盤までもつれる激戦の中、他社を圧倒する早さで元副知事の阿部守一さんに当確を打った。

◇新潟局では、『新潟ニュース610』と『新潟FMルネッサンス』を連動して2日間にわたる公開番組スペシャルを、9月に長岡市、12月に新潟市、2月に上越市で実施した。

◇甲府局では、「ヴァンフォーレ甲府のJ1昇格」「鳥もつ煮B-1グランプリ優勝」「西湖でのクニマス発見」など、地域活性化につながる話題を数多く取り上げて放送した。

◇横浜局では、新放送会館への移転に伴い、11月22日に放送のカットオーバー、11月27日に記念式典を行い、それ以降、記念のイベントや番組を集中的に展開した。

◇前橋局では、小学6年女児自殺問題について、市の調査委員会の発足や遺族の提訴などの節目でレポートを交えて伝えた。

◇千葉局では「アイスランドの火山噴火による火山灰の影響による成田発欧州便の欠航相次ぐ」「東日本大震災による旭市の津波被害や浦安市の液状化被害」などを迅速かつ正確に伝えた。

◇宇都宮局では、ジャズの街宇都宮をアピールしたFM公開放送「マロニエジャズ」を実施。初めてスタジオを飛び出し、地域に根ざした活動として展開した。

◇さいたま局では、サッカーに関するさまざまな情報や地域おこしなどの取り組みを、放送やインターネット、イベントなどで、多彩に伝えた。

〔長野局〕

地域に信頼され、地域を応援する放送局として、

放送の充実に取り組んだ。キノコの豊作に伴い毒キノコによる食中毒やクマの出没が例年になく相次ぎ、専門家の話を交えてきめ細かく注意を呼びかけた。東日本大震災や翌日の3月12日未明に栄村で起きた震度6強の地震では、影響や被害、避難の状況を逆L字スーパーなどで伝えた。数えの7年ごとに諏訪地方で行われる「御柱祭」では、最大の見せ場の「木落とし」のめようを3時間50分間にわたって全国放送で生中継した。番組には再放送希望が多く寄せられ、再編集したダイジェスト版を長野県内向けに放送した。就任したばかりの新知事を迎えて『徹底討論・どうする信州』を放送し、公約の事業仕分けの問題や経済対策などの課題についてゲストとともに議論し、100件を超える意見が寄せられ関心の高さを示した。『ひるとくテレビ プラザN』は、1階ロビーからの生放送で、生活に根ざした情報の発信とともに多くの県内の人たちが出演し番組とのつながりを深めた。夕方のニュース番組『イブニング信州』は、一日のニュースを掘り下げたりレポートや記者解説、カメラマン企画などで県内の話題を幅広く伝え、年間の平均視聴率は13.7%でよく見られた。『知るしん。』は信州の今にこだわり、県内の課題を掘り下げる特集と関心に応えるコーナーで構成。年15本の平均視聴率は9.6%で高い支持を得た。

〔新潟局〕

新潟局では、「農業」と「観光」を10年度の重要なテーマとし、ローカル番組の『新潟ニュース610』『金よう夜 きらっと新潟』をはじめ全国放送などのさまざまな番組で取り組んできた。「農業」については10月には73分の『徹底討論 コメ王国はいま』を制作し、「観光」では新潟県の観光を応援するミニ番組『にいがた再発見』を年間14本制作した。

トキの抱卵については、地域の人たちのヒナ誕生にかける取り組みや思いなどを、県域放送だけでなく『ニュース7』や『おはよう日本』などの全国ニュースや番組でも丁寧な伝えた。

3月に起きた東日本大震災では、福島から新潟に避難してきた人たちの現状とともに、福島県のニュースなども詳しく伝え、震災に関わるさまざまな情報を提供した。

『新潟ニュース610』では、老舗デパートの撤退や北陸新幹線建設の問題、猛暑によるコメの影響、新潟市長選挙など県内の抱える課題などを伝えた。また、大雪や竜巻などでは、気象情報だけでなく交通情報などの生活情報をきめ細かく伝え

た。

〔甲府局〕

「地域再生」と「富士山」をテーマにした企画シリーズや番組を展開した。第22回参院選および山梨県知事選・甲府市長選では、全局体制で速報本部の対応に当たり、公平・公正かつ迅速・的確に報道した。東日本大震災の発生時は「逆L字スーパー」を活用し関連情報をきめ細かに伝えた。

『ニュースまるごと山梨』では、「地域再生」をテーマに、年間を通じて企画シリーズを展開。「富士山防災メモ」の新設や選挙報道を充実・強化した。

『金曜山梨』では放送時間を拡大し、年間を通して地域の関心に応える多彩な内容を放送した。

『もうすぐ山梨のおひる』では、地域の豊かな自然や文化を紹介した。

全国放送番組は、『ドキュメント・20min “カワイイ”をめぐる冒険～ヤブさんと1万5,000の動物画』『ふだん着の温泉』などのほか、地域放送番組を『目撃！日本列島』、ハイビジョン特集『“家”で死にたいさ～山梨 長田先生の往診日誌』などで全国へ発信し、山梨県の魅力や課題を伝えた。スポーツでは、サッカーJ2からJ1に昇格した「ヴァンフォーレ甲府」や女子バスケットの「山梨クィーンビーズ」の試合を中継するとともにニュース・番組で詳しく伝えた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『こんにちは いっと6けん』 G

月～金 11:05～11:54

第1回93.4.5／関東ブロック／関東の1都6県の身近な生活情報や話題を放送した。

月曜は1都6県全ての局から地域の話と1週間のイベント予定を伝えた。第1月曜は視聴者からの投稿川柳を紹介する「川柳じぶん流」を放送した。火・水・木曜は各県からのレポートのほか、文化情報を伝える「カルチャークリック」、地域で活躍する人にスポットを当てる「わたしの街のイチオシさん」などの企画を放送した。

金曜は、関東各地を訪ねる「とっておき散歩」、旬の魚・野菜情報を伝える「とれたて築地情報」、熱中している趣味や生き甲斐を紹介する「人生わたし流」など、暮らしに役立つ情報が潤う情報をさまざまに盛り込んだ。

また、その日の出来事を伝える「日めぐりカレンダー」とおいしい料理を手軽に作ることできる「かんたんごはん」を月～金曜の毎日放送し、

視聴者の要望に応えた。

『ゆうどきネットワーク』 G

月～金 16:50～18:00

夕方5時台の『ゆうどきネットワーク』は全国48局で放送。「視聴者の目線に近い話題をとことん掘り下げる」ことをテーマに、幅広い取材を行った。中でも、高齢者の孤独などを取り上げた「無縁社会シリーズ」は視聴者から大きな反響を得た。全国各地の中継や紀行企画も積極的に取り上げ、バラエティー豊かな内容にした。／キャスター：山本哲也・松村正代アナ

『首都圏ネットワーク』 G

月～金 18:10～18:59

第1回97.4.1／関東ブロック／ニュース、生活情報、地域の問題などを幅広く伝えるニュース・情報番組。関東各局のネットワークを生かして、1都6県のニュースや話題を「きめ細かく、分かりやすく」伝えた。その日の動きを的確に伝えるために、現場レポートや記者解説、関係者の反応などを組み合わせて多角的に伝えるニュースアップに力を入れた。月曜には地域で活躍している魅力ある人たちを紹介する「すてき！ひと探訪」を放送し、金曜の「文化流行最前線」では最新のトレンド情報を社会的な背景とともに紹介した。また、社会の中核を担う世代が直面しているさまざまな問題点を見つめた「ミドルエイジクライシス」シリーズは大きな反響を呼んだ。このほか、雇用や教育などをテーマにしたシリーズ企画を展開し、時代の変化に向き合い続けた。

『イキだね！わたしの東京時間』 新 G

金 20:00～20:43 (東京管内)

㊤ 土 10:30～11:13 (〃)

4月から9月まで毎月1回、半年にわたって18本放送。銀座や丸の内、代官山、新宿、目黒、六本木など、毎回、東京都内の一つの町にこだわり、タレント2人でさまざまなスポットを訪ねて、その町の魅力を伝えるVTR「東京旅ごっこ」や、2人のスタジオゲスト（VTRとは別）のその町への思いや東京での時間の過ごし方、ライフスタイルを語るトークを交え、「知っているようで知らない東京の魅力」を再発見する番組。／司会：春風亭小朝、荒木美和アナ／首都圏放送センター、NEP

『キッチンが走る！』 新 G

G 金 20:00～20:43

㊤ 土 10:30～11:13

BS2 金 8:15～8:58

第1回10.10.1／俳優の杉浦太陽と気鋭のプロの

料理人が、台所を備えたキッチンワゴンに乗り込み、関東甲信越の海や山へ食材探しの2人旅。集めた食材は、その場で試す。地元の旬の幸を使った新しいメニューを創作していく「食べ物エンターテインメント紀行」。／料理人：笠原将弘、ベリッシモ・フランチェスコ、行正り香、五十嵐美幸、上田勝彦、館野雄二郎、辻口博啓、土井善晴、枝元なほみ、マロン、落合務、下村邦和、菰田欣也、坂井宏行／ソフト開発センター、NEP、NEXTEP

『首都圏ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1／関東ブロック／首都圏のその日の主なニュースをまとめて放送。各地の動きがコンパクトに分かるニュースとして視聴者から高い支持を受けている。

『特報首都圏』 G

金 19:30～19:55

㊤ 土 10:05～10:30

第1回84.4.6／関東甲信越ブロック／関東甲信越で起きた事件・事故の背景に迫る調査報道のほか、首都圏で問題になっている課題を掘り下げて、その背景や解決策を考える地域情報番組。10年度は「ひとりが怖い若者」「増えるコンタクトレンズ感染症」「なぜ人気？ガッツりめし」「成田空港・格安航空をつかめ」「東京・住みたい街が変わる」など36本を放送した。また、日本が人口減少社会に向かう中で、公共施設の老朽化、公共サービスの低下などにどう向きあうかを探るシリーズ「縮む日本」を展開した。公式ホームページに加えて公式ツイッターも開設して視聴者との双方向性を広げた。放送とネットを使って、首都圏の問題を多角的に取り上げ、視聴者の安心・安全を守る放送を実施した。

『小さな旅』 G ～12月 土 9:00～ 9:25

1月～ 日 8:00～ 8:25

㊤ 土 4:30～ 4:55

第1回83.4.8／全国放送／10年度から旅の舞台が全国に広がり、各地の美しい風景とそこに生きる人々の力強い姿を伝えられるようになった。キーワードは「風景が人を育む」、10年度は42本放送（特集を含む）。視聴者から寄せられた手紙でつづる特集「忘れられないわたしの旅」は12月に2本制作。登山のすばらしさを描いた特集「山の歌」は8～10月に4本制作した。11年の1月からは、日曜朝8時の放送となり、視聴率は2桁を超えている。

『サタデーワイド 土曜日レディ』 新 FM

土 14:00～16:00

第1回10.4.3／「土曜日の午後は音楽と楽しいおしゃべりが似合う」をコンセプトに生放送で届ける女性向け新番組。／出演：杏子／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『サタデーワイド ラジオマンジャック』 新

FM

土 16:00～18:00

第1回10.4.3／特番として毎年2、3回放送してきた人気番組の定時化。「スネークマンショー」さながらのコントや生演奏なども取り入れ、音楽的にもラジオショーとしても楽しめるリスナー参加型のリクエスト番組。／MC：赤坂泰彦、雨蘭咲木子／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『サタデーワイド U-18 ユーガタM塾』

FM

土 18:00～18:50

第1回08.4.4／10年度より土曜夕方6時からに変更。現役高校生がMCを担当。高校生がみずから取材し、「あなたの周りの“大人”が青春時代に好きだったアーティスト（ないしは歌）」を選曲。「音楽」は本来、世代の格差なく楽しめるもの。若い世代の「温故知新」をテーマにした音楽番組。／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『サンセットパーク』 FM

月～金 18:00～18:50

(東京、水戸、甲信越)

リスナーからのリクエストに応えるDJ番組。月・洋楽、火・Jポップ、水・インストルメンタル（イージーリスニング）、木・映画音楽、金・ジャズ。金曜は、青山サテライトスタジオで収録して放送。年間4回ゲストを迎え、ヒット曲情報なども届けた。DJは、種村祐美子、山本由布子の2人。

〔長野局〕

『ひるとくテレビ プラザN』 G

月～木 11:40～12:00

金 11:30～12:00

地域の生活情報を会館ロビーから公開生放送。10年度は市町村の観光関係者や信州ゆかりのアーティスト、スタジオ参加者も合わせて延べ476人が参加し、地域の魅力やイベント情報、暮らしのヒントを伝えた。

『イブニング信州』 G 月～金 18:10～19:00

新設の「わがまちとっておき」では、県内各地を訪ねて、文化や食など地域の魅力を紹介した。「お天気メモ」では気象予報士が気象に関する役立つ情報を詳しく伝えた。「ニュースの？」はニュースのさまざまな疑問を記者解説で分かりやす

く伝えた。「スポしん。」はサッカーのJFLに参戦した「松本山雅FC」の活躍ぶりや、山雅に続いてJFLに昇格した「長野パルセイロ」の動向を詳しく伝えた。キャスターが現地から地域的话题を集中的に伝える「つながるスタジオ」を東信地域と中信地域で年2回実施した。「撮るしん。」には10年、1年間に09年を474件上回る2,600件の写真が寄せられた。

『知るしん。』 G 金 20:00~20:45
金曜夜8時、家族がそろってテレビを見る時間に、県内のニュースや課題を掘り下げて伝える「知るしん特集」、最新トレンドや信州ならではの、こだわりを紹介する「信州知り隊」など、多彩な話題をマガジン形式で信州ゆかりのゲストとともに伝えた。

『信州845』 G 月~金 20:45~21:00
信州の一日が分かる地域最終ニュース番組。

『もぎたて信州朝いちばん』 R1 月~金 7:40~8:00
ニュース・気象情報のほか、地域的话题を電話で伝えてもらう情報番組。

『ニュース』 R1 月~金 19:45~20:00
長野県の日をコンパクトに伝えるローカル最終ニュース。

(新潟局)
『お昼はじょんのび 暮らし情報便』 G 月~金 11:40~12:00

10年度から枠を5分拡大。暮らしの安全・健康・趣味・教養などの情報をスタジオ生インタビューで紹介した他、展覧会や祭りなどイベントのお知らせ、青果・鮮魚の市場情報など、暮らしに密着した情報を伝えた。

『新潟ニュース610』 G 月~金 18:10~19:00
県内ニュースや動きを記者レポートや記者解説、中継など交えて多角的に伝えた。インタビュー、スポーツ、ケーブルテレビ便りなどの企画コーナーの他、県内各地の観光を応援する「旬わが街」、視聴者の投稿写真を紹介する「私の旬」などを加え、番組を充実させた。

『金よう夜ざらっと新潟』 G 金 19:30~19:55
⑨ 火 11:05~11:30

新潟の主幹産業である農業・観光をテーマにした番組、老舗デパートの撤退に揺れる中心市街地の活性化策を考える番組、新潟で活躍するさまざまな人物のドキュメンタリー、新潟の豊かな自然・文化を伝える紀行番組などに取り組んだ。

『新潟ニュース845』 G 月~金 20:45~21:00

県内の一日のニュースをコンパクトに伝えた。

『新潟ラジオセンター』 R1 月~金 7:40~8:00

新潟の各分野で活躍する人が語る「朝の随想」、 「防災メモ」のほか、気象情報、交通情報を伝えた。

『新潟・きょうの1日』 R1 月~金 19:45~20:00

県内の一日のニュース・気象情報のほか、地震や水害への備えを呼びかける「防災メモ」を伝えた。

(甲府局)
『もうすぐ山梨のおひる』 G 月~金 11:40~12:00

地元のJリーグチームの紹介、生活情報やイベントPR、県内の美術館・博物館情報、自然の楽しみ方、そして「発信!ハートプラザ」では甲府局の番組や仕事の紹介をした。

『まるごと山梨』 G 月~金 18:10~19:00
女性アナをメインに、現場にこだわった“山梨のいま”が“まるごと”分かるニュース情報番組として充実を図った。

『ニュース山梨845』 G 月~金 20:45~21:00
一日の県内ニュース、明日の動き、明日の天気予報などを伝えた。

『金曜山梨』 G 金 20:00~20:33
金曜夜8時という視聴好適時間にふさわしい質の番組として、政治・経済・歴史・エンターテインメントに至るまで、地域の関心に応える多彩な内容の番組を制作。また、“道沿い”に地域の魅力を発見する新シリーズ「甲斐道めぐり」を開始した。10年度は25本制作。

(横浜局)
『FMサウンド☆クルーズ』 新 FM 月~金 18:00~19:00

多彩なゲストを招き、音楽情報や暮らしの情報を伝えた。放送後に動画配信を行った月1回のジャズライブ、大学生がキャンパス情報を紹介する「かなキャン」でネットとの連動を図った。

(前橋局)
『たすきでつなげ 群馬の力』 新 FM 月~金 17:20~18:00

県内の各分野で活躍するキーパーソンをスタジオに招くインタビュー番組。テーマを、群馬の自然や音楽、農業など月ごとに決め、ゲストに40分間じっくりと話を聞いた。また、週に1回は民話や童話などの朗読も放送した。震災のあとには大学の教授をゲストに招き、3回にわたって関連の

特集を組んだ。

『トワイライト群馬』FM 月～金 18:00～18:50

5人の女性キャスターが交代でディスクジョッキーを務める情報番組。市町村の動きや話題、注目のニュースや生活情報などを音楽とともに発信した。東日本大震災の後は、東北からの避難住民を受け入れている市町村の担当者に話を聞くなど、震災情報も毎日伝えた。

『ぐんま土曜広場』FM 土 14:00～16:00ほか

群馬交響楽団の定期演奏会「群響アワー」のほか、草津と伊香保で行われた「ふれあい歌謡ステージ」「NHK学校音楽コンクール」などを放送した。

〔水戸局〕

『とれたて ワイド いばらき』 G

月～金 11:30～12:00

第1回09.4.2／レポートや中継に力を入れ、暮らしに役立つ生活情報にこだわった番組。スタジオからの公開生放送で視聴者とともに伝えた。

『ニュースワイド茨城』 G

月～金 18:10～18:59

第1回09.3.30／日本の中の茨城が見える、世界の中の茨城が見えるがコンセプト。その日の茨城県のニュースを中心に、徹底した取材で内容を深め、多角的な視点で考察。背景や原因を追及するとともに問題点や解決策を探った。

『茨城ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回04.10.1／茨城県のその日の出来事をコンパクトに気象情報と合わせて伝えた。

〔千葉局〕

『ひるどき情報ちば』 FM

月～金 11:00～12:00

音楽とともに暮らしに役立つ情報を伝える番組。月曜は「食」の情報、火曜は暮らしの情報（9月までは千葉国体情報）、水曜は地域の情報、木曜は観光情報、金曜は美術館情報を放送した。

『まるごと千葉60分』 FM

月～金 18:00～19:00

文化・スポーツ・ビジネス・地域づくりなど、県内のさまざまな分野で活躍する人へのインタビュー番組。ニュース、交通情報、気象予報士による気象情報コーナーとともに放送した。

『まるごと千葉60分・公開生放送』 FM

(年8回) 4.16ほか／18:00～19:00

千葉県にゆかりのある著名人をゲストに迎え、千葉局のスタジオで実施した公開生放送番組。毎回100人前後の視聴者が参加、公開収録も含め1

年間で計8回、放送した。

〔宇都宮局〕

『とちぎ6時です!』 FM

月～金 18:00～19:00

地域情報を中心とした「くらし応援番組」。地域で活躍する人へのインタビュー「とちぎカフェ」、自然の中でのレジャーを楽しむ「アウトドアガイド」、栃木県の文化・歴史を紹介する「くらし歳時記」、健康アドバイスの「すこやかダイアリー」など。木曜は話題のスポットなどから中継する「いちごななみ号が行く!」。金曜は県内のプロスポーツチーム「栃木SC」「リンク栃木ブレックス」「HC日光アイスバックス」「宇都宮ブリッツェン」の話題を取り上げた。

『とちぎマロニエパーク』 FM

最終土 14:00～16:00

宇都宮局ロビーから公開生放送。7・12・3月を除き年間9回放送。話題の人にインタビューする「マロニエカフェ」、祭り・イベントなどの会場から中継する「マロニエ中継隊」、県内で活動するミュージシャンが出演する「マロニエ音楽館」、季節のアイデア料理を紹介する「シェフの一品」など。10月は「ジャズのまち宇都宮」にちなんだジャズ特集として宇都宮市立東図書館視聴覚ライブラリー特設会場からジャズの演奏をたっぷり放送した。

〔さいたま局〕

『日刊!さいたま〜ず』 新 FM

月～木 18:00～18:50

埼玉県を元気にするために、埼玉にゆかりのあるさまざまな人たちをゲストに迎え、生活の知恵や埼玉を楽しむ方法などを伝えるとともに、思い出の音楽などを伝えた。

『週刊☆サッカー王国』 FM 金 18:00～18:50

「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」の前節の分析と次節の展望を、視聴者からの投稿メールとコメンテーターの分析を交えて伝えた。

〔2〕特集・特別番組

〔長野局〕

『森田アナがゆく ぶらり東信ペダル旅』 G

5.25／20:00～20:43

『森田アナがゆく ぶらり中信ペダル旅』 G

11.5／20:00～20:43

キャスターが自転車で各地域を巡る旅を通して、信州の美しい風景や人々の笑顔、優しさ、生き方に触れた紀行番組。「つながるスタジオ」の企画の総集編を春と秋の2回放送した。

『徹底討論！どうする信州 県政のこれから』

G 9.10/19:30~20:43

県知事選を受けて、阿部守一新知事をスタジオに迎え、県内の政治経済や暮らしなどの課題について識者とともに生放送で討論。

『知るしん。湯めぐりスペシャル』 G

2. 4/19:30~20:43

長野県が全国に誇る豊富な温泉の魅力についてクイズ形式で紹介。温泉の専門家などのゲストに加え、視聴者にも携帯やパソコンを通して、クイズに参加してもらい、信州の温泉の醍醐味を73分にわたって伝えた。

『NHK長野杯長野県小学生アルペン選手権大会』 E

1.30/14:00~17:00

野沢温泉スキー場で、小学生385人が参加して行われたアルペンスキー大会のうち、5・6年生の競技のもようを録画で放送した。

(新潟局)

『金よう夜 きらっと新潟〜徹底討論 コメ王国はいま』 G

10.29/19:30~20:43

『金よう夜 きらっと新潟』のスペシャル版として73分の拡大枠で放送。苦境に立たされているコメ作りを巡るさまざまな課題をスタジオに招いた知事・識者・農家で徹底討論し、生き残りの道筋を探った。

『新潟FMルネサンス』 FM

年3回放送

ラジオを通して視聴者との結び付きを強めようと10年度、FM公開生放送を長岡・新潟・上越から行った。

「アラフォー青春音楽まつりin長岡」

9.11/14:00~18:50

「親子で遊ぼう！NHKクリスマスパーティー」

12.18/14:00~16:00

「こんどは上越〜雪とスキーと戦国と」

2.26/14:00~16:00

(甲府局)

『参院選2010山梨県開票速報』 G

7.11/20:50~21:00ほか

7.12/1:30~2:00ほか

『山梨県知事選・甲府市長選開票速報』 G

1.30/22:39~22:50ほか

1.31/0:30~0:58

『まるごと2010山梨 年末ハイライト』 G

12.27/18:10~19:00

12.28/18:00~19:00

中継などを織り交ぜながら、山梨県のこの1年を振り返った。

『NHK朗読シアター〜賢司・心の銀河鉄道』

R1

前編 5.31/20:05~20:55

後編 6. 7/20:05~20:55

09年に引き続き、特別企画イベントとして山梨県立文学館で公開収録した。甲府局アナウンサー全員が出演し、「銀河鉄道の夜」を読み継いだ。

(横浜局)

『Jリーグ・神奈川ダービー』

川崎フロンターレ 対 湘南ベルマーレ

FM 5. 1/16:00~18:00

湘南ベルマーレ 対 横浜F・マリノス

FM 11. 6/14:00~16:00

J1・J2リーグ計4チームを擁する神奈川で、地域密着型・リスナー参加型のサッカー実況放送を実施した。

『FMサウンド☆クルーズ〜スペシャル・ジャズ・ライブ』 FM

10. 9/14:00~16:00

地域の恒例イベント「横濱ジャズプロムナード」の開催に合わせ、横浜局のスタジオでジャズライブを実施し、生放送で伝えた。

(前橋局)

『群馬この1年』 FM

12.27~28/18:00~18:50

県内のこの1年の動きを振り返った特集番組。スポーツや社会、文化の動き、それにニュースを振り返る2回のシリーズとして放送した。

(水戸局)

『茨城スペシャル』 G

「水戸室内管弦楽団 第81定期演奏会」

1.29/18:30~20:45

水戸室内管弦楽団第81定期演奏会のもようを生中継で伝えた。モーツァルトやメンデルスゾーンの曲目。／指揮：原田幸一郎／バイオリン独奏：神尾真由子

『金曜茨城スペシャル』 G

20:00~20:43ほか

「水戸が萌えた日〜追跡コミックマーケット」

4. 9

3月、水戸の中心部で同人誌の即売会、コミックマーケットが開かれた。誘致したのは街を元気にしたと考えた市民たち。3万人以上が訪れた催しに密着。

「判決を下す市民たち〜裁判員制度導入から1年」

5.28

裁判員制度導入から1年。市民は法廷で何を考えたのか。精神的負担のケアは。裁判員のその後を追う。

「茨城“百年企業”物語」

6.25

100年続く企業は全国に2万社以上。茨城にも

500社近く。日立製作所は10年で創業100周年。不透明な時代を生き抜く志や知恵を老舗企業に探る。

「霞ヶ浦 夏の輝き」 9. 3

茨城県のシンボル、霞ヶ浦。その魅力を俳優・柳生博さんとともに訪ねる。ワカサギ漁、観光帆引き船そして繁殖期を迎えた野鳥など、生きものたちの命の輝き。

「わたしたちって ツイてない?～激論!20代のホンネ」 9.24

ゆとり世代、就職難、内向き。さまざまなキーワードで語られる20代。自らの世代をどう捉え、これからどう生きるのか、本音を探る。

「証言記録 兵士たちの戦争～人間爆弾・桜花」 10.29

太平洋戦争の戦局が悪化する中、大本営は特攻兵器「桜花」を開発。しかし、爆撃機で運ばれる桜花は米軍によって次々に撃ち落とされてしまう。関係者の証言を記録。

「どうなる!どうする?地域の足～公共交通の未来」 12.10

少子化やマイカーの普及で廃線となる路線バス。しかし、お年寄りなどにとっては大切な足だ。公共交通を支える現場で何が起きているのかりポートする。

「冬のおくりもの～ココロ・キズナ・アリガトウ」 1.28

朗読コンサート「冬のおくりもの」。俳優の渡辺徹さんとピアニスト・加羽沢美濃さんをゲストに水戸局アナウンスが送る。作品は「ゲゲゲの女房」など。

「無実を訴え続けた44年～検証・布川事件」 2.25

44年前、利根町布川で起きた強盗殺人事件、布川事件。無期懲役となった桜井昌司さんと杉山卓男さんは無実を訴え続け、再審の判決が5月に言い渡される。

〔千葉局〕

『NHK千葉・クラシックサロン』 FM

12.11/14:00～16:00ほか

県内や東京で活動する若い演奏家による千葉局スタジオでのミニコンサートの公開録音や、市川市で行われるN響メンバーによるサロンコンサートを収録し放送。小編成によるクラシック音楽を広く楽しんでもらうとともに、新進の演奏家を紹介した。公開収録により1年間で計3回、放送した。

〔宇都宮局〕

『ピアノコンクール入賞者演奏会』 FM

3. 5/14:00～16:00

栃木県総合文化センターで行われた「第20回ピアノコンクール入賞者演奏会」のもようを録音で放送した。県内4つのピアノコンクールの入賞者15組16人の演奏を放送した。

〔さいたま局〕

『Jリーグさいたまダービー 大宮VS浦和』

FM 7.31/18:00～20:00

10. 2/12:30～15:00

『埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会決勝』

FM 12.23/13:30～14:35

サッカーを応援する放送局として、さいたま市に本拠を置く「大宮アルディージャ」「浦和レッズ」の直接対決や、小学生サッカーの埼玉県チャンピオンを争う大会を生中継。会場周辺では、関連イベントも行い、中継で紹介した。

『戦国体感!忍城ラジオ攻め』 FM

3. 6/13:30～15:30

石田三成の水攻めを破った歴史を持つ行田市の忍城を舞台に、歴史好きのタレントを迎えてのクイズ大会やトークで、地域の文化に迫った。

〔各局共通〕

『NHK全国学校音楽コンクール』

東京都小学校の部 FM 8.25/ 9:20～11:30

中学校の部 FM 8.26/ 9:15～11:50

高等学校の部 FM 8.27/ 9:20～11:50

長野県 E 9. 4/12:00～13:59

9. 5/14:00～16:20

新潟県 E 8.31/13:05～13:50

9. 1/13:05～14:30

9. 2/13:05～14:44

8.31/16:00～17:20

9. 1/16:00～18:50

9. 2/16:00～18:50

山梨県 FM 8.30～ 9. 3/18:00～18:50

神奈川県 FM 8.26/ 9:20～11:30

8.27/ 9:20～11:36

8.28/14:00～18:00

群馬県 FM 8.28/14:00～17:00

茨城県 FM 8.27/14:00～15:55

16:00～17:50

千葉県 FM 予選

小学校 8.17～20/11:00～11:50

中学校 8.18～20/17:50～18:50

FM 本選

小学校 8.28/14:00～15:30

	中学校	8.28/15:30~17:15
	高等学校	8.28/17:15~18:50
栃木県	FM	8.30~ 9. 3/18:00~19:00
埼玉県	FM	8.24~27/ 9:15~11:50

3. スポーツ中継

(高校野球)

全国高校野球選手権大会・地区大会		
東京都	西東京大会・決勝	G・R1/ 7.26
	東東京大会・決勝	G・E・R1/ 7.27
長野県	準々決勝	R1/ 7.21~22
	準決勝	G (一部E)・R1/ 7.24
	決勝	E・G・R1/ 7.25
新潟県	準々決勝	R1/ 7.22
	準決勝	G・E・R1/ 7.27
	決勝	G・R1/ 7.28
山梨県	準々決勝	R1/ 7.21~22
	準決勝	G (一部E・FM)・R1/ 7.24
	決勝	G・R1/ 7.25
神奈川県	準決勝	FM/ 7.28
	決勝	G・FM/ 7.30
群馬県	準決勝	FM/ 7.26
	決勝	G・FM/ 7.27
茨城県	準決勝	G・FM/ 7.26
	決勝	G・FM/ 7.27
千葉県	準決勝	FM/ 7.24
	決勝	G・FM/ 7.25
栃木県	準決勝	FM/ 7.24
	決勝	E・FM/ 7.25
埼玉県	準決勝	FM/ 7.27
	決勝	E・G・FM/ 7.28
秋季高校野球・県大会		
長野県	3位決定戦・決勝	R1/10.10
新潟県	準決勝	R1/10. 9
	3位決定戦	R1・FM/10.10
	決勝	R1/10.10
山梨県	準決勝	R1/10. 2
	3位決定戦・決勝	R1/10. 3
茨城県	準決勝	FM/10. 3
秋季高校野球 関東地区大会		
	準決勝	横浜・水戸・さいたま局 FM/11. 4
	決勝	横浜・さいたま局 FM/11. 5

北信越地区大会	
準決勝	長野局 R1/10.25

(サッカー)

サッカーJ1リーグ		
鹿島×広島	水戸局	G/ 4.18
川崎×湘南	横浜局	FM/ 5. 1
新潟×山形	新潟局	G/ 5.25
浦和×大宮	さいたま局	FM/ 7.31
鹿島×大宮	水戸局	G/ 9.18
大宮×浦和	さいたま局	FM/10. 2
湘南×横浜FM	横浜局	FM/11. 6
鹿島×京都	水戸局	G/11.28
新潟×湘南	新潟局	G/12. 4
甲府×磐田	甲府局	G/ 3. 5
鹿島×大宮	水戸局	G/ 3. 6

サッカーJ2リーグ

栃木×草津	前橋・宇都宮局	FM/ 4.11
甲府×富山	甲府局	R1/ 4.18
甲府×柏	甲府局	G/ 5. 5
水戸×千葉	水戸局	DG2/ 5.29
草津×札幌	前橋局	FM/ 6. 5
水戸×柏	水戸局	G/10.31
水戸×札幌	水戸局	DG2/11.14
甲府×草津	甲府局	G/11.20
甲府×岐阜	甲府局	G/12. 4
草津×柏	前橋局	FM/12. 4
栃木×草津	前橋・宇都宮局	FM/ 3. 6

JFL

松本山雅×鳥取	長野局	E/11.21
天皇杯全日本サッカー選手権 地区大会		
山梨県 決勝	甲府局	G/ 8.22
長野県 決勝	長野局	G/ 8.29
新潟県 決勝	新潟局	G/ 8.29

天皇杯への道 関東地区代表決定戦ハイライト	
関東ブロック	G/ 9. 2

埼玉県第4種サッカーリーグ選手権	
決勝	さいたま局 FM/12.23

(ラグビー)

トップリーグ		
三洋電機×リコー	前橋局	FM/12.26

(バスケットボール)

bjリーグ		
富山×新潟	新潟局	G/ 5. 2
WJBL・女子バスケットボール W1リーグ		
山梨×トヨタ紡績	甲府局	G/11. 6
新潟県高等学校総合体育大会バスケットボール		
男子・女子決勝	新潟局	G/ 6. 6

〔その他のスポーツ〕

NHK長野杯小学生アルペン選手権

長野局 E/ 1.30

II. 技術

〔長野局〕

地上デジタル放送は、民放との連携による建設を進め、西裾花台、長野西、松代東条、信濃町、菅平、車山、望月城山、木曾妻籠を12月までに開局した。また、新たな難視対策として飯綱湖、中軽井沢を3月までに開局し、牟礼、軽井沢の3W増力化を実施した。NHK共聴は133施設全てのデジタル化改修を完了した。公開ホームページでの「ニュース動画配信パイロット整備」を実施し、2月から運用を開始した。『知るしん。温泉めぐりスペシャル』ではインターネットと携帯電話によるクイズ形式の双方向番組を放送、1,600件以上の参加があった。松本市所有のロボカメラがHV化更新された。放送網の整備では白馬R、大桑R中継局の放送機更新、無線基地局用リモコンのデジタル化更新を実施。長野局へのHVスキップバックレコーダーの整備、松本支局電灯分電盤、電灯幹線の更新、空調用オイルタンクの更新工事を実施した。

〔新潟局〕

地上デジタル放送は13局の中継局が無事開局し全53局の置局が完了した。また、混信などへの対策として、上越地区ならびに佐渡地区において固定回線を整備し、放送波の安定確保を図り対アナログカバー率は99.3%となった。受信対策として、新たな難視対策や混信対策を大きな課題として取り組んだ。また、完全デジタル化を目指し積極的に周知広報活動に努めたことで、総務省発表の受信機の世帯普及率は全国比でも高い進捗状況となった。

番組技術では、県から送られてくるTVCMLによる河川情報データ等を活用したデータ放送を4月より開始した。また、HD移動天気カメラを整備し県内各地から季節ごとの地域情報発信に活用している。期待されたトキの自然ふ化については、佐渡からの伝送回線を確立し準備を進めていたが残念な結果となった。11年度に期待したい。

CS活動として、出前授業を行っているが、これまでで最多の22校1,200人の児童の参加があった。学校や児童から感謝の声を頂き、接触者率向上を目指しホームページへの展開も図った。

〔甲府局〕

地上デジタル放送については、大月藤崎、白州横手、武川真原、丹波山、山中湖の各中継局を開局し、県内96%のエリアをカバーした。一方、共聴施設へのデジタル導入、山梨地上デジタル放送推進協議会としての周知広報活動や難視対策等を進めた。また、放送の安定確保のため、身延中継局の回線や送信機の2台化工事を実施した。

番組設備については、ハイビジョン中継車を整備したことにより、スポーツ中継や公開番組などで効率的な番組制作が可能となった。

新放送会館については、8月に建築工事を開始し、12年の完成に向けて順調に進捗している。

〔横浜局〕

5月は植樹祭の総合テレビ全国放送、7月は参議院議員選挙対応、11月末～12月にかけて新会館オープン記念番組、3月は東日本大震災や計画停電関連対応など、年度を通じて番組や続発した緊急報道に迅速かつ的確に対応した。

横浜新会館関連では、7月末の建物引き渡しを受けて、8月から10月にかけて放送設備を中心とした設備整備を集中して行った。11月22日早朝に新会館からの放送を開始するとともにFM基幹局の放送機も新設備からの放送を同時に開始した。

新会館移転後は共有部分のアトリウムも使用したジャズの生演奏を『FMサウンド☆クルーズ』で放送するなど、新会館ならではの新たなサービスに挑戦している。また、年末の紅白歌合戦の新会館での5.1サラウンドによるパブリックビューイングに並行し3D映像の視聴公開を実施するなど、新規技術へも積極的に取り組んでいる。

放送関連ネットサービスとして、県内大学のサークルを紹介する神奈川キャンパス情報「かなキャン」や、川崎チッタデッラ・NHK横浜新会館からのジャズライブの動画サービスも継続して実施した。

地デジ整備では、笹下、釜利谷、秦野菩提、根岸岡村、衣笠、大船、葉山芳ヶ久保、中井、城ヶ島、大矢部、戸塚、厚木飯山、鎌倉笛田、鎌倉、大道六浦の15中継局が開局し合計で31局、受信可能世帯数比率は99.7%となった。NHK共聴では、9施設へ地デジを導入した。また、「新たな難視地域」を193地区2万1,548世帯として地域ごとの対策を支援した。技術相談対応ではデジタル移行の方法を説明する一方、横浜局ホームページでも周知広報した。

〔前橋局〕

10年度は地上デジタル中継局を7局開局。難視

解消局も1局開局し、合計で30局となった。NHK共聴の地上デジタル導入も合計で143施設となり1万世帯に達した。自主共聴の経費助成や新たな難視対策にも取り組み、衛星放送による救済策にも取り組んだ。地上デジタル放送への完全移行に向けて総務省の支援センター（デジサポ群馬）や自治体などと連携して受信相談や住民説明会を実施した。番組では6月『小さな旅～群馬県上野村』や3月『証言記録 市民たちの戦争～群馬・中島飛行機』などを放送。『J2ザスパ草津戦』をホームで2試合、アウェイで1試合、『第92回高校野球群馬県大会』の生中継や、『特別巡回ラジオ体操 みんなの体操会』（藤岡市）の生中継を実施。また、FM放送で初めてのラグビー・トップリーグ『三洋VSリコー』を生中継した。県域放送開始に向けて新FM運行装置の運用を開始した。省エネ管理システムを含めた「太陽光パネル設置工事」を実施した。

〔水戸局〕

地上デジタルテレビ放送のエリア拡大に向け、八郷中継局が10年4月、筑波神郡中継局と八郷南中継局が12月に開局し、地上デジタル放送視聴可能エリアは約99%となった。NHK共同受信施設の地上デジタル導入工事は149施設全てを完了した。

会館公開で「3D上映会」「中継車公開」「受信相談」を実施した。『あさイチ！産直ライブ』『茨城Jリーグアワー』『水戸室内管弦楽団定期演奏会』『FM親子で楽しむクラシックコンサート』などを放送し、県の魅力を発信した。参院選・県議会選の選挙報道、石岡市選挙事務所襲撃事件、取手駅前バス刺傷事件、土浦刺傷事件の緊急報道で県民の期待に応えた。

東日本大震災において、避難所から被災者の声を伝える中継やFM放送の「上のせ」、TVの逆L字を使った生活情報の発信に対応した。中継局の障害に迅速な対応を実施した。避難所にテレビ受信機を設置し、被災者への情報不足解消に取り組んだ。

設備では、FM運行装置、公開ライブラリー、EPG設備、震度計システム、DAT・可搬型テープ録音機、緊急速報端末、FM放送所自家発始動用直流電源などを更新した。

〔千葉局〕

千葉県での地上デジタル中継局は、10年末まで23局所が開局し、安定運用を行っている。県内世帯カバー率は東京タワーと合わせ約99%となった。合わせてNHK共聴施設のデジタル化改修工事や自主共聴施設への技術支援を行った。自治体

や電器店と連携して受信技術講習会や受信相談所の開設などを行い、地デジ受信の普及を促進した。また、総務省千葉県テレビ受信者支援センター「デジサポ千葉」との連携を一層強化するとともにデジタル放送の理解を促進するため、県域FM放送でのデジサポ説明会のPRや開局情報の自治体広報誌への掲載などを行った。

11年7月の建物竣工を目指して整備を進めている「新千葉放送会館」について、10年度は放送設備や室内布線の具体的な検討作業および同時更新のFM放送機等の現地調査を行った。11年度はカットオーバーに向けて工事が本格化する。

放送の安定送出と電波確保のため、定期点検の確実な実施と基本事項の徹底を図り、人為的な放送事故ゼロを6年6か月継続した。

〔宇都宮局〕

継続して整備している地上デジタル中継局に関して、10年度は、難視対策として新規に3局、送信出力を増力した8局などを含め15局を開局し、電波カバーの拡大に努めた。

受信対策では、全国最多となっていた新たな難視3万5,232世帯（11年3月31日時点）のすべての地区で対策計画が確定した。NHK共聴に対しては10年度中に17施設のデジタル化を完了し、すでにデジタル化が完了した44施設と合わせ61施設の整備が完了した。また、残る18施設のうち1施設はケーブルテレビへ移行、17施設のデジタル化困難共聴は地デジ難視対策衛星放送とし、年度内に79施設すべての対策が完了した。

宇都宮局の県域放送はFMのみであったが、県域デジタルテレビ放送開始に向けて、09年度より設備整備に着手した。この整備が10年度に本格化し、会館内の大幅なレイアウト変更、それに伴う建築工事、テレビ放送設備の増に合わせて老朽化した電源設備の更新・強化といったインフラ系の整備を経て、今まで素材伝送対応のみだったニュース送出設備の更新・充実、デジタルテレビ運行装置の新規整備、老朽化したFM運行設備の更新など、テレビローカル放送に向けた設備整備を行った。

〔さいたま局〕

10年12月17日に小川デジタル中継局、同月21日に飯能唐竹デジタル中継局が開局し、ロードマップで計画していた埼玉県内12局全ての地デジ送信ネットワークが完成した。

NHK共聴123施設は、3月末に全てのデジタル化が完了した。また、把握している134施設全ての自主共聴は技術支援や助成を行い、6月末まで

のデジタル化に見通しがついた。

地デジ完全移行に向けた取り組みは、計画通り完了した。一方、都市部の受信設備整備は、総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ埼玉）と連携して取り組み、デジタル化率98.5%となった。

参議院選挙の政見収録は初めてハイビジョンで収録を行った。緊急報道は秩父山中での埼玉県防災ヘリ墜落事故およびTV局クルー遭難事故の中継・伝送に対応した。

設備面ではFM基幹局の放送機更新および送信アンテナ補修工事、会館空調設備更新、会館FPU基地回転台更新を実施した。また、会館自家発全分解補修および制作設備更新に向けた会館電源系統変更工事を行った。

埼玉県北部の取材強化のため熊谷報道室が新設され11年1月17日運用開始、素材伝送設備としてハイビジョンFPUおよびIP伝送によるハイビジョン伝送設備を仮設整備した。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

〔長野局〕

『ラジオ体操』を含め11本の全国放送公開番組を実施。ほかに、『イブニング信州つながるスタジオ』の公開放送を、東信（5.24～28）、中信（10.25～29）の各地区で実施し、地域放送を通じて視聴者とのつながりを深めた。また、恒例の「第12回長野オリンピック記念 長野マラソン」（4.16）、や「NHK長野杯小学生アルペン選手権大会」（1.23）などの地域に根ざしたスポーツイベントと連動した視聴者活動を行った。

〔新潟局〕

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』（4.11加茂市）、『BS日本のうた』（6.3上越市）を含めて8本実施。地域放送では『新潟ニュース610』、『新潟FMルネサンス』は3回（9月長岡市・12月新潟市・2月上越市）にわたって公開生放送し、視聴者とのつながりを深めた。

新潟局が独自に企画したイベント「ボクらの歌舞伎のミカタ」（2.19新潟市）では、歌舞伎俳優とミュージシャンという斬新な組み合わせのトークショーを実施。地域の関心の高い「認知症フォーラム」（7.3新潟市）や幼児向け「いないいないばあっ！あつまれワンワンわんだーランド」（1.9新潟市）のほか、環境イベント「わたしの尾瀬」写真展は上・中・下越、佐渡の県内6か所で展覧

し、いずれも好評を得た。

〔甲府局〕

全国放送公開番組は『ごきげん歌謡笑劇団』（4.7甲州市）、『BS日本のうた』（10.28甲府市）、『おかあさんといっしょファミリーコンサート』など11本を実施。09年度より継続して独自企画イベント『NHK朗読シアター』を県立文学館と共催し、ラジオ第1で県域放送した。

地デジPRとふるさとを応援する甲府局キャラクター「しんげん君ファミリー」のステージショーを各地で実施。幼稚園・保育園を訪れてミニ番組を制作し、県域で放送した。

「第33回NHKギャラリー賞絵画展」は総応募数2,470点。入賞作品235点は地域番組『まるごと山梨』とホームページで紹介した。

〔横浜局〕

全国放送公開番組は、新放送会館オープン記念を冠した『BS日本のうた』『NHK能楽鑑賞会』（いずれも横浜市）をはじめ合わせて13本を計画（うち1本は東日本大震災により中止）。このほか、チャリティーの『おかあさんといっしょファミリーコンサート』や受信料支払者限定の「モノランモノラン小劇場」を3本、ケーブル事業者との共催イベントを4本実施した。

新放送会館オープンを機に、FM公開放送の回数を増やし、地域のジャズフェスティバルと連携したスペシャルライブやクラシックの演奏会を企画。『土曜スタジオパーク』『セッション2011』なども新会館オープン記念番組として招へいた。

〔前橋局〕

全国放送公開番組は、『ごきげん歌謡笑劇場』（8.25藤岡市）、『NHKのど自慢』（10.3伊勢崎市）、『BS日本のうた』（1.20桐生市）など7本を実施。『NHK朗読ひろば』（6.9伊勢崎市）や『ふれあい歌謡ステージ』（7.5渋川市、8.1草津町）については、録音してFM県域で放送した。また、10月には太田市のぐんまこどもの国で『NHKわくわくこどもランド』を実施し、親子連れなど3,000人を超える入場者でにぎわった。2月には『私の尾瀬巡回写真展in大阪展』を実施し、関西地方に群馬の魅力を発信した。その他、ジュニアサッカー教室やモノランモノラン小劇場など地域に貢献し、視聴者の期待に応えるさまざまなイベントに取り組んだ。

〔水戸局〕

全国放送公開番組は『BS日本のうた』（6.17常陸大宮市）、『NHKのど自慢』（11.7笠間市）など計8本を実施した。

地域企画イベントでは、サッカーW杯に向けた会館ロビーでの展示イベント「いばらきJコレクション」に加え、水戸市内広場でパブリックビューイング「水戸まちなかサッカーフェス」(6.19)を開催し、多くの人が来館し好評を得た。

また、恒例となった会館公開「NHKキッズパーク」(10.16)やアナウンサーなどの朗読による県域放送番組『冬のおくりもの』の公開収録(1.22日立市)も開催するとともに、「親子のための体感!クラシックコンサート」(10.8水戸市)のもようは収録してFM県域で放送した。

(千葉局)

『BS日本のうた』(5.20習志野市)をはじめ、全国放送公開番組10本のほか地域企画イベントなど40本を各地で実施した。『NHK全国学校音楽コンクール千葉県コンクール』には延べ113校が参加し、観覧者と合わせ9,899人が参加した。

また、地域に開かれた放送局を目指し、09年度に始めた『まるごと千葉60分公開生放送』(年間8回うちスタジオ7回、神崎町で1回)、『NHK千葉・クラシックサロン』(12.5, 2.12)を実施・放送した。営業推進では、大学セミナー(6.24淑徳大学)、CATVキャラバン(9.18佐倉市、11.26松戸市)や、支払者限定「モノランモノラン小劇場」(4.10千葉市)を実施した。

なお、3月11日の東日本大震災の津波による甚大な被害のため、3月18日に予定した『まるごと千葉60分公開生放送』は中止し、3月31日に四街道市で予定した『スクールLive Show for Kids』は協議の結果、11年6月に延期した。

(宇都宮局)

『NHK歌謡コンサート』(那須塩原市)、『オンバト+』(矢板市)、『BS日本のうた』(小山市)、『FMシンフォニーコンサート』(宇都宮市)、『夏期巡回ラジオ体操』(佐野市)などテレビ・ラジオ合わせて12本の全国放送公開番組を実施した。また、2月には若者の心の問題を講演とシンポジウムを通して考える『NHKハートフォーラム 10代の心』を高根沢町で行った。

(さいたま局)

『NHKのど自慢』(10月、所沢市)、『ごきげん歌謡笑劇団』(6月、新座市)など全国放送公開番組11本に加え、埼玉の魅力に迫る事業活動を展開した。サッカー関連では、Jリーグさいたまダービー(10月、さいたま市)と連携したイベントやピッチサイドツアーに加え、そのまようは、サッカー好きのタレントが出演してFMで生中継した。また、「戦国体感!忍城ラジオ攻め」(行田市、

3月)では、歴史好きのタレントを迎えてのクイズ・トークバトルや、ペットボトルを使ったホラ貝作りなど、多彩なイベントを展開。FMで生中継したほか、ホームページ展開も図った。

2. 営業

「平成21~23年度 NHK経営計画」2年目に当たる2010年度については、訪問集金廃止後の新たな契約・収納体制の一層の定着と強化を図り、地域スタッフの業務を契約・未収対策によりパワーシフトするとともに、外部委託の推進、事業所割引制度や業界団体取りまとめを活用した事業所への対策強化などさまざまな取り組みを展開した。

民事手続きによる支払督促の申し立ては、1都9県すべてのエリアで対象者を拡大して実施した。また、確定者に対して新たに強制執行を実施した。

危機管理については、営業系セキュリティガイドラインと個人情報保護の徹底、事件・事故防止のため「NHK倫理・行動憲章」に基づくコンプライアンスの徹底を図った。

関越ブロックでは、「取次総量の確保」「取次品質の向上」に向け、法人委託事業者とのペア対策等を通じ、職員の指導力向上と地域スタッフのスキルアップを図った。10年度業績は、全局・センターが「営業収納額」「衛星増加」目標を達成した。「支払総数増加」目標については全局の目標達成は実現できなかったものの、関越全体として09年度を大きく上回る実績を確保し、全国業績を牽引する責任を果たした。

3. 広報

(長野局)

安曇野・松本が舞台となり11年度春からスタートする『連続テレビ小説~おひさま』に合わせた広報活動を展開。長野局オリジナルの「先行ポスター」や「ポストカード」などを製作し配布したほか、地元自治体と連携した番組PRを積極的に進め、放送を待望する地域のニーズに応えた。

長野局のホームページにはトップページだけで年間30万件以上のアクセスがあり、また、信州の風景を紹介する写真投稿サイト「撮るしん。」には09年を上回る2,556枚の投稿が寄せられ注目を集めた。局内見学は、小学生の団体は147件・7,474人。一般団体は31件・667人だった。

(新潟局)

8月に、会館ロビーで大河ドラマ『龍馬伝』巡

回展を開催。7日間の開催で1,400人の来場者があった。また、1月には新潟市内の会場で、新潟局制作番組『金よう夜 きらっと新潟』の人気企画「イラスト紀行」の作品展を開催し、3,769人の観覧者を得、番組のPRと幅広い年齢層への接触者率向上に努めた。

「ふれあいミーティング」は、団体での会館見学や公開番組等に合わせて計41回開催し、1,108人の参加者があった。ミーティングで集約した意見や感想は、地域放送番組の制作やNHKの業務運営に反映させている。

3月には会館ロビーを改修し、親子を対象とした展示と設備を充実させ、反復継続する来館者の増加を図った。

〔甲府局〕

東日本大震災発生時にはデータ放送、ホームページ、携帯サイトに災害情報を迅速に立ち上げ、きめ細かに情報を提供した。また、甲府局の広報冊子「よってけし」を作成しイベント等で配付した。完全デジタル化に向けては100日前に民放と合同で地元新聞に周知広告を掲載した。また、地デジ大使となっているアナウンサーが民放アナウンサーと一緒に周知スポットに出演して準備を呼びかけた。「ふれあいミーティング」の実施は17回、参加者数は2,353人。地域情報番組『もうすぐ山梨のおひる～発信！ハートプラザ』では職員が番組や各部の事業活動・情報について紹介した。

〔横浜局〕

11月に新放送会館がオープンし、1階ハートプラザにはデジタル体感できるキャスター体験スタジオ、番組公開ライブラリー、独自視聴端末「ハマってワンダーランド」を新設した。新放送会館には多くの人々が訪れ、3月末の来館者数は2万4,000人を超えた。また、新イメージキャラクター「マドロスドーもくん」は県内各地へ出向き、横浜局のPRと地域の情報発信に力を入れた。

「ふれあいミーティング」は放送番組やイベントなどさまざまな機会を捉え34回実施し、4,519人の参加者から意見を伺うことができた。

〔前橋局〕

前橋局の独自キャラクターとして「ぼかぼかドーもくん」「サンダードーもくん」を製作した。着ぐるみや広報グッズに展開し公開イベントや広報活動に活用した。

10月には『龍馬伝』巡回展と番組制作者による講演会および「ふれあいミーティング」を実施し接触者率の向上に努めた。ふれあいミーティング

は延べ17回開催し多くの意見、感想を集約した。

〔水戸局〕

会館ロビーを6年ぶりに全面改修した。明るく広々としたデザインと好評で来館者も増加した。ホームページでは、番組と連動した取材日記の掲載のほか、「投稿写真コンテスト～やっぱりわが子が一番！」を実施し計809点の応募をいただくなど、視聴者とのつながりを深めた。

「ふれあいミーティング」は、27回実施し計880人の方から意見を伺った。特に、水戸市の図書館で計5回実施した「番組を見る会」での番組制作者とのミーティングは、顔の見える取り組みとして好評を得た。

完全デジタル化に向けた周知のため、キャラクターを活用したスポットやクイズパネルを制作、地域のお祭りなどで展開して多くの人々が参加した。

〔千葉局〕

「ふれあいミーティング」を16回開催し、参加者数は173人だった。会館内カルチャールームで計13回行った展示には1,600人以上の来場者があった。小学校の社会科見学は、6校135人を受け入れた。「公開ホームページ」では、県内のNHKイベント紹介のほか、関東ローカル番組『こんにちは いっと6けん』で放送された千葉局企画番組などを動画で配信している。また、「きこえてくるよ 千葉の音」を公募開始し、寄せられた情報から音マップを制作・掲載し、千葉県の多様な魅力を伝え番組やイベントへつなげている。

「災害情報ホームページ」は、3月11日に発生した東日本大震災で本番運用し、県民の災害情報を発信した。

〔宇都宮局〕

10年4月からの会館内エレベーター設置工事を皮切りにハートプラザロビーを全面改修。ロビー内には新たに「キッズコーナー」を設置するなど、幅広い年齢層に親しまれる放送会館として10年10月にリニューアルを果たした。

10年12月からは放送会館屋上に設置した太陽光発電システムの本格的な運用を開始し、日照状況や外気温、発電量をハートプラザロビーのモニターで表示するなど、自然エネルギーを活用している放送会館であることをPRするとともに、そのモニターに見学者の記念写真を表示するデジタルサイネージとしても有効に活用。

また、11年3月には放送会館2階居室スペースの照明システムを更新し、PC上でピンポイントに点消灯を行えるように改善。より効率的・効果

的に省エネに取り組むことが可能となった。

（さいたま局）

さいたま局では、広報活動として、放送局の公開イベントを毎年行ってきたが、立地条件が悪く集客に苦労していた。そこで、10年度は多くの人が集まる商業施設に会場を移してイベントを実施。ステージショーや、キャラクターコーナー、中継車を使った放送体験などを行い、1月22日と23日の2日間で約1万人が来場した。

10年5月から7月には、放送博物館で「がんばろう ふるさと展」を横浜・千葉局と合同で実施。パネル展示や、各局キャスターが番組・ホームページを紹介するイベントも行った。

6月のFIFAワールドカップの際には、日本対オランダ戦に合わせて、スタジオでトークイベントとパブリックビューイングを行った。

中 部

- ◇名古屋市で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」に合わせ、放送やイベントなどで環境を考える企画を展開した。
- ◇『金とく～エコ田んぼ』では、田んぼ作りから収穫までの1年間、9家族30人が奮闘しながら生き物の力を感じていく姿を3回シリーズで放送し、総集編を全国でも放送した。
- ◇建設業界の談合を描いた社会派ドラマ『土曜ドラマ～鉄の骨』や、“ろう”の母親とその息子の愛情や葛藤を描いた『ドラマスペシャル～心の糸』のほか、名古屋局制作終戦ドラマ4本目の『NHKスペシャル～終戦特集ドラマ 15歳の志願兵』を制作した。
- ◇金沢・静岡局開局80周年、津・岐阜局開局70周年として、各局で多様な地域放送やイベントを展開、地域サービスに努めた。

I. 放 送

1. 放送の概要

（名古屋局）

地域の課題と将来像を視聴者とともに考える放送を強化し、地域の特性や要望に応じた多様な地域放送サービスや全国発信を展開した。

10年は「生物多様性年」で、10月に名古屋市で「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が開催されたのに合わせ、『SAVE THE FUTURE』に制作参加するとともに、生物多様性について『金とく』『なっとく！内多学園 生物多様性ってなに？』や『エコ田んぼ』（全3回）、『おはよう東海』『ほっとイブニング』などで取り上げた。また、ミニ番組によるCOP10キャンペーンを行い、地域とともに地球環境を考える取り組みを展開。さらに、『NHKスペシャル～夢の新薬が作れない～生物資源をめぐる闘い』や『BS特集～議定書はこうして生まれた～COP10・交渉の舞台裏』などで全国発信にも努めた。

第22回参議院議員通常選挙をはじめ、名古屋市議会解散請求署名活動、2月の愛知県知事選挙、名古屋市長選挙、名古屋市議会の解散の是非を問う住民投票のいわゆる“トリプル投票”、3月の名古屋市議会議員選挙に際しては、『ほっとイブニング』の関連企画や『ナビゲーション“異例の市議会リコール”何が問われているか』『名古屋

市議選 有権者の選択』などを放送し、視聴者の関心に応えた。

東海豪雨から10年。集中豪雨や水害への備えについて『ほっとイブニング』のシリーズ企画や『ナビゲーション 集中豪雨 どう備えるか』などを放送した。また、7月の岐阜県南部の集中豪雨や3月の東日本大震災に際しては、さまざまな手段で関連情報を提供するなど、迅速かつ的確な災害報道により、防災・減災に努めた。

「名古屋開府400年」や「あいちトリエンナーレ」など地域を盛り上げ、元気にするイベントなどに関連して『金とく』で「戦国クイズ 歴女グランプリ」や「感覚の冒険へGO!～名古屋で芸術が爆発」「ナゴヤガールズポップ～名古屋が生んだ歌姫たち」を放送した。

5年目を迎えた『金とく』では、「ウッチーのとことん!」やCOP10関連企画など、紀行、ドキュメンタリー、クイズなど幅広い手法で多彩な番組を放送した。

『めざせ!会社の星』は、中部ブロックの先行放送で9月以降クイズ形式の番組連動型データ放送を開始。また、年始特集(全国・G)『オフィス関が原!めざせ!会社の星SP』を放送した。

『サタテン』は、月1回程度のスタジオでの公開収録にスタイルを変更するとともに内容時間を15分に拡大し、若い世代の視聴者との結び付きを強化した。

番組連動型データ放送やホームページ、携帯サイトとの3-Screens展開を行う『知って解決!SKE(すけ)っとネット』を新設した。

スポーツでは、『おめでとう Jリーグ 初優勝名古屋グランパス』を優勝当日の夜間に編成し、地域の視聴者の関心に応えた。また、名古屋市で開催されたNHK杯フィギュアスケートの見どころを紹介する『金とく～名古屋で輝け!氷上の星』を放送したほか、「中日ドラゴンズ」や「名古屋グランパス」の試合を放送した。

全国放送番組『中学生日記』は、新しい試みとして、知名度のある出演者を「月替わりゲスト先生」としてキャスティングしたほか、多様なテーマと演出で視聴者にアプローチした。また、『土曜ドラマ～鉄の骨』(全5回)、『NHKスペシャル～終戦特集ドラマ 15歳の志願兵』、『ドラマスペシャル～心の糸』などを制作したほか、全国放送番組『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』(R1)を継続した。

(金沢局)

金沢局では、11年3月までを開局80周年の期間

と位置づけ、全力で放送やイベントなどに取り組んだ。昼前の生活情報番組と夕方の地域情報番組をリニューアルし、それぞれ「かがのと情報井」と「かがのとイブニング」として内容を充実し、新たなスタートを切った。

金沢局開局80周年を記念して大型公開番組を実施したほか、『かがのとイブニング』の県内キャラバンを5月と10月に各5日ずつ実施し、日替わりで10市町から生放送で伝えた。金沢局が過去に制作した番組を毎週土曜に『石川アーカイブス』として年間で29本放送し、反響が多かった番組は再放送するなど柔軟に編成した。

また、マスコットキャラクター「ことじろう」を主人公にした30秒のアニメーションスポットを毎月放送するとともに、県内を訪れた著名人38人からの30秒メッセージも随時放送した。

ラジオでは『懐かしラジオ 開局80周年』や民放との共同企画『今・おも・ラジオ』を発信した。

(静岡局)

台風9号による小山町の豪雨被害、富士宮市での震度6強の地震など、災害においては総力を挙げて減災報道に徹した。東日本大震災に際しては、東電管内の計画停電についてきめ細かく情報を発信するとともに、被災地への支援などについて重点的に報道した。

『ナビゲーション』では、開港1年を迎えた静岡空港の課題を検証。『金とく』で2回にわたり放送した「日本横断 自転車の旅」は、BSにも展開し全国へ発信。『フジヤマTV』は5本制作し、商店街の再生や、バリアフリー社会など幅広い話題を取り上げた。

開局80周年に際して、東海地震などをテーマに静岡のこれまでと展望を考える『特別番組』を4本、さらに、ミニ番組『しずおかのうた』を10本制作し、地域の課題と魅力を伝えた。FMでは、大学生との共同制作番組を継続的に制作、TVスペシャルとして、静岡大学で公開収録を行った。『たっぷり静岡』は、公開キャラバンを4回実施、「てくてくライブ」など、新コーナーを通じて多様な話題を発信した。

(福井局)

福井が舞台のひとつとなった『龍馬伝』と『江』の2つの大河ドラマや、県立恐竜博物館開館10周年特別展関連では、特集番組やミニ番組などを広域的に展開した。夕方のニュース情報番組では、30・40代女性をターゲットに「ザウルスcafe」を立ち上げ、生活情報の充実を図ったほか、県内のスポーツを紹介・応援する“ザウルススポ

ーツ”を新設し、地元のプロ野球チームを徹底応援する音声継ぎのほか、FMでも応援番組を放送するなど地域の盛り上げに貢献した。2年目となる地元紙との環境共同企画では、「里地里山を考える」をテーマに、放送と紙面、さらにはイベントと連動させながら多角的に取り組み、自然の大切さを県民に広くアピールすることが出来た。また、全国向けには、14年ぶりに運転を再開した高速増殖炉“もんじゅ”関連や、1月末の記録的大雪関連などを、ニュースや番組で詳細に伝え、視聴者の関心に伝えることが出来た。

〔富山局〕

夕方6時台の地域情報番組を3年ぶりに刷新し、『ニュース富山人』をスタート。富山の「人」にこだわるニュース・生活情報の発信を目指した。このうち「あした、みつけた。」コーナーは「地域の今を見つめ将来のヒントを探る」をテーマに年間35本のレポートを放送した。富山の薬のレポートは『ナビゲーション～ジェネリック医薬品』『金とく 北陸スペシャル～薬都とやま発』へと展開した。2月のニュージーランド地震で富山市の外国語専門学校生ら富山県関係者13人が死亡した。全国・地域のニュースで詳しく報じるとともに、『ナビゲーション～若者たちの消えぬ夢』を制作し、被災した生徒たちの夢と希望、友人たちの思いを伝えた。また、『さわやか自然百景』で立山杉の巨樹の森を、『産地発！たべもの一直線』で魚津市のウマヅラハギを取り上げるなど富山の魅力を全国に届けた。

〔津局〕

地域放送を通じて、地域の課題に向き合うとともに、「元気な三重を発信」した。特に夕方のニュース情報番組『ほっとイブニングみえ』の充実を図った。「ふるさとにQ」では県内29の市町を毎月取り上げて、三重県の魅力を発信した。また、「知っ得防災」では県民の安心、安全を守るために役立つ防災情報を提供、防災意識の向上に努めた。また特集番組『Mie-1グランプリ 三重県ご当地グルメNo.1決定戦！』を放送、地域の活性化にも貢献した。『金とく～認知症でも穏やかに暮らしたい』では最新の認知症対策を紹介、『ナビゲーション～孤立する高齢者を救え』では高齢者を地域で支えていく知恵やヒントを探った。全国放送では『クローズアップ現代～日本の森林が買われていく』や『産地発！たべもの一直線～サンマの丸干し』『ドキュメント20min. 乙女たちの祈り』『ドキュメント20min. ONE COIN HAPPY』などを放送した。

〔岐阜局〕

開局70周年を記念し、「ふるさとの絆、ずっとともに」を合言葉に、年間を通して視聴者との結び付きを強めた。

岐阜県各務原市を舞台に、ご当地グルメの開発に取り組む市職員の実話に基づく地域発ドラマ『恋するキムチ』の制作に取り組んだ。

ドラマの広報活動の一環で県内すべての道の駅の一押しグルメを紹介する1分ミニ番組『グルグルぎふグルメ』の放送や番組ホームページ、関連イベントの展開により、放送前から全国放送の要望が多数寄せられるなど大きな反響があった。

県域放送では地域と岐阜局の歩みを見つめ直す『NHKぎふアーカイブス』をテーマごとに分け全6回放送した。

また、6月に天皇・皇后両陛下をお迎えした『第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会』式典のもようを全国放送し、あわせて地域特集番組『川と生きる～清流・長良川』を制作した。

2. 地域放送番組

〔1〕定時番組

『NHKニュース おはよう東海』 G

月～金 7:45～8:00

第1回93.4.5/東海3県ブロック/平日の朝、東海3県の最新情報を伝える番組。ニュース、気象情報、交通情報のほか、地域の課題や取り組みに迫り、暮らしに密着した情報を分かりやすくコンパクトに伝えた。/各局タイトル：金沢『おはよう石川』、静岡『おはよう静岡』、福井『おはよう福井』、富山『おはよう富山』

『情報フレッシュ便 ささらサラダ』 G

月～金 11:30～12:00

第1回03.4.3/東海3県ブロック（一部各局単）/プラザウェーブ21から公開生放送。地元で密着した文化・芸能情報や生活に役立つ情報を伝えた。データ放送と連動し、双方向機能も活用。11:50～12:00は各局単：津『みえ～るくん情報』、岐阜『みのひだ情報局』（毎月最終金は11:30～12:00『た～んとみのひだ』）/各局タイトル：金沢『かがのと情報井』、静岡『しずおか情報ランチ』、福井『ほやほや情報昼前便』、富山『とやまおしらせたまご』

『ほっとイブニング』 G

月～金 18:10～18:59

第1回01.4.2/東海3県ブロック（一部各局単）/ホットなニュースからホットとする話題まで、東海地方のすべてがわかる地域密着番組。県内各

地で公開生放送も実施。18:30～59は各局単：津『ほっとイブニングみえ』、岐阜『ほっとイブニングぎふ』／各局タイトル：金沢『かがのとイブニング』、静岡『たっぷり静岡』、福井『ニュースザウルスふくい』、富山『ニュース富山人』

『知って解決！SKE（すけ）っとネット』新 G
月 19:56～19:58ほか

第1回10.4.5／東海3県ブロック／防災・防犯・健康など安心・安全につながる情報を地元のアイドルSKE48のメンバーが伝えた。放送だけでなく番組詳細をホームページ、携帯サイト、データ放送でもより詳しく伝えた。

『ナビゲーション』 G 金 19:30～19:55
 (再)土 9:00～9:25 (～2010.12)
 (再)日 8:00～8:25 (2011.1～)

第1回93.4.17／中部ブロック／中部7県の課題や事件・事故の背景、地域の現状などを掘り下げて伝え、全国発信にも努めた。

『金とく』 G 金 20:00～20:43
 (再)土 10:35～11:20

第1回06.4.7／中部ブロック／地域に徹底的にこだわり、中部7県の魅力を紹介。「日本横断自転車の旅」や、とことん取材して視聴者の悩みや疑問に応えるシリーズなど、多彩な内容を放送。

『サタテン』 G 金 22:25～22:40

第1回08.4.5／中部ブロック／毎月名古屋局のスタジオで音楽ライブを実施し、白熱のライブのもようやアーティストの音楽にかける思いなどを伝えた。

『ウイークエンド中部』 G 土 7:30～8:00

第1回85.4.6／中部ブロック（一部各局単）／中部7県の1週間のニュースや話題を伝えるニュース情報番組。週末のお出かけにも役に立つ、各地の週末イベント・行楽情報も取り上げた。

『鈴木アナの東海ピックアップ』 G 土 12:38～12:45

第1回08.4.5／東海3県ブロック／東海3局の経営情報・番組情報を紹介。おすすめの番組やイベント、各局の取り組みなどを伝えた。

『中部あさいちばん』 R1 月～土 7:40～8:00

第1回99.4.5／中部ブロック／ニュース、気象情報、交通情報やさまざまなコーナー企画など、中部の朝の表情や生活情報を届けた。

『ラジオジャパンフォーカス』 R2
 火・水・土 0:40～0:55
 日・月 0:40～1:00
 木・金 0:20～0:35

(再)火～土 5:45～6:00

(再)日・月 5:40～6:00

第1回08.4.1／東海4県／国際放送ラジオ日本が海外向けに放送している『ラジオジャパンフォーカス』を、東海4県向けに放送。東海地方に暮らすブラジル人のサポートに向けて、日本の生活習慣や文化情報をポルトガル語で紹介。

『FMトワイライト』 FM 月～金 18:00～18:50

第1回99.3.29／中部ブロック／地域に親しみのあるパーソナリティーが出演するディスク・ジョッキー番組。金曜日は、日本語とポルトガル語を交えて、ブラジル人向けの生活情報やブラジルのヒットソングなどを伝えた。

(2) 特集番組

〔中部ブロック〕
 『よせがき☆テレビ かいてみんけ↑』 G 金沢局 4.26／1:00～1:43

『川と生きる～清流・長良川』 G 岐阜局 6.12／9:00～9:25

『ヒューマンドキュメンタリー 俺たちのリアル』 G 名古屋局 8.16／22:55～23:24

『ヒューマンドキュメンタリー 子どもたちと笑いたい』 G 名古屋局 8.17／22:55～23:24

『アート空間 FIVE』 G 名古屋局 9.25／0:50～1:05

『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコンテスト2010 ～東海北陸地区大会』 G 名古屋局 11.13／15:05～15:59

『COP10特集 議定書はこうして生まれた～国際交渉の舞台裏』 G 名古屋局 11.26／20:00～20:43

『ヒューマンドキュメンタリー 母と娘の認知症 介護日記～あなたの心を見つめたい』 G 名古屋局 12.23／22:55～23:24

『NAGOYA SUPER JAZZ NIGHT～名古屋とジャズの深い関係』 G 名古屋局 12.24／19:30～20:45

『中部ラジオ特集 変わる日本の空～地方空港生き残りの条件』 R1 名古屋局 10.31／16:05～16:45

『FMトワイライトスペシャル クリスマス☆ウェーブ2010』 FM 名古屋局 12.18／16:00～18:50

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2010』 E 名古屋局 1.3／22:00～23:35
 『FMトワイライト in 知立市』 FM 名古屋局 2.14～15／18:00～18:50

『NHK岐阜 開局70周年記念ドラマ～恋するキムチ』 G

岐阜局 名古屋局 2.18/19:30～20:23

(東海4県ブロック)

『NHK防災キャンペーン クイズ防災SHOW』

R1 名古屋局 9.4/13:05～14:55

(東海3県ブロック)

『スピードワゴンの「もえスピ」真夜中スペシャル』 G 名古屋局 6.5/0:45～1:29

『COP10キャンペーン(1分ミニ番組)』 G

名古屋局 6.5～12.31/7:59～8:00ほか

『参院選2010 東海3県開票速報』

G 名古屋局 7.11/20:10～21:00ほか

R1・FM 名古屋局 7.11/20:15～20:25ほか

『スピードワゴンのもえスピ!夏休みスペシャル』 G 名古屋局 8.22/0:50～1:34

『里見八犬伝～NHK名古屋児童劇団定期公演』

E 名古屋局 8.28/14:55～15:50

『NHK名古屋青少年交響楽団 第45回定期演奏会』 E 名古屋局 8.28/15:50～17:00

『キミが主役だ!NHK放送体験クラブ』(愛知県・三重県・岐阜県) E

名古屋局 10.12～11.4/14:55～15:00ほか

『おめでとうJリーグ 初優勝 名古屋グランパス』 G 名古屋局 11.20/23:10～0:10

『ほっとイブニングスペシャル ニュースハイライト東海2010』 G

名古屋局 12.28/17:05～19:00

『2011 トリプル投票』

G 名古屋局 2.6/20:55～22:00ほか

R1 名古屋局 2.6/22:45～23:00ほか

『名古屋市議会議員選挙 開票速報』

G 名古屋局 3.13/23:11～23:24ほか

R1 名古屋局 3.13/23:08～23:12ほか

『名古屋市議選 有権者の選択』 G

名古屋局 3.20/8:00～8:25

(各局共通)

『第77回NHK全国学校音楽コンクール』

(中部)東海北陸ブロックコンクール E

「小学校・中学校・高等学校」

9.25/14:00～16:30

(東海3県ブロック)

愛知県コンクール E 9.5/14:30～16:40

三重県コンクール E 8.28/13:00～14:55

岐阜県コンクール E 8.22/15:30～17:00

(県域)

石川県コンクール E 8.28/15:25～17:00

静岡県コンクール FM 8.28/14:00～15:29

福井県コンクール E 8.28/13:00～15:05

FM 8.26/9:15～11:50

富山県コンクール E 8.28/13:00～15:00

(北陸ブロック)

『金とく 北陸スペシャル』 G 20:00～20:43

「失われた音楽を求めて」 金沢局 7.30

「新たな美に挑む～第57回日本伝統工芸展 金沢展」 金沢局 10.29

「薬都とやま発 あなたの薬が変わる」 富山局 11.26

「好奇心は無限大!～絵本作家からのメッセージ」 福井局 12.17

「帰ってこい!ふるさとの川へ～九頭竜川物語 2 サクラマス編」 福井局 2.25

『FM 北陸ウイーク』 FM 18:00～18:50

「年末にふるさとを思う」 富山局 11.29

「方言・お国自慢満載!～北陸を盛り上げるご当地ソング」 富山局 11.30

「寒い冬を吹きとばせ☆90年代J-POP!」 福井局 12.1

「太古のロマン 恐竜の世界」 福井局 12.2

「FM北陸ウイーク わたしのビートルズ」 金沢局 12.3

「春を呼ぶ☆福井局のアナウンサーが趣味で選んだ90年代J-POP&アニソン①②」 福井局 2.21～22

「曇り空にそっと光を照らす音楽」 富山局 2.23

「FM北陸ウイーク 頑張るあなたを応援したい!ハッピー☆応援ソング特集」 金沢局 2.24

「FM北陸ウイーク 北陸、春のオススメコンサート」 金沢局 2.25

(石川県域)

『石川アーカイブス』 G 10:35～11:30ほか

「自然シリーズ」 4.17, 24

「紀行シリーズ」 4.10, 5.22, 29, 7.10

9.4, 11, 18, 10.2, 16, 1.15, 29

「人間国宝シリーズ」 11.6, 13, 18, 27, 12.11, 18, 25

「その他ドキュメンタリーなど」 4.3, 5.15, 6.26, 7.3, 24

8.28, 2.5, 19, 26

『懐かしラジオ 開局80周年』 R1

4.10/13:05～14:00, 14:05～14:55

『石川ラジオ3局共同企画～今・おも・ラジオ』

FM 12.18/11:00～12:00, 12:15～13:00

『FMジュークボックス』 FM	18:00～18:50	「女子会スペシャル」	2.17
4.30, 5.28, 6.25, 7.30, 8.27, 9.24		『キャンパスDJ in 静大』 G	12. 3/22:25～22:50
10.29, 11.26, 12.24, 1.28, 3.25			
(静岡県域)		『(1分ミニ番組)地震ひとことボイス』 G	12.12～1.28/18:58～18:59ほか
『金とく フジヤマTV』 G	20:00～20:43	『(2分ミニ番組)しずおかのうた』 G	1.17～/19:56～19:58ほか
「負けるな!わがまちの商店街」	4.23	(福井県域)	
「明日へのチャレンジ」	9.24	『金とく 福井のじかん』 G	20:00～20:43
「静岡 食の仕事人」	12.10	「40歳 荻野正二～格闘の日々を語る」	5.14
「冬の西伊豆 まるかじり」	1.21	「環境フォーラム 考えよう!里地里山」	11. 5
「あなたの知らない 静岡 花紀行」	2.25	『渋谷アニメランドin福井～マクロスソングを聴け!～FMエディション』 FM	4.24/14:00～16:00
『NHK静岡開局80周年特別番組』 G	20:00～20:43	『ザウスポFM』 FM	4.30, 5.28, 6.25/18:00～18:50
「第1回 二つの大動脈」	5.28	『参院選2010開票速報 福井』	
「第2回 漁師は戦場に散った」	8.27	G	7.11/20:10～20:16ほか
「第3回 東海地震～対策の歩みと課題」	11. 5	R1・FM	7.11/20:47～20:53ほか
「第4回 静岡ブランドの挑戦」	3. 4	『ふくい龍馬伝』 G	8.25～11.19/22:45～22:50ほか
『フジヤマの金3』 G	19:55～19:58	『NHK福井プレゼンツ 緒方恵美の流儀～福井のみんなへ』 FM	9.18/16:00～18:00
「スタジオセットは誰がつくるの?」	4. 9	『福井と江』 G	1. 5～3.10/22:45～22:50ほか
「NHKヘリコプターの秘密」	4.16	『徹底トーク!大河ドラマ「江」 福女たちの戦国』 G	2.25/22:00～22:25
「ステレオ放送ってナニ?」	5.14	『5050ふくいのたまごスペシャル つかめ、夢!』 G	3.21/17:15～17:49
「フジヤマの金サマーPR」	7.16	(富山県域)	
「気象情報の裏側」	7.23	『アナウンサーによる朗読の集い』 R1	4.10/22:15～22:55
「さようなら、フジヤマの金3」	7.30	(三重県域)	
『フジヤマの金3スペシャル』 G	4. 3/ 0:20～ 0:55	『みえ発ドキュメント～親子で走ると強くなる』	
『フジヤマの金サマー』 G	7.16/22:25～22:45	G	4.23/19:30～19:55
『しずメン☆しずジョ』 G	19:55～19:58	『Mie-1グランプリ ～三重県ご当地グルメNo.1 決定戦』 G	1.28/19:30～20:43
「会社に入ったら偉くなりたい?@静岡大学」	11.12	(岐阜県域)	
「大切なものは何ですか?@静岡文化芸術大学」	11.19	『た～んとみのひだ』 G	11:30～11:54
「この時代に生まれて幸せ?不幸?@日本大学三島校舎」	12.10	4.23, 5.28, 7.30, 10. 1, 29, 11.26, 2.18	
「草食系男子・好き?嫌い?@東海調理製菓専門学校」	1.21	『岐阜のこれから～明日のイクメン育てます!』	
『音楽の広場～300人の大オーケストラ』 G	8.29/17:15～18:00	G	5. 5/13:05～13:48
『たっぶり静岡 キャラバン』 G	18:10～19:00	『NHKぎふアーカイブス』 G	
御前崎市 (4.28), 静岡市清水 (6.10), 下田市 (9.16), 磐田市 (10.21), 伊豆の国市 (2.24)		「第1回～飛騨」	11.28/13:35～14:55
『たっぶり静岡 2010』 G	12.28/17:05～19:00	「第2回～自然と暮らし」	12.12/13:35～14:55
『しずおか情報ランチ年末スペシャル』 G	12.28/11:30～12:00	「第3回～文化・芸術」	12.19/14:05～15:25
『キャンパスDJ』 FM	18:00～18:50	「第4回～長良川」	1.30/13:35～14:55
「静岡県立大学」	5.27		
「“静岡時代”編集部」	9. 9		
「静岡大学」	12. 9		

「第5回～伝統芸能」 2. 6/13:35～14:50
 「第6回～岐阜市・笠松町」

2.20/13:35～14:45

『ぎふスペシャル～ひたむきに…～FC岐阜 3年
 目のステップ』 G 12.23/15:00～15:43

『ぐるぐるぎふグルメ（1分ミニ番組）』 G
 1.23～ 3.10/12:43～12:44ほか

3. スポーツ中継

（高校野球）

第92回全国高校野球選手権大会

愛知県 準決勝 G・R1・FM/ 7.28

決勝 G・R1/ 7.30

石川県 準々決勝 R1/ 7.25

準決勝 G・E・R1/ 7.27

決勝 G・R1/ 7.28

静岡県 4回戦 R1/ 7.22

準々決勝 R1/ 7.24

準決勝 G・E・R1/ 7.25

決勝 G・R1/ 7.27

福井県 準々決勝 R1/ 7.23

準決勝 G・E・R1/ 7.25

決勝 G・R1/ 7.26

富山県 準々決勝 R1/ 7.25

準決勝 G・E・R1/ 7.27

決勝 G・R1/ 7.28

岐阜県 準決勝 G・E・R1/ 7.25

決勝 G・R1/ 7.26

三重県 準決勝 G・E・R1/ 7.27

決勝 E・R1/ 7.28

第63回秋季東海地区高等学校野球大会

（東海4県ブロック）

準決勝 R1/10.31

決勝 FM/11. 1

静岡県 3位決定戦・決勝 R1/10. 2

三重県 準決勝 FM/10. 3

第57回春季東海地区高等学校野球大会

静岡県 3位決定戦・決勝 R1/ 5. 4

第123回北信越地区高等学校野球大会

石川県 準決勝 R1/10.10

3位決定戦・決勝 R1/10.11

福井県 準決勝 R1/10. 2, 3

3位決定戦・決勝 R1・FM/10. 6

富山県 準々決勝 R1/ 9.25

準決勝 R1/ 9.26

決勝 R1/10. 2

第123回北信越地区高等学校野球大会

（富山・石川・新潟・長野）

準決勝

R1・FM/10.25

（富山・石川・新潟）

決勝

R1/10.26

【その他のスポーツ】

プロ野球

「広島」対「中日」

（東海3県ブロック一部マルチ編成） G/ 5. 1

「楽天」対「中日」

（東北・東海3県ブロック） R1/ 6.10

「中日」対「広島」

（中部ブロック） G・R1/ 6.25

「中日」対「広島」

（東海3県ブロック一部マルチ編成） G/ 6.27

「中日」対「ヤクルト」

（東海3県ブロック） R1/10. 2

「中日」対「巨人」

（東海3県ブロック） R1/10.20～21

各県サッカー選手権大会 決勝

愛知県・静岡県 G/ 8.28

石川県・福井県・三重県・岐阜県 G/ 8.29

高校総体サッカー静岡県大会 決勝

（静岡県域） E/ 6. 5

Jリーグ G

（東海3県ブロック）

「名古屋グランパス」対「ヴィッセル神戸」

/ 4. 3

※名古屋グランパス戦（全国）番組連動型データ

放送付加（東海3県ブロック）

/11.20, 23, 3. 5

（静岡県域）

「ジュビロ磐田」対「川崎フロンターレ」

/ 5.16

「清水エスパルス」対「サンフレッチェ広島」

/11.23

（静岡県域・甲府県域）

「ヴァンフォーレ甲府」対「ジュビロ磐田」

/ 3. 5

J2リーグ G

「FC岐阜」対「コンサドーレ札幌」

岐阜県域/ 4. 4

「カタレ富山」対「柏レイソル」

富山県域/ 5.22

「FC岐阜」対「大分トリニータ」

岐阜・大分県域/ 9.23

bjリーグ G

「富山グラウジーズ」対「新潟アルビレックス

BB」 新潟・富山県域/ 5. 2

「富山グラウジーズ」対「埼玉ブロンコス」

	富山県域／11.21
BCリーグ	(金沢・富山) R1／ 6. 5 (福井) R1／ 4.29, 5. 2 (福井・富山) R1／ 6.19 (金沢・福井) R1／ 6.27
全国高校総体バスケットボール福井県予選	E
女子決勝・男子決勝	福井県域／ 6. 6
Vチャレンジリーグ (バレーボール)	R1
「KUROBEアクアフェアリーズ」対「フォレストリープズ熊本」	富山県域／ 2.20

II. 技 術

1. デジタル放送の拡充と普及

(1) 地上デジタル放送のネットワーク拡充

中部では、デジタル親局7局、デジタル中継局187局の整備が完了し、エリアカバー率は97.5% (10年度末)となった。また、76局のデジタル中継局を開局、NHK共聴66施設へ地上デジタル放送を導入した。

(2) デジタル放送の普及促進

地上デジタル放送の早期普及に向け、関係業界や一般視聴者への情報提供や技術講習会を開催。家電業界に対しては、電商組への技術講習会を開催したほか、デジタル最新情報をまとめて情報誌(月1回)とFAX(月2回)で提供した。

デジタルのインフラ整備については、関係団体と連携し、集合住宅や電波障害対策共聴のデジタル化の促進のほか、ビル陰総合対策に取り組んだ。また、電器店や量販店延べ2,688店への訪問、1,112店へのテレマーケティングを行い、衛星契約取次の拡大に向けた営業支援を実施した。

(3) 地上デジタル放送のサービス向上

データ放送では、参院選、金沢市長選、愛知県知事選、名古屋市長選での开票速報や、天皇杯サッカーやJリーグサッカーでの試合経過や選手情報、ドラゴンズ情報など詳しく情報を伝えた。『めざせ！会社の星』に連動した視聴者参加型のキャラクター育成コンテンツ「そだて！会社の星」を中部ブロック向けに9月から開始し好評を得た。また、富山局ではバスケットボールBJリーグやサッカーJ2リーグの地元プロスポーツや高校野球において、応援メッセージを年4回実施し、7月の高校野球からはワンセグでも応援メッセージを開始、地域スポーツの振興にも寄与した。

『NHK全国学校音楽コンクールブロック大会』ではデジタル教育としては初めてワンセグも

含めた中部ブロック放送を実施した。

2. 放送設備の充実

名古屋局では、MA-1音声ダビングスタジオ設備を更新。会館CS受信設備の狭帯域伝送対応整備を行った。また、HCK-1中継車を更新し、走行燃費および車載発電機効率の向上を図った。

静岡局は日本平放送所、津局は伊勢FPU基地局のFPU等各種機器をアナログ局舎からデジタル局舎へ移設した。福井局はT-1スタジオ照明設備を更新し消費電力の削減を図った。富山局は五箇山、岐阜局は岐阜駅前にロボットカメラを整備し、地域サービスの向上を図った。

また、中部各局に緊急地震速報迅速化対応やセキュリティネットワーク整備、可搬型テープ録音再生機のデジタル化更新を実施した。

3. 緊急・災害報道の取り組み

事件発生から50年、名張毒ぶどう酒事件については、最高裁が審理を名古屋高裁に差し戻しと決定したことから4月6日に名古屋拘置所前中継や伝送など5クルーを展開して報道対応に応えた。大相撲野球賭博関連取材、名古屋市議会解散関連など数多くの取材に的確・迅速に対応した。

災害報道では浜名湖で豊橋の中学生の乗ったカッターボート転覆事故(6.18)が発生、周辺に衛星中継車など多数を使用して迅速に対応した。7月の岐阜県八百津町・可見市豪雨災害(死者行方不明者6人)時にも取材の安全を確保して現場周辺に衛星中継車を展開し被災状況を的確に伝えた。各地で発生した鳥インフルエンザ等の発症事件についても限られた取材範囲を有効に生かし、その苦難の様子を伝えた。11年1月下旬から2月中旬にかけては東名高速などで交通事故が多発。1月31日から2月1日にかけて福井県敦賀市方面で大雪に見舞われ多数の車が立ち往生となり、四輪駆動の衛星中継車を活用して取材・中継にあたった。3月11日に発生した東日本大震災には即時に支援用の衛星中継車(名古屋・金沢・富山)や要員を派遣し仙台から福島にかけて支援し、名古屋衛星中継車が福島局を基点に日々中継・伝送業務に従事した。

設備面ではCS狭帯域受信機整備や伊勢FPU基地局の1系統増設整備など緊急報道体制の強化を推進した。

4. 番組制作技術の取り組み

『大相撲名古屋場所』は相撲協会の不祥事を受

け1953年に相撲中継が始まって以来初めて生放送が中止になり、取り組み直後にダイジェスト放送を行った。

ドラマ制作は『鉄の骨』全5回、『15歳の志願兵』、ろう者を描いたドラマスペシャル『心の糸』の3本。内外の賞を受賞した。

10月に「COP10」が開催され7時間に及ぶ生中継を始め、3週間にわたり会議の素材伝送や中継を行った。

「NHK杯国際フィギュアスケート」や「中日ドラゴンズ」のリーグ優勝、「名古屋グランパス」のJリーグ初優勝など数多くの大型スポーツ中継を実施した。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

中部ブロックでは、公開番組をはじめ、公共放送キャンペーン、子ども・青少年、教育・教養、美術、音楽、スポーツなど、さまざまな分野・対象のイベントを実施。約63万人の視聴者とふれあい、公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振興への寄与に努めた。

〔名古屋局〕

(1) 公開番組

『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡笑劇団』『BS日本のうた』『めざせ！会社の星』などの全国放送番組に加え、『金とく～出前コンサート』や『FMトワイライト』などの地域放送番組も含め、中部各局112本実施した。

(2) 公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「ハート・プロジェクト」「防災キャンペーン」「ふるさとの食 につぼんの食」「環境キャンペーン」など、公共放送ならではのキャンペーン・イベントを中部各局で実施した。

名古屋局では、「環境キャンペーン」の一環として名古屋市で開催された生物多様性条約締約国会議（COP10）に連動し、「いきものたちへの音楽会」（10.2名古屋港水族館）を行ったほか、「ハート・プロジェクト」では「NHKハート展」（12.21～26名古屋市博物館）を開催した。また、25回目となる「アイ・愛フェスティバル2010」（9.11名古屋市）も開催し、交通安全啓発にも努めた。

(3) 子ども・青少年イベント

「第77回NHK全国学校音楽コンクール」「第57

回NHK杯全国高校放送コンテスト」「第27回NHK杯全国中学校放送コンテスト」「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を、中部各局で実施した。

また、チャリティーコンサート『おかあさんといっしょファミリーコンサート』（2.5石川県金沢市、3.12静岡県静岡市）、『いないいないばあ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど』（12.12愛知県豊田市）、『おかあさんといっしょ あつまれ！土曜日』スタジオ収録（11.20名古屋局スタジオ）、おかあさんといっしょ宅配便「モノランモノラン小劇場」（5.16石川県七尾市、6.26岐阜県岐阜市、7.3富山県富山市、7.10静岡県長泉町、11.27愛知県一宮市、12.26福井県若狭町、1.29愛知県刈谷市、2.19三重県紀北町）など、ファミリーで楽しめるイベントも中部各局で実施したほか、名古屋局では、夏休みに「NHKこどもサマースクール」（8.4～8名古屋放送センタービル）を実施した。

(4) 教育・教養イベント

学校に向いて行う「NHKこども音楽クラブ～N響が学校にやってきた」「NHK朗読ひろば」など、教育イベントを中部各局で3本実施。

また、10年度も、学校放送番組の研究委嘱を行い、教育現場での番組利用の推進を図った。

教養イベントでは、「NHK公開セミナー」として、大河ドラマ『龍馬伝』（5.16福井県福井市、7.3愛知県刈谷市）やドラマ『坂の上の雲』（3.6三重県津市）をテーマにセミナーを実施した。

(5) 美術展・展覧会

「ギッター・コレクション展」（9.11～10.17松坂屋美術館、2.5～3.27静岡県立美術館）、「日本伝統工芸展」（10.6～11三越名古屋栄店、10.29～11.7石川県立美術館）、「アール・ヌーヴォーのポスター芸術展」（11.27～12.26松坂屋美術館）、「家康と慶喜展」（12.11～1.30静岡市美術館）を中部各局で主催・共催し、地域の文化振興に寄与した。

(6) 音楽イベント

例年好評の「NHKなごや芸能音楽祭2010」（10.30～11.1名古屋放送センタービル）、『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2011』（1.3名古屋市）、「N響定期演奏会」（10.30名古屋市）を主催・共催したほか、名古屋市で行われたNHK杯国際フィギュアスケート競技大会に関連し、氷上の音楽をテーマにN響メンバーにソリストを加えた演奏と八木沼純子さんによるトークで「サウンドオアシス2010」（10.9名古屋市）を開催した。

(7) スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「第90回天皇

杯全日本サッカー選手権大会代表決定戦」を中部各局で実施したほか、「NHKバスケットボールパーク」(9.19富山県富山市)、「NHKジュニアバスケットボール教室」(9.25福井県永平寺町)、「NHKジュニアバレーボール教室」(1.22岐阜県下呂市)を実施。また、名古屋局では「第75回日本オープンゴルフ選手権競技」(10.14～17愛知カンツリー倶楽部)、「NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」(10.21～24日本ガイシアリーナ)を開催した。

(8) その他のイベント

名古屋開府400年を記念して、「なごや妖怪ものがたり」(7.16～25)、「ナゴヤガールズパワー」(9.23～26)など、地域の魅力を再発見するイベントを名古屋放送センタービルで開催した。

(金沢局)

金沢局開局80周年を記念して「NHKハート展」(6.3～7金沢市)を「特別企画 吉澤ひとみトークショー」(6.6金沢市)とともに実施した。120インチ3Dハイビジョンやバーチャルパペットなどを展示した「放送の未来展」&「大河ドラマ『龍馬伝』展」(9.11～20金沢市)では1万人を超える入場者を集めた。

開局80周年を記念して作られた金沢局のマスコットキャラクター「ことじろう」の着ぐるみをほぼ全ての公開番組・イベントの会場で披露し、合わせて広報紙「ことじろう通信」を配るなど金沢局開局80周年のPRに努めた。

また、『NHKのど自慢』(6.20川北町)では予選会場で「地デジで笑劇場」を、「ラジオ深夜便のつどい」(9.12津幡町)ではロビーで「地デジ茶屋」を実施するなど地デジ完全移行に向けての普及イベントも展開した。

(静岡局)

静岡局開局80周年を盛り上げるため、新静岡市美術館開館記念として市との共催で「家康と慶喜～徳川家と静岡展」(12.11～1.30静岡市)を開催し、目標を上回る3万4,541人の入場者があった。

地域に根ざした開かれたNHKを目指して、「NHKふれあいデー会館公開」(4.4～5静岡局)を実施し、2日間で4,700人の来場者があった。

また、スポーツ王国静岡として、ワールドカップサッカーに合わせ「ワールドカップ・バブルックビューイングin藤枝(オランダ戦)」(6.19藤枝市)を開催し、4,500人もの来場者があった。

若者を対象としたイベントとして、県内の大学生に参加してもらう「キャンパスDJ」(11.20静岡市)を静岡大学キャンパスで公開収録し、若者層

への接触者率拡大に寄与することができた。

(福井局)

10年と11年の大河ドラマは福井県にゆかりの人物が主人公の『龍馬伝』と『江～姫たちの戦国』。「大河ドラマ“龍馬伝”スペシャルトークセッション～それぞれの龍馬」(9.19福井市)や、「脚本家 田淵久美子氏が語る大河ドラマ「江」と福井のゆかり」(9.24福井市)、「大地康雄(柴田勝家役) トークショー～男たちが語る“姫たちの戦国”」(3.3福井市)など大河ドラマ関連イベントを展開した。

「NHK福井 みんなのお祭りinAOSSA」(9.18～19福井市)を福井駅東口にある複合ビルで実施し2日間で延べ2,500人の来場者があった。

社会的に関心の高いテーマである環境問題に関連して、「環境フォーラム～里地里山を考えよう！」(10.16越前市)を地元新聞社や自治体とタイアップして実施した。

(富山局)

“スポーツ”と“デジタル普及”を柱に年間を通じイベントを展開した。①『スポーツ応援団プロジェクト』では、6時台のキャラバンと連動して富山大学で「ワールドカップ見どころトーク」

(5.25富山市)、bjリーグ富山グラウジーズと連携した「スポーツ応援団フェスティバル2010」

(9.19富山市)を実施した。スポーツを通じて若年層を中心に3,000人を超える来場者と交流した。

②『地デジプロジェクト』では、課題である高齢者世帯への普及に向け、県内6か所で地域の敬老催事などと連動し、地デジ準備をアピールする落語や漫才といったオリジナルの演芸ステージを実施した(9.12南砺市, 10.8小矢部市, 10.13高岡市, 10.15上市町, 10.25氷見市, 11.12富山市)。また、デジサポとも連携し、主催する全てのイベント会場できめ細かな受信相談・周知活動を展開した。

(津局)

津局開局70周年記念事業の一環として、視聴者の皆さんに日頃の感謝の意を込めて、年間を通じて多彩なイベントを展開した。

三重県で初開催した「NHKハート展」および関連イベント(4.7～12)では、福祉への理解と関心を高め、県民から大きな反響を得た。

毎年秋に地元「津まつり」と連動して開催する会館公開「NHK津ふれあいデー」(10.9～10)では、3D映像体感、トークショー、クイズなど、幅広い世代の来場者でにぎわった。「家訓でモットー元気になろう」(3.27)では、3-Screensを活用して家訓・モットーを募集し、地域に密着した

独自イベントを開催した。

〔岐阜局〕

毎年、「ぎふ信長まつり」に合わせて実施している「会館公開」(10.2～3岐阜市)は、従来2会場で実施していたが、今回は岐阜市中心部の柳ヶ瀬商店街に協力してもらい、会場を3会場に増やし、まつり会場から岐阜放送会館へお客様を呼び込もうと、3会場を結ぶデジタルスタンプラリーも実施。来場者は09年の3倍となった。

NHK岐阜開局70周年記念ドラマ「恋するキムチ」の広報活動の一環として、舞台となった各務原市で「キムチ漬け講習会」(12.1各務原市)を実施。参加者募集に当たっては、NHKネットクラブを活用し、応募の際にドラマに関する事前アンケートを行った。イベントで完成したキムチは、実際のドラマロケで使用した。

また、落語の祖として知られる岐阜市出身の僧・安楽庵策伝にちなんだ学生落語の全国大会「全日本学生落語選手権 策伝大賞」(2.26～27岐阜市)を実施。8回目を迎える11年2月の大会は、過去最多の228人(50大学・大学院)の学生が岐阜に集った。

2. 営業

(1) 全体状況

リーマン・ショックからリコール問題、東日本大震災と続き、中部経済を支えるトヨタの業績は依然として回復していない。中部地域の景気低迷が続く中、10年度の営業活動を取り巻く環境も厳しい状況であった。

そうした状況において、年度当初より営業活動の強化を図った結果、10年度における中部ブロックの契約総数増加計画や衛星契約増加計画の他、全ての営業計画を達成することができた。

中部ブロックの11年3月末の受信契約総数は、550.5万件、その内、衛星契約は233.1万件となった。この1年で、契約総数(有料)は6万7,968件の増加となった。

(2) 契約収納業務の法人委託の拡大

新たな営業体制を構築するため、中部ブロックでも契約収納業務における外部委託法人の開発・育成に取り組んでおり、3月末現在で5法人が稼働中で、中部ブロック域内の47.5万世帯をカバーしている。11年2月からは、公開競争入札により落札した法人が名古屋市内10万世帯の地域を対象に稼働し始めている。

(3) 受信料の公平負担と取り組みの強化

具体的営業活動としては、4月から単身生活を

始めた大学生や新入社員に向けた契約勧奨活動を4月から6月にかけて強化することにより、年度初頭からできる限り前倒しでの業績確保に取り組んだ。

また、下半期からは契約収納業務を行う地域スタッフの運用をより柔軟にし、課題地域へ重点的にマンパワーを投入できる体制に変更するなど、更に契約取次業務へのパワーシフトを図り、業績向上につなげた。また、新人地域スタッフの募集・育成も強化し、地域スタッフのスキルアップに努めた。年度末には、事業所対策や口座取次の強化など、各計画の達成に向けた活動に取り組んだ結果、10年度の全営業計画の達成ができた。

08年1月に、名古屋中央営業センター・駅前営業センターで、簡易裁判所からの「支払督促」による民事手続きをスタートさせて以来、順次地域を拡大してきたが、11年1月に北陸3県で計15件の「支払督促」を実施したことにより、中部ブロック全県で民事手続きがスタートした。今後も更なる件数の拡大を図る。

3. 広報

(1) マスコミ広報・番組広報

広報番組『鈴木アナの東海ピックアップ』では、東海3局の経営・番組・イベントの情報を紹介した。

岐阜局では、ドラマ『恋するキムチ』に関してロケ地・各務原市で出演者会見(12.8)を、名古屋局で完成試写会・出演者会見(2.3)をそれぞれ実施した。また、全国放送決定を受けて、渋谷放送センターでも完成試写会・出演者会見(2.22)を実施した。さらに、東海地区のテレビ雑誌を始め、岐阜県内のフリー雑誌などにも広く情報を提供する番組広報を行った。

福井局では、大河ドラマ『江』ゆかりの地として独自ホームページを立ち上げたほか、地域特集番組を放送するなどPR展開を図った。

富山局では、地元新聞社を活用し、地域情報番組と合わせ受信料公平負担のPRを11年1月から始め、放送と連動した広報活動を展開した。

(2) 視聴者ふれあい活動

ふれあいミーティングは、中部で合計157回実施。静岡局は、「視聴者のみなさまと語る会～経営委員とともに～in静岡」を10月に開催。公募による視聴者31人と、放送や経営全般について意見を交換した。

名古屋局では、見学施設「遊&放プラザ」をリニューアルし、体験しながら放送を学べる施設

「放送体験スタジオわくわく」として3月にオープンした。また、豊橋支局、静岡局、津局、岐阜局で会館公開を実施、福井局は出前型としてJR福井駅前の複合ビルで実施し、視聴者との交流を深めた。

金沢局は、地域のイベント「かなざわ まち博」や「アンサンプルの集い」などに積極的に参加し、視聴者とのふれあいを強めた。

福井局では、局のキャラクター「一福丸」の着ぐるみを新たに作成し、イベントや番組で活用したほか、関連のブログを立ち上げ、番組情報やイベント情報などを発信した。

富山局は、会館1階ロビー回りを大幅に改修し、より地域の視聴者が来局・利用しやすくした。

津局は、開局70周年の記念事業の一環として、会館公開に合わせ三重県内の郷土芸能や四季の風景の3D映像ソフトを制作した。また、『NHKスペシャル～無縁社会』の番組上映会を4月と12月に実施した。

(3) デジタル放送の普及・理解促進活動

東海3県のNHKと民放テレビ局の全10局が共同で、地デジ普及促進イベント「BigWave2010」を開催。各テレビ局が地デジPRブースを設けて周知した。

金沢局では、マスコットキャラクター「ことじろう」のデジタルPR版「デジタルことじろう」や、「ことじろう」のアニメーションスポット「アナログ放送終了編」「BS放送PR編」を制作しデジタル化をPRした。

富山局では、地域の敬老催事と連動して実施した地デジイベントの出演者に依頼し、『地デジPRスポット』を10本制作。「デジタルの日」(12.1)から放送した。09年度から継続して放送している『地デジ一口メモ』と合わせて、地域の地デジ普及に努めた。

近 畿

- ◇近畿地方に向けて、“もっと見てもらう、もっと触れてもらう”を意識し、放送やインターネットなど、多様な媒体を活用したサービスの充実に努めた。番組ごとの役割を明確にして、幅広い世代の視聴者に向けた多彩な番組を放送した。
- ◇「平城遷都1300年」「上海国際博覧会」「大阪放送局開局85年」など、2010年に集中した各テーマについて、地域や全国に向けて、多くの関連番組を放送した。
- ◇『連続テレビ小説～てっぺん』は、広島・尾道と大阪を舞台に、お互いに存在さえ知らなかった孫と祖母がぶつかりながらもやがてお好み焼き屋を開き心を通い合わせて行く。鉄板の上で繰り上げられる涙と笑い、そして家族や地域の絆を描いた物語。オープニングでのてっぺんダンスが好評で、てっぺんダンスの全国巡回イベントを実施した。
- ◇第22回参議院議員通常選挙や、京都府、滋賀県、和歌山県の各知事選挙について、政見・経歴放送や開票速報に万全を期し、公正・公平な放送を実施した。
- ◇アジアの今を伝え、関西との交流を見つめる番組を放送した。年度後期からは、月1回の定時番組として『まるかじり！アジアン食堂』の放送を開始した。

I. 放 送

1. 放送の概要

(1) 番組ごとの役割を明確にし、視聴者層を拡大

夕方5時台の地域情報番組『あほやねん！すきやねん！』(G, 月～金)は、過去2年の蓄積を生かしながら、10代・20代の熱い学生たちを応援し、若い世代とのつながりを深めてきた。特集編成やイベント、インターネットや携帯端末向けサービスなどの総合的な展開で、若い世代の接触機会をさらに増やすよう努めた。

日曜午前8時の地域経済情報番組『ビジネス新伝説 ルソンの壺』(G, 年間46本放送)は、日曜午前7時45分からの編成に変更し、厳しい状況が続く地域経済の中で、独自の取り組みをしている企業などを見つめ、不況を乗り越えるヒントを

探った。関西以外でも徳島・香川・鳥取局が定時番組として関西と同時間帯で毎週放送した。

金曜午後8時からの『かんさい特集』（G、年間38本）では、平城遷都1300年関連の番組として「カウントダウン 大仏開眼～奈良の都とその時代」（4.2）や、「ふるさと歴史ウォーク～奈良・桜井市」（5.7）、「奈良まほろば散歩」（8.20、奈良）、「あなたの知らない奈良」（11.5、奈良）などを放送した。このほか、平城遷都1300年関連のミニ番組『奈良まほろば散歩』と『せんとくん通信』を全国にCS配信し、平城遷都祭の情報と奈良の魅力を紹介した。また、上海万博関連の番組として「ルソンの壺スペシャル 上海万博で中国市場をねええ！」（5.21）、「見たい 聞きたい 素顔の上海」（7.2）などを放送。大阪放送局開局85年関連番組として「映像歴史バラエティー 空から声が降ってきた」（12.10）などを放送し、2010年度に関西が掲げてきたこれらのテーマについて、『かんさい特集』の枠内で多角的に伝えてきた。このほか、2週連続で放送した「関西鉄道すごろくクイズ」など、新たな試みにも挑戦したほか、豊富な文化遺産や伝統ある上方芸能を題材とした番組、家族で楽しめるステージショー、地域ドラマ、ドキュメンタリーやプロ野球中継など、多様な番組を放送した。

（2）地域の課題に向き合い、正確・迅速な報道

夕方6時台の各府県向けのニュース（G、月～金）は、大阪局は『ニューステラス関西』を継続、各局は『ニュース610京いちにち』（京都）、『ニュースKOBELIVE』（神戸）、『わかやまNEWSウェブ』（和歌山）、『ならナビ』（奈良）、『おうみ発610』（大津）を継続し、地域の動きや話題を詳細に伝えた。

金曜午後7時30分からの報道番組『かんさい熱視線』（G）では、関西のあらゆる分野の関心事をタイムリーに捉え、深く掘り下げて伝えた。「大阪行き片道切符～生活保護急増の裏側で何が」（5.7）や、「悪用される“生活保護”」（1.21）などでは、社会保障制度を狙う悪質な問題について、継続して伝えてきた。また、「検証・大阪2幼児虐待死事件～シングルマザーが抱える闇」（9.3）など、地域社会の中で起きている問題について、さまざまな角度から検証した。JR福知山線脱線事故については、事故発生から5年がたち、「被害者は問う～JR福知山線脱線事故から5年」（4.23）を73分に拡大して放送し、被害者の声が原因究明や被害者支援を動かし始めている実態を伝え、被害者の悲しみと訴えに迫った。

また、16年目を迎えた阪神・淡路大震災については、『かんさい熱視線』で「震災負傷者4万人見落とされた支援」（1.14）、「震災いのちのきずな」（1.16神戸）を関西西方向けに、『コトハナ～被災地をつなぐ黄色い花の物語』（G、1.10）、『NHKスペシャル～防災力クライシス そのとき被災者を誰が救うか』（G、1.17）、『阪神・淡路大震災から16年“あの日旅立ったあなたへ”～被災地からのメッセージ』（R1、1.17）、『クローズアップ現代～届かぬ支援 震災負傷者4万人』（G、1.19）、『ETV特集～ずっと、こころ、重ねて～震災遺児 16年目の約束』（E、2.13）などを全国に向けて、それぞれ放送し、震災の記憶と教訓を次世代に伝える取り組みを続けている。

（3）関西の文化や情報を、全国・地域へ発信

10年度は、平城遷都1300年に当たり、多くの番組を全国・地域に向けて発信してきた。『古代史ドラマスペシャル～大仏開眼（前・後編）』（G、4.3、10）や、『平城遷都1300年中継 あなたの知らない奈良～美と風景と生き方の再発見物語』（BS2、10.17）、『絵巻エンターテインメント 吉備大臣入唐絵巻の謎に挑戦』（G、4.29）などを放送したほか、奈良で開催された記念祝典（10.9）の様子も中継で伝えた。このほか、古代史の最大の謎に挑む発掘調査に密着した『NHKスペシャル～“邪馬台国”を掘る』（1.23奈良）など、多くの番組を全国に向けて放送した。大阪局制作の定時番組『歴史秘話ヒストリア』（G）でも、「奈良の魔法使い～日本を救った遣唐使・吉備真備」（5.19）や、「妻の私が支えねば～天平のスーパーウーマン・光明皇后」（7.14）などを全国放送した。地域放送番組では、『かんさい特集』で関連番組を放送したほか、奈良の国宝とそれを守る人々の思いを紹介する『やまとの国宝』（G、土、奈良）を定時番組として放送した。このほか『ぐるっと関西おひるまえ』の中で、平城宮跡会場に設置したサテライトスタジオから最新情報を伝えた。

定時の全国放送番組では、『歴史秘話ヒストリア』（G）、『バラエティー生活笑百科』（G）、『きらっといきる』（E）、『コミ☆トレ』（E）、『ストレッチマン・ハイパー』（E）、『上方演芸ホール』（BS2）、『大阪発疾走ステージ WEST WIND』（BS2）、『上方演芸会』（R1）、『かんさい土曜ほっとタイム』（R1）、『ともに生きる』（R2）などを主管、制作した。この中で、『きらっといきる』では、障害のある方が自ら企画し番組を作っていく「バリバラ～バリアフリー・バラエティ

一」を放送した。バラエティーを通してリアフリーを考えていく番組として、年10回放送した。さらに発展させた形で『ETVワイド ともに生きる 笑っていいかも!?』(E, 12.4)を放送した。

特集番組では、『幻の甲子園』(G, 8.7, 京都), 『炎の神が踊る夜～京都・白洲正子が愛した火祭り』(G, 9.23, 京都), 『ともに生きる 新春スペシャル』(R2, 1.2)などを放送した。

音楽・芸能番組として、『わが心の大阪メロデー』(G, 11.2), 『よみがえる“ラジオ歌謡”とその時代～大阪発・60年ぶりの復活演奏』(BS2, 11.3), 『東西浪曲特選』(G, 10.16), 『京都南座 顔見世大歌舞伎』(E, 12.31), 『文楽 通し狂言～妹背山婦女庭訓』(HV, 1.1～3), 『初笑い東西寄席』(G, 1.3), 『新春謡曲狂言』(FM, 1.3), 『新春オールスター なにわ歌の新年会』(G, 1.4)などを放送した。

ドラマは、平城遷都1300年関連として『古代史ドラマスペシャル～大仏開眼(前・後編)』(G, 4.3, 10)を放送した。また、10年度後期の『連続テレビ小説～てっぱん』(G, HV, BS2, 9.27～4.2)と、その関連番組として『あかり×みおり～“朝ドラ”ヒロイン 2つの顔』(G, 9.20), 『連続テレビ小説～てっぱん 見どころてんこ盛りスペシャル』(G, 11.7), 『通だす。～お好み焼き』(G, 12.27)などを放送した。『連続テレビ小説～てっぱん』では、オープニング映像の「てっぱんダンス」も反響を呼び、各地でイベントが実施されるなど話題となった。そのほか、『連続テレビ小説～ウェルかめ 総集編スペシャル(前・後編)』(G, 5.3～4), 『ドラマスペシャル～大阪ラブ&ソウル この国で生きること』(G, 11.6), 『ドラマスペシャル～迷子』(G, 2.19)などを放送した。

(4) アジアの今を伝え、関西との交流を見つめる

5月1日、大阪市と姉妹都市の関係にある上海で、アジア最大の万博「上海国際博覧会」が開幕。この上海万博を盛り上げるために、さまざまな関連番組を放送した。史上最大の祭典とされた上海万博の開幕の熱気を生中継で伝えた(G・HV, 5.1)ほか、『上海スピード』(BS1, 5.3～7)や、『かんさい特集～見たい 聞きたい 素顔の上海』(G, 7.2)では、劇的なスピードで変わり行く上海の今を多角的に伝えた。また、『かんさい特集～ルソンの壺スペシャル 上海万博で中国市場をねえ!』(G, 5.21)では、上海万博を足がかりに中国市場を狙う関西企業に密着したほか、

食を通して近隣アジア各国を見つめていく関西向けの番組として『まるかじり! アジアン食堂』を、毎月1本程度放送した。

(5) スポーツ中継の充実

関西で行われるさまざまなスポーツを全国に向けて積極的に発信した。『国際グランプリ陸上 大阪2010兼アジア大会代表選考会』(G, 5.8), 『第92回全国高校野球選手権大会』(G, E, BS2, R1, 8.7～21), 『第12回全日本学生柔道体重別団体優勝大会』(E, 11.3), 『第37回社会人野球日本選手権～決勝』(E, 11.14), 『第65回甲子園ボウル』(BS1, 12.19), 『関西大学ラグビー「天理大」対「関西学院大」』(E, 12.4)などのアマチュアスポーツを伝えた。このほか、駅伝では『女子第22回・男子第61回全国高校駅伝』(G, R1, 12.26), 『第29回全国都道府県対抗女子駅伝』(G, R1, 1.16)を放送し、インターネットのサービスとして、各チームの中継所動画も提供した。そのほか、『第66回びわ湖毎日マラソン兼世界陸上選手権代表選考会』(G, R1, 3.6), 『第83回選抜高校野球大会』(G, E, R1, 3.23～4.3), 競馬の『第141回天皇賞』(G, 5.2), 『第71回菊花賞』(G, 10.24)などを中継した。

地域放送では、プロ野球(G, R1), サッカーJリーグ(G), bjリーグ・バスケットボール(G)などのプロスポーツを中継したほか、『第39回関西学生サッカー選手権～決勝』(E, 6.6), 全国高校野球選手権大会の関西2府4県大会の決勝戦(G, E, R1, FM), 『第55回全国軟式野球選手権大会～決勝』(R1, 8.30), 『天皇杯サッカー各府県代表決定戦』(G, 8.28～29, 各局), 『秋季近畿地区高校野球大会』(R1, 11.1～7ほか), 『関西学生アメリカンフットボール』(E, 11.28)などを中継した。

(6) 「いつでも、どこでも、もっと身近に～3-Screens」の実現

インターネットや携帯端末向けサービスなど、それぞれの特性を生かした形で番組や情報を届け、多くの人々に親しまれ、役立ててもらえるようなサービスに努めた。

若い世代に向けた番組『あほやねん! すきやねん!』(G, 月～金)では、新たな会員制のインターネットサービスを開始し、放送と通信でより充実したコンテンツを提供し、ファン層の拡大に努めた。高校野球ではデータ放送やインターネットを通して、試合経過などの詳しい情報を提供し、駅伝では各チームの区間ごとの動画を提供した。また、関西の話題を取り上げた番組をまとめて紹

介するサービスをホームページ上で始めたほか、関西の番組情報を伝えるメールマガジンを発行するなど、視聴者の目線に立った、利便性の高いサービスの提供に努めた。

(7) 完全デジタル化に向けた取り組みの強化

デジタル放送の特性を生かした放送サービスに取り組み、地上デジタル放送の魅力と利便性を伝えた。『プロ野球「阪神」対「ヤクルト」』(G, 4.9) などの中継時には、デジタル総合でマルチ編成を実施し、試合開始から終了まで伝えた。また、阪神戦(6.4)や、オリックス戦(6.12)の中継の中では、アナログ放送の終了と地上デジタル放送の魅力を伝える内容を盛り込み、プロ野球ファンに対して、完全デジタル化に向けた周知広報活動を行った。

データ放送は、近畿地方向けの『Jリーグ中継「セレッソ大阪」対「鹿島アントラーズ」』(G, 5.5, 近畿ブロック)などで連動データ放送を実施した。全国放送では、『女子第22回・男子第61回全国高校駅伝』(12.26)、『第29回全国都道府県対抗女子駅伝』(1.16)などのロードレースで連動データ放送を実施し、各チームのデータや中継所での通過順位やタイムなど、関連情報を提供した。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『おはよう関西』 G 月～金 7:45～8:00

第1回93.4.3/近畿ブロック/関西圏のニュースや話題をいち早く伝えるニュース・情報番組。地域のニュースやリポート、中継、気象情報、交通情報、きょうの動きなどを盛り込み、視聴者ニーズに応える情報を幅広くコンパクトに伝えた。

『ウイークエンド関西』 G 土 7:30～8:00

第1回92.4.11/近畿ブロック/土曜の朝、週末に向けての関西各地のさまざまな情報を伝える番組。ニュースや週末の気象情報、イベント情報、関西ゆかりのスポーツ情報、「西日本の旅」など。

『ぐるっと関西おひるまえ』 G

月～金 11:30～12:00

土 10:50～12:00

第1回03.4.3/近畿ブロック/ネットワークを生かして関西各地を結び、旬の話題や暮らしに役立つ生活情報を伝えた。番組やイベント案内に加えて、地デジ普及対策にも力を入れた。大阪局のBKプラザスタジオからの公開生放送。

『あほやねん! すきやねん!』 G

月～金 17:10～17:57

第1回08.3.31/近畿ブロック/熱い学生を応援し、10代の認知度向上を目標に、携帯投票やインターネットの活用など、さまざまな手法を用いて接触者率向上を目指した。BKプラザスタジオからの公開生放送。

『ニューステラス関西』 G

月～金 18:10～18:59

第1回08.3.31/近畿ブロック/関西の“今”を熱く伝える、夕方のニュース番組。その日のニュースにこだわり、深く、じっくりと伝えた。さまざまな社会の問題に光を当てて掘り下げ伝えていくスペシャル企画、関西勢の活躍をいち早く伝えるスポーツコーナー、旬の現場からの生中継など、豊富な内容で情報を伝えた。(『ニュース610京いちにち』(京都)、『ニュースKOBE発』(神戸)、『わかやまNEWSウェブ』(和歌山)、『ならナビ』(奈良)、『おうみ発610』(大津))

『関西845』 G 月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1/近畿ブロック/関西の一日をコンパクトにまとめたニュース。京都局は『京都ニュース845』、神戸局は『兵庫ニュース845』、奈良局は『なら845』、和歌山局は一部県域で放送。大津局は後期から『おうみ845』を放送。

『とびきり』 G 金 10:05～11:00

第1回09.4.3/近畿ブロック/関西ではなかなか見ることのできない、西日本の各局が制作した“とびきり”の地域放送番組を紹介。

『かんさい熱視線』 G 金 19:30～19:55

第1回08.4.4/近畿ブロック/関西のあらゆる分野の関心事をタイムリーに捉え、深く掘り下げて伝える情報番組。事件事故の調査報道、防災、経済、スポーツなど硬軟さまざまなテーマについて、キャスターインタビューや識者の解説を交えながら伝えた。

『関西もっという旅』 G 金 19:30～19:55

第1回00.4.28/近畿ブロック/関西各地を旅し、美しい風景や土地の空気、風物、その地ならではの人々と暮らしをハイビジョン撮影で丹念に記録した紀行番組。年間8本放送、字幕放送。

『まるかじり! アジアン食堂』 新 G

金(月1回程度) 22:00～22:29

第1回10.10.29/近畿ブロック/“アジアン食堂からアジアが見える!” たむらけんじがアジア料理をまるかじり。関西にあるアジア料理店などを舞台に、食文化から政治経済、歴史、流行、日本人との深い関係も伝えた。後期から5本放送。

『かんさい思い出シアター』 G

土 5:15～5:50

第1回01.11.4／近畿ブロック／関西のテレビの歴史の中で蓄積された懐かしい番組の中から「テレビが捉えた関西」をその後のエピソードなどを交えて振り返った。NHK大阪放送局が開局85年を迎え、これまで扱ってこなかった素材も活用し、より楽しめる、より考えさせる演出を加えて内容の充実を図った。

『やまとの国宝』 新 G

土 0:40～0:45
水 22:45～22:50

第1回10.4.10／近畿ブロック／平城遷都1300年を機に、奈良県にある国宝の魅力を、宝物を守る人々の談話を交えて紹介したミニ番組。

『上方演芸ホール』 G 月 0:05～0:48

第1回02.1.7／近畿ブロック／名人芸や若手の“旬”の芸など、「上方の本物の笑い」をバラエティーに富んだラインナップで紹介した。

『ビジネス新伝説 ルソンの壺』 G

日 7:45～8:10

第1回07.4.8／近畿ブロック／関西の成功企業がヒット商品や新しいサービスを生み出している現場を取材し、ふだん知ることのできない成功の秘密を伝えた。10年度から字幕放送。

『かんさいミッドナイトセレクション』 G

土 1:15～4:13
日 0:50～4:13

第1回05.4.2／近畿ブロック／長尺の地域番組や、大阪局や域内局が制作した地域特集番組やハイビジョン番組のアンコール、関西ゆかりの番組のアンコールなど、週末の関西の夜を彩る特集編成枠。

『西日本の旅』 G 金 10:50～11:00

第1回04.4.4／近畿ブロック／西日本各局が制作したミニ紀行番組。

『関西ラジオワイド』 R1

月～金 16:05～18:00

第1回00.4.3／近畿ブロック／楽しく聴ける情報満載の安心ラジオを目指し、地域密着のニュース、生活情報を伝えた生ワイド番組。

『FMサウンドポケット なみはな』 FM

月～金 18:00～18:50

第1回09.3.30／近畿ブロック／リスナーからのメッセージやリクエストを基にお届けする関西の音楽エンターテインメント番組。HPも充実させ幅広い世代のリクエストに応えた。

(2) 主な特集番組

ア.『かんさい特集』 G 金 20:00～20:43
(内容により19:30～20:43)

関西のNHKが総力を挙げて金曜夜間の視聴好適時間に展開する特集番組。以下の内容で原則毎週放送した。

「カウントダウン 大仏開眼～奈良の都とその時代」 (4.2)

古代史ドラマスペシャル「大仏開眼」の見どころや撮影秘話、時代背景などメイキング映像とともに紹介した。

「プロ野球中継」(4.9「阪神」対「ヤクルト」、6.4「阪神」対「オリックス」、9.10「阪神」対「ヤクルト」)

阪神、オリックスの試合を甲子園球場から中継。マルチ編成で試合開始から終了まで伝えた。

「パンダの赤ちゃん誕生をめぐして～神戸王子動物園」 (4.16)

神戸市立王子動物園の人気者・ジャイアントパンダのタンタンとコウコウ。悲願の赤ちゃん誕生に挑んだ動物園の舞台裏に密着し、パンダの秘密を記録した貴重な映像を紹介した。

「ふるさと歴史ウオーク」(5.7「山の辺の道 古代ロマンの世界を歩く～奈良・桜井市」、1.7「大河ドラマ“江” 浅井三姉妹ゆかりの地を巡る～滋賀・長浜」)

歴史と文化の宝庫・関西を一般募集の参加者とともに歩く視聴者参加型歴史紀行番組。平城遷都1300年に沸く奈良と、大河ドラマ「江」ゆかりの地・長浜を巡った。年間2本放送。

「今年のはたのむで！阪神・オリックス～夢を託された男たちの戦い」 (5.14)

阪神・城島、オリックス・岡田監督がどのようにチームを変えようとしているのか、キャンプから交流戦までの戦いぶりを、ゲストのますだおかだ、伊東勤さんと振り返った。

「ルソンの壺スペシャル 上海万博で中国市場をねらえ！」 (5.21)

関西企業の発想や着眼に迫る「ビジネス新伝説・ルソンの壺」。43分のスペシャル版で上海万博を足がかりに中国市場を狙う関西企業に密着し、その舞台裏を紹介した。

「師匠直伝！芸人虎の穴」

(5.28, 6.25, 9.3, 10.29, 11.26, 12.24, 1.28, 2.25)

上方演芸界の重鎮が若手芸人に修行の場を提供するステージショー。NHK大阪ホールでの公開収録で年間8本放送。

「見たい 聞きたい 素顔の上海」 (7.2)

万博開幕から2か月の上海。“上海スピード”ともいわれる、劇的なスピードで変わり行く街を

旅する気分で万博の最新情報とともに紹介。

「映像歴史バラエティー」(7. 9「鉄道がつくった関西」, 9.17「祭りだ ワッショイ!」, 12.10「空から声が降ってきた～関西放送創世記」)

NHK内外の貴重な映像から、鉄道、祭り、放送、それぞれの歴史をたどったバラエティー番組。年間3本放送。

「ドラマ 天王寺ブロードウェー」 (7.30)

家族とは何か、地域の絆とは…? 大阪・天王寺にある古寺の「後継ぎ騒動」をにぎやかに描くハートウォーミング・コメディ。

「奈良まほろば散歩」

(8.20, 1.14 奈良)

悠久の歴史を誇る奈良。奈良の知られざる魅力をカメラが旅人の目線となって紹介。独特な文化や風土を育ててきた奈良を歩き、さまざまな驚きと感動に出会う。

「文珍・南光の家訓をたずねて」

(8.27 大津)

「三方よし」の精神で、江戸から明治にかけて全国で活躍した近江商人。桂文珍と桂南光が、近江商人の心を受け継ぐ会社をめぐる、その家訓に成功の極意を探る。

「食を極める」(9.24「こだわりの“てっばん”料理」, 12.17「決め手はこの味! ごくうま鍋」)

関西各地を訪ね歩き、こだわりの食を紹介。家庭のホットプレートでできる驚きの料理、極上の素材からつくる鍋料理を紹介。年間2本放送。

「日本・トルコ 120年の記憶～エルトゥール号救出・語り継ぐ子孫たち」

(10. 1 和歌山)

日本とトルコの友好の礎となった、120年前のトルコ軍艦の遭難事故。救助にあたった和歌山県串本町の人々とトルコの人々の子孫の思いを描いた。

「西田尚美の京都学」 (10.15 京都)

年間5千万人の観光客が訪れる古都・京都。旅をするだけではなかなかうかがい知ることのできない「千年の都」の本質を、女優の西田尚美さんが極める。

「あなたの知らない奈良～美と風景と生き方の再発見物語」 (11. 5 奈良)

人々を魅了する奈良の文化財や風景。そんな魅力を享受できるのも、その価値を再発見した先人たちの努力があればこそ。そんな再発見物語に迫る。

「関西鉄道すごろくクイズ (前・後編)」

(11.12, 19)

鉄道クイズとすごろくを組み合わせたバラエティー番組。正解するとサイコロをふって、すごろくに見立てた鉄道の路線図上をゴール目指して進んでいく。2週連続で放送。

「コトハナ～若者たちと黄色い花の物語」

(1.21)

1月17日、神戸の街を彩った黄色い花「シンサイミライノハナ」。プロジェクトを企画したデザイナー・西川亮さんの願いと、そこから生まれた人々の出会いと絆を見つめた。

「にっぽんの名城・外伝～姫たちのエンジョイ城ライフ」 (2. 4)

戦国時代きっての美女と伝えられるお市の方、淀殿、千姫の華麗な衣・食・遊を再現し、姫たちの暮らしを追体験。

「ふたりでめざす登山1万回～認知症抱える夫婦の記録」 (2.18)

大阪の金剛山に2人合わせて1万回登ろうとしている老夫婦に密着し、認知症を乗り越えて山に挑み続ける2人を見つめた。

「第41回NHK上方漫オコンテスト」 (3. 4)

上方の若手漫才師の登竜門「NHK上方漫オコンテスト」。予選を突破した6組が出場し、スーパーマラドーナが優勝した。NHK大阪ホールからの生放送。

イ. その他の特集番組

『NHK大阪放送局 開局85周年記念番組 15歳の君たちへ～ノーベル賞受賞者からのメッセージ』 G 4.24

淡路夢舞台国際会議場で行われた、15歳の子どもたちとノーベル物理・化学賞受賞者3人によるフォーラム。

『あほやねん! すきやねん! 情熱満開Gun! Gun! Live!!!』 G 5. 5

「あほすき」新メンバーがNHK大阪ホールに勢揃い。関西ジャニーズJr.の参・忍者やTHEイナズマ戦隊・近藤夏子の白熱ライブ。

『アニソンのど自慢 2nd IMPACT』 G 5. 5

アニメソング・特撮ヒーローソングに限定した「アニソンのど自慢」の第2弾。子どもから大人まで、153組の予選参加者の中から15組が本戦に挑んだ。

『NHK大阪放送局 開局85周年記念番組 狂言新時代』 G 7.19

狂言の名家・茂山千五郎家によるお祝いの狂言会のもようを伝えた。「口上」, 狂言「蝸牛」, 新作狂言「BK放送事始め」ほか。

- 『³³通だす。～夏の甲子園』 G 8. 7
 「通」とは「ものの楽しみ方の極意を知っている人」のこと。「夏の甲子園」をテーマに高校野球を存分に楽しむ術を伝授。
- 『大阪の未来は 知事 市長 意見交換』 G 9. 9
 将来の大阪の在り方について、大阪府の橋下知事と大阪市の平松市長が行った意見交換会のすべてを収録し放送。
- 『第77回NHK全国学校音楽コンクール 近畿ブロックコンクール』 E 9.26
 近畿2府4県の代表が集まって行われた近畿ブロックコンクールのもようを紹介。
- 『NHK大阪放送局 開局85周年記念番組 よみがえる「ラジオ歌謡」とその時代』 G 10.23
 大阪放送局の倉庫で半世紀ぶりに見つかったスコアによる復活演奏会のもようを伝えた。
- 『シンフォニック・サウンドinスポーツ～大フィル・青少年のためのコンサート2010』 G 11. 3
 大フィルと大植英次が青少年に贈るコンサート。スポーツにまつわる名曲の数々を届けた。
- 『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2010 近畿地区大会』 G 11.13
 テーマは「激走！ロボ力車」。近畿地区7高専14チームの熱戦を紹介。
- 『NHK大阪放送局 開局85周年記念番組 懐かしの大阪局制作“朝ドラ”全部見せます！』 G 11.23
 大阪局制作の“朝ドラ”34作品を一挙に紹介。知られざるエピソードや、「てっぱん」のヒロイン・瀧本美織さんによる見どころも紹介。
- (3) 主な府県域番組**
- (京都局)**
- 『Jリーグ「京都サンガF.C.」対「清水エスパルス」, 「京都サンガF.C.」対「ガンバ大阪」』 G 京都府域 5. 5, 京都・大阪府域 10.24
- 『bjリーグ「京都ハンナリーズ」対「滋賀レイクスターズ」』 G 京都・大津県域 10. 3
- (神戸局)**
- 『認知症フォーラムin神戸 あきらめない～最新医療と社会の支え』 G 4. 9
- 『ジャズライブKOBE総集編』 G 4.11, 10.24
- 『Jリーグ「ヴィッセル神戸」対「モンテディオ山形」, 「ヴィッセル神戸」対「ベガルタ仙台」』 G 4.11, 11. 6
- 『ひょうご再発見～礎～近代が残したもの』 G 5.14ほか
- 『トアステ「アコースティックコンサート」, 「アコースティックライブ」』 FM 6. 4, 10.10
- 『兵庫特集 新・兵庫史を歩く“赤とんぼ”流れる城下町～たつの市』 G 6.13
- 『音で楽しむ～ひょうご再発見』 G 9.24
- 『兵庫特集 新・兵庫史を歩く えべっさんと酒蔵の道～西宮市』 G 11.21
- 『兵庫特集 ふるさと再発見～ひょうごの歴史と文化』 G 12. 4
- 『NHKハートフルコンサート』 FM 12.10
- 『ひょうご安全の日 1.17のつどい』 G 1.17 (和歌山局)
- 『紀の国スペシャル オレたちの“ムラ”を歌う～差別と向き合う故郷の歌』 G 4.10
- 『紀の国スペシャル Wakayama Next 10～どうする？和歌山の医療』 G 4.16
- 『動く！防災スタジアム 兵庫vs和歌山』 G 5. 3
- 『紀の国スペシャル どうなる？400年の捕鯨文化』 G 8. 1
- 『紀の国スペシャル Wakayama Next 10～認知症フォーラムin和歌山』 G 10.24
- 『出動！防災プレゼンター』 G 11. 5
- 『NHK和歌山FM開局40周年記念 パワステII公開スペシャル Gospel de Xmas 2010』 FM 12.18
- 『紀の国スペシャル 森の声を聴く』 G 12.19
- 『和歌山きらめきの旅 松村邦洋さん串本ウオーク』 G 12.19
- 『NHK朗読ひろばin和歌山』 FM 3. 4
- 『あすのWA！ジョッキー』 FM 3. 6 (奈良局)
- 『みんな集まれ！なら1300年クイズin平城宮跡』 G 6.13, 8.29
- 『あなたの知らない奈良 総集編』 G 12.19
- 『FM特集 NHK奈良寄席』 FM 3.26 (大津局)
- 『アニメーション湖風疾る～大学が制作するオリジナルアニメーション』 G 4. 3
- 『文珍・南光のおでかけ演芸会』 G 9.19
- 『bjリーグ「宮崎シャイニングサンズ」vs「滋賀レイクスターズ」, 「京都ハンナリーズ」vs「滋賀レイクスターズ」』 G 10.24, 30 (各局共通)
- 『NHKのど自慢予選会』 G ※大阪以外府県域
 「京都府綾部市」(6.5), 「奈良県奈良市」(8. 5), 「大阪府泉大津市」(9.20), 「兵庫県南あ

わじ市」(11. 5), 「滋賀県高島市」(1.22)

『天皇杯サッカー・各府県代表決定戦』 G

京都・和歌山 8.28, 神戸・奈良・大津 8.29

『第77回NHK全国学校音楽コンクール～各府県コンクール』

大阪府域 FM/ 8.30～ 9. 3

京都府域 FM/ 8.30～ 9. 2

兵庫県域 FM/ 8.27, 30～ 9. 3

和歌山県域 G/ 8.29, FM/ 8.30～ 9. 1

奈良県域 G/ 8.28, FM/ 8.30～ 9. 1

滋賀県域 G/ 8.29～31, FM/ 8.30～ 9. 1

3. スポーツ中継

全国放送では、プロ野球、社会人野球、Jリーグ、天皇杯サッカー、センバツ高校野球・全国高校野球選手権、全国高校駅伝、全国女子駅伝、びわこ毎日マラソン、競馬、Vリーグ、WJBL、GP陸上大阪大会、大学ラグビー、学生柔道、甲子園ボウルなどをテレビ・ラジオで中継した。

大相撲春場所は八百長疑惑問題で中止、東日本大震災のためセンバツは大幅な編成の変更があり、特集番組も一部放送を取りやめた。

以下、地域放送実績。新規ソフトは関西学生のアメリカンフットボール。

(1) 高校野球

第92回全国高校野球選手権大会

〈近畿ブロック放送〉

大阪大会 決勝 E・G/ 8. 1

京都大会 決勝 E・G/ 7.26

兵庫大会 決勝 G/ 7.30

和歌山大会 決勝 E・G/ 7.27

奈良大会 決勝 G/ 7.28

滋賀大会 決勝 E/ 7.28

〈地域放送〉

大阪大会 準決勝 デジタルG大阪単/ 7.31

準決勝・決勝

R1他大阪単/ 7.31, 8. 1

京都大会 準々決勝・準決勝

R1京都単/ 7.23～25

兵庫大会 5回戦・準々決勝

FM神戸単/ 7.25～26

準決勝 G神戸単/ 7.28

和歌山大会 準決勝 G和歌山単/ 7.26

奈良大会 準々決勝 FM奈良単/ 7.24～25

準決勝 G奈良単/ 7.27

滋賀大会 準決勝 G大津単/ 7.27

第55回全国高校軟式野球選手権大会 決勝

R1近畿ブロック・松山単/ 8.30

秋季近畿地区高校野球大会

〈近畿ブロック放送〉

準々決勝 R1・FM/10.31, 11. 3

準決勝 R1/11. 5

決勝 R1・FM/11. 6

〈地域放送〉

京都大会 準決勝・決勝 R1京都単/10. 3～ 4

兵庫大会 準決勝・決勝

FM神戸単/10. 3～ 4

滋賀大会 準決勝・決勝

FM大津単/ 9.27, 10. 3

奈良大会 準決勝・決勝

FM奈良単/10. 8, 13

(2) プロ野球

NPB

〈近畿ブロック独自編成〉

「オリックス」対「横浜」 G/ 6.12

「オリックス」対「日本ハム」 G/ 6.20

「阪神」対「ヤクルト」 G/ 4. 9

「阪神」対「オリックス」 G/ 6. 4

「阪神」対「ヤクルト」 G/ 9.10

CS ファーストステージ「阪神」対「巨人」

R1/10.16

R1/ 3.13

(3) Jリーグ・天皇杯サッカー

〈近畿ブロック放送〉

J1「C大阪」対「鹿島」 G/ 5. 5

J1「G大阪」対「C大阪」 G/ 3. 5

〈地域放送〉

J1「神戸」対「山形」 G神戸単/ 4.11

J1「京都」対「清水」 G京都単/ 5. 5

J1「京都」対「G大阪」 G大阪・京都単/10.24

J1「神戸」対「仙台」 G神戸単/11. 6

天皇杯サッカー各府県代表決定戦

第15回和歌山県サッカー選手権大会

G和歌山単/ 8.28

第15回サッカー奈良県選手権大会

G奈良単/ 8.29

第15回大阪サッカー選手権大会

G大阪単/ 8.29

第15回京都サッカー選手権

G京都単/ 8.29

第13回兵庫県サッカー選手権

G神戸単/ 8.29

第15回滋賀県サッカー選手権大会

G大津単/ 8.29

(4) その他のスポーツ

第39回関西学生サッカー選手権～決勝

「大体大」対「同志社大」

E近畿ブロック／6.6

関西大学ラグビー

「関西学院大」対「同志社大」

E近畿ブロック／11.20

関西学生アメリカンフットボール

「関西学院大」対「関西大」

E近畿ブロック／11.28

プロバスケットボール bjリーグ

「京都」対「大津」 G京都・大津単／10.30

「大阪」対「琉球」 G近畿ブロック／11.21

※沖縄局とのインターローカル

「大阪」対「仙台」 G近畿ブロック／1.29

※仙台局とのインターローカル

II. 技 術

1. 番組制作

完全デジタル化に向けて、3-Screens展開など、デジタル化のメリットを生かした質の高い番組制作と地域サービスの充実、また、迅速・的確な緊急報道など視聴者第一主義の番組制作に取り組んだ。

(1) ドラマ番組

『連続テレビ小説～てっぺん』は、尾道の鉄工所の娘として育ったあかり、思い込んだら一直線の性格でお母ちゃんのお好み焼きとトランペットをこよなく愛している。鉄板を囲んで尾道の家族と大阪の仲間たちが繰り広げる涙と笑いの物語、カメラに新たな色調調整機能を付加し、自然な映像表現で茶の間を楽ませた。

京都東映との共同制作となった『ドラマ10～フェイク～京都美術事件絵巻』は、古今東西の美術品の価値を知りつくした主人公が、美術品に隠された真実から、事件の真実を見つけ出す。テーマは“美”と“人間”の裏表。『ドラマ10』枠では初めての1回読み切りのミステリードラマ仕立てで、映画とテレビの専門家が技術力を駆使して撮った力作となった。

また、『かんさい特集～ドラマ 天王寺ブロードウェイ』は、“人情の町”“笑いの町”などさまざまな呼称が大阪には付けられているが、実は“寺の町”でもある。オールロケで「家族とは何か」「地域の絆とは…？」をテーマに天王寺を舞台ににぎやかに明るく描いたハートウォーミング・コメディである。

『ドラマスペシャル～迷子』では、街中に日本

語の全く分からない外国人のお婆ちゃんが突如現れる。そのお婆ちゃんを中心に「出会う、すれ違う、関係を深める、別れる」といった人間模様が、ゆったりと描かれている。

『ドラマスペシャル～大阪ラブ&ソウル この国で生きること』は、海外ロケを含めて全てにおいてリアル感を追求している。日本有数のコリアタウンを抱える大阪を舞台に、現代日本で生きる在日コリアンの家族の姿をドキュメンタリータッチで描く。「国籍」とは何か、「生きていく場所」とは何か。国際化が加速する日本の在り方を問う社会派ヒューマンドラマに仕上がりに、「放送人グランプリ2011」のグランプリ（大賞）を受賞した。

(2) 一般番組

NHK大阪ホールでの公開番組『わが心の大阪メロディー』『大阪発疾走ステージ WEST WIND』『アニソンのど自慢』などの音楽芸能番組や、『歴史秘話ヒストリア』『生活笑百科』『きらっといきる』『まるかじり！アジアン食堂』といった番組を大阪から全国に発信し、視聴者から高い評価を得た。

(3) スポーツ中継

高校駅伝（12月）、女子駅伝（1月）、びわ湖毎日マラソン（3月）において、新規に開発したアンテナを使用するなど、さらに安定した電波伝搬を実現して高画質のハイビジョン映像と、5.1サラウンド音声による臨場感あふれる放送を行った。このほか、恒例の「春夏・高校野球」や「プロ野球」などの中継放送を実施、スポーツの感動をお茶の間に届けた。

(4) 地域番組

上海万博開幕の5月1日には、『上海万博開幕特番』を上海から生放送、平城遷都1300年の奈良からも特集番組の生放送を実施した。また、独創的な発想で成功を収めている地元企業を紹介し、関西経済を元気づける『ビジネス新伝説 ルソンの壺』、地域の社会問題などをホットに伝える『関西熱視線』などでは、関西ならではの地域情報を発信した。このほか、10代の視聴者層に向けた『あはやねん！すきやねん！』など多様な番組を放送している。

(5) 3-Screens展開

より幅広くNHKとの接触者を増やすため、放送に加えて「インターネット」「モバイル」のサービスを展開した。全国高校駅伝（女子・男子）で中継所動画を配信した。動画は新たに携帯サイトやVODへ提供した。音楽コンクールではP2P方式によるリアルタイム動画を配信した。一方、

『あほやねん！すきやねん！』では、携帯で投票する視聴者参加型の双方向番組を制作するなど、3-Screens展開を充実させた。

(6) 選挙放送・緊急報道

選挙放送では、7月の参議院選挙より得票数の表記を刷新した新選挙システムを導入した。視聴者により分かりやすく早く情報を伝えることができた。その後の尼崎市長選や和歌山県知事選挙でも新システムを使用した。

緊急報道では、「郵便不正事件村木元局長 大阪地裁判決」「大阪地検主任検事データ改ざん事件」「尖閣諸島漁船衝突ビデオ流出事件」「大学入試問題 携帯電話による投稿事件」など全国的にも注目度の高い事件事故が発生したが、域内局との連携も含め、迅速・的確な報道を行った。また、7月のワールドカップサッカーでは、ベスト16となった日本チームの関西国際空港での帰国会見を生中継で伝えた。

地震発生時の映像を切り出すスキップバックレコーダーに、映像伝送の迅速化に繋がるファイル転送機能を付加し、大阪局及び域内局の更新整備を完了した。

2. 視聴者とのふれあい (CS活動)

CS活動として、5月および11月の「BKワンダーランド」において、「スタジオ公開」や、NHK技術研究所と連携した「最新技術展示」を実施、NHK放送技術の理解促進に努めた。

小学5年生を対象に、放送局の仕事についての理解促進を目的とした「出前授業」には、大阪府内8校19クラス、670人の参加があり、児童・学校側からも大変好評だった。

また、「のど自慢予選会」では域内にも出向き、「スイッチャー体験」などで視聴者とのふれあい活動を行い、番組に関連する視聴者サービスに努めた。

3. 設 備

(1) 地上デジタル放送のエリア拡大

地上デジタルネットワークの構築は、視聴者に約束したロードマップ中継局を10年12月までに完成させた。10年度は難視対策中継局を含めて71局の整備を実施した（日付は開局日）。

- 10. 4.16／白浜庄川（和歌山）
- 5.10／西宮青葉台，西宮名塩（神戸）
- 6. 1／河内長野寺元，河内長野清見台（大阪）
 - ／上夜久野（京都）
 - ／高野富貴（和歌山）

- ／三郷南畑（奈良）
- 7.24／京都教育（京都）
- 8. 1／京都大岩山（京都）
 - ／猪名川北，相生古池，出石町分，豊岡高屋，豊岡西戸牧（神戸）
 - ／古座，海南孟子（和歌山）
- 9. 1／丹波（京都）
 - ／太子（神戸）
 - ／下津西ノ浦（和歌山）
- 10. 1／枚方尊延寺（大阪）
 - ／丹波豊田（京都）
 - ／竹野，相生鯛浜，西脇合山，豊岡江野，相生佐方，柏原東奥，相生大谷，市川東川辺（神戸）
 - ／高野山，高野山東，新宮佐野，下万呂（和歌山）
- 11. 1／淡路一宮，三木志染，丹南等野，丹南古市，神戸楠谷，猪名川木津（神戸）
 - ／海南小野田南，海南大谷，貴志川丸栖（和歌山）
- 12. 1／將軍塚，京都松ヶ崎，田辺大住（京都）
 - ／市川鶴居，播磨新宮，篠山立町（神戸）
 - ／香芝関屋（奈良）
 - ／菩提寺，土山鮎河，土山大河原（大津）
- 12.25／宇治白川（京都）
 - ／神戸灘，津名，神戸住吉川，姫路出屋敷，今田新田，姫路石倉，姫路西脇，神戸白川（神戸）
 - ／潮岬，海南坂井，那智勝浦，印南，和歌山山東（和歌山）
 - ／桜井慈恩寺（奈良）
 - ／朽木葛川，日野鎌掛（大津）
- 11. 3.31／貝塚木積（大阪）

これにより地上デジタル放送のサービスエリアは、近畿全体で約799万世帯（約97%）となった。11年度は難視対策中継局4局と補間波整備1局を計画している。

(2) NHK共聴への地上デジタル放送導入

10年度は、近畿全施設への導入達成を目指し、未導入92施設への対応に取り組んだ。

年度末までにAランク17施設、現行受信点でデジタル受信が困難なBランク55施設に地上デジタル放送を導入するとともに、12施設については施設の老朽化に伴う大規模改修工事（光化）時に合わせて地上デジタル放送・BSデジタル放送を導入した。

05年度にスタートしたNHK共聴への地上デジ

タル放送導入は10年度をもって全て完了し、導入済み施設は延べ659施設となった。

また、地上デジタル放送の導入と合わせてNHK共聴施設の自治体ケーブルへの移行等に関連した施設の廃止に対応し、10年度は113施設の廃止と撤去を行った。

(3) 番組制作・送出設備の整備

老朽化した大阪局T-2スタジオの照明設備を更新し、より多彩な演出要件への対応が可能となった。また、地上デジタル放送開始以降稼働している大阪及び近畿域内局の自動送出設備において、老朽化の著しい部分を更新することで設備の延命を図った。

(4) 災害・緊急報道対応設備の整備

従来と比較して狭帯域で効率的な伝送が可能な通信衛星による素材伝送受信システムを増設したほか、局外から通信衛星を経由して素材伝送可能な可搬型衛星伝送設備を整備し、緊急・災害報道においてこれまで以上に迅速な素材伝送を可能とした。

また、気象・地震系の作画設備や震度計の更新、緊急地震速報の迅速化整備など、災害報道の更なる信頼性向上を図った。

4. ネットワーク技術

(1) 視聴者の視点に立った地上デジタル放送への対応と良好な受信環境の確保

近畿広域地上デジタル放送推進協議会の一員として、「地上デジタル放送難視地区対策計画」に登録されている難視地区の対策計画策定と、各自治体や難視地区への地元説明に取り組んだ。

その結果、10年12月末時点で登録されている約1,000地区について、ほぼ全地区の対策計画を策定した。

また、09年度に京都市周辺部と中心部における教育テレビ、広域民放4社の難視解消に向け、比叡山親局に併設の検討を進めていた京都中継局をアナログ終了1年前の10年7月24日に開局させた。その他6局の難視対策中継局を開局させた。

(2) 受信インフラ整備に向けた取り組み

近畿の最大課題である障害対策共聴地区のデジタル移行促進に向けて、スポットや番組などによる周知PRを積極的に展開した（「地デジ笑百科」、「地デジ芸人を目指せ！」など）。

また、新たな施策として、「ビル陰地区地デジ普及キャンペーン」が12月にスタートし、参加電器店・工事店も拡大し、障害対策共聴地区のデジタル化に貢献している。加えて、阪神地区特有の

受信システムに起因するデジタル総合受信不良の問題については、1月17日から視聴者への電話受信確認調査（テレマ）活動や訪問受信相談を展開し、積極周知を通じ自主的なアンテナ改修を促している。

近畿域内のデジサポとも、デジタル化の進捗状況や課題地区実態ごとの移行方法についての協議を踏まえ、ケーブルテレビやアンテナ施工業者連携の「スクラム2011活動」を推進した。障害対策共聴加入者を重点に当事者意識の高揚とアンテナ設置・ケーブル加入勧奨につなげている。

特に障害対策共聴施設の多い京都・兵庫地区に対しては、デジサポ・ケーブルテレビ連携のローラー訪問や自治会回覧板方式による周知など、大阪地区での成功事例を基にしたクロージング活動の展開につなげた。

(3) 自主共聴等支援策への取り組み

自主共聴のデジタル化完結のために、域内各局担当者とのプロジェクト会議や、技術支援業務受託会社との連絡会を定期的で開催し、情報と課題の共有を基にした組合対応の強化に努めた。

10年度全般にわたる継続的な組合対応・取り組みにより、近畿で1,873施設ある自主共聴施設のうち1,708施設（91.2%）のデジタル化対応完了につなげた（ケーブルテレビへの移行を含む）。

なお、これらデジタル化を終えた施設のうち、673施設に対しては自主改修に向けた技術支援を、828施設に対してはNHK助成をそれぞれ実施している。

また、残るデジタル化未対応の施設についても、ほぼデジタル化のめどがつく状況に至っている。

(4) デジタル放送の受信普及への取り組み

活動に当たり、①「ぐるっと関西おひる前 教えて！デジタルおじさん」による放送、②講習会などによるデジタル放送受信技術の向上、③「デジタル放送おたのしみガイド」「アナログ放送終了チラシ」など周知刷成物の配布の3つの柱を立てたうえ、家電流通業界やケーブルテレビ事業者と連携し周知活動を展開した。近畿ブロック内のデジタル受信機普及と拡大とCAS開示増加、視聴者のCS向上に努めた。

また、3-Screens展開の一環として「教えて！デジタルおじさん」のウェブ展開やDVD化を局内関係部署と連携して実施した。

(5) 東日本大震災への総合支援

3.11に発生した東日本大震災では、近畿技術が一丸となり、緊急報道中継や現地避難所へのテレビ・ラジオ受信機設置など、発災直後より要員・

機材の支援を行った。

また、被災地の放送確保のために必要な発電機用燃料（取材車両用燃料も含む）や乾電池などを東北各地に送った。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

10年度近畿ブロックでは、428件のイベントを実施した。視聴者サービスの充実と視聴者結び付きの強化に努めた結果、参加者は237万3,746人となった。大阪局では開局85周年に合わせ『狂言新時代』（6.14収録）や『よみがえる関西のオーケストラ作品』（8.5収録）などの公開番組をはじめ、数々の記念事業を実施した。また平城遷都1300年記念関連事業として、奈良国立博物館での「大遣唐使展」および多くの関連イベントを開催し、番組とともに記念事業全体の盛り上げに貢献した。また、後期の『連続テレビ小説〜てっぺん』に合わせて「踊る！てっぺんダンス」巡回イベントを立ち上げ、視聴者参加型のイベントとして、全国で1万5,000人を超える参加者を集めた。

（1）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『それいけ！民謡うた祭り』『ザ少年倶楽部』『わが心の大阪メロディー』『上方演芸会』など117本をNHK大阪ホールと近畿各地で実施した。

（2）展覧会

「長谷川等伯展」（4.10～5.9 京都国立博物館）、「平城遷都1300年 大遣唐使展」（4.3～6.20 奈良国立博物館）、「NHK大河ドラマ特別展 龍馬伝」（6.19～7.19 京都文化博物館）、「地球最古の恐竜展」（10.9～11.28 ATCミュージアム）、「特別展 住吉さん」（10.9～11.28 大阪市立美術館）、「生誕100年 白洲正子展」（10.19～11.21 滋賀県立近代美術館）、「第57回日本伝統工芸展」（10.13～18 京都高島屋、3.10～15 大丸心齋橋店）などを実施した。

（3）教育・子どもイベント

「第57回NHK全国高校放送コンテスト府県大会」「第27回NHK杯全国中学校放送コンテスト府県大会」「第77回NHK全国学校音楽コンクール府県コンクール」「同ブロックコンクール」を6月から9月に、「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を年間を通じて近畿各府県で実施した。

「おかあさんといっしょスペシャルステージ 青空ワンダーランド」（8.21～22 大阪城ホール）、「

「NHKこどもミュージカル」（11.21 NHK大阪ホール）、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（12.18～20 NHK大阪ホール）などを実施した。

2. 営業

（1）全体状況

10年度の近畿ブロック受信契約の増加数は9万8,000件、衛星増加は13万4,000件と09年度を大幅に上回る増加数を確保した。

（2）受信料の公平負担に向けた取り組み

10年度活動は、3か年経営計画の2年目「支払率の向上」に向けたステップの年として、近畿営業も地域スタッフ体制の刷新、公開競争入札による法人会社の業務委託施行をブロック内7エリアに拡大し、契約取次と支払再開業務へのパワーシフト体制を整え、近畿営業全体で好業績を確保することができた。

また、ホテル・旅館等の契約適正化に向けて、業界団体の取りまとめを活用した取り組み強化にも努め、契約増加1万6,000件、衛星増加1万1,000件の増加が得られた。

さらに、民事手続きによる支払督促をブロック全域で行い、公平負担の徹底に努めている。

外部委託の運用については、民間事業者の創意工夫やノウハウの活用によって、支払率向上と営業経費削減の両立を図る施策を継続、拡大した。

3. 広報

（大阪局）

①経営広報・番組広報

月1回、関西放送記者会加盟18社を対象に局長定例会見を開催し、大阪局および域内局の放送を中心とした幅広い事業内容について広報した。

番組広報では、尾道と大阪を主な舞台とした大阪局制作の『連続テレビ小説〜てっぺん』は、「てっぺん委員会」を発足させ、全局体制でPRに取り組んだ。特にオープニングで大勢の人々が踊っている「てっぺんダンス」が話題になり、ホームページでの教則動画を掲載し、事業部と連携して、てっぺんダンス全国巡回イベントを実施した。また、てっぺんPR用のグッズ（独自ポスター、うちわ、クリアファイル、ミニこて、法被、旗、シール）を作成し、イベントを盛り上げた。

さらに、新たな試みで、道頓堀の巨大広告や携帯3種で若年層へのPRも行った。

『かんさい特集〜ドラマ 天王寺ブロードウェイ』（7.30）、『ドラマスペシャル 大阪ラブ&ソ

ウル この国で生きること』(11.6),『ドラマ10～フェイク～京都美術事件絵巻』(連続6回)(1.4～2.8),『ドラマスペシャル～迷子』(2.19)や秋からの新番組『まるかじり!アジア食堂』など取材会・試写会など実施した。

関西地域の番組と大阪局制作の番組を紹介する冊子を作成し、番組PRに努めた。

②視聴者広報

NHK大阪局に親しんでもらうため、事業部とともに5月1～5日に「BKワンダーランド・春」を、10月30～31日に「BKワンダーランド・秋」を開催し、スタジオセットの公開やさまざまな公開番組を実施した。「春」には延べ10万人、「秋」には4万人を超える来場者があった。

また、これとは別に広報部では8月5～15日に「BK85なつ祭り」を、3月11～21日には「BK86さくら祭り」を開催した。「さくら祭り」では、『連続テレビ小説～てっぱん』のスタジオセット公開のほか、一般から募集した写真を展示する「新しい命と家族の写真展」を実施し、東日本大震災の影響で特設ステージでのイベントが中止になったにもかかわらず、約3万1,000人が来場した。

放送会館内の見学コース「BKプラザ」には、10年度1年間に44万人が訪れ、11年1月には01年の開館以来の来館者が累計で400万人に達した。「BKプラザ」のアーカイブスコーナーに、大阪局保存のニュース映像を検索して見ることのできる「タッチパネルBKふるさとアーカイブス」を新たに設置した。また、公開番組スタジオ「BKプラザスタジオ」では「あなたもキャスター☆君もカメラマン」(体験見学)や「3Dハイビジョン映像体験」などを定期的に開催したほか、イベントに合わせて絵本の読み聞かせや工作教室など、家族連れや子どもたちを楽しんでもらう催しを開催した。

「ふれあいミーティング」は大阪局主催で27回実施し、381人の視聴者と対話を行った。

10年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は電話、手紙、来局、メールなど合わせて約17万1,000件だった。

【京都局】

10年度、京都放送局では接触率向上のために親しみの持てる放送局を目指した地域サービスの向上と「NHK講座」など、若者対策の更なる充実を重点目標に広報活動を展開した。

「NHK講座」は会場をキャンパスプラザ京都から立命館大学衣笠キャンパスに移し、開催日の

見直しや内容の充実を行ったことで履修者は09年度の1,740人を大きく上回る3,627人となり、NHKに対する一層の理解促進を図ることができた。

2年ぶりに実施した「会館公開」は09年度は選挙の影響で延期になり、二条公園の特設ステージで、『FMサウンドポケット なみはな』の公開収録や地元中学校の吹奏学部の演奏、京都大学学生による大道芸など、地元の人々の参加によるプログラムで大いに盛り上がった。2日間を通して8,700人の来場者があり、地域の皆さんに楽しんでもらうことができた。

9月には地デジ普及を目的としたイベント「京から地デジ!NHKデジタルスクエア」を、ショッピングセンター・イオンモールKYOTOで実施し、地デジをテーマとしたキャラクターのステージショーのほか、デジタル放送に親しんでいただくブースなどを展開して、2日間で2万4,000人の参加者に対して地上デジタルのPRができた。

その他、京都局携帯サイトの広報につながる活動として、1月の全国都道府県別対抗女子駅伝では会場に設置したブースにおいて、当日限定のドーもくん携帯待ち受け画面プレゼントを行った。

中学生の職場体験は京都市内の中学校3校から4人を受け入れ、番組作りなど放送局の仕事を体験してもらった。また、実施校の推薦により、京都市教育委員会から感謝状を受けた。

通常の局内見学は年間来館者数が2,000人を超え、10年度新設した体験用プロンプターが大変好評で満足度の向上を図ることができた。

【神戸局】

「JR福知山線脱線事故から5年」「参議院選挙」「佐用町の水害1年」「尖閣衝突映像流出事件」「全国最年少の女性市長・尼崎市長選挙」「阪神・淡路大震災から16年」など、兵庫県が抱える課題を掘り下げて取材し、地域放送で重点的に伝えながら、ブロック放送や全国放送を幅広く発信した。

『ニュースKOBEL発～我が町ケーブルテレビ』、神戸新聞と共同企画のミニ番組『ひょうご再発見～礎～近代が残したもの』など、地元マスコミやケーブルテレビと協力しながら、きめ細かな地域の情報を発信した。

県民からのニーズが高く、また、アナログ時代において、大阪の電波を受信することの多かった阪神地域の情報をふんだんに伝えるべく、『ニュースKOBEL発～ふるさとキャラバン・阪神』、『兵庫特集 新兵庫史を歩く えべっさんと酒蔵の道～西宮市』の放送や、キャンパスミーティン

グの西宮開催（関西学院大学）、『ニュースKOBЕ 発～兵庫ぶらり旅』やミニ番組シリーズ『ひょうご再発見～礎～近代が残したもの』のロケ地を阪神地域に指定するなどの放送・イベントの集中編成により、情報発信を強化し、神戸局の存在感を高めた。

「いのちを守る放送局」として、阪神・淡路大震災や集中豪雨などの災害の教訓を引き継ぎ、被災者の思いを伝えるために、「震災いのちのきずな」やニュース企画を年間を通して発信した。また、震災の日を中心に、『おはよう日本～鎮魂の祈り』や『ひょうご安全の日 1.17のつどい』の中継や『NHKスペシャル～防災クライシス』『クローズアップ現代』などの集中編成を行った。

また、09年夏の集中豪雨で大きな被害を受けた県西部の復興を支援するため、『かんさい熱視線』『にっぽん紀行』『ニュースKOBЕ発～復興キャラバン・佐用』の放送や、「上方演芸会」などのイベントを実施した。

JR福知山線脱線事故は、発生から5年たった。被害者に寄り添い、悲劇を繰り返さないためには何が必要なのかを取材・発信し続けた。

インターネットのコンテンツの充実を図るため、ホームページのトップページのリニューアルや「チーフカメラマンが明かす撮影のコツ」の新設、「ジャズライブKOBЕ」の掲載などを実施した。また、データ放送を使った防災情報伝達の仕組み「安心・安全コモンズ」の早期導入に取り組んでいる。

（和歌山局）

10年度は「もっと知ろうwakayama」キャンペーンを開始し、夕方の県域情報番組『わかやまNEWSウェブ』内で5秒PRクラッチを流すなど、周知を図った。なお、同番組は10年度で7年の歴史に幕を閉じた。

10年は日本とトルコの友好の礎となった「エルトゥールル号事件」から120年という節目の年に当たり、放送ではカメラマンによるトルコ現地取材も含めた番組制作、事業では縁の地を巡る「串本ウォーク」イベントの開催など、さまざまな側面から連携を図った。また、春と秋に世界遺産の熊野古道を歩く『街道でてく旅』が放送されたことから、同番組を生かした営業活動を行い、紀南のホテル・旅館対策で大きな成果を上げることができた。

和歌山局は11年1月で開局75年を迎え、3月に75周年記念となる会館公開を行った。なお、局内体制の変更により、今回から企画総務が全体運営

を担当した。当日は、過去に『わかやまNEWSウェブ』に出演した和歌山出身アーティスト3組を講師として招いたアート体験教室や、『連続テレビ小説～てっばん』の滝沢薫役の長田成哉さんをゲストに迎えてのWAKA葉サポーターとのふれあいミーティング、てっばんダンス教室など積極的に新しい試みを行った。部の垣根を越えての提案・協力がスムーズに行えたため、充実した内容のイベントが実現可能となり、前回は上回る1,100人を集めることに成功した。

地上デジタル放送は、県内の世帯カバー率100%を達成した。技術部で“ちらし”を付けたポケットティッシュやマスクなどのノベルティーを作成し、地デジ移行周知活動も積極的に行った。

（奈良局）

10年度は平城遷都1300年で盛り上がりを見せる県内の関連情報を中心に、ニュースや話題を県域、関西、全国、世界に発信した。5年目を迎えた『ならナビ』では、「奈良まほろば散歩」「せんとくん通信」を新設したほか、「やまとの国宝」「この人に訊く」「今なら!」「水曜特集」など、平城遷都1300年の放送を第一の重点とし、集中的に取り上げた。また、県民1,300人が将来の夢を語る「なら1300人の夢」も放送し、年末の『ならナビ～年末スペシャル』の生放送で1,300人のオンエアを達成した。4月から11月にかけて、平城遷都1300年祭のメイン会場である平城宮跡に、サテライトスタジオを開設し、県内のお出かけ情報を伝えたほか、特集番組でも活用した。

ニュースも、4月23日の大極殿完成記念式典、10月8日の平城遷都1300年記念祝典など、遷都1300年関連の報道を中心に、連日ニュースで取り上げた。また、鳥インフルエンザの発生、東日本大震災に伴う奈良での支援の動きや、7月の参議院議員選挙開票速報など、正確・迅速な報道や多種多様な企画リポートを行った。そのほか、卑弥呼の宮殿があったとも言われる纏向遺跡の発掘などについては、08年度から長期密着取材を続けており、1月23日に『NHKスペシャル～「邪馬台国」を掘る』として放送し、大きな話題を呼んだ。

遷都1300年関連番組の集大成として、10月17日にはBS2で『あなたの知らない奈良～美と風景と生き方の再発見物語』を6時間にわたり全国放送した。奈良県庁の屋上の特設スタジオをキーステーションに、平城宮跡・薬師寺・興福寺・明日香からの五元中継で生放送し、1300年を超える歴史と文化の重み、深みをたっぷり伝えた。

イベントでは、「NHKなら万葉ウォークⅡ」

「みんな集まれ！なら1300年クイズin平城宮跡」「NHKなら寄席」などを番組と連動して開催した。また、NHKが制作した歴史番組のコンピューター・グラフィックスを三次元化した「バーチャル3D古代ロマン」を、さまざまなイベントに合わせて開催し、創建当時の極彩色の東大寺大仏殿の内部や、卑弥呼が君臨していたとも言われる纏向遺跡の巨大な建物を、多くの来場者が鑑賞した。そのほか、『ラジオビタミン』初の公開生放送を、平城宮跡からの生中継も交えて、生駒市から実施した。

広報強化の一環として、「nara通信」を継続して発行したほか、配布先も全市町村や各自治体などに拡大し、また、PDF化して、ホームページにも掲載を始めた。県内有識者による「視聴者会議」や、公開番組・イベント時に視聴者の意見、要望を伺う「ふれあいミーティング」も引き続き開催し、会館公開など公共放送への理解促進イベントも行った。また、データ放送でも、番組・イベント情報や、県内自治体から寄せられたさまざまな情報を「くらしと安全情報」「お出かけ・イベント情報」などとして展開した。

〔大津局〕

10年度の県域放送『おうみ発610』は、「人・湖・未来」をコンセプトに、自然と人との関係と、地球環境を映し出す鏡とも言える「びわ湖」で起きているさまざまな環境問題を多角的に伝えた。地球温暖化が進む中、びわ湖を守る取り組みや研究、湖国の暮らしなどについて「びわ湖クローズアップ」のコーナーで継続的に発信するとともに、11年放送の大河ドラマ『江～姫たちの戦国』の舞台となった場所やエピソードを「江～歴史紀行」のコーナーで紹介した。10年度の後期から県域放送『おうみ845』をスタートし、県内のきょうのニュースと滋賀の“いま”を伝えた。

全国放送では、『あさイチ旬旅10 いってみたい！近江八幡』『生中継ふるさと一番！～多賀町・大津市・長浜市』『近江山河抄～女優真野響子 白洲正子と往く旅路』などを制作し、滋賀県の魅力と伝統を守る人々の営みを全国に発信し好評を得た。

また、近畿域内放送では『関西もっという旅』『かんさい特集～文珍・南光の家訓をたずねて』などを制作し、滋賀県の自然と歴史や文化を掘り下げて伝えた。

4月に、11年放送の大河ドラマ『江～姫たちの戦国』の情報を大津局公式ホームページで新たに公開して、地域および全国の視聴者にドラマ情報

や大津局制作の関連番組、イベントを周知し、「江～歴史紀行」の動画配信を行った。また、10月には、「デジタル放送」「大河ドラマ『江～姫たちの戦国』」「環境」の3つをテーマにした会館公開「QPふれあいひろば2010」を開催するなど多彩な広報活動を展開した。

地上デジタル放送では、11年7月の完全デジタル化に向けて、中継局の開局や受信インフラのデジタル化を進めたほか、『おうみ発610』の「月刊デジサポ滋賀」コーナーなど地域放送との連携やイベント開催など効果的な受信機普及活動を展開した。

中国

- ◇非核への国際的な議論が一步進んだ被爆65年の夏、例年にも増して数多くの核・平和関連番組を放送し、非核・平和へのメッセージを発信した。
- ◇中国地方で多様な発展を遂げてきた神楽の豊かな魅力に迫る『神楽烈々』シリーズを2010年度後期の柱と位置づけ、多彩な番組を展開した。
- ◇中国地方の地域の宝を再発見する旅番組『あいたい』は本数を増やし、さらなる定着を図った。
- ◇大雨・大雪などの災害・緊急報道では、迅速かつ確に情報を提供した。データ放送や携帯電話でも機動的に情報発信し、防災・減災情報の充実に努めた。
- ◇第22回参議院選挙では、公正で正確な選挙報道を実施し、有権者の判断のよりどころとなる情報を伝えた。

I. 放送

1. 放送の概要

(広島局)

金曜夜間を“地域をみつめる時間帯”とし、硬軟取り混ぜた多彩な番組を編成した。『神楽烈々』シリーズ(G, 中国ブロック)では、神楽の魅力や貴重な映像資産として記録し放送した。旅番組『あいたい』(G, 中国ブロック)は本数を増やし、中国地方各地の自然や風土・文化の魅力を再発見して伝えた。『熱討ちゅうごく』(G, 中国ブロック)では、子どもの安全や高齢者の孤立・若者の結婚問題をテーマに、視聴者、有識者とともに地域の課題を徹底討論した。『ふるさと発』(G, 中国ブロック)では、急激な円高が地域経済に与える影響や豪雨・豪雪などの自然災害、さらには中国地方出身の若手アーティストの活躍などを機動的に取材し放送した。『いっちゃん!ひろしま』では、県政の課題を直接県知事に問うなどの内容で県民の関心に応えた。

夕方6時台の『お好みワイドひろしま』は、県民の関心の高いニュースを分厚く伝えるなど、地域に密着し幅広い話題を取り上げて定着を図った。

午前11時台の『ひろもり』では、県内各地の話題や情報をきめ細かく伝えた。10年度は暮らしの安全情報や食の情報を強化した。

金曜夜9・10時台にはFMで『ぶち☆なま』を新設した。若者の本音に向き合う双方向番組として、若年層との結び付きを深めた。

核・平和関連では、“過去を見つめ、未来へ”をテーマに多彩な番組を展開した。『NHKスペシャル〜封印された原爆報告書』(G, 8.6, 全国)や『原爆投下を阻止せよ〜“ウォール街”エリートたちの暗躍』(G, 8.5, 中国ブロック)では、原爆投下前後の知られざる事実を掘り起こして伝えた。平和の願いを歌に込めた『いのちのうた2010広島』(G, 8.7, 中国ブロック)、子どもたちへ向けた『えほんでつたえるげんぱく』(G, 8.6, 中国ブロック)、若者と双方向で語り合った『ぶち☆なまTV〜ボくらが平和のためにできること』(G, 8.7, 県域)、4年目を迎えた『ヒバクシャからの手紙』(G・R1, 8.8, 全国)、音声波でも『井上ひさしのメッセージに挑む〜広島のある市民劇団の夏』(R1, 8.14, 全国)などの多様な視点やスタイルの番組で幅広い世代へ被爆の記憶を継承し、平和へのメッセージを発信した。

『連続テレビ小説〜てっぺん』に関しては、尾道市ロケのメイキング番組やインターネットでの関連企画を連動させ、ドラマと地元を盛り上げた。

(岡山局)

子どもの健やかな成長や子育てを社会全体で支援する「みんなで子育てキャンペーン」を実施した。『ニュースコア6 岡山』で毎週、児童虐待、不登校、育児支援、学力向上など年間を通じて特集した。特に同キャンペーンで取り上げた流産を繰り返す病気「不育症」は、『ふるさと発』(G, 9.10, 中国ブロック)や、『おはよう日本』特集(G, 9.14, 全国)、『福祉ネットワーク』(E, 11.11, 全国)や『あさイチ』(G, 11.29, 全国)で放送し、大きな反響を得た。

10年2月1日に開局80年を迎えるにあたっては、年度後半の10月から半年間、開局80周年事業を実施した。「まいにち、びっくり箱」のキャッチコピーのもと、アーカイブ映像を活用したスポット(36本、延べ182回放送)や毎週のレポート、さらにウェブ、イベントの各方面から多彩な取り組みを展開した。なかでも2月1日の開局記念日前後の1週間を“80周年ウィーク”とし、特集番組やイベントを集中的に実施した。特集番組では、岡山に伝わる温羅伝説を基にしたオリジナル脚本による舞台公演『浅野温子よみ語り〜岡山はじまり物語』(G, 1.28, 県域)を公開収録し、放送した。同番組は、BSHiとGTVでも全国向けに放送した。そして、開局記念日特別番組『岡山

を見つめ続けて～80年の記録、そして未来』(G, 2.1, 県域)で岡山の歴史と今後の課題を、『輝け!月刊岡山トラのアナ・グランプリ』(G, 2.4, 県域)では、4年にわたり放送してきた県域番組の総集編(最終回)として38回の放送を振り返り、岡山の魅力を改めて伝えた。さらに、『80周年アーカイブス名作選』(G, 1.15, 22, 2.11, 18)では4週にわたり8番組をアンコール放送した。また、1年にわたり四季折々の後楽園を記録して『映像詩 岡山後楽園の四季』(G, 3.20, 県域)にまとめ、放送した。

金曜夜間では、4年目を迎えた『月刊岡山トラのアナ』で、「岡山駅」「旭川」「岡山大学」「あんこ」「後楽園」「大原美術館」などをテーマに年間9本を制作し、知っていそうで知らない岡山の魅力を伝えた。

全国放送番組では、『産地発!たべもの一直線 岡山 倉敷市発 たこ』(G, 8.15),『生中継 ふるさと一番!～岡山駅, 児島ジーンズ』(G, 9.20, 21),『にっぽん紀行～山で見つけた“医の心”～北アルプス・医大生診療所』(G, 9.20),『小さな旅～こころの糸～岡山県 倉敷市児島』(G, 10.16),『カラフル!世界の子どもたち～わたしもトライを決めたい』(E, 11.25),『百歳バンザイ! 学者の道を貫いて』(G, 1.8)などを制作・放送し、岡山県の魅力を全国に紹介した。

〔松江局〕

10年度は、『しまねっとNEWS 610』に「元気 笑顔フラッグが行く」のコーナーを立ち上げ、地域で生き生きと暮らす人たちを紹介した(45回)。また、鳥根原発の点検漏れや医療過疎の問題、さらに斐川町の合併などは、継続的に記者解説を交えて伝えた。捜査が続く浜田市での女子大学生遺体遺棄事件は、地域の防犯対策などを、海外での先進的な取り組みとともに『どう守る 地域の安全』(G, 11.5, 県域)で番組化した。7月の参院選の開票速報では、保守の底力を出口調査の結果等をもとに分析した。緊急報道では、松江市内の落石事故について『おはよう日本』などで現場リポートを中継した(G, 7.16, 県域・全国)。地域発ドラマとして、アイドルが故郷松江に帰り、農業に打ち込む姿を描いた『農ドル!』(G, 7.2, 16, 県域・中国ブロック, 9.23, 全国)を制作した。小泉八雲の生誕160年を記念して、鳥根県出身の画家・安野光雅さんが、八雲の故郷ギリシャを訪ねた『母の面影を求めて』を放送(G, 10.1, 中国ブロック)。また、八雲の日本での足跡をたどる『八雲紀行』(G, 県域, 6.27より月1回で7

回放送)を制作した。さらに、八雲の世界を体感するイベントも行った。『連続テレビ小説～ゲゲゲの女房』に連動した、3-Screens展開と安来市大塚地区での関連イベントを実施した。若者や高齢者向けの視聴者参加型番組『アラハタ! QUEST』『倶楽部R65』と地域の活性化に取り組む人々を描いたミニ番組『地域を創る』は、大きな反響があり継続とした。

〔鳥取局〕

夕方6時台の『いちおしNEWSとっとり』では県内ニュースを記者解説やリポートで詳しく伝え、地域の課題は金曜夜間の番組にも展開して掘り下げた。特に鳥取県西部地震から10年になる10月には企画や番組を3週にわたって放送した。昼前の『とっとりくらしの情報便』では生活に役立つ情報を、FMの『鳥取文芸館』ではアナウンサーによる朗読を届けた。年末年始の記録的な大雪災害では緊急報道に全力を尽くし、検証番組も放送した。全国放送では鳥取の自然や人の魅力を発信したほか、在宅終末期医療をテーマに『目撃!日本列島』(G, 10.9),写真に挑む聾学校生をドキュメントした『にっぽん紀行』(G, 12.21),全国で建設業者頼みの災害対応が難しくなっている実態を明らかにした『クローズアップ現代』

(G, 2.17)などを放送した。一方、若者向け県域番組を新たに開発し、お笑いコンビが県内をぶっつけ本番で旅する『√るーと』を22回放送、3月には視聴者参加の公開番組も行った。スポーツでは地元サッカーチーム「ガイナレ鳥取」を応援するシリーズを夕方6時台で連続37回放送、試合の中継に加えJ2入りの特番も制作した。年間で99本の番組を制作する一方、若者向け番組やサッカーを中心にホームページや携帯サイトへの展開にも力を入れた。海外取材では北朝鮮による拉致被害者家族の韓国訪問に同行し番組にも展開したほか、県が交流を進める韓国カンウォン道に取材班を派遣、IPを活用することで費用をあまりかけずに中継を含めたシリーズを夕方6時台で放送した。

〔山口局〕

13年ぶりとなる地域放送の改定を実施し、夕方6時台は新番組『情報維新!やまぐち』がスタート。最新のニュースから文化・歴史まで地域に密着した情報を伝えた。また、09年の豪雨災害以降、特に関心の高い気象情報を充実させた。昼前では、新番組『カフェのんた』がスタート。地産地消や子育て、ペットなどをテーマに地域の生活情報を伝えた。

多数の犠牲者が出た09年7月21日の豪雨災害から1年後を期に、被災者へ「その後の防災意識の変化」などについてアンケート調査を実施。その結果を基に『検証 豪雨災害から1年～問われる地域の防災力』(G, 7.3, 県域)を放送した。さらに、その放送後の7月10日から降り始めた大雨による水害についてもテレビとラジオで迅速な報道を行った。

この他、春を待つ老婦人の日常を追った『にっぽん紀行 ひとり 桜の里で』(G, 4.29, 全国)、日本海の環境をテーマにした『どうなる“マグロのゆりかご”』(G, 9.3, 県域)、山口県の交通死亡事故死者数が人口比で全国ワースト1になったことを受けて行った『なくそうやあ!交通事故キャンペーン』(G, 10~1月, 県域)などを放送し、地域に暮らす人々の姿や地域が抱えるさまざまな課題を浮き彫りにした。

また、関門海峡を挟んだ下関と門司の2つの会場を中継で結んだ『関門海峡歌合戦』(G, 11.14, 山口・北九州)を生放送。勝敗の判定は、地デジ双方向機能を使ってすべて視聴者が行うという方式で実施し、地デジ放送の魅力を伝えた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう〇〇(県名)』 G

月~金 7:45~ 8:00

第1回93.4.5/県域/県内のニュースやきょうの動き、気象情報、交通情報に加え、各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。また、企画シリーズ「環境最前線」「未来に伝える戦争」や、中継シリーズ「ふるさとの朝」などを随時放送した。

『NHKニュース おはようちゅうごく』 G

土 7:30~ 8:00

第1回93.4.10/中国ブロック・一部県域・一部西日本ブロック/西日本各地の朝の表情を伝える中継やリポート、週末イベント情報など、多彩な内容のニュース・情報番組。

『ひろもり』(広島局) G

月~金 11:30~12:00

(松江) 11:40~12:00

(山口) 11:45~12:00

第1回08.4.4/各県域/生活・文化・健康など、暮らしに役立つ情報番組。

(各局タイトル)

『おかやま ひだまりカフェ』 (岡山局)

『ひろまえしまねっと』 (松江局)

『とっとりくらしの情報便』 (鳥取局)

『カフェのんた』 (山口局)

『お好みワイドひろしま』(広島局) G

月~金 18:10~18:59

第1回84.4.2/県域/広島県内のニュースを視聴者の目線に立って、分かりやすく伝え、五輪招致や過疎など県民の関心が特に高いテーマは「ニュースアップ」「特集」で分厚く放送した。また、旬の食べ物などの身近な話題は「情報BOX」などで紹介した。地域に密着して幅広い話題を取り上げるニュース番組として定着を図った結果、民放を抑え3年連続で視聴率1位となった。

(各局タイトル)

『ニュースコア6 岡山』 (岡山局)

『しまねっとNEW 610』 (松江局)

『いちおしNEWSとっとり』 (鳥取局)

『情報維新!やまぐち』 (山口局)

『ひろしまニュース845』(広島局) G

月~金 20:45~21:00

第1回96.4.1/各県域/県内の一日の出来事をコンパクトにまとめて伝えるニュース番組。

(各局タイトル)

『岡山ニュース845』 (岡山局)

『しまねっと845』 (松江局)

『とっとりニュース845』 (鳥取局)

『やまぐち845』 (山口局)

『ふるさと発』 G

第1回01.4.6, 最終回11.2.18/中国ブロック・随時各県域/地域経済の現状や自然災害への対策などを機動的に取材し、中国地方の“いま”を切り取る番組。経済・産業・社会・医療・文化などさまざまな視点で地域を見つめた。

『NHK中国地方放送番組審議会』 G

第1回97.11.16/中国ブロック/番組審議会の審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』 R1 月~土 7:40~ 7:58

第1回89.4.3/中国ブロック/気象・交通など朝に欠かせない情報やニュース、旬の人や時の話題を紹介する電話インタビューで構成。

『ゆうナビ!』 新 FM

月~木 18:00~18:50

第1回10.3.29, 最終回11.3.24/中国ブロック/交通行楽情報など帰宅中のドライバーに役立つ情報をリクエスト曲やお便りとともに紹介。

『ゆうナビ!スペシャル』 新 FM

金 18:00~18:50

第1回10.4.2, 最終回11.3.25/中国・四国ブロック/金曜は広域イベント情報も交えて放送。

『ぶち☆なま』 新 FM	れの旅立ち	
金 21:10～22:45		広島局／ 4. 2
第1回10.4.2／広島県域／恋愛・受験・就職などをテーマに、若者の本音に向き合う双方向番組。ポッドキャスティングやツイッターも展開。	「倶楽部R65～2010 春」	松江局／ 4.23
	「地域発ドラマ 農ドル！」	松江局／ 7.16
(2) 特集番組 (核・平和関連番組を除く)	「倶楽部R65～2010 秋」	松江局／ 9.24
(中国ブロック)	「母の面影を求めて～安野光雅	八雲の原点を描く」
『ふるさと発スペシャル～熱討ちゆうごく』 G		松江局／10. 1
「子どもの安全を守れ！～どうする？ 子どものケータイ」	「ばっちゃん引退～広島・基町	名物保護司最後の日々」
広島局, 岡山局／ 5.28／19:32～20:45		広島局／ 1.14
「もう独りにはさせない～どうする？ 孤立高齢者」	「敵は民の中にありて見えず～中国華北平原・ゲリラ掃討戦」	松江局／ 2. 4
広島局, 山口局／10.29／19:30～20:43		
「男と女 結婚の条件」	「おいしい闘技場～中国対東北」	広島局・仙台局／12.17／19:30～20:43
広島局, 鳥取局／ 3. 4／19:32～20:45		
『ふるさと発スペシャル～あいたい』 G	『ふるさと発スペシャル～神楽烈々』 G	
年9回 金 20:00～20:43	「舞と格闘する若者たち」	広島局／11.26／20:00～20:43
「人生は“お好み”だ！～島田洋七 広島へ」		広島局／12.24／20:00～20:43
広島局／ 4. 9	「創作神楽『巖島』」	広島局／ 1.28／20:00～20:43
「生まれ日韓の絆～笹木優子 下関へ」	「熱演！舞の未来へ」	広島局／ 2.25／19:30～20:43
山口局／ 5.14		
「水が育む暮らしを訪ねて～大山のぶ代 呉へ」	『神楽烈々』(10分ミニ番組) G	
広島局／ 6.25	「塵倫」	広島局／ 1.10／ 0:15～ 0:25
「初夏の大山 風を感じて～筒井道隆 自転車の旅」	「大蛇」	松江局／ 1.16／22:50～23:00
鳥取局／ 7. 9	「吉備乃伝説 温羅神楽」	岡山局／ 1.23／22:50～23:00
「いざ清流へ～中本賢 高津川の旅」		広島局／ 1.31／ 0:00～ 0:10
松江局／ 9.10	「国向」	松江局／ 2. 7／ 0:05～ 0:15
「ぐるっと岡山 神さま巡り～夏川純 幸せ探しの旅」	「黄泉醜女」	山口局／ 2.13／22:50～23:00
岡山局／10.15		岡山局／ 2.20／22:55～23:05
「瀬戸内の冒険王～照英・村上水軍の島々へ」	「岩戸開き」	山口局／ 2.27／22:50～23:00
広島局／11.12	「芝鬼神」	
「“遊び心”あふれる城下町へ！～林家きく姫・福山の旅」		鳥取局／ 3. 6／22:55～23:05
広島局／12.10	「杵築能」	
「侍の心 ここにあり～藤岡弘、鳥取を歩く」		
鳥取局／ 2.18		
『ふるさと発スペシャル～百歳バンザイ！増刊号』 G		
年4回 金 20:00～20:43		
「この道きわめて きょうも輝く」		
広島局／ 5.21		
「“好き”こそ長寿の秘けつなれ」		
広島局／ 9.17		
「これが私の宝物」		
広島局／11.19		
「愛があれば大丈夫」		
広島局／ 1.21		
『ふるさと発スペシャル』 G		
金／20:00～20:43		
「ふるさと 心に刻んで～高校写真部 それぞ		

広島局／ 3. 5／14:00～16:00
 『Nコン2010～中国ブロックコンクール』 E
 広島局／ 9.25／14:00～16:49
 『心のメロディー みんなの童謡コンサート』
 G 広島局／10.10／13:05～14:35
 『アイデア対決！高専ロボコン2010～中国地区
 大会』 G
 広島局／11.13／15:05～15:59
 『HEART ROCK CAFE～ココロに届け！ヒ
 ロシマの歌声』 FM
 広島局／12. 4／13:00～18:00
 『がんばれ！ふるさとランナー～全国男子駅伝
 あすスタート』 G
 広島局／ 1.22／11:30～11:54, 12:15～12:45
 『第14回 熱血！オヤジバトル～西日本ブロッ
 ク予選』 G
 広島局／ 2.11／13:05～14:18
 (県域)
 『いっちゃん！ひろしま』 G
 「湯崎知事に問う～広島の底力は引き出せるの
 か」
 広島県域／ 4. 2／19:30～20:00
 「あなたを一人にはしない～“産後うつ”いま
 広島では」
 広島県域／11. 5／19:32～19:57
 「検証 湯崎県政1年」
 広島県域／11.26／19:30～20:00
 『わたしのベストショット』 G
 広島県域／年10回 土／ 5:15～ 5:40
 5. 8, 6. 5, 7.10, 9.11, 10. 9,
 11.13, 12.18, 1.15, 2.12, 3.26
 『わたしのベストショット～発表！2009年度年
 間大賞』 G
 広島県域／ 4.24／15:50～16:35
 『まっすぐ』 G
 広島県域／ 6. 6／23:30～23:59
 『がんばれカーブ！ペナントレース後半戦 大
 展望』 R1
 広島県域／ 7.22／20:05～21:30
 『ヒロイン誕生！連続テレビ小説「てっぱん」
 スペシャル』 G
 近畿・四国・広島・鳥取県域
 ／ 9.25／11:15～11:54
 『NHK朗読ひろばがやってきた！～広島市温品
 小学校で収録』 R1
 広島県域／11. 6／16:05～16:55
 『投げた！打った！走った！～NHK広島カップ
 少年野球2010』 G

広島県域／11.21／15:40～16:05
 『がんばれカーブ！2010～シーズン総決算』
 R1
 広島県域／12.14／20:05～21:55
 『ぶち☆なまTV～あなたの“恋愛”，応援しま
 す！』 G
 広島県域／ 2. 4／19:30～19:58
 『がんばれサンフレッチェ！～2011シーズン開
 幕特番』 R1
 広島県域／ 2.28／20:05～20:55
 『熱唱 NHKのど自慢予選会』 G
 鳥根県出雲市 鳥根県域／ 5.25／ 1:05～ 4:10
 広島県庄原市 広島県域／ 7.18／ 1:20～ 4:05
 鳥取県三朝町 鳥取県域／ 9. 6／ 0:53～ 3:23
 山口県山口市 山口県域／ 3. 7／ 0:55～ 3:35
 『月刊 岡山 トラのアナ』 G
 岡山県域／19:30～20:13
 「列車も人も交差する岡山駅の巻」 4. 2
 「岡山の恵を運ぶ旭川の巻」 5.14
 「“学問のファンタジスタ”岡山大学の巻」
 6. 5
 「岡山とあんこ深い関わりの巻」 7. 2
 「岡山流“天才の育て方”」 9. 3
 岡山県域／19:30～19:58
 「知られざる後楽園の巻」 10. 1
 「お宝ゴロゴロ！洞窟探検の巻」 11. 5
 「アートに光を！大原美術館の巻」 12.10
 岡山県域／19:30～20:43
 「輝け！月刊岡山トラのアナ・グランプリ」
 2. 4
 『岡山後楽園の四季・春』 G
 岡山県域／ 7. 2／20:13～20:18
 『岡山後楽園の四季・夏』 G
 岡山県域／ 9. 3／20:13～20:18
 『岡山後楽園の四季・秋』 G
 岡山県域／12.23／15:55～16:00
 『岡山後楽園の四季・冬』 G
 岡山県域／ 3. 5／ 9:55～10:00
 『映像詩 岡山後楽園の四季』 G
 岡山県域／ 3.20／8:00～ 8:25
 『第25回国民文化祭開会式』（生中継） G
 岡山県域／10.30／17:00～18:00
 『第57回日本伝統工芸展～技と心と現代の匠た
 ち』 G
 岡山県域／11.20／10:30～11:17
 『岡山を見つめ続けて～80周年アーカイブス名
 作選』 G
 岡山県域／ 1.15, 22, 2.12, 19／10:05～11:30

『岡山を見つめ続けて～放送の歩みと未来』 G
岡山県域／ 2. 1／12:20～12:43

『岡山を見つめ続けて～80年の記録、そして未来』 G 岡山県域／ 2. 1／17:02～19:00

『激闘！9000人～岡山・西大寺 裸まつり』 G 岡山県域／ 3.30／22:20～22:54

『FMはればれライブ』 FM 岡山県域／ 9.25／14:00～16:00
12.23／10:00～11:50

『ふるさと発』 G
「八雲紀行 特集」 鳥根県域／10. 1／19:32～19:57
「どう守る 地域の安全」 鳥根・山口県域／11. 5／19:32～19:57

『ふるさと発スペシャル』 G
「地域発ドラマ 農ドル！」 鳥根県域／ 7. 2／19:30～20:13

『地域を創る』 G 鳥根県域／ 4.10, 5. 8, 6.12, 7. 3, 8. 7
9.11, 10.16, 11. 6, 12. 4, 1. 8, 2. 5, 3. 5
／12:40～12:45

『島根の匠』 G 鳥根県域／12.11, 1.29, 2.19, 3.26
／12:40～12:45

『八雲紀行』 G 鳥根県域／ 6.27, 7.25, 8.29, 9. 2, 10.31
11.28, 12.26／18:40～18:45

『アラハタ！QUEST』 G 鳥根県域／ 4.25, 6. 6, 7.25, 8.29
9.26, 10.31, 2.13／22:50～23:00
11.28／23:20～23:30
5.11／ 2:15～ 2:25

『能×怪談 音でつながる八雲の世界』 R1 鳥根県域／11.13／16:05～16:55

『神々の国の首都を読む』 R1 鳥根県域／11.23／22:15～23:00

『ふるさと発』 G
「ようこそ！“ゲゲゲの女房”のふるさとへ」 鳥取・鳥根県域／ 4. 2／19:30～19:55
「検証 鳥取の防災力～鳥取県西部地震から10年」 鳥取県域／10.15／19:30～19:55
「妹の救出を目指して～『拉致』解決の道筋は」 鳥取県域／11.19／19:30～19:55

『ふるさと発スペシャル』 G
「ふるさと自慢うた自慢～岩美町スペシャル」 鳥取県域／ 8.27／20:00～20:43
「鳥取県西部地震から10年～日野町震災シンポジウム」

鳥取県域／10. 1／19:32～20:45
「とっとり朗読シアター～声で伝えるふるさと」
鳥取県域／ 1.14／19:33～20:16

『√るーと』 G
「鳥取砂丘と鳥取市福部町 その1～2」 鳥取県域／ 4.12, 26／ 0:10～ 0:25
「智頭町 その1～4」 鳥取県域／ 5.10, 24, 6. 7, 28
／ 0:10～ 0:25ほか
「鳥取市青谷町 その1～4」 鳥取県域／ 7.19, 8. 2, 23, 9. 6
／ 0:10～ 0:25
「大山町 その1～4」 鳥取県域／ 9.20, 10. 4, 18, 11. 1
／ 0:10～ 0:25ほか
「境港市 その1～4」 鳥取県域／11.8, 29, 12.13, 1.10
／ 0:30～ 0:45ほか
「倉吉市 その1」 鳥取県域／ 1.24, 2. 7, 21, 3. 7
／ 0:20～ 0:35ほか

『鳥取文芸館』 FM 鳥取県域／ 4.24, 5.29, 6.26, 7.31, 8.28
9.25, 10.30, 11.27, 1.29, 2.26, 3.26
／21:00～22:00

『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』 G 鳥取県域／ 1.10～14, 17～21
／13:55～14:00ほか

『とっとり音楽の輪』 G 鳥取県域／ 6. 7, 9. 6, 10. 4
11. 1, 12.13, 1.24, 3. 7
／ 0:45～ 0:53ほか

『YAMAGUTIC』 G 山口県域／19:30～19:55
「変わる基地の町～岩国・住民たちは今」 4. 2
「2010私は町のカメラマン～ビデオ便り力作集」 4. 9
「天使ちゃん ありがとう～心臓移植から3年 親子の春」 5.14
「検証 豪雨災害から1年～問われる地域の防災力」 7. 2
「どうなる“マグロのゆりかご”」 9. 3
「地デジ大使 茉友が行く！～1周年スペシャル」 10.15
「馬関龍馬伝～寛利夫 下関の旅」 12.10
「取り残される“地方の交通弱者”～検証・高齢者の交通死亡事故」 2. 4

『NHK下関中継所テレビ放送開始40年下関アーカイブス』 G

「新日本紀行～下関」

山口県域／10.30／10:05～10:34

「ふるさと発～土俵の上で輝きたい」

山口県域／10.30／10:34～11:00

「新日本紀行～弥生の笛～山口県・響灘」

山口県域／11. 6／10:05～10:34:30

「ふるさと発～山ノ神とともに生きる～山口県・蓋井島」

山口県域／11. 6／10:34:30～11:00

「ふるさと発 ふれあい紀行～春を待つふくの街～山口県下関市」

山口県域／11.13／10:05～10:30

『関門海峡歌合戦予選会 ♪歌声をデジタルの波に乗せて♪』 G

山口県域／10.31／ 1:38～ 2:38

『関門海峡歌合戦 ♪歌声をデジタルの波に乗せて♪』 G

山口・北九州ブロック／11.14／13:05～14:35

『きらら山口ラジオひろば』 R1

山口県域／10. 9／13:05～15:00

(各局共通)

『第77回NHK全国学校音楽コンクール』

「広島県コンクール」

中学校・高等学校の部

E 8.28／13:00～14:55

小学校の部

E 8.29／15:00～16:55

「岡山県コンクール」

小学校・中学校・高等学校の部

E 8.28／15:30～17:00

小学校の部

FM 8.30／18:00～18:50

中学校の部

FM 8.31／18:00～18:50

高等学校の部

FM 9. 1／18:00～18:50

「島根県コンクール」

小学校・中学校の部

E 8.28／13:30～15:20

高等学校の部

E 8.28／15:20～16:43

「鳥取県コンクール」

小学校・中学校・高等学校の部

G 8.29／16:00～17:25

「山口県コンクール」

小学校・中学校・高等学校の部

E 8.28／13:00～16:35

3. 核・平和関連番組

(1) 地域番組

(中国ブロック)

『ふるさと発』 G

「ヒロシマの声をつなぐ～“核なき世界”への歩み」

広島局／ 6.25／19:30～19:55

「原爆ドームを見つめた夏～若者が問い直すヒロシマの象徴」

広島局／ 7.30／19:30～19:55

『ふるさと発スペシャル』 G

「原爆棄民～韓国人被爆者の65年」

広島局／ 7.23／20:00～20:43

「はだしのゲンは終わらない 幻の続編からのメッセージ」

広島局／ 7.30／20:00～20:43

「あなたへ～ヒロシマ あの夏の約束」

広島局／ 8.27／20:00～20:43

『原爆投下を阻止せよ～“ウォール街”エリートたちの暗躍』 G

広島局／ 8. 5／22:00～22:49

『えほんでつたえるげんぱく』 G

広島局／ 8. 6／ 9:13～ 9:43

『ヒロシマの願い 俳句にこめて』 R1

広島局／ 8. 6／ 9:05～ 9:55

『井上ひさしのメッセージに挑む～広島のある市民劇団の夏』 R1

広島局／ 8. 6／19:30～20:10

『いのちのうた2010広島』 G

広島局／ 8. 7／21:00～22:13

(広島県域)

『いっちゃん!ひろしま』 G

「遺品が伝えるヒロシマ～被爆者65年 家族の記憶」

7. 2／19:30～19:53

『被爆の記憶』(集中編成) G

8.10～11／22:48～22:50

8.12～13／20:43～20:45

8.15／22:13～22:15

『お好みワイドひろしま～原爆の日特集』 G

8. 6／18:10～19:00

『ぶち☆なまTV～ボくらが平和のためにできること』 G

8. 7／ 0:20～ 1:20

(2) 全国放送

『目撃!日本列島』 G

「遺品が伝えるヒロシマ～被爆65年 家族の記

憶]

7.10/11:30~11:53

『クローズアップ現代』 G

「あの日、きのか雲の下で」

8. 5/19:30~19:56

『平成22年 広島平和記念式典』

G・S2 8. 6/ 8:00~ 8:38

G 中国ブロック 8. 6/ 8:00~ 8:58

R1 8. 6/ 8:00~ 8:55

『NHKスペシャル』 G

「封印された原爆報告書」 8. 6/22:00~22:54

『ヒバクシャからの手紙~そしてヒバクシャへの手紙』 G・R1 8. 8/23:30~ 1:00

『ヒロシマの願い 俳句にこめて』 R1 8.10/21:05~21:55

『井上ひさしのメッセージに挑む~広島のある市民劇団の夏』 R1 8.14/22:15~22:55

『いのちのうた2010広島』 G 8.14/ 2:00~ 3:14

4. スポーツ中継

〔高校野球〕 *ブロックと特記した以外は県域放送
第92回全国高校野球選手権大会・地区大会

広島県 準々決勝 E・R1/ 7.25

準決勝 G・E・R1/ 7.27

決勝 G・R1/ 7.28

岡山県 準々決勝 R1/ 7.22~23

準決勝 G・E・R1/ 7.25

決勝 G・R1/ 7.26

島根県 準々決勝 R1/ 7.23

準決勝 G・E・R1/ 7.25

決勝 G・R1/ 7.26

鳥取県 準々決勝 R1・FM/ 7.22

準決勝 G・R1/ 7.24

決勝 G・R1/ 7.25

山口県 準々決勝 R1/ 7.24

準決勝 E・R1/ 7.25

決勝 G・R1/ 7.27

平成22年度秋季高校野球・地区大会

広島県 3位決定戦・決勝 R1/ 9.26

岡山県 準決勝 R1/10. 2

3位決定戦 R1/10. 3

決勝 R1/10. 4

島根県 準決勝 R1/ 9.25

3位決定戦・決勝 R1/ 9.26

鳥取県 準決勝 R1/ 9.25

3位決定戦・決勝 R1/ 9.26

山口県 準決勝 R1/10. 4

3位決定戦・決勝

FM/10. 5

第115回秋季中国地区高等学校野球大会
(中国ブロック)

準決勝

E・R1/10.30

決勝

E・R1/10.31

〔プロ野球〕

(中国ブロック)

「広島」対「巨人」 R1/ 4. 2

「広島」対「ヤクルト」 R1/ 4.15

「広島」対「ロッテ」 R1/ 5.27

「広島」対「中日」 R1/ 7.16

「広島」対「巨人」 R1/ 8.27

「広島」対「中日」 R1/ 9.16

(広島県域)

「広島」対「中日」 G/ 4.16

「広島」対「日ハム」 G/ 5.16

「中日」対「広島」 G/ 6.27

「広島」対「阪神」 G/ 9. 3

「広島」対「阪神」 R1/10. 3

〔Jリーグ〕

(広島県域)

「広島」対「川崎」 G/ 4.10

「鹿島」対「広島」 R1/ 4.18

「広島」対「鹿島」 G/ 9.25

「清水」対「広島」 G/11.23

「広島」対「仙台」 G/ 3. 5

(岡山県域)

「岡山」対「大分」 G/11. 7

(鳥取県域)

「徳島」対「鳥取」 G/ 3. 6

〔その他のスポーツ〕

山口県高校総体 バスケットボール男女決勝

E/山口県域/ 6. 5

第63回広島県高校総体サッカー男子決勝

E/広島県域/ 6.13

第49回岡山県高校総体バスケットボール男女決勝

G・E/岡山県域/ 6.20

第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会

岡山県代表決定戦 G/岡山県域/ 8.22

2010年度全広島サッカー選手権・決勝

~第90回天皇杯広島県代表決定戦~

G/広島県域/ 8.29

第90回天皇杯全日本サッカー選手権・地区大会

島根県 決勝 G/島根県域/ 8.29

平成22年度鳥取県サッカー選手権

決勝大会・決勝 G/鳥取県域/ 8.29

第90回天皇杯全日本サッカー選手権・地区大会

山口県 決勝 G/山口県域/ 8.29

- 日本フットボールリーグ
「ガイナレ鳥取」対「ジェフリザーブズ」
G／鳥取県域／11.14
「ガイナレ鳥取」対「FC琉球」
G／鳥取県域／11.28
- 全国男子駅伝ハイライト
G／広島県域／ 1.23
- 第35回日本ハンドボールリーグ・男子
「湧永製薬」対「北陸電力」
G／広島県域／ 2.11

II. 技 術

1. 地上デジタル放送

総務省が公表した中継局ロードマップに掲載された域内318局の中継局整備を完了した。また、域内719施設のNHK共同受信施設への地上デジタル放送導入を完了した。自主共聴については、域内約1,300施設への導入が完了し進捗率は約80%となった。「新たな難視」について対策計画の住民合意を進めた。デジサポと連携して、ビル陰共聴エリアでの個別受信勧奨活動（エリア対策）を展開し、デジタル化促進を図った。山口県下関地区や宇部地区における地域固有の課題に対して集中的な対策を実施し、デジタル移行を促進した。ローカル番組においてアナログ終了スーパーを、予定を前倒して10月から開始し、デジタル受信移行を促進した。

2. 選挙報道、緊急・災害報道

7月に行われた参議院選挙の正確かつ確実な放送を実施した。7月に発生した庄原地区での豪雨や8月に発生した海上保安庁ヘリコプターの墜落、年末年始にかけての山陰地区での豪雪に対して、迅速・的確に緊急報道に対応した。さらに、3月に発生した東日本大震災での津波注意報の速報対応、現地への要員・機材支援を実施した。

3. 地域放送

広島局では、被爆65年関連番組を数多く制作した。プロ野球中継やJリーグ中継、『いのちのうた』、神楽ミニ番組などにおいて5.1サラウンド制作に積極的に取り組んだ。岡山局では、開局80周年に向け、技術提案『岡山後楽園の四季』を制作した。松江局では、『地域発ドラマ 農ドル!』、技術提案『島根の匠』を制作した。鳥取局では、素材のFTP伝送やスカイプ中継を活用し海外中継『カ

ンウォン道スペシャル』を放送、技術提案『とっとり音楽の輪』を制作した。山口局では、下関エリアの地デジ推進を目的に『関門海峡歌合戦』を生中継した。

3-Screens展開では、「Jリーグサンフレッチェ広島」「プロ野球カープ」戦での応援メッセージ、NHK音コン中国ブロック大会でのライブストーリーミング動画配信、全国都道府県対抗男子駅伝におけるダイジェスト動画配信、「JFLガイナレ鳥取」戦で応援メッセージ、『関門海峡歌合戦』での双方向データ放送サービスを実施した。

4. 開発

新技術開発「電子すかし技術を活用した放送用高速データの埋め込み／抽出システムの開発と検証」「2色覚（色弱）者に配慮した配色評価・補正装置の開発」に取り組んだ。

番組技術展において、域内各局で開発した「FPU基地局監視システム」「HDVカメラ楽タレール」「回線比較モニター」「音声リモートフェーダーシステム」を展示した。

5. 視聴者活動

「NHK出前授業」を域内の67校で実施し、児童・生徒との触れ合いと、地上デジタル放送の情報も盛り込み、普及促進活動を展開した。

また、「NHKのど自慢予選会」の会場で参加者・家族などの来場者に「中継車見学・カメラ操作体験・予選会の時差再生視聴」を4回開催し、放送事業への理解促進に努めた。

6. 放送設備の更新

テレビスタジオ照明設備（松江）・DAT・可搬型テープ録音再生機などの設備更新、ハイビジョン中継車（松江）・地上デジタル放送緊急地震速報の迅速化対応整備などを実施し、放送の安定送出確保と番組制作機能の充実を図った。

III. 視聴者

1. イベント事業

10年度中国地方では182件のイベントを実施し、年間の参加者は96万3,888人となった。きめ細かい視聴者サービスとNHKへの理解促進に努めた。

(1) 全国放送公開番組

全国放送公開番組は総合テレビ6本、教育テレビ3本、衛星放送7本、ラジオ39本の合計55本を

中国地方で実施した。

(2) 地域企画イベント

広島局では「ひろしまフラワーフェスティバル」に合わせた会館公開（5.3～5）に3日間で9万912人の来場者があった。被爆65年企画として、「いのち」や「平和」の尊さを伝える「いのちのうた2010」公開録画（7.17広島国際会議場）、7月から9月にかけて「広島から広島～ドームが見つめ続けた街」展、展覧会関連企画として原爆ドームに宛てた平和のメッセージを国内外から募集する「拝啓原爆ドーム様～ヒロシマに届け“平和”のコトバ」、元安川川岸に65年間埋もれていた原爆ドームの石柱を引き上げるプロジェクトを実施した。また、一般から写真とメッセージを募集し、放送やイベントなどで紹介する参加型の平和キャンペーン「空に咲く花プロジェクト」や会館公開（8.5～6）を展開した。地域企画イベントとして、広島局では中国地方ゆかりの童謡・叙情歌を紹介する「心のメロディみんなの童謡コンサート」公開録画（9.26広島市）、松江局では明治の文豪小泉八雲生誕160年記念「能×怪談ワークショップ みんなでつくる八雲の世界」（10.24松江市）を実施。岡山局では開局80周年を記念し、一般から募集した写真やイラストを商店街や路面電車など街中に展示する「わたしの“岡山・びっくり箱”」などの記念事業を展開。山口局では、地上デジタル双方向番組「関門海峡歌合戦」公開生放送（11.14下関市・北九州市）、松江局と鳥取局では、連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」関連トークショーを安来市（10.23）と境港市（11.23）で開催した。

(3) 教育、子どもイベント

「中国地方放送教育夏期特別研究交流大会」（8.19）を山口県岩国市で開催。中国地方の幼・保、小・中・高等学校の教育関係者など230人が参加した。各局では小学5年生が対象の「NHK放送体験クラブ」を実施、全体で65校2,709人の参加があったほか、「NHK全国学校音楽コンクール」、「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」、「高専ロボコン」中国地区大会（10.31松江市）を実施した。そのほか、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（9.18鳥取・倉吉市）、「ワンワンわんだーらんど」（10.30広島市）、「おかあさんといっしょあつまれ！土曜日スタジオ収録」（11.12～13広島局）を実施した。

(4) スポーツ・福祉・キャンペーン

「天皇盃第16回全国男子駅伝」（1.23）には過去最多の31万人の来場者があったほか、「駅伝ふ

るさとひろば」（1.22～23広島局）には3万3,690人が来場した。福祉関連では「NHKハート展&介護百人一首展」（10.5～19広島局）、広島局で08年度から継続して取り組んでいる「発達障害フォーラム（全3回）を実施。各局では「NHK歳末・海外たすけあい」（12.1～25）を実施した。その他、各局で「ふるさとの食 につぼんの食」「環境キャンペーン」関連イベントを実施した。

(5) その他（展覧会、児童合唱団など）

「アントワープ王立美術館展」（4.4～5.28ひろしま美術館、6.4～7.19鳥根県立美術館）、「ダイノソアワールド」（7.17～8.31広島市こども文化科学館）、被爆65年企画「広島から広島」展（8.5～9.20広島県立美術館）、「陽明文庫国宝展」（10.3～11.14筆の里工房）、「第57回日本伝統工芸展」（11.18～12.5岡山県立美術館、12.8～26鳥根県立美術館、1.19～2.6広島県立美術館）など8本の展覧会を開催し、21万6,955人の来場者があった。また、NHK広島児童合唱団創立50年記念「第40回定期演奏会」（8.8広島国際会議場）を開催した。

2. 営業

10年度は、「支払率75%」を目指す3か年経営計画の2年目として、契約取次・支払再開にパワーシフトを図ることを目的に、下半期に地域スタッフの体制変更を実施した。従来の受持区概念を廃し、役割分担を見直したことにより、地域スタッフでは、全ての項目で09年を上回る実績を確保した。中国ブロックでは職員の指導力向上と地域スタッフの現場対応スキル向上を目指した「営業力強化ペア活動」の取り組みや、每期テーマを決めて課題解決に取り組む「イノベーションプロジェクト」の活動など、より高いレベルで安定した取次・収納を図るための取り組みを行った。「民事手続き」では、強制執行への移行を行うなど、新たな段階を迎えた。ケーブル事業者による未契約者対策や、電器店・量販店によるエコポイントを背景に爆発的な普及をしたデジタルテレビをベースとした衛星契約取次、エリア型法人の業務拡大や不動産取り次ぎの強化など、全営業拠点が一丸となった展開により、20年ぶりにブロック全局で全目標達成に至った。

3. 広報

（広島局・福山支局）

10年度は、地域放送番組はもとより、県内が舞台地・ゆかりの地となる全国放送番組と連携した広報・CS活動に重点を置いた。尾道市が舞台の

『連続テレビ小説〜てっぱん』では、放送開始から来広する県外視聴者を意識した広報展開に努め、空港や駅などで交通広告を集中的に実施した。放送開始以降は、尾道ロケのもようを紹介する「ロケ写真パネル展」を広島局、福山支局、尾道市などで随時併催。10月には尾道市のイベントに参加し視聴者との触れ合い活動を強化したほか、番組応援サイト「思い出のお好み焼き・鉄板焼き」を新設し、番組終了までに全国から200件を超える投稿があった。11年2月には尾道市で出演者トークショーの「てっぱん感謝祭」を実施するなど、地域に密着した取り組みにも力を注いだ。また、福山支局では独自に作製した大河ドラマ『龍馬伝』の「福山ロケ写真パネル常設展示」なども実施した。

なお、広島局・福山支局の10年度のハートプラザ来場者数は20万1,168人。電話などで視聴者から寄せられた意見・要望は2万2,376件となった。

〔岡山局〕

開局80周年の記念事業を、年度後半の10月1日から半年間にわたり展開した。放送では、『浅野温子よみ語り〜岡山はじまり物語』をはじめ、アーカイブ映像を活用したスポットや企画、特集番組を放送した。イベントでは、「80周年広報電車」の運行や「わたしの岡山びっくり箱ギャラリー」や「オープンスタジオ」を実施した。また、09年9月以降の公開派遣番組の実施にあたっては「開局80周年記念」の冠を付加して実施し、PR活動の一助とした。これらの80周年事業には、延べ3万8,370人が参加した。

また、みんなで子育てキャンペーン連動イベント「NHKとなりの子育て」(岡山市)や地上デジタル放送の普及・推進も目的とした「地デジわくわく広場」を高梁市、備前市、新庄村、岡山市で行った。このほか、『BS日本のうた』(岡山市)などの公開番組収録や環境キャンペーンイベント「みる・きく・さわる岡山の魚たち」(岡山市)、「W杯パブリックビューイング」など、さまざまな分野で年間41回のイベントを実施し、延べ6万483人が参加した。

〔松江局〕

松江ゆかりの明治の文豪、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の生誕160年、来日120年を記念し、全7回のミニ番組『八雲紀行』や『母の面影を求めて〜安野光雅 八雲の原点を描く』の放送、また、参加型・体験型のイベント「能×怪談ワークショップ みんなでつくる八雲の世界」の実施など、八雲が松江で感じた日本の魅力を再発見し、

後世まで語り伝えていくためのさまざまな番組やイベントを企画、実施した。このほか『NHKのど自慢』(出雲市)、『ごきげん歌謡笑劇団』(益田市)、『福祉ネットワーク〜公開 すこやか長寿』(川本町)などの公開派遣番組や、「第57回日本伝統工芸展」(松江市)など、年間34回のイベントを実施、4万3,303人が参加した。

また、毎年恒例の「水郷祭」での会館公開も行い、放送会館には年間1万16人が見学に訪れた。

〔鳥取局・米子支局〕

3-Screensサービスに積極的に取り組み、視聴者の多様なニーズに応える広報活動を展開した。鳥取局と松江局共同で、『連続テレビ小説〜ゲゲゲの女房』をPRするローカルサイトを開設した。番組ゆかりの地の紹介や、視聴者からの写真投稿を受け付け、半年間に約62万件のアクセスがあった。また、地元サッカーチーム「ガイナレ鳥取」のホームゲーム中継にあわせ、ホームページと携帯サイトで実施した「ガイナレ応援メッセージ」では、1,000件を超えるメッセージが寄せられ、その一部を生放送中に紹介した。

デジタル化への取り組みについては、技術職員扮する「地デジ課長」が出演する周知コーナーの放送でデジタル移行を呼びかけた。また、地デジ推進協議会による周知広報活動と連動した触れ合いイベントの開催により、理解促進に努めた。

「ふれあいミーティング」は、イベントや番組収録と連動して開催し、年間8回、364人が参加した。特に若年層との触れ合い、意見集約に注力した。

〔山口局・下関支局〕

11年7月の完全デジタル化を前に、北九州アナログ波を受信している世帯が多い下関地域の円滑な地デジ移行を目指して「下関・地デジ見える化キャンペーン」をおよそ半年間展開し下関地域の地デジ普及に努めた。公開番組は、『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡笑劇団』『民謡をたずねて』『真打ち共演』『認知症フォーラム in 山口』など8本、「放送体験クラブ」「食」「環境」「モノランモノラン小劇場」や「戦後65年 山口の戦争展」などの独自イベントを22本実施し、延べ11万5,245人が参加した。

ハートプラザでは、「ほくの絵わたしの絵展」「NHK介護百人一首パネル展」などを開催したほか、視聴者の作品発表の場としても開放し、親しまれる放送局づくりに努めた。このほか「番組ライブラリー」は4,428人が利用、「ふれあいミーティング」は52回実施し、2,003人が参加した。

四 国

- ◇10年度も『スペシャルドラマ 坂の上の雲』や大河ドラマ『龍馬伝』の放送に合わせ、「ドラマチック！四国」キャンペーンを四国の人・伝統・文化・自然などにテーマを広げて四国4局で展開し、四国の魅力を全国に発信した。
- ◇松山局では、『坂の上の雲』関連番組を数多く放送するとともに、開局70周年を記念して会館ロビーに地元の皆様がいつでも番組を見られる「えひめ歴史発見アーカイブス」を設置し、地域の放送局として視聴者との絆を深めた。
- ◇高知局では、大河ドラマ『龍馬伝』の特集番組やイベントなどを一層充実させて積極的に展開した。大河ドラマ特別展は3万5,000人を超える入場者数を記録し、地域の活性化に貢献した。
- ◇徳島局では、『連続テレビ小説～ウェルかめ』のキャラクター「かめっ太」を徳島局のキャラクターとして活用。また、年間を通して「がんばれ！徳島」キャンペーンに取り組み、多彩な番組で地域を応援し盛り上げた。
- ◇高松局では、瀬戸内国際芸術祭関連番組をはじめ瀬戸内の情報を全国へ発信。また、初のテレビドラマ制作にも挑戦し、トークショーの開催やツイッターを活用した広報展開を行い、若年層の視聴者拡大に努めた。

I. 放送

1. 放送の概要

(松山局)

松山局は、『スペシャルドラマ 坂の上の雲』や大河ドラマ『龍馬伝』などを契機に09年秋からスタートした四国の魅力を発信する「ドラマチック！四国」キャンペーンをドラマの主人公たちの素顔や魅力だけでなく、四国で活躍する人たちや四国の文化や自然のすばらしさにテーマを広げて展開し、四国の人たちに元気と感動を伝え、地域を活気づける多彩な番組を放送した。また、地域の課題に真正面から向き合い、多角的な視点から検証し、解決に向けての道筋を地域と一緒に考える番組を放送した。

金曜午後7時30分からの『四国羅針盤』では、口いてい疫問題をはじめ、地域におけるがん治療の現状や自治体による電気自動車の開発など、暮らしに関わる課題から地域の先駆的な取り組みを積

極的に伝えた。また、東日本大震災を受けて、南海・東南海地震の対策が課題とされる四国の地震対策の現状と課題について、放送時間を拡大して放送した。

また、視聴者がホームページや携帯サイト、電話から参加する双方向番組『四国選択会議』では、新たに地上デジタル放送のデータ放送機能での参加を可能にし、四国の活性化をテーマに年3回（4月、10月、1月）放送した。

金曜夜8時からの新番組『しこく8』では、四国で元気に輝いている人を紹介するマガジスタイルの「スマイル四国」や、四国各地の謎や伝承を徹底的に解明する「四国なぞ解き行脚」など、人物、文化、歴史など多彩なテーマで地域に“元気”と“感動”を伝える番組を放送した。8月には、高知県の「よさこい祭り」と徳島県の「阿波おどり」の模様を73分の拡大版として2週連続で放送したほか、毎月の最終金曜の『伊予路てくてく』では、多彩なゲストが愛媛県内を旅し、その土地に暮らす人々との交流を通して、地域の魅力を伝える番組を放送した。また、『スペシャルドラマ 坂の上の雲』関連として日露戦争での秋山好古の姿を描いた「父さん・相変わらず元気なり～秋山好古の日露戦争」や大河ドラマ『龍馬伝』関連でも岩崎弥太郎と坂本龍馬の関係を描いた「弥太郎と龍馬の119日」などドラマの中では描ききれない主人公たちの素顔をそれぞれ3番組『しこく8』で放送した。

また、『スペシャルドラマ 坂の上の雲』の関連番組では『しこく8』のほかに平日午後6時10分からの『いよかんワイド』で、ドラマ出演俳優のインタビューやドラマ関連企画をシリーズで放送したほか、土曜午前7時30分からの『おはよう四国』で松山市内にあるスペシャルドラマ館から特集番組を放送した。また、BS2とGTVでこれまでに制作したドラマ関連の地域番組5本を全国放送した。

平日午後6時10分からの『いよかんワイド』は、“愛媛のきょう”にこだわり、ニュースを深く掘り下げ、わかりやすく伝えたほか、県内の若者たちの活動を紹介する「フレッシュ中継」や校歌への思いを紹介する「校歌の旅」など幅広い世代に見てもらえる新企画を盛り込んで放送した。

平日午前11時40分からの『えひめ おひるのたまご』では暮らしに役立つ話題のほか、新しく俳句や絵手紙など暮らしを豊かにする企画を放送した。

BS2の定時番組『俳句王国』は、最終週に俳句

初心者向けの“ビギナーズ”の回を新たに設けたほか、ハガキやFAX、パソコンに加え、携帯からも投稿できるようにし、幅広い世代に一層親しまれる番組とした。また、『17音は無限の世界俳句甲子園2010』(9.12)や『バトル!五・七・五2010』(10.3)で俳句に真剣に取り組む若い世代の姿を全国で紹介した。また、愛媛地域のR1では、季語にとらわれない身近なテーマで、自由に575作品を投稿してもらう、新しいスタイルの番組『つぶや句575』(3.6)など、さまざまな番組で俳句の魅力を伝える番組を放送した。

スポーツ中継は地域スポーツを中心に放送した。サッカーJ2の「愛媛FC」の3試合をGTVで中継し、野球独立リーグの四国・九州アイランドリーグ「愛媛マンダリンパイレーツ」の3試合をR1で放送した。夏と秋の高校野球地区大会は、テレビ・ラジオ中継だけでなく、試合速報をインターネット、携帯端末、地上デジタルのデータ放送で行った。

〔高知局〕

10年度、高知局は大河ドラマ『龍馬伝』の放送と連動して、番組・イベント・企画を積極的に打ち出し、全国に向けて高知をアピールするとともに、県民に関心と自信を呼び起こした。『小さな旅』『ゆうどき日本列島』『公開セミナー』『しこく8』『とさ金8』など、全中・ローカルで多様に番組展開するとともに、龍馬の書簡発見などタイムリーな特ダネも出すことができた。さらに、大河ドラマ特別展も広報の成果が上がり、3万5,000人を超える入場者数を記録した。

夕方のニュースは4月から大幅にリニューアルし『こうち情報いちばん』としてスタート。「分かりやすく親しみやすい」をコンセプトに、主要ニュースを掘り下げて背景まで含めて丁寧に解説、さらに、生活情報コーナーを曜日ごとに新設したほか、キャスター・スタジオセット・タイトル・テーマ曲なども刷新。平均視聴率が2%近くアップして、県民に大きな支持を受けている。

『とさ金8』は、観光・農業・高齢化・食・商店街の衰退・婚活など、高知が抱える課題を前向きに生産的に捉え、若い人たちの意見なども取り込んだ、活気あるスタジオ番組として発信した。県民の「知りたい」に答えつつ、進むべき方向を照らし出す地域情報番組として、金曜夜8時という激戦区で支持を得ている。

そのほか、『よさこい祭り』を2夜にわたって生中継し、20%以上の視聴率を記録し、県民の関心を惹いた。

7月の参院選開票速報は、大接戦の選挙戦のなか民放より断然早く当確を打ち、報道局長賞を受けた。

災害報道では、東日本大震災に際して高知県にも大津波警報が発令され、須崎市と田野町から中継を出すとともに、ラジオ・テレビで繰り返し県民に地震・津波情報を発信した。2月初めに「南海地震アナウンス研究会」を開催していたことも役立った。

ラジオでは、『ゆく年くる年』の中継のほか『児玉清 龍馬を語る』『高知ファイティングドッグス中継』などで県民の要望に応え、また、5回目となる防災特番『南海地震に備えちよき』を放送した。

〔徳島局〕

10年度は、夕方6時台の地域番組で新番組『とく6徳島』を開始した。『連続テレビ小説〜ウェルカムかめ』のキャラクター「かめっ太」を徳島局のキャラクターとして活用。天気キャスターを起用した気象情報、「とくしまの現場」という県内の問題を深く掘り下げて伝える特集企画枠を充実した。また、「イチオシとくしま」「投稿写真」「投稿DO画」など視聴者参加企画も新設し、視聴者とのつながりを大切にする取り組みを行った。

金曜夜間の『阿波スペシャル』では、徳島に住み日本の姿を世界に伝えた文学者モラエスや、吉野川で子供たちのために開かれる体験学校「川の学校」などを取り上げ、徳島を題材とした質の高い番組を多数放送した。

「がんばれ!徳島」キャンペーンの一環として、糖尿病死亡率の全国ワースト脱出のため、「STOP糖尿病」キャンペーンを展開。「欽ちゃんのワースト脱出大作戦」での全国放送や夕方6時台『とく6徳島』での特集企画、金曜8時台の『阿波スペシャル』、四国ブロック向け『四国羅針盤』での放送を行い、視聴者の反響は大きかった。

7月の参院選では、正確で迅速な当確速報を行うとともに、激戦の徳島選挙区リポートを全国発信した。

3月の東日本大震災では、徳島県にも大津波警報が発令され、県民に避難・警戒を呼びかけるとともに、県内の各種情報を迅速・的確に放送した。

ラジオでは、10月に徳島県主催の防災フェスティバル会場から2時間の防災特番を生放送。県民への防災意識の向上を図るとともに、地域の防災ステーションとしての役割を果たした。

〔高松局〕

10年度、高松局は瀬戸内海の7つの島を舞台に繰り広げられた現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」が開催されるのに合わせ、芸術祭の魅力を伝える特集番組を制作するとともに、交通問題や市民の参加の在り方など、地域が抱える課題を掘り下げて記者レポートや解説で詳しく伝えるなど、年間を通して瀬戸内の情報を地域、ブロック、全国に発信し続けた。

夕方の地域ニュース番組は番組名やスタジオをはじめ、内容面も一新。「地域密着」をコンセプトに、記者が地域のさまざまな課題を掘り下げる「かがわの現場」や、キャスター・リポーターが、県内各地の旬な話題を伝える「旬感！かがわ」を新設。高速道路無料化方針で航路の廃止や減便に揺れ動くフェリー業界の現状や、子供の暴力問題などタイムリーな課題を検証した。また、視聴者の参加感を高めるため、視聴者にカメラに向かって番組名を言ってもらう「ちょっとゆう6」のコーナーを新設した。さらに、気象情報ではきめ細かい情報を伝えるため県内各地のポイント予報を取り入れるなど内容や画面を見直した。

政権交代後初の本格的な国政選挙となった7月の参議院議員選挙、12年ぶりに新人同士の争いとなった8月の県知事選挙では、万全の準備を行い有権者の選択に役立つ迅速・正確な選挙放送に努めた。

金曜夜8時台は、『笑ってうたってしあわせ家族』を10年度も年10回放送した。4年目を迎えた10年度は司会にタレントの友近さんと、子ども落語日本一を決める大会で優勝した地元香川県の小学生を加えてファミリー層への浸透を図った。地元で活躍する若者の仕事場を訪ねる「いきいきキラリさん」というコーナーも新設、番組に接触の少なかった10代・20代の若者の取り込みを図った。また、10年度は地域発のドラマ『私が初めて創ったドラマ』の制作にも挑戦した。タイトルは「僕が好きだった君に」。高松市の沖合にある男木島を舞台に若い男性の心の葛藤と成長を美しい島の風景とともに描いた。制作のすべてを高松局が担当し、番組に合わせてロケのパネル展や主演俳優によるトークショー、専用のホームページ作成、ツイッターでの情報発信などさまざまな展開を行い、地域の魅力を全国に発信した。

このほか、県の防災情報（河川水位、雨量、避難情報）を地上デジタルのデータ放送で自動的に放送するTVCMLシステムの構築を2年がかりで進めてきたが、システム整備も終わり12月1日か

ら四国で初めてスタートさせた。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『おはようえひめ』 G

各県域 月～金 7:45～8:00

第1回93.4.5／最新のニュースや気象情報をきめ細かく伝えるほか、天気カメラリレーで四国4県の朝の表情を伝えたほか、企画や中継などで構成。随時、四国4県や西日本各局と共同で、季節の中継や企画シリーズを放送した。／各局タイトル：『おはようこうち』高知局、『おはよう徳島』徳島局、『おはようかがわ』高松局。

『おはよう四国』 G

四国ブロック 土 7:30～8:00

第1回93.4.10／10年度から放送時間が30分に変わるなど装いを新たにスタート。週末のさわやかな朝をイメージして構成した。「四国プラス」は季節の風物詩や伝統の技、そして食べもの情報など四国の魅力を各局のリポーターが再発見する新コーナー。「ウィークエンド・ナビ」では週末のお出かけに便利なイベント情報を盛り込んだ。またミニ紀行「西日本の旅」は継続して放送した。

『えひめ おひるのたまご』 G

県域 月～金 11:40～12:00

第1回07.4.4／暮らしに役立つ生活情報を伝える番組。メインは、月曜は健康や流行などの情報、火曜は俳句が盛んな愛媛で視聴者から投句を募集する俳句塾と気軽に楽しめる絵手紙の紹介、水曜は旬の青果や地場産の食材を使った料理、木曜は子育てと文化スポーツ、金曜はイベント情報や県内各地にあるケーブルテレビのキャスターが出演して地域の情報や各局の取り組みを紹介する試みも行った。この他、お知らせや「地デジ普及」「ふれあいミーティング」などの紹介なども行った。／各局タイトル：『こうち情報BOX』高知局、『とくしまi』徳島局、『ひるまえかがわ』高松局

『いよかんワイド』 G

各県域 月～金 18:10～18:59

第1回04.3.31／愛媛県域／県内の動きを中心に、地域の生活情報などを総合的に伝えるニュース情報番組。その日一日に愛媛県内であったニュースや話題を中心に構成する。10年度も“元気！えひめ”をモットーに地域みんなが元気になれる番組を目指した。一方で「地域がどう変わるのか」を年間のテーマに愛媛の“今”をしっかりと見つけ“明日”を考える企画や特集を組んだ。さら

に、地域でがんばる若者を応援する「いよかん発・フレッシュ中継」、県内の学校を巡って歌い継がれる校歌を紹介する「校歌の旅」、防災に関する取り組みを伝える「防災最前線」、カメラマンや報道室記者によるレポートのコーナーを継続。また、「大西さんに聞いてみよう」では小学生からの質問に気象予報士が答えるスタイルを定着させたほか、スポーツコーナーでは、地元出身のプロサッカー・長友佑都選手の活躍や、J2「愛媛FC」の戦いぶりなど、さまざまな種目の有望選手や市民スポーツまで幅広く伝えた。／各局タイトル：『高知まるごと情報市』高知局、『とく6徳島』徳島局、『ゆう6かがわ』高松局

『四国羅針盤』 G

四国ブロック 金 19:30～19:55

㊤土 10:05～10:30

第1回00.3.31／「四国のいまを追い続ける」をモットーに各県が抱える課題や、地域を元気にする取り組み、事件・事故の背景などを伝えた。旬の現場にこだわったVTRにスタジオの専門家の解説などを加えて速く、深く、分かりやすく構成した。10年度は「コメ農家は生き残れるか」「走り出す「愛媛産EV」」「南海地震・巨大津波に備える」「買い物ができない」など関心が高くタイムリーなテーマを重点的に放送した。

『しこく8』 G 新

四国ブロック 金（除く最終週） 20:00～20:43

第1回10.4.9／“元気”と“感動”をキーワードに地域に生きる人々の絆を見つめ、歴史、文化、暮らしの営みなど多彩なテーマで地域の魅力を再発見していく番組で、目標に向かって頑張っている人々を取り上げ、その魅力に迫る「スマイル四国」や、四国各地の謎や伝承を解明する「四国なぞ解き行脚」など、それぞれ年4回シリーズの番組も含まれる。

『四国おはようネットワーク』 R1

四国ブロック 月～土 7:40～8:00

第1回93.4.5／最新の気象情報、ニュース、交通情報のほか、四国各地の朝の様子や話題を、各県の「おはようリポーター」に電話で伝えてもらった。このうち月曜は「防災ネットワーク」として、各地の自主防災組織や防災関係者に地域での取り組みを電話で聞いた。土曜は「俳句ネットワーク」として、四国各地の結社の方に季語にまつわる話題を中心に作品の奥深さを伝えてもらった。祝日は「四国を読む」として、各局のアナウンサーが四国ゆかりの文芸作品を朗読した。

『ゆうやけジョッキー』 FM

四国ブロック 月～木 18:00～18:50

（金：中四国ブロック「ゆうナビ!SP」）

第1回93.4.5／夕方の時間を音楽と語りで構成するディスクジョッキー番組。曜日ごとに「Jポップ」「クラシック」「洋楽ポップス」「ジャズ」とテーマを決め、地元四国の音楽の話題を交え、話題のアルバムやリクエスト曲を紹介した。DJは地元で著名な声楽家やジャズピアニスト、地元の大学の放送研究会の学生などを起用し、バラエティー色豊かで、幅広い層の人たちを楽しんでもらうことを目指した。

(2) 特集・特別番組

(四国ブロック)

『四国選択会議』 G 19:30～20:43

「四国は若者をひきつけられるのか？」 4.2

「食欲の秋!“四国ブランド”をどう売り込むか？」 10.15

「どうする?“四国は一つ”」 1.21

『しこく8』 G

「漱石の五七五～夏目漱石と正岡子規 俳句が結んだ友情」

松山局 4.9/20:00～20:43

「スマイル四国～スポーツの力」

松山局 4.16/20:00～20:43

「四国なぞ解き行脚」

四国地方4局 5.14/20:00～20:43

「弥太郎と龍馬の119日」

高知局 5.21/20:00～20:43

「百年先に伝える“究極の青”～藍染師・矢野藍秀の挑戦」

徳島局 7.2/20:00～20:43

「夢見る力・この腕に～愛媛・アームレスリング道場の日々」

松山局 7.9/20:00～20:43

「おいしい闘技場・東北VS四国」

松山局 7.16/19:30～20:43

「スマイル四国～海のちから」

松山局 7.23/20:00～20:43

「舞え! 熱く! 艶やかに! よさこい祭り2010」

高知局 8.20/19:30～20:43

※徳島県域 8.22/13:35～14:48

「“踊る阿呆”の夢舞台～阿波おどり2010」

徳島局 8.27/19:30～20:43

「四国なぞ解き行脚～夏編」

四国地方4局 9.3/20:00～20:43

「恋女房おりょう・龍馬を語る」

松山局 9.10/20:00～20:43

- 「ひびきあう島と芸術～瀬戸内国際芸術祭2010」
高松局 9.17/20:00～20:43
- 「はるかなる孤愁～徳島に生きた異邦の人」
徳島局 10. 1/20:00～20:43
- 「スマイル四国～食のちから」
松山局 11. 5/20:00～20:43
- 「拝啓・坂本龍馬殿～いまあなたに伝えたいこと」
高知局 11.12/20:00～20:43
- 「四国なぞ解き行脚～秋編」
四国地方4局 11.19/20:00～20:43
- 「子規が伝えてくれるもの～対談・ドナルド・キーン×黛まどか」
松山局 12.10/20:00～20:43
- 「父さん・相変わらず元気なり～秋山好古の白露戦争」
松山局 12.17/20:00～20:43
- 「僕らは川で強くなる～徳島 川の学校の半年」
徳島局 1.14/20:00～20:43
※徳島県域 11.26/20:00～20:43
- 「四国なぞ解き行脚～冬編」
四国地方4局 2.18/20:00～20:43
- 「悠々・こんびら散歩～豪華けんらん・金刀比羅宮の世界」
高松局 3. 4/20:00～20:43
- 『Nコン2010 第77回NHK全国学校音楽コンクール・四国ブロックコンクール～小・中・高等学校の部』 E
松山局 9.25/14:00～16:30
- 『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコンテスト2010～四国地区大会』 G
松山局 11.13/15:05～15:59
- 『NHKトーク&ライブスペシャル～Music Festival in 松山大学 熱田津祭』 FM
松山局 11.27/14:00～16:00
- 『第14回 熱血！オヤジバトル～西日本ブロック予選』 G
福岡局 2.11/13:05～14:18
- (県域)
- 『NHK全国学校音楽コンクール・各県コンクール』
「愛媛県」E 8.21～22 「高知県」E 8.19～20
「徳島県」FM 8.27 「香川県」FM 8.18～19
- (愛媛県域)
- 『伊予路てくてく』 G
「奥山佳恵が内子町に行く！」
- 「島崎和歌子が大洲市に行く！」
5.28/20:00～20:43
10.29/20:00～20:43
- 「赤井英和が久万高原町に行く！」
1.28/20:00～20:43
- 『アナウンサーが伝える言葉の世界』 R1
7.10/16:05～16:50
- 『つぶや句575』 R1
3. 6/19:20～20:00, 20:05～20:55
- (高知県域)
- 『中継 土佐の夏 よさこい祭り2010』 G
8.10～11/19:30～20:55
- 『朗読ステージ～「竜馬がゆく」を読む』 R1
4. 3/22:00～23:00
- 『トークショー 俳優・児玉清 龍馬を語る』
FM 10. 3/18:00～18:50
- 『NHK公開セミナー～龍馬伝・童門冬二が語る龍馬』 R1
11.20/19:30～20:55
- 『ラジオ防災特番 南海地震に備えちよき』
R1 12.18/13:00～14:55
- (徳島県域)
- 『阿波スペシャル』 G
「見どころ満載！徳島LEDアートフェスティバル」
4.23/19:30～20:43
「百年先に伝える“究極の青”～藍染師・矢野藍秀の挑戦」
6.25/20:00～20:43
「もうすぐ本番 熱中！阿波おどり」
7.30/20:00～20:43
「STOP！糖尿病」
10.25/20:00～20:43
「ガンバレ！就活～戦線まっただ中の君たちへ」
2.25/20:00～20:43
- 『防災ラジオ特集 知っとく納得 南海地震』
R1・FM 10.31/14:00～16:00
- (香川県域)
- 『笑ってうたって しあわせ家族』 G
「しあわせアイランド！小豆島の旅 前編」
4.23/20:00～20:43
「しあわせアイランド！小豆島の旅 後編」
5.28/20:00～20:43
- 『ゆう6かがわ年末スペシャル』 G
12.28/17:30～19:00
- 『“私が初めて創ったドラマ” メーキングSP』
G 2.25/20:00～20:43
- 『朗読 壺井栄賞』 R1 7.19/20:05～20:55

3. スポーツ中継（四国地域）

〔高校野球〕

全国高校野球選手権大会・地区大会（各県域）		
愛媛県	2回戦	R1／7.18～19, 21
	3回戦	R1／7.22～23
	準々決勝	G・E・R1／7.24 E・R1／7.25
	準決勝	G・E・R1／7.27
	決勝	G・E・R1／7.28
高知県	2回戦	R1／7.19～20
	準々決勝	G・E・R1／7.21～22
	準決勝	G・E・R1／7.24
	決勝	G・R1／7.25
徳島県	2回戦	R1／7.18～19, 21～22
	準々決勝	G・E・R1／7.23～24
	準決勝	G・E・R1／7.26
	決勝	G・R1／7.27
香川県	3回戦	R1／7.22～24
	準々決勝	R1・FM／7.25
	準決勝	G・E・R1／7.27
	決勝	G・R1／7.28

秋季四国地区高校野球・各県大会（各県域）		
愛媛県	準決勝，3位決定戦，決勝	R1／10.2～3
高知県	準決勝，3位決定戦，決勝	R1／10.10～11
徳島県	準決勝，3位決定戦，決勝	R1／10.2～3
香川県	準決勝，3位決定戦，決勝	R1／10.11, 16

秋季四国地区高校野球・四国大会(四国ブロック)		
	準決勝	G・E・R1／10.30
	決勝	G・E・R1／10.31

〔全日本サッカー選手権〕（各県域）

〔地区大会〕

愛媛県	代表決定戦	G／8.29
高知県	代表決定戦	E／8.22
徳島県	代表決定戦	E／8.22
香川県	代表決定戦	G／8.28

〔サッカーJリーグ中継〕

愛媛県域 G		
愛媛FC戦		
	対「徳島ヴォルティス」	4.17
	対「東京ヴェルディ」	4.24
	対「コンサドーレ札幌」	3.5
徳島県域 G		
徳島ヴォルティス戦		

	対「愛媛FC」	4.17
	対「コンサドーレ札幌」	5.22
	対「ガイナレ鳥取」	3.6

〔四国・九州アイランドリーグ〕 R1

愛媛県域		
愛媛マンダリンパイレーツ戦		
	対「長崎セインツ」	5.7
高知県域		
高知ファイティングドッグス戦		
	対「長崎セインツ」	5.14
香川県域		
香川オリーブガイナース戦		
	対「徳島インディゴソックス」	4.10
	対「愛媛マンダリンパイレーツ」	5.24, 9.24
	対「長崎セインツ」	9.25
高知・愛媛ブロック		
	「高知ファイティングドッグス」	
	対「愛媛マンダリンパイレーツ」	4.10, 9.23
高知・香川ブロック		
リーグチャンピオンシップ		
	「高知ファイティングドッグス」	
	対「香川オリーブガイナース」	10.2
	「香川オリーブガイナース」	
	対「高知ファイティングドッグス」	10.10

II. 技 術

1. 地上デジタル放送への取り組み

11年7月の完全デジタル化に向けて、デジタル中継局および受信インフラの整備を確実に推進した。自主共聴への技術支援，経費支援を行うとともに、四国総合通信局，デジサポ，民放局と連携して集合住宅や障害対策共聴のデジタル化および新たな難視対策に取り組んだ。周知・広報では、各種イベントに連動した相談会の開催，独自スポットの制作，番組による地上デジタル受信の説明を積極的に行ったほか，アナログ終了告知スーパーを開始し，視聴者のデジタル普及促進に努めた。

2. 地域放送の充実

地上デジタル放送の魅力的な番組の提供を行うため，09年度にハイビジョン化更新を完了したポスプロや1スタ設備をフル活用し，番組制作を実施した。1スタでは『四国羅針盤』『伊予路てくてく』のほか，08年度から開始した双方向生番組『四国選択会議』を年間3本制作した。また，双方向生番組を通じたOJTを実施する事により域内

技術者の人材育成に取り組んだ。この『四国選抜会議』では、固定電話、インターネット、携帯に加え、運動データ放送による投票も実施した結果、地デジ受信機からの投票が約半数を占めるようになった。

3か年経営計画の方針である“3-Screens”展開に、ネット技術スキルを生かして取り組み、「NHK全国学校音楽コンクール四国ブロック大会」では、本部と協力して、リアルタイムにライブストリーミング、終了後には参加校の合唱をビデオ・オンデマンド対応することで視聴者の接触率向上に努めた。また、広報事業・営業と連携して中継車公開など“放送局のちから”を発揮し、親しみやすい放送局への取り組みを行った。

高校野球愛媛大会では09年度に引き続き、球場に設置した無人カメラをIPネットワーク経由で運用し、3-Screensへのライブスコアの提供を実施した。秋の高校野球四国大会（香川）では、高松局と連携して、これまで実施していなかった球場で、投球速度表示を実施した。さらに、09年度に整備したDEワンセグ用の設備を使用して、ワンセグ・ローカルサービスを継続して実現した。

番組関係では、95年からBS2で放送している『俳句王国』は、600回を超える長寿番組となり、俳句の国「愛媛」を全国に発信した。11年度からはEテレに移り、新スタイルで句会の楽しさをお茶の間に届ける。また、技術提案番組『ふるさとの菜』を年間10本制作し、地域サービスの充実に貢献するとともに、年度後半には、NHK松山放送局開局70周年と連動して『愛媛の青春70』『俳句キッズ大集合！句会ライブIN松山』『燃えろ五・七・五』など、接触率の向上や若年層の視聴者の拡大を目的とする番組に取り組んだ。

4月以降、宇和島市愛宕公園、石手川ダム、松山城など各所に季節や番組と連動したロービングカメラを順次設置し、四季折々の愛媛県の風景を伝えた。桜のシーズンには、宇和島と城山にロボットカメラを仮設し、満開の桜の映像をタイムリーに放送した。

第22回参議院選挙や愛媛県知事・松山市長のダブル選挙では、システム構築や設備点検、訓練などの周到な準備を行い、経歴・政見放送、開票速報に万全を期した。参院選の投開票日には四国域内で9か所、松山局では事務所中継2か所、ダブル選挙の知事選・市長選2か所、すべてハイビジョンで中継を実施した。

3. 緊急報道の取り組み

11年3月、東日本大震災により、徳島県南部、高知県全域、愛媛県南部に大津波警報が出された。3局では速やかに、緊急報道中継対応を行った。今後発生する可能性が高いといわれている東南海・南海地震や原子力発電所事故に備えた設備の充実と訓練が課題である。

10年度の緊急報道は、3月に高松空港に配備された取材用ヘリが、緊急初動に効果を発揮している。4月、住友化学愛媛工場での爆発炎上事故では、いち早くヘリの映像で中継を行った。また、8月、香川県佐柳島沖に墜落した海上保安部ヘリの事故では、ヘリから生りポート中継を実施した。迅速な映像取材と企画番組などの撮影に威力を発揮している。

また、夕方の地域情報番組『いよかんワイド』の中で、1カメラとFPU（緊急パック含む）による「街角・天気中継」を実施することで、緊急対応力の強化を図った。

設備面では、行道FPU基地局から松山会館へのHD引き下し回線を2系統化し、ヘリ受信中にもニュースカー伝送を可能にするなど緊急報道体制を強化した。

新技術開発では、デジタル放送の局間伝送信号を解析して、監視や障害対応を容易にするTSモニタを開発し、第63回全国技術報告会において特別賞を受賞した。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

(1) 全国放送・地域放送公開番組

総合テレビ『NHKのど自慢』をはじめ、BS2やラジオ、FMなど、全国放送・地域放送番組を四国4県で23本公開収録し、2万3,000人余りの入場者があった。『BS日本のうた』（徳島局）は、受信料支払者への優待サービスとして受信料支払者を対象に実施した。

(2) 公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「歳末・海外たすけあい」、「ハートフォーラム」「ハート展」（徳島局）などのNHKハートプロジェクトや、「防災キャンペーン」関連の展示、「ふるさとの食 につぼんの食」地域フェスティバル、環境キャンペーンに連動した「ダーウィンセミナー」（松山局）の開催など積極的に取り組

んだ。

(3) こども・青少年、教育・教養イベント

『おかあさんといっしょファミリーコンサート』（高松局）や「放送体験クラブ」「全国学校音楽コンクール」「放送コンテスト」などの教育イベントを実施。地域の音楽文化・教育の振興を目的として、「学校にN響メンバーがやってくる！」（松山局）を09年に引き続き実施したほか、「NHK朗読ひろば」（松山局）など学校に出向くイベントを積極的に展開し、子どもや保護者層への理解促進に努めた。また、「おかあさんといっしょあつまれ！土曜日スタジオ収録」（松山局）では、受信料支払者への優待サービスとして受信料支払者を対象に実施し、若い主婦層との接触率向上と受信料制度の理解を求めた。

(4) 美術・展博イベント

大河ドラマ特別展「龍馬伝」（高知局）、生誕100年特別展「白洲正子」（松山局）、「第57回日本伝統工芸展」（松山・高松局）、「地球最古の恐竜展」（松山局）などNHKならではの“ホンモノ志向”の展覧会を開催し、地域文化振興に取り組んだ。

(5) 音楽イベント

12回目を迎え地元クラシック音楽ファンからも期待の高い「N響松山定期演奏会」（松山局）を開催し、良質な生の音楽を視聴者に提供することで、地域の音楽文化向上に寄与した。

(6) スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会（天皇杯各県予選）」のほか、「ジュニアスポーツ教室」（松山・高松局）や地域放送局杯各種大会を実施するなど、スポーツ振興や地域の活性化に資する展開を図った。

(7) デジタル放送普及PR

「NHKのど自慢」の予選会に合わせて「NHK地デジ茶屋」（松山局）、「地デジDE笑！劇場」（松山・高松局）を実施したほか、各イベント会場での地デジ相談コーナーの設置などデジタル放送普及PRに努めた。

(8) 地域貢献の推進

四国を舞台にした大型ドラマの放送に合わせたキャンペーン「ドラマチック！四国」に連動して「今宵復活！土佐勤王トーク」（高知局）、「プレミアムトーク『スペシャルドラマ 坂の上の雲』（松山局）のほか、高松局初制作のテレビドラマ「僕が好きだった君に」などの出演者によるトークイベントを企画実施した。また、開局70周年を迎えた松山局では「NHKのど自慢」に合わせた

『きみとずっと70年』イベントや松山城をテーマにしたファミリー劇「松山☆築城物語」を開催、各局でもLEDアートフェスティバルに合わせ「影絵ワヤン・リストラックがやってきた！」や「糖尿病防止料理イベント」（徳島局）、瀬戸内国際芸術祭開催を機に「体験！アート教室」（高松局）など、地域の産業・課題、大型事業と連動したイベントを展開し、地域における“ご近所放送局”として地域貢献に努めた。

2. 営業

(1) 全体状況

10年度の営業活動は、08年度下半期から実施された訪問集金廃止を始めとした営業構造改革を盤石なものとする年と位置づけ、支払総数増加の確保のために、新しい地域スタッフ体制の一層の定着と外部パワーによる契約取次の向上を目指した。また、営業収納額の確保のために、衛星契約増加と口座・クレジット払い増に重点的に取り組んだ。

結果、営業収納額・支払総数増加・衛星契約増加・契約総数増加・未取者削減は、4局とも年間目標を達成した。また、口座クレジット増加については、松山・高知・高松局の3局が達成し、四国ブロックとしても、全目標を達成することができた。

(2) 地域スタッフ体制

下半期より、受持区を廃止し地域ローテーションによる運用を開始させた。また、徳島局では、新たに分業地域も設定する中で、契約総数について09年度比115%の取り次ぎを確保したが、四国全体としては前年度並みに終わった。

(3) 新たな法人戦力の開発

09年度に続き6月と10月に募集説明会を実施し、(有)エヌタウンズが松山局、(株)エムシーエムが松山局と高知局、(株)テラスコミュニケーションズが徳島局と高松局でエリア型法人として新たに業務を開始した。

(4) ケーブル事業者による衛星契約取次

他部門との連携により、セミナーやイベントを開催するなど関係強化を図り、愛媛県と香川県でケーブル事業者による未契約者対策を実施、09年度比で2倍の取次実績が上がり、四国ブロックとしても前年度比1.5倍の取り次ぎを確保した。

(5) 活動水準の向上

年間を通して、「1ゴール3ポイント運動」を展開し、新規契約取次時の衛星受信確認および口座取次について強力に推進した。衛星新規率につ

いては、09年度から3.7ポイントの改善にとどまるが、新規同時口座率については、前年度の62.5%から71.4%へ8.9ポイントと大幅な改善を図ることができた。

(6) 全旅連まとめ支払率向上

事業所契約増加へ向け、各局ともトップセールスをはじめ全局的に取り組み、業界取りまとめ支払率09年度末の30.0%から10年度末50.5%と20.5ポイントを上させた。

(7) 民事手続きによる支払督促

公平負担・支払率向上へ向け、四国ブロック4県とも年2回ずつ実施し、09年度比で1.5倍の窓口変更を行い支払再開に取り組んだ。

3. 広 報

(松山局)

(1) 開局70周年関連の広報

70周年の広報は、年度後半の6か月に集中して実施した。キャッチコピーやロゴの印刷物などへの掲載、特設ホームページの開設、記念番組・イベントを紹介するパンフレットの作成などのほか、“きずな”がテーマの写真を募集して放送やホームページ、ロビーで紹介した。

3月9日の記念日には、新聞広告を掲載するとともに、来局者に特製手ぬぐいを贈呈した。

記念イベントとして局で実施した「新・三銃士ワールド」では、展示やトークショーを行った。同じく記念イベントとして予定していた「春のふれあい広場」は、東日本大震災により急遽内容を変更して縮小開催し、義援金受付や被災者応援メッセージの募集、防災コーナーなどを設けた。

(2) 地域のみなさまとの絆を強める広報

『坂の上の雲』では、自治体や地域の協力を得てポスターや大看板を掲出したり、坂雲短信や第1部再放送チラシ等の印刷物を配布した。また、パネル展やドラマ展を県内6か所で実施し1万6,000人を集めたり、松山ロケに併せて局のロビーでロケ現場の映像を解説つきで中継する「ライブ・ビューイング」を実施した。このような地域と連携した広報により、関東地区で13.5%だった第2部の平均視聴率は、愛媛県で23.3%となった。

視聴者の関心が非常に高かったFIFAワールドカップでは、日本・オランダ戦の放送を320インチのスクリーンで上映するパブリック・ビューイングを県内で唯一実施した。

夏休み期間には局の見学コースをファミリー向けに公開する一方、夏から秋にかけて集中的に市民まつりや大学祭など9の外部イベントに参加

し、若年層を中心とした3万2,000人に特製うちわの配布やクイズなどを行った。

その他『伊予路でててく』チラシや『俳句王国』放送波変更PRハガキ、局制作の番組・イベントから局内施設まで紹介するパンフレット等を作成した。

第35回「チャリティーロビー展」は37団体が出展し、126万円の義援金が寄せられた。

局のアートギャラリーでは年間46回の展示が行われ、入場者数は5万1,000人だった。また、局見学者は8,000人、来局者総数は7万人となった。

(3) 「ふれあいミーティング」による公共放送の理解促進活動

「ふれあいミーティング」は年間で34回実施し、2,524人（アンケートを含む）が参加した。そのうち公募型は3回で、「坂の上の雲 ライブ・ビューイング」での実施など、いずれも盛況で活発な質疑応答が交わされた。また、月1回の『伊予路でててく』スタジオ収録の際には、ロケ現場となった地域の参加者を対象に実施し、それぞれの地域事情を反映した意見や要望を受けることで、きめ細かい対応を行うとともに、公共放送の理解促進につなげた。

(4) 誠実、迅速、的確な視聴者対応と「視聴者からの声」の事業運営への反映

電話やメール、来局などによりハートプラザへ寄せられた質問・意見・要望は年間で1万8,463件にのぼり、各部と連携して迅速に対応するとともに、番組の参考や業務改善などに反映させた。

(5) デジタル放送普及拡大への取り組み

70周年関連や「坂の上の雲」のほか、視聴者との絆を深める全ての広報活動において、アナログ放送の終了やデジタル放送受信方法などを周知する印刷物、広報資材を配布したり、相談コーナーを設置するなどして普及促進に努めた。

また、四国総合通信局、民放4社、デジサポ愛媛と連携して、各局の女性アナウンサーによるデジタルマドンナ（デジタル推進大使）を用いたテレビスポットやポスターを制作したり、イベントを開催するなど、大規模で効率的な広報を展開した。

(高知局)

大河ドラマ『龍馬伝』に関連した広報活動を展開した。会館ロビーで、著名人による「龍馬イラスト展」や、大河ドラマの放送期間中「発進、龍馬伝展」を開催し多くの方に来館いただいた。11月には放送最終回記念イベントをJR高知駅前で開催。『龍馬伝』に出演した高知県出身の島崎和

歌子さんを交えたトークショーと最終回パブリックビューイングを行い来場者は約800人であった。『龍馬伝』を軸に、地域のみなさまとの結び付きを深め、公共放送の理解促進に取り組んだ。

〔徳島局〕

『連続テレビ小説〜ウェルかめ』のキャラクター「かめっ太」を徳島局のマスコットキャラクターとし、知名度を高める活動を展開。広報印刷物やグッズに活用し、局のPR活動の充実を図るとともに、「かめっ太」の人気効果で局のイメージアップを図った。

また、「NHK・暑い夏 みんなロビーで阿波おどり」も例年どおり8月に開催した。昼間の阿波おどりの名所として、認知度が高まっている。

「親しまれる放送局」を目指したさまざまな取り組みの効果が表れ、09年度を上回る来館者数を記録した。

〔高松局〕

親子で参加する「イベント&ふれあいミーティング」を開催。ミーティングでは若いお父さんから新鮮な意見を聞いた。秋の会館公開では「大河ドラマ巡回展」や「ステージショー」などさまざまな体験イベントに大勢の親子が来場し、地域の皆さんとの結び付きを深めた。また、公募によるふれあいミーティングや、地上デジタル放送の広報イベントを実施するなど、年間を通して接触率と満足度の向上に取り組んだ。

九州

- ◇10年度、九州・沖縄のデジタル中継局の整備は167局、累計で476局（親局を含む）となり、年度末の電波によるエリアカバー率は域内97.6%に達した。
- ◇福岡局では、開局80周年を記念したアーカイブス番組や地域ドラマを制作、放送した。また、会館公開でも80周年記念の特集番組を放送し、例年の倍の人が訪れた。
- ◇長崎局では、大河ドラマ『龍馬伝』を活用した各種イベントを実施して地域の活性化を図り、地域に大きな経済効果をもたらした。
- ◇鹿児島局では、活発な活動が続く桜島の噴火情報について、データ放送の機能を活用した速報表示システムを開発して3-Screensでサービスを開始し、視聴者から高い評価を得た。
- ◇宮崎局では、口てい疫発生、鳥インフルエンザのまん延、新燃岳大噴火など年間を通して未曾有の災禍に見舞われたが、全局を挙げて災害報道に取り組んだ。
- ◇沖縄局では、「沖縄戦全戦没者追悼式」の正午の黙とうを地上デジタル放送のマルチ編成によってローカル放送で生中継し、県民の要望に応えた。

I. 放送

1. 放送の概要

(1) 地域放送

平日夕方6時台のニュース番組や金曜夜間の7・8時台を中心に、地域向け番組の内容を充実・強化した。

平日夕方6時台のニュース番組は、地域に密着し正面から課題に向き合うとともに、暮らしに役立つ情報なども交え、視聴者の関心に応える地域のメインニュースとして内容の一層の充実を図った。

金曜夜7時台は、第1週を各県ごとの放送として、各地で活躍する人々や地域の課題を取り上げた。ブロック放送の『九州沖縄インサイド』では、地域経済や格差社会、諫早湾干拓事業、暴力団追放、口てい疫問題、裁判員裁判など、九州・沖縄地域が抱える課題を取り上げた。また、8時台の『九州沖縄スペシャル』では、鉄道で地域をめぐるながら人々の暮らしや各地の魅力を再発見する

「林家三平のテツタビ」、九州沖縄出身の著名人がふるさとを訪れる「ただいま!」、地元の若手アーティストを発見・応援する「トンコツTV DX」のほか、アジアを舞台に活躍する日本人を見つめる「ASIAN PASSION」を新設するなど、多彩な番組を編成した。さらに、この時間帯では地元で人気のプロ野球・ソフトバンクホークスの試合中継や、無縁社会などをテーマとした生放送の徹底討論、地域の自然・文化を背景にした情感豊かな人間ドラマなどにも取り組んだ。

このほか、防災を呼びかける番組や、戦争と平和について考える番組、地域イベントと連動した番組など、多様な特集番組を編成し、地域視聴者の期待・関心に応えた。

(2) 全国発信

『博多屋台こまっちゃん』(R1)は2年目スタートを期にテーマソング「博多よかよか音頭」を制作。毎回「音頭の帝王」小松政夫が唄い、往年のギャグとともに番組名物として定着した。歴史的、地理的にも関係の深い九州・沖縄とアジア、太平洋地域との、意外で密接な交流を紹介する番組。舞台は九州博多の屋台。常連客であるNHKアナウンサーが九州沖縄で活躍する各界の人々を連れて屋台を訪れる。生っ粋の博多っ子・小松政夫さんふんする大将と、経済の結び付き、お国事情や風習の違いからの戸惑いなど、地域の国際交流を語り合う。大分弁論大会で見事優勝のインドネシア人留学生、長年フィリピンでの奉仕活動を正規の授業として行っている福岡の大学、アジアで人気のミュージシャンが新幹線の発車メロディーを作曲など、10回放送。小松政夫さんの正調博多弁も地元や出身者の間で好評。

9月20日、『きょうは一日“韓国ドラマ・K-POP”三味IN福岡』(FM)を放送した。現代の国内ポップス界を席けんするK-POPと、女性を中心に人気を集める韓国ドラマの主題歌だけをテーマにした長時間ディスクジョッキー番組。折から福岡市内で開催中のイベント「アジアマンス」の一環として、韓国で売り出し中の男性アイドルグループSM☆SHを招き、コンサートも開くなど「アジアへの玄関口」福岡ならではの企画として好評を博した。番組への反響も時間を追うごとに増え「こんな番組、初めて聞きました」「ネットで放送を知ってラジオを買ってきて聞いています」など、これまでラジオには縁遠かった方々からの反響が多かった。メールを中心にリクエスト総数は6,000通に上った。

2月6日、『朗読と音楽の夕べ～伝説のアスリ

ートたち』(BS2)を放送した。稲尾和久、君原健二、山下泰裕ら地元出身のスポーツ選手の自伝などを題材に朗読イベントを実施。偉大な選手の知られざる苦悩、いかに壁を乗り越え大輪の花を咲かせたかの物語は多くの聞き手の共感を得た。このようにBS2の他、九州・沖縄向けには教育テレビやFMでも放送した。

地域の戦争の記憶を発掘していく取り組みとして、『証言記録 市民たちの戦争』で「ヤマの戦争 強いられた増産～福岡県・筑豊炭田」を制作、銃後の過酷な実態を描いた。

7月に亡くなった福岡出身の劇作家・つかこうへいの足跡をたどる『ヒューマンドキュメンタリー・つかこうへい日本の芝居を変えた男』を放送。

『クローズアップ現代～問われる“夢の医療”』では、医療技術の進歩が患者負担の増大をもたらし、治療断念すら招く深刻な実態を明らかにした。

14回目となる『熱血!オヤジバトル』は日本を3地区に分けて予選を実施、特にネット投票は大きな反響を呼び、多数の参加を呼び込むことに成功、決勝大会もこの番組史上、最多の動員を実現した。(決勝大会の放送は大震災のため11年度に遅れて放送した)

9作目となる地域ドラマ『見知らぬわが町』は福岡開局80周年の記念番組と位置づけられ、例年の倍近い規模で制作された。炭鉱で栄えた大牟田の街の歴史を、不登校で揺れ動く女子高生の視点から描き、好評を博した。

口てい疫や新燃岳噴火などの緊急災害報道においては、『追跡AtoZ～口てい疫 “感染拡大”の衝撃』『クローズアップ現代～新燃岳噴火 どうなる“火山列島”』などとしていち早く全国発信。

一方、全国の関心を集めた地域問題については、長期取材を敢行し、『NHKスペシャル』として放送した。沖縄の普天間基地については、問題の背景を徹底的に探り、「シリーズ日米安保50年 第2回 沖縄“平和”の代償」として放送。

また、開門か否かで揺れている諫早湾干拓事業については、『クローズアップ現代』などで複数回取り上げてきたその集大成として『NHKスペシャル～“清算”の行方 諫早湾干拓事業の軌跡』として放送。全国的に大きな反響を呼んだ。

その他、自殺防止に取り組む人々を追ったドキュメンタリーや長期化する“ひきこもり”などの番組を全国発信した。

(3) 選挙報道

10年7月11日、政権交代後、初の全国的な国政

選挙となる参議院選挙が実施された。野党に転落した自民党が、もともと、保守地盤の強い九州・沖縄でどこまで勢力を維持・回復させられるかがポイントの1つとなった。九州・沖縄の放送局は、綿密な事前取材に基づき、自民・7、民主・2と予測、的中した。開票速報では、各局が全局体制のもと、的確で素早い当確判定を行い、他社に先駆けて当確を打ち出した。

11月7日と14日には、熊本市長選挙と福岡市長選挙が相次いで行われ、正確な情勢取材と開票所取材に基づき、いずれも開票開始から間もない段階で当確を打った。

続いて11月28日に行われた沖縄県知事選挙は、普天間基地の移設問題を最大の争点に、全国的に注目される中で行われた。NHKは沖縄放送局が正確に票読みを行ったうえに、投票当日、九州・沖縄各放送局から集まった記者の力を結集して、徹底した開票所取材を行った結果、他社に先んじて、現職の仲井真氏に当確を打った。

また、市長と市議会の対立が続く鹿児島県阿久根市では、12月5日に市長解職への是非を問う住民投票が行われ、綿密な開票所取材の結果、大接戦と判断。開票の最終盤まで慎重な分析を続け、リコール成立を伝えた。これを受けて11年1月16日に直出し市長選挙が行われ、情勢取材と開票所取材に基づき、他社に先駆けて当確を打った。

さらに、12月26日の宮崎県知事選挙と2月6日の北九州市長選挙は、いずれも事前の情勢取材などに基づき、開票開始前に当確を打った。

(4) 事件・事故、災害報道

4月20日、宮崎県都農町の農場で口てい疫に感染した疑いのある牛が見つかった。口てい疫に感染した牛や豚はその後も相次ぎ、発生は11の市と町に上った。宮崎県は5月18日、東国原知事が非常事態を宣言。消毒の徹底やイベントの自粛などを呼びかけた。感染の拡大を防止するため、合わせて30万頭の家畜が処分された。

宮崎県の畜産業のみならず、県民生活にも大きな影を落としたこの問題。宮崎局ではローカルニュースのほとんどの時間を割いて事態の深刻さや行政の対応、農家の悲痛な叫びなどを報道したほか、さまざまな番組でも伝え続けた。その後も地域の重要なテーマとして畜産業の再興をはじめ、原因究明や再発防止などに向けた取材を続けている。

9月7日、尖閣諸島沖の日本の領海内で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突して逃げ、船長が公務執行妨害容疑で翌日、逮捕された。事件に中

国政府が強く反発する中、那覇地検は処分保留のまま船長を釈放し中国へ送還した。船長はその後、起訴猶予になった。

沖縄局では海上保安部のある石垣島に取材チームを派遣し、現地での取材を重ねた。また、那覇地検がどのような処分を決めるのか取材を続けた。

この事件では、船長の処分の是非とともに、衝突事件の映像をインターネット上に流出させた海上保安官の処分の是非が、国民の注目を集めた。

10月20日、奄美大島で記録的な大雨が降った。奄美市住用町では1時間に131ミリの雨が観測され、島内各地で土砂崩れや河川の氾濫が相次いだ。

しかし、道路が各地で寸断されたうえ、携帯電話を含め通信手段が多く地域で断たれたため、被害状況の把握は当初、困難を極めた。

鹿児島局では、いち早く現地入りした取材クルーが、2人死亡した奄美市住用町のグループホームの被災状況をいち早く取材・放送した。また、各局の応援クルーが沖縄や他の奄美群島を經由して船で現地に入り、現地の前線本部を足がかりに取材を展開した。交通と通信の遮断という状況下で災害とその取材は、離島の防災上の課題を浮き彫りにするものだった。

1月26日、鹿児島と宮崎にまたがる霧島連山の新燃岳で活発な噴火活動が始まり、翌日には52年ぶりに爆発的な噴火が観測された。国内ではおよそ300年ぶりの本格的なマグマ噴火だった。大量の火山灰が都城市をはじめ、宮崎県側を中心に降り、宮崎市では一時、空港の滑走路も閉鎖された。また、鹿児島県側では噴火に伴う空振で、観光地霧島市の温泉ホテルなどで窓ガラスが割れるなどの被害が出た。

宮崎局と鹿児島局では突発的な噴火に備えて、安全に十分配慮しながらの取材が続いた。日々の火山活動の推移をローカルニュースなどできめ細かく報道するとともに、火山灰による市民生活への影響なども丁寧に伝えた。山にはその後も大量の火山灰が堆積し、雨の季節に備えて土石流災害も警戒しての取材が続く。

(5) 飲酒運転撲滅を目指して

福岡県内で数年来の課題となっている飲酒運転の撲滅。福岡局をはじめとする九州・沖縄の各局では「追放！飲酒運転」を統一テーマとして、各地の取り組み、被害者、加害者の声を企画リポートで伝え、特番でも報じた。しかし、10年の福岡県内の飲酒運転の事故が全国最悪となったほか、2月には、高校生2人が飲酒運転の車にはね

られて死亡するという痛ましい事故が繰り返されてしまった。この事故では、原因や状況を詳しく報じるとともに、悲しみを受け止め、これ以上悲惨な事故が起きないように訴えている遺族の姿を継続して取材し、発信した。今後も、飲酒運転の撲滅に向けてさまざまな観点で報道を展開していく。

2. 地域放送番組

(1) 定時番組

『NHKニュース おはよう日本』 G

福岡県域、各局単 月～金 7:45～ 7:51
土 7:30～ 7:35

九州ブロック 月～金 7:51～ 8:00

第1回93.4.5／福岡県域・各局単の時間帯は、各県のニュース・気象情報。ブロック時間帯は、各局のネットワークを生かした広域ニュースやリポート、各地の朝の表情を伝える中継などで構成。

『おはようサタデー九州沖縄』 G

土 7:35～ 8:00

第1回93.4.10／九州ブロック／九州・沖縄を舞台に活躍する人たちにじっくりと話を聞く「サタデートーク」、各地からの中継、「西日本の旅」、地域の週末情報などで構成。

『ぐるっと8県九州沖縄』 G

九州ブロック 月～金 11:30～11:45

福岡県域 月～木 11:45～12:00

福岡単 金 11:45～12:00

第1回03.9.29／九州・沖縄各局のネットワークを生かして、各地の食や文化など“ふるさと自慢”の紹介やインタビューで構成。福岡・北九州局は、11時45分から引き続き県域（金曜は単）で、料理や健康など暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。／各局タイトル：『きたきゅうたいむ』北九州局、『テレメッセくまもと』熊本局、『ながさきナビゲーター ヒルミテ』長崎局、『ひるまえクルーズかごしま』鹿児島局、『昼前ホットみやざき』宮崎局、『好きっちゃ おおいた』大分局、『ひるまえ情報便』佐賀局、『りっかりっか沖縄』沖縄局

『ニュースなっとく福岡』 G

福岡単 月～金 18:10～18:59

第1回08.3.31／単／地元福岡の人々の生活に密着し、日々の暮らしの中で“身の回りの気になること”に応える番組。事件・事故の最新情報を始め、生活に直結する県内のさまざまな重要課題の行方、東京や世界などの動きと福岡との関わり、アジア情報、スポーツ情報、街角情報などを分か

りやすく伝えた。

福岡以外の各放送局でも同時帯にニュース番組を編成した。宮崎局のみ金曜5時台に県内の話題を盛りだくさんに紹介する情報番組、6時台はニュース番組を編成した。／各局タイトル：『こんばんは北九州』北九州局、『クマロク!』熊本局、『長崎EYE610』長崎局、『情報WAVEかごしま』鹿児島局、『いっちゃんがゴールド』(17:05～)、『ニュースWAVE宮崎』(18:10～)宮崎局、『ニュースTodayおおいた』大分局、『NEWSファイル佐賀』佐賀局、『ハイサイ!ニュース610』沖縄局

(ブロック番組)

(1) 定時番組

『九州沖縄インサイド』 G

金 19:30～19:55

Ⓜ日 8:35～ 9:00

第1回07.4.20／第2～5週：九州ブロック／九州・沖縄地域の課題や、人々が注目する出来事に正面から向き合い、検証や提言をしていくスタジオ報道番組。地域経済や格差社会、諫早湾干拓事業、暴力団追放、口てい疫問題、裁判員裁判など、地域の人々にとって身近で重要なテーマをタイムリーに、分かりやすく掘り下げて伝えた。

4.9 「客はこうして呼び込め～デフレ時代の
新戦略」 (福岡)

4.23 「暴力団の“資金源”を断て～全国
初・暴力団排除条例」 (福岡)

5.21 「集え!“学舎”へ～新たな介護の
かたち」 (大分)

5.28 「“開門”へ～岐路に立つ諫早湾」
(福岡・長崎)

6.25 「“軍民一体”孤島の悲劇～沖縄・伊江
島 65年目の証言」 (沖縄)

7.9 「生徒の安全を守れ～大分・野球部バ
ス事故から1年」 (大分)

7.16 「“再生”への道は～口てい疫発生から
3か月」 (福岡・宮崎・鹿児島)

7.23 「激変!めんたいこ市場～岐路に立つ
地域ブランド」 (福岡)

7.30 「良い母親でいたかった～急増する児
童虐待の陰で」 (福岡)

8.20 「裸の心で芝居しろ～つかこうへい
舞台の秘密」 (福岡)

8.27 「飲酒運転をなくせ～3児死亡事故から
4年」 (福岡)

9.20 「100歳が消えたのに～“つながり”失
う家族・社会」 (福岡・北九州)

- 9.24 「自分を責めないで～流産41%の衝撃」
(長崎)
- 10.29 「わたしたちを見捨てないで～カネミ
油症“支援”打ち切りの危機」
(北九州・長崎)
- 11.26 「“歪められてきた”水俣病～認定基準
をめぐる医師たちの告白」(福岡)
- 12.17 「死刑か無罪か～裁判員たちの40日」
(福岡・鹿児島)
- 12.24 「開門へ～諫早・上告断念の波紋」
(福岡・長崎・佐賀)
- 1.14 「長期化する“ひきこもり”～親の高
齢化が進む中で」(福岡)
- 1.21 「小さな島の“介護革命”～全国から
注目 沖縄・池間島」(沖縄)
- 1.28 「家族で戦争をどう伝えるのか」
(鹿児島)
- 2.25 「しのびよる“微量水銀”汚染」(熊本)
- 〔第1週各県域番組〕**
- 『福岡にんげん交差点』** (福岡・北九州)
- 4.2 「“助けて”と言っている～30代ホーム
レスを救え」
- 5.14 「補助輪をははず日」
- 7.2 「われらゲーム家族 福岡発世界へ」
- 9.3 「歩こう！まだがんばれる～つくし路
100キロ徒歩の旅」
- 10.1 「老いを笑いとばせ！～高齢者劇団・
公演までのひと月」
- 11.5 「“描くこと”を見つけた～福祉作業所
工房まるの日々」
- 2.4 「あなたの安全と財産を守ります～密
着・新人警備員」
- 『くまもとの“風”』** (熊本)
- 4.2 「玄海発見伝 音楽家 Viento」
- 4.9 「快進撃！走り続けろ 新生ロアッツ」
- 4.23 「私は患者の伴走者～医師・板井八重
子の毎日」
- 5.14 「玄海発見伝 番外編 子飼商店街の元
気を探せ！」
- 5.21 「水俣病 はじまった救済策～“全面
解決”とは何か」
- 6.25 「戦う理由をみつけろ～柔道家・内柴
正人さん」
- 7.2 「玄海発見伝 嫌いだった荒尾へ～シ
ンガーソングライター 関島秀樹さ
ん」
- 7.9 「大地と天空のミステリー くまもと
パワースポット大紀行」
- 7.30 「火の国人物録 魚わく海へようこそ
～水俣のダイバー 森下誠さん」
- 8.27 「火の国人物録 天草に残した心の歌
～作曲家・中村八大さん」
- 9.3 「阿蘇の火山パワーを探れ」
- 9.18 「山本太郎と行く！天草 宝島の旅」
- 9.24 「だからボクは母をかいた～政治学者
姜尚中さん」
- 10.1 「玄海発見伝 再発見！熊本の野菜の
魅力～料理人・森田真二」
- 11.5 「ふみ姉ちゃんの“拉致”～残された
家族の30年」
- 11.26 「エコーから一歩ふみだして～わたし
のまちの○と×・熊本」
- 12.17 「その先の音を求めて～熊本県立盲学
校アンサンブル部」
- 1.7 「玄海発見伝 タングダンサー 藤田
真紀さん」
- 1.14 「工場の“困った”お助けします！～
工業技術研究員」
- 1.28 「あふれる叫び～20歳のシンガー・舞
花」
- 2.4 「ふるさと自慢うた自慢～合志市」
- 3.4 「玄海発見伝 奥が深～い“熊本弁”」
- 『なが☆スベ』 新** (長崎)
- 4.2 「毒 その不思議な世界～ふぐ肝から
最新美容法まで」
- 4.9 「マグロー一本釣りにかける～壱岐市勝
本町」
- 5.21 「被爆者“最後の渡米”」
- 6.25 「あなたに会いたかった～流産・死産
に苦しむ女性たち」
- 9.3 「祭囃子が聞こえる島で～平戸市 度
島」
- 10.1 「もうひと漕ぎ 前へ」
- 11.5 「川原垂矢子さんと行く 美☆アイラ
ンド 五島列島」
- 12.3 「“空回りトレーナー”奮闘記」
- 1.7 「守り伝えて300年～からすみ職人 高
野昌明」
- 2.25 「走る！料理人」
- 3.4 「跳べ！絵里香 跳べ！」
- 『かごしま熱風録』** (鹿児島)
- 5.14 「迷わず振り切れ～小田龍一 2勝目
への挑戦」
- 7.2 「産廃処分場建設にゆれる集落」
- 9.3 「証言記録 硫黄島の戦い～鹿児島
陸軍歩兵第145連隊」

- 9.24 「龍馬が薩摩にやって来た！」
- 12. 3 「大雨に襲われた暮らし～奄美豪雨災害から45日」
- 1. 7 「篤姫の姿を求めて～84歳中村晋也の闘い」
- 2. 4 「ロケット★マン～種子島・夢を打ち上げる人びと」
- 3. 4 「一日一絵～28年続く絵日記」

『宮崎熱時間』 (宮崎)

- 4. 2 「響け！僕たちの鼓動～日本一のジュニア太鼓」
- 5.14 「地域医療を守りたい」
- 7. 2 「口蹄疫 苦悩の日々～川南町 畜産農家の記録」
- 9. 3 「愛を育てるハートの田んぼ」
- 11. 5 「町に勝利を！再起へのトライ～ラグビーチーム 川南クラブ」
- 1. 7 「もう一度 酪農やろうよ～川南町復興への道のり」
- 3. 4 「未来をはぐくむ場所～発達障害・支援への模索」

『ハイビジョンが撮る おおいた美の風景』(大分)

- 5.14 「両子寺, 東椎屋の滝, 中津干潟」
- 9. 3 「水の物語, 青春の音楽, 光り輝く夜景」
- 10. 1 「黒岳の原生林, 塚原高原, 白杵石仏火まつり」
- 12. 3 「明礬温泉・湯の花, 熊野磨崖仏, 国見町・ケベス祭り」

『佐賀イズム』 (佐賀)

- 4. 2 「シューカツ・佐賀 春の陣」
- 5.14 「あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑 おいしさへの道は甘くない～アイスクリーム開発」
- 7. 2 「ゆっくりしっかり～やっちゃんの進路選択」
- 9. 3 「市民たちの戦争 “引き揚げ”の嵐の中で～京城帝国大学 医学生の戦争」
- 11. 5 「佐賀 唐津市発 いちじく」
- 12. 3 「海のバクテラウチ～向島 アラ漁師」
- 1. 7 「私が初めて創ったドラマ 怪獣を呼ぶ男」
- 2. 4 「400年越しの交流～文禄・慶長の役「里帰り」展」
- 3. 4 「菓子济々～ガンコ堂の甘味日和スペシャル」

『きんくる～沖縄金曜クルーズ』 (沖縄)

- 4. 2 「センバツ 沖縄野球の底力」
- 4. 9 「春スペシャル 沖縄ちゅらうたコンサート」
- 4.23 「“ウチナーグチ”が通じない!？」
- 5.14 「本土復帰38年 初代知事 屋良朝苗」
- 5.21 「南条市発 “地域の宝”を観光に生かせ!」
- 6.25 「“軍民一体” 孤島の悲劇～沖縄・伊江島 65年目の証言」
- 7. 2 「夏! 沖縄ロック最新事情」
- 7. 9 「基地返還が街を変える」
- 7.16 「信ちゃん 萌ちゃん 歴史の道の珍道中in恩納村」
- 7.23 「新発見 600本の沖縄戦フィルム」
- 7.30 「拡大版 “本土復帰”とは何だったのか～日米交渉の舞台裏」
- 8.20 「熱く燃えた高校生たち」
- 8.27 「星いっぱい 果物いっぱい～石垣の旅」
- 9. 3 「拡大版 僕らが伝えなきゃ～HY 沖縄から“命”を歌う」
- 9.24 「島で老い続けるために～池間島“手作り介護”の現場」
- 10. 1 「教師たちの告白～宮森小ジェット機墜落から51年」
- 10.29 「調査報告“朝鮮人軍夫”の沖縄戦」
- 11. 5 「琉球大学60年」
- 11.26 「信ちゃん 萌ちゃん 懐かしの軽便鉄道を巡る」
- 12. 3 「どうする沖縄～知事選後の“大ゆんたく”」
- 12.24 「年末拡大スペシャル 第1部 コザ騒動 第2部 きんくる2010」
- 1. 7 「照屋林助と八重山古謡」
- 1.14 「もう基地には頼らない」
- 2. 4 「沖縄エコアイランドへの挑戦」
- 2.25 「“命の歌”の大合唱～「一粒の種」宮古で響く」
- 3. 4 「“沖縄の現実を描け!” 伝説の画家・安谷屋正義」

『九州沖縄スペシャル』 G 金 20:00～20:43

④ 翌週土 10:05～10:48

第1回 02.4.26/九州ブロック/08年度から原則・毎週放送。バラエティー豊かな内容で幅広い視聴者層の要望に応える番組を編成。紀行番組や地域を元気にする公開番組, アジアで活躍する人物にスポットをあてたドキュメンタリーなどを放送した。

4. 2 「村人たちの晴れ舞台～子守唄の里
熊本県五木村」 (熊本) ンターで収録」 (福岡)
4. 9 「ただいま！～草刈正雄 ふるさとの
熱き血潮に」 (福岡) 11.19 「トンコツTV DX～福岡市・天神中央
公園で収録」 (福岡)
- 4.16 「プロ野球「ソフトバンク」対「楽天」
～ヤフードームから中継」 (福岡) 11.26 「林家三平のテツタビ～長崎電鉄 ひ
とめぐり」 (福岡)
- 4.23 「林家三平のテツタビ～西鉄・天神大
牟田線 ひとめぐり」 (福岡) 12.10 「福岡発地域ドラマ～見知らぬわが町」
(福岡)
5. 7 「プロ野球「ソフトバンク」対「西武」
～ヤフードームから中継」 (福岡) 12.17 「どさんこラーメン博多っ子」
(福岡・札幌)
- 5.14 「ASIAN PASSION～アジアを駆ける
日本人～上海ドリームをつかめ～
“和僑”たちの挑戦」 (福岡) 12.24 「ただいま！～“美のカリスマ”がく
ぐった青春の門～IKKO」 (福岡)
- 5.21 「峯入～大分・国東 千年の祈り」
(大分) 1. 7 「長谷川法世と大塚ムネトが描く川上
音二郎の生涯」 (福岡)
- 5.28 「激震 口てい疫～感染拡大を防げ」
(福岡・宮崎) 1.14 「九州熱中学園～龍に命を吹き込む乙
女たち～長崎女子高校 龍踊部」
(福岡)
- 6.25 「とうとがなし ばあちゃん～与論島
死者を弔う洗骨儀礼」 (鹿児島) 1.28 「林家三平のテツタビ～ゆいレール
ひとめぐり」 (福岡)
7. 2 「ただいま！～姜尚中 熊本こそ我が
“故郷”」 (福岡) 2. 4 「ただいま！～蔵出し！デラックス」
(福岡)
- 7.16 「林家三平のテツタビ～九大本線 大
分発ひとめぐり」 (福岡) 2.18 「おいしい闘技場～九州沖縄VS東北」
(福岡・仙台・青森)
- 7.23 「燃え萌え！戦国武将列伝」 (福岡) 2.25 「林家三平のテツタビ～別府発 日豊
本線 ひとめぐり」 (福岡)
- 7.30 「阿蘇 灼熱の大地」 (熊本) 3. 4 「ASIAN PASSION～アジアを駆ける
日本人～つながりを見つめ直して～
“親日”台湾での奮闘」 (福岡)
- 8.20 「証言 石炭戦士・地底の戦場～福
岡・筑豊」 (福岡) 3.29 「林家三平のテツタビ～門司港発 鹿
児島本線 ひとめぐり」 (福岡)
- 8.27 「林家三平のテツタビ～夏の蔵出し祭
り」 (福岡)
9. 3 「ASIAN PASSION～アジアを駆ける
日本人～戦禍を越えて 前へ～カン
ボジア・笑顔の向こう側」 (福岡)
- 9.10 「プロ野球「ソフトバンク」対「日本
ハム」～ヤフードームから中継」
(福岡)
- 9.17 「九州熱中学園～私たちの宝！島の唄
と踊り～沖縄県八重山農林高校郷土
芸能部」 (福岡)
- 9.24 「林家三平のテツタビ～鹿児島本線
ひとめぐり」 (福岡)
10. 1 「つかこうへい 日本の芝居を変えた
男」 (福岡)
- 10.29 「不健康日本一から脱却できるか～福
岡発・健康大作戦」 (福岡)
11. 5 「ASIAN PASSION～アジアを駆ける
日本人～日本発ポップカルチャー
タイを笑顔に」 (福岡)
- 11.12 「大相撲九州場所前夜祭～福岡国際セ
ンターで収録」 (福岡)
- 『徹底討論 ふるさと再生スタジアム』 G
金 19:30～20:43／九州ブロック
7. 9 「どうする？あなたのお葬式・お墓」
(福岡)
- 10.15 「どう守る？孤立する高齢者」 (福岡)
- 『おはよう九州沖縄』 R1
月～土 7:40～7:58
九州ブロック／九州・沖縄のニュースや気象・
交通情報、ホットな話題で構成する生活情報番組。
- 『夕べのひとつき』 FM 月～金 18:00～18:50
九州ブロック／リスナーからのリクエスト曲を
中心に、福岡を訪れたアーティストをゲストに招
き、話題と音楽で構成する生放送番組。また随時、
福岡放送局のパークサイドスタジオから公開生放
送を実施。／熊本局：年4本・金『NHK・美術
館コンサート』、鹿児島局：毎月最終月『かごし
まの夕べ』、沖縄局：年8本『うちなあジョッキ
ー』、毎週金、『沖縄ミュージックジャーニー』
(10年度後半期から開始、第1回10.10.8)

- 『トンコツRADIO』 FM
 年12本・毎月最終土 18:00～18:50
 ㊦翌週土 0:00～ 0:50
 九州ブロック/GTVの『トンコツTV DX』と
 連携しながら、九州・沖縄の若いアーティストの
 発掘・応援を行う。
- (2) 特集番組 (ブロック)
- 『平成の興南旋風 優勝への軌跡』 G
 (沖縄) 4. 4 / 1:15～ 1:47
- 『水俣病犠牲者慰霊式』 G
 (熊本) 5. 1 / 14:00～15:11
- 『地域特集～水俣病 公式確認から54年～節目
 の年を迎えて』 G
 (熊本) 5. 1 / 18:10～18:42
- 『地域特集～“水俣病”と生きる～医師・原田正
 純の50年』 G (福岡) 6.20 / 17:00～17:55
- 『平成22年沖縄全戦没者追悼式』 G
 (沖縄) 6.23 / 11:35～11:54
- 『朗読シアター2010～沖縄戦 残された傷跡』
 G (沖縄) 6.23 / 17:05～17:58
- 『興南頂点へ！緊急特番』 G
 (沖縄) 8.21 / 18:10～18:45
- 『特集 戦争インタビュー』 R1
 「あの時わたしは散りたかった～元特攻隊員・
 庭月野英樹」
 (福岡・宮崎) 8.30 / 12:20～12:55
 「本当の地獄とは何かを伝えたい～戦争体験語
 り部の会・高橋照美」
 (福岡・大分) 8.31 / 12:20～12:55
- 『地域特集～音楽のタイム・カプセル～九州のう
 たファミリー・コンサート』 G
 (福岡) 9.23 / 10:05～11:23
- 『祝リーグ優勝！おめでとう福岡ソフトバンクホ
 ークス』 G (福岡) 9.26 / 23:50～ 0:50
- 『発見！あなたのエコスタイル～北九州発“手作
 り”環境祭』 G
 (北九州) 10.16 / 13:50～15:00
- 『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコン
 テスト2010～九州沖縄地区大会』 G
 (福岡) 11.13 / 15:05～15:59
- 『特集 人権インタビュー』 R1
 「母子感染の苦しみ、親子で訴える～全国B型
 肝炎訴訟原告団代表・谷口三枝子」
 (福岡) 12. 9 / 12:20～12:55
 「こら！走らんか！～車いすマラソンランナ
 ー・工藤金次郎」
 (大分) 12.10 / 12:20～12:55
- 『地域特集～思い出の街が甦る～写真家・井上孝
 治の世界』 G (福岡) 12.23 / 14:00～14:43
- 『地域特集 舞台中継「川上音二郎・貞奴物語」』
 E (福岡) 1.16 / 14:00～17:00
- 『九州劇場～とぜんなか』 R1
 (福岡) 2.19 / 22:15～22:55
- 『伝説のアスリートたち 壁をのりこえて～NH
 K朗読と音楽の夕べ』 E
 (福岡) 3. 5 / 14:00～16:00
- 『南の文芸館』 FM
 (福岡) 3.26 / 21:00～22:00
- 『伝説のアスリートたち 朗読と音楽の夕べ』
 FM (福岡) 3.27 / 16:00～18:00
- (2) 特集番組 (県域)
 (福岡局)
- 『発掘！ふくおか いま☆むかし』 G
 第4回「NHK特集～命もえつきる時～作家
 檀一雄の最期」 4. 3 / 9:00～10:00
 第5回「ふるさとのヒーローたち」
 5. 8 / 9:00～10:00
 第6回「福岡大空襲」 6. 5 / 9:00～10:00
 第7回「博多祇園山笠」 7. 3 / 9:00～10:00
 第8回「うきは～少年たちの夏」
 9.12 / 13:05～14:35
 第9回「福岡の芸術」 10. 2 / 9:00～10:00
 第10回「福岡経済の発展」
 11. 6 / 9:00～10:00
- 『NHK福岡80周年ラジオスペシャル11時間生
 放送！』 R1 5. 3 / 8:30～19:55
 ※10時・11時台は全国放送で、福岡とアジアの
 絆を見つめ直す『上海万博開幕！福岡がつな
 ぐアジアの絆』を編成
- 『見てんしゃい！来てみんしゃい！博多どんた
 く港まつり2010』 G 5. 3 / 13:05～14:00
- 『とどけ♪未来へのハーモニー～NHK児童合唱
 団MIRAI 第5回定期演奏会』 G
 5. 4 / 11:20～11:54
- 『生中継！博多祇園山笠2010』 G
 7.15 / 4:15～ 6:00
- 『地デジ侍 再び～画面の忍者 ビル影参上』
 G 7.24 / 11:20～11:30ほか随時
- 『中継スペシャル 大濠花火大会』 E
 8. 1 / 20:00～21:35
- 『フォーラム認知症新時代～いきいきと暮らすた
 めに～医療・介護・地域の支え合い』 E
 10.30 / 14:50～15:49
- 『ガクラジ～福岡市・西南学院大学で収録』
 FM 11.23 / 14:00～16:00

『地域特集 わが町で生きる人々～福岡発地域
ドラマ“見知らぬわが町”の舞台』 G
12.23/19:30～19:55

『ガクラジ イン 西南学院大学』 G
12. 4/ 0:45～ 1:14

『NHK福岡80周年 でも、まいにち、新しい。』
G 12. 4/ 9:25～11:20, 12:40～12:45
14:20～15:35

『これでなっとく！福岡この1年』 G
12.28/17:05～18:00, 18:10～19:00

『福岡県公立高校志願倍率』 G
(中間発表) 2.23/ 0:35～ 0:45
(最終発表) 3. 1/ 0:22～ 0:32

『ライフサポーター あなたを守る防災ラジオ』
R1 3.19/12:30～12:55
(北九州局)

『北九州スペシャル』 G
「桜の思い出2010」 4. 2/20:00～20:43
「ここでやり直そう～北九州・非行少年を支え
るガソリンスタンド」 1.28/20:00～20:43

『関門海峡歌合戦』 G
「予選会 歌声をデジタルの波に乗せて」
10.31/ 1:38～ 2:38
「歌声をデジタルの波に乗せて」
11.14/13:05～14:35

『好きっちゃ！キタキュー～2010～年末ハイラ
イト』 G 12.28/17:05～19:00
(熊本局)

『くまもとの風スペシャル』 G
「コトバあそび ヨミあそび～朗読でつづるふ
るさとの心」 8.20/19:30～20:43
「カントリーゴールド2010」
10.29/20:00～20:43
「第4回大学対抗映像コンテスト」
11. 5/20:00～20:43
「B29墜落“敵兵”と遭遇した村～熊本県・阿
蘇」 11.26/20:00～20:43
「本日旗揚げ！玄海劇団～天草市牛深町の段」
12.24/19:32～20:45

『熊本4局共同番組 2010防災命のラジオ』
R1 9. 1/12:20～13:00

『認知症フォーラムinくまもと～あきらめない～
最新医療と社会の支え』 G
1.29/10:05～10:48

『クマロク！年末スペシャル2010～“新”くま
もと発進！』 G 12.28/17:05～19:00

(長崎局)

『しゃべラジ ながさき』 R1
第10夜 「いまさら“脱ゆとり”なんていわ
れても!？」 6. 5/19:20～20:55
第11夜 「ネット社会にあなたはどうか“つぶ
やく”!？」 12.18/19:20～20:55

『2010龍馬の歌音楽祭～長崎でつくる龍馬の
歌』 FM 7.16/18:00～18:50

『ヒバクシャからの手紙～そしてヒバクシャへ
の手紙』 G・R1 8. 8/23:30～ 1:00

『被爆65年・長崎原爆の日』 G
8. 9/18:10～19:00

『わたぼうしコンサート』 FM
9.24/18:00～18:50

『日本の祭2010 長崎くんち』 E
10. 7/ 7:00～10:10

『日本の祭2010 長崎くんち～ハイライト』
G 10.15/19:30～20:43

『生中継 YOSAKOIさせば祭り 前夜祭』 E
10.22/19:30～20:45

『生中継 ながさき実り・恵みの感謝祭』 G
11.20/11:30～11:53

『長崎EYE610 年末ハイライト』 G
12.28/17:05～19:00

『ヤバくね!?NHK 高校・大学映像コンテス
ト2011』 G
(前編) 1.28/19:30～19:55
(後編) 2. 4/19:30～19:55

(鹿児島局)

『鹿児島でも地デジ!～「面倒くさい」「難しそ
う」に答えます』 G 4. 2/19:30～19:55

『NHK鹿児島児童合唱団 第6回コンサート』
G 4.10/11:15～11:30

『かごしま大作戦』 G
「薩摩川内で“かっぱ”と“笑顔”を探そう」
4.30/20:00～20:43
「坂本龍馬 新婚旅行の道を歩こう」
5.21/20:00～20:43
「鹿児島県の最北端を目指そう!」
7.16/20:00～20:43
「北薩・幻の鉄路に思い出を探せ」
9.17/20:00～20:43
「ラジオを愛する島人に会いに行こう」
11.26/20:00～20:43
「志布志の“のど自慢”に会いに行こう」
1.21/19:30～20:43
「南薩で“あったか～い”を探せ」
2.25/20:00～20:43

- 『第15回伝承・郷土芸能キャンペーン～輝き続けるふるさとの宝』 G 10. 1/19:32～20:45
- 『情報WAVEかごしま 年末スペシャル2010』 G 12.28/17:05～19:00
- 『鹿児島防災シンポジウム～奄美豪雨災害に学ぶ』 G 1.29/16:00～16:43
- 『特集かごしま～住民をどう守るのか～新燃岳噴火 1か月』 G 2.25/19:30～19:55 (宮崎局)
- 『みやざきスペシャル』 G
「シリーズどうする宮崎(1)雇用と地域経済」 4. 9/20:00～20:43
「熱演!わたしたちの晴れ舞台～全国高校総合文化祭みやざき2010」 8.27/20:00～20:43
「シリーズどうする宮崎(2)検証 口てい疫～再建への課題」 9.24/20:00～20:42
「応援しよう!宮崎シャイニングサンズ～開幕直前 bjリーグの魅力」 10. 1/19:32～20:45
「証言記録 兵士たちの戦争～ブーゲンビル墓島と呼ばれた戦場～都城・歩兵第23連隊」 11. 5/20:00～20:43
「シリーズどうする宮崎(3)口てい疫 その時何が」 11.26/20:00～20:43
- 『みやざきおはなしひろば』 R1 5.19/12:20～12:30
6. 5/12:30～12:55
- 『防災ラジオ2010～地震に対するあなたの備え』 R1 5.19/12:30～13:54
- 『宮崎朗読シアター』 FM 11.14/21:00～21:30
- 『いっちゃんがゴールド 年末ハイライト2010』 G 12.28/16:50～18:00
- 『ニュースWAVE宮崎 年末ハイライト2010』 G 12.28/18:00～19:00
- 『新燃岳 噴火～高まる不安と緊張』 G 2. 4/19:30～19:55
- 『宮崎 夢追い人～総集編』 G 3.20/ 8:00～ 8:25 (大分局)
- 『ししまるTV』 G
「峯入～大分・国東 千年の祈り」 5.14/20:00～20:43
「大分のお産を救え～大分合同新聞共同企画」 7. 2/19:30～20:43
「おおいた湯ったり“たっぷり” 出会い旅」 9. 3/20:00～20:43
「シネマの季節～二宮圭一が見た湯布院映画祭」 11. 5/20:00～20:43
「おおいたのお宝を発掘せよ!」 1. 7/20:00～20:43
「どうする?大分の子育て～大分合同新聞共同企画」 2. 4/19:30～20:43
- 『スイッチ↑』
「働く!」 E 6. 4/21:00～22:00
「婚活!」 G 11.12/19:30～20:43
「殻破りのススメ!」 G 3. 4/19:32～20:45
- 『ニュースToday2010』 G 12.28/18:00～18:55 (佐賀局)
- 『さがんスペシャル』 G
「吹奏楽のチカラ」 4. 9/20:00～20:43
「がばい元気宣言～大会出場の夢かなえます」 8.27/20:00～20:43
「がばい元気宣言～みんなでドラマば創らね」 11.26/20:00～20:43
- 『吹奏楽のチカラコンサート』 G 5. 3/16:30～18:00
- 『さがんほっと時間～投稿文芸部』 R1
「俳句」 6.12/13:00～14:00
「短歌」 9.25/13:00～14:00
「朗読」 10.30/13:00～14:00
「川柳」 2.19/13:00～14:00
- 『ラジオ防災特集 水害「その時」に備えて』 R1 7. 1/12:20～12:55
- 『地域特集～熱唱!250組～鳥栖市のど自慢予選会』 G 12.25/10:05～11:30
- 『NEWSファイル佐賀 年末スペシャル』 G 12.28/18:00～19:00
- 『3局合同防災特集～どう活用する 災害時の情報ツール』 R1 3. 8/12:25～13:00 (沖縄局)
- 『平成の興南旋風 優勝への軌跡』 G 4. 3/18:10～18:42
- 『4・25県民大会～普天間移設問題の行方は』 G 4.25/15:00～16:25
- 『故郷想う歌の旅～新良幸人・下地勇 古謡を受け継ぐ』 G 5.14/20:00～20:38
- 『沖縄の歌と踊り』 G
「農村喜劇～遊び村栄る」 6.25/20:00～20:43
「歌どころ読谷 民謡特集」 7. 2/20:00～20:43
「旧盆特集 ふるさとへ贈る思い出の島唄」 8.24/15:12～15:55
「組踊 女物狂」 9.17/20:00～20:43
「歌三線 人間国宝の世界」

	10. 1/20:00~20:43	
「映画になったウチナー芝居」		
	11. 5/20:00~20:43	
「正月特集 新作組踊~海の天境」		
	1. 3/17:00~18:00	
「新春祝儀舞踊特選」	1. 7/20:00~20:43	
「鳩間節物語」	2.25/20:00~20:43	
『興南頂点へ！緊急特番』	G	
	8.21/18:10~18:53	
『ハイサイ！ニュース610 年末ハイライト』		
G	12.28/18:00~18:59	
『私が初めて創ったドラマ「沖縄ドライバーズノート」』	G	
	1.28/19:30~19:55	
『第32回全琉婦人芸能大会』	G	
第1部	2.11/15:05~16:00	
第2部	2.11/16:05~16:55	
(各局共通)		
『第77回NHK全国学校音楽コンクール』		
(九州ブロック)		
九州ブロックコンクール		
小学校・中学校・高等学校		
	E 9.25/13:30~17:00	
(各県域)		
福岡県コンクール		
小学校・中学校・高等学校		
	FM 9. 4/14:00~18:50	
小学校・高等学校	E 9. 5/14:00~16:25	
中学校	E 9.19/14:00~16:35	
熊本県コンクール		
小学校	FM 8.23~24/18:00~18:50	
中学校	FM 8.25~26/18:00~18:50	
中学校・高等学校	FM 8.28/18:00~18:50	
長崎県コンクール		
小学校	FM 8.23/18:00~18:50	
中学校	FM 8.24/18:00~18:50	
中学校・高等学校	FM 8.25/18:00~18:50	
小学校・中学校・高等学校		
	E 9. 5/15:00~17:00	
鹿児島県コンクール		
小学校	E 9. 4/15:30~16:20	
中学校・高等学校	E 9. 5/15:00~16:15	
宮崎県コンクール		
	FM 8.23~27/18:00~18:50	
	E 9. 4/14:00~16:00	
大分県コンクール		
	G 8.16~20, 23~27/18時台	
	FM 8.28/14:00~18:00	
佐賀県コンクール		

小学校・中学校・高等学校		
	FM 8.27/ 7:20~10:00	
小学校・高等学校	G 8.28/ 9:00~ 9:54	
中学校	G 8.29/16:00~18:00	
沖縄県コンクール		
小学校	E 8.22/14:00~15:40	
中学校・高等学校	E 8.28/13:55~15:30	
小学校	FM 8.27/ 9:20~11:00	
中学校・高等学校	FM 8.27/14:00~15:30	

3. スポーツ中継

(高校野球)

(九州ブロック)

第127回九州地区高校野球大会

準々決勝		R1/10.26
準決勝		R1/10.28
決勝		R1/10.29

(県域)

NHK旗(杯)高校野球大会

福岡県大会	R1/ 5.16, 22~23, G/ 5.23
熊本県大会	R1/ 5.27, 29~30
長崎県大会	R1/ 6.12~13
鹿児島県大会	R1/ 5.25~26, 28~29
	G・E/ 5.28~29
佐賀県大会	R1/ 6. 6~ 7, G/ 6. 7

第92回全国高校野球選手権大会・地区大会

福岡県大会	4回戦	R1/ 7.17
	5回戦	R1/ 7.18~20
	準々決勝	G・E・R1/ 7.20~21
	準決勝	G・E・R1/ 7.23
	決勝	G・E・R1/ 7.24
熊本県大会	4回戦	R1/ 7.21~22
	準々決勝	R1/ 7.23
	準決勝	G・E・R1/ 7.25
	決勝	G・E・R1/ 7.26
長崎県大会	準々決勝	R1・FM/ 7.24
	準決勝	G・E・R1/ 7.26
	決勝	G・R1/ 7.27
鹿児島県大会	4回戦	R1/ 7.16~17
	準々決勝	R1・FM/ 7.18~19
	準決勝	G・E・R1/ 7.21
	決勝	G・R1/ 7.22
宮崎県大会	3回戦	R1/ 7.22~23
	準々決勝	R1・FM/ 7.25
	準決勝	G・E・R1/ 7.27
	決勝	G・R1/ 7.30
大分県大会	準々決勝	R1/ 7.24
	準決勝	G・E・R1/ 7.26

	決勝	G・R1	7.27
佐賀県大会	3 回戦	R1	7.19~21
	準々決勝	R1	7.22~23
	準決勝	G・R1	7.25
	決勝	G・R1	7.26
沖縄県大会	準決勝	G・E・R1	7.17
	決勝	G・R1	7.18
第127回九州地区高校野球大会	各県大会		
熊本県大会		R1	10.10~11
長崎県大会		R1	10.9~10
鹿児島県大会		R1/10.10, FM	10.12
大分県大会		R1	10.3
佐賀県大会		R1	10.2~3

〔プロ野球〕

〔九州ブロック〕 G

「ソフトバンク」対「楽天」	4.16
「ソフトバンク」対「西武」	5.7
「ソフトバンク」対「ロッテ」	8.28
「ソフトバンク」対「日本ハム」	9.10

〔九州ブロック〕 R1

「ソフトバンク」対「阪神」	5.19
「ソフトバンク」対「巨人」	6.13
「ソフトバンク」対「ロッテ」	9.23

クライマックスシリーズ ファイナルステージ

「ソフトバンク」対「ロッテ」	
－第1戦－	10.14
－第2戦－	10.15
－第3戦－	10.16

〔サッカー〕〔各県域〕

各県サッカー選手権大会決勝

福岡, 熊本, 長崎, 鹿児島, 宮崎 大分, 佐賀, 沖縄 各県大会	G	8.29
--	---	------

J2サッカー中継

「アビスパ福岡」対「サガン鳥栖」	福岡単・佐賀単	G	4.25
「アビスパ福岡」対「ロアッソ熊本」	福岡県域・熊本単	G	5.5
「ギラヴァンツ北九州」対「アビスパ福岡」	福岡県域	G	5.22
「アビスパ福岡」対「ギラヴァンツ北九州」	〈録画〉福岡県域	G	10.25
「ギラヴァンツ北九州」対「ジェフユナイテッド千葉」	北九州単	G	4.4
「大分トリニータ」対「ギラヴァンツ北九州」	北九州単・大分単	G	4.25
「ギラヴァンツ北九州」対「大分トリニータ」	北九州単・大分単	G	10.2
「ロアッソ熊本」対「ギラヴァンツ北九州」			

北九州単・熊本単	G	11.28	
「大分トリニータ」対「ロアッソ熊本」	熊本単・大分単	G	11.23
「ロアッソ熊本」対「東京ヴェルディ」	熊本単	G	3.6
「FC岐阜」対「大分トリニータ」	大分単	G	9.23
「大分トリニータ」対「水戸ホーリーホック」	大分単	G	9.26
「大分トリニータ」対「サガン鳥栖」	大分単・佐賀単	G	5.9
「サガン鳥栖」対「アビスパ福岡」	佐賀単	G	9.23

〔高校駅伝〕〔各県域〕

全国高校駅伝 各県予選

福岡県	R1	10.31
熊本県	R1	11.6
長崎県	R1	11.5
鹿児島県	R1	11.5
宮崎県	R1	11.7
大分県	R1	11.7
佐賀県	R1・FM	11.7

〔bjリーグ〕〔各県域〕

「琉球ゴールデンキングス」対「ライジング福岡」	福岡県域・沖縄単	G	5.16
「ライジング福岡」対「浜松・東三河フェニックス」	福岡県域	G	12.18
「宮崎シャイニングサンズ」対「滋賀レイクスターズ」	宮崎単	G	10.24
「大阪エヴェッサ」対「琉球ゴールデンキングス」	沖縄単	G	11.21
「琉球ゴールデンキングス」対「東京アパッチ」	沖縄単	G	2.27

〔その他〕

第42回鹿児島県選抜剣道選手権大会	鹿児島単	E	2.11	
全国高等学校総合体育大会 美ら島総体2010	総合開会式	沖縄単	G	7.29
	公開演技	沖縄単	E	8.1

II. 技 術

1. 地上デジタル放送への取り組み

10年度はデジタル中継局整備, NHK共聴へのデジタル導入についての最終年度として計画的に整備を実施した結果, デジタル中継局の開局は167局, 累計で476局(親局を含む)となり, ロー

ドマップ公表の公約を果たした。年度末の電波によるエリアカバレッジは福岡99.3%、域内97.6%に達した。NHK共聴へのデジタル導入については年度末までの整備完了を目指して取り組み、域内各局との連携により域内164施設、累計1,160施設への導入を達成した。また、自主共聴については、受信点調査や改修のための技術支援を実施してデジタル化導入を推し進め、10年度は域内の地デジ改修した376施設に対してNHK助成を実施した。

2. デジタル放送普及への取り組み

九州・沖縄域内では福岡局では“地デジ侍”，熊本局“くまデジ”，佐賀局“ちでじい”，鹿児島局「ちゃわんむしのうた」の替え歌，宮崎局“いっちゃん”，“じゃがちゃん”や“宮崎地デジ劇場”，沖縄局“地デジ店長”，“地デジ！イチデージ！！劇場”などさまざまなキャラクター，ロゴ，芝居などを用いて地域に密着したPRスポットを制作し，受信障害対策共同受信施設のデジタル化を分かりやすく周知した。また，さまざまなイベント会場ではデジサポとの連携によりPR普及活動を繰り返し実施し，普及を促進した。

各放送局では沖縄局が開発したスーパー装置を利用してアナログ放送画面の下部に終了告知やデジサポの連絡先のスーパーを開始し，アナログ波の終了周知に取り組んだ。

3. 地域放送の充実と設備整備

福岡局の地域ドラマ『見知らぬわが町』，佐賀局の『怪獣を呼ぶ男』，沖縄局の『ドライバーズノート』など，地域を舞台にしたドラマ制作やスポーツ中継で5.1サラウンド制作を行うなど，魅力あるコンテンツ制作を推進した。

完全デジタル移行に向けて福岡局ハイビジョン中継車のカメラ更新，佐賀局への小型ハイビジョン中継車整備を実施し，地域におけるハイビジョン番組制作設備の充実を図った。

福岡局衛星連絡設備の更新・CS受信系統の追加整備，大分・鶴見岳FPU基地へのヘリ自動追尾装置整備などで緊急報道への対応能力を向上させた。

福岡局スタジオ照明のLED化，各放送局のニュース送出設備モニターのHV化・液晶化で省エネを図り，環境経営へ貢献した。

国土交通省・九州地方整備局や地方自治体が管理する河川情報や雨量を表示するサービス，桜島噴火情報を表示するサービス，携帯電話の位置情

報を利用して最も近い病院を表示するサービスを独自に開発し，地域に密着したサービス向上を実現した。

4. 緊急報道・災害報道への対応

宮崎県で口てい疫への感染が3月に確認され，7月に終息，1月には鳥インフルエンザの発生と新燃岳の噴火。鹿児島県では7月に奄美大島の豪雨による災害。沖縄県では9月に尖閣諸島にて中国漁船との衝突事件が発生，その後，11月に映像がインターネットに流出。10年度は長期化したニュース・緊急報道が多かったが，各局の連携を密に行い，視聴者の期待に応える迅速・的確な緊急報道対応を行った。また，新燃岳噴火では現地のロボットカメラ映像をHPでライブ提供する試みも実施した。

5. 視聴者サービスの向上

開局80周年を迎えた福岡局では12月の会館公開で愛知万博以来となる600インチのスーパーハイビジョン展示と「博多山笠」などを3D上映し，視聴者サービスの向上を図った。

Ⅲ. 視聴者

1. イベント事業

10年度，九州・沖縄地方では，公開番組をはじめ，地域企画イベント，食料や環境などのキャンペーン，会館公開，教育，こども，福祉，スポーツなど各種イベントを実施し，約131万人の視聴者との触れ合いを行った。

(1) 全国・地域放送番組の公開

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『熱血！オヤジバトル』などの全国放送公開番組，『大相撲九州場所前夜祭』『トンコツTV』『くまもとの風スペシャル～本日旗揚げ！玄海劇団～天草市牛深町の段』などの地域放送公開番組を九州・沖縄で60本実施し，約5万4,000人の参加者があった。

(2) 地域企画イベント

「今日是一日“韓国ドラマ・K-POP三昧”トーク&ライブ」(福岡局)，「NHK Hakata Beauty」(福岡局)などの新規企画イベントを実施した。また，「サンデーコンサート」(北九州局)，「第5回俳句ウォーク大会」(福岡局)なども継続実施した。

(3) 教育，こどもイベント

「第59回九州地方放送教育研究大会」(11.12)

を鹿児島市内の学校を中心に開催し、九州・沖縄各県の幼稚園・保育園、小・中・高等学校の教師や教育関係者など約300人が参加した。また、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（福岡市）、「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（鹿児島市・北九州市）、「モノランモノラン小劇場」（各局）などを実施し、6万6,000人を超える参加者があった。その他、各局で「NHK放送体験クラブ」を実施し、九州・沖縄全体で146校8,600人余りの小学生・教師などが参加した。また、「NHK全国学校音楽コンクール」（小・中・高校）、「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」などの教育イベントを各局で実施した。

教育・こども関係の新規イベントとして「出前授業“龍馬が生きた時代へタイムスリップ”」（長崎局）、「クラスのみんなどうちなーぐちであそぼ」（沖縄局）を実施した。

（４）スポーツ・福祉・キャンペーン

「第49回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」（大分市）を実施した。

福祉関連として「第5回NHK福岡ハート・パーク」（10.26～11.14、福岡市）、「NHKハート展」（福岡市、熊本市）などを実施した。また、「第9回朗読と音楽の夕べ」（福岡市）を開催し、福祉イベントに32万5,000人を超える参加者があった。

「ふるさとの食 につぼんの食」 「NHK環境キャンペーン」などキャンペーンイベントを各局で実施した。

（５）その他

主な展覧会として「シアトル美術館日本・東洋美術名品展」（5.23～7.19）、「栄西と中世博多展」（9.11～10.31、福岡局）、「NHK大河ドラマ“龍馬伝”展」（10.2～11.3、長崎局）など4本を実施し、11万人を超える来場者があった。

その他、NHK交響楽団地方公演を長崎（佐世保）、熊本、大分、宮崎で開催した。

2. 営業

（１）受信料収入の確保と公平負担の徹底

支払率の向上に向けて、契約開発業務に特化した業務実施体制を構築し、営業活動のさらなる生産性向上を図るとともに、口座・クレジット払いの促進活動を重点的に展開し、払込率向上と受信料収入の確保に努めた。また、視聴者の皆さんへの誠実で丁寧な対応を心がけ、受信料制度をはじめNHKの放送事業に対する理解を求める営業活

動を行うなど、公平負担の徹底による受信料収入の確保と理解促進に重点を置いた活動を展開した。

（２）契約増加と衛星増加活動

完全デジタル化に向けた周知活動を継続し、ケーブルテレビ事業者、電器店、不動産会社との連携強化を図り、契約増加に向けて取り組んだ。さらに、支払督促の拡大、外部法人への委託化の促進など、多様な施策を実施した。

3. 広報

10年度、九州・沖縄の各局には、視聴者から電話などで18万8,361件の意見・要望が寄せられた。地域の皆さんの意見を聞く「ふれあいミーティング」を計352回にわたって開催した。

〔福岡局〕

10年は福岡放送局開局80周年に当たり、12月に行われた会館公開ではスーパーハイビジョンを九州では初めて一般公開。2日間で延べ1,200人に最先端の映像技術を視聴してもらった。8作目となる地域ドラマ『見知らぬわが町』ではロケ地・大牟田市での取材会や、2,200人を招待しての地元参加試写会を行い、地域との結び付きを深めた。14回目となった『熱血！オヤジバトル』では初めて海外（韓国）から参加したバンドに注目が集まり、韓国のTV局の取材対応も行った。また、イベント会場や会館見学の視聴者を相手に50回のふれあいミーティングを行ったほか、11年の完全デジタル化に向け、エントランスホールを大幅リニューアルし、地上デジタルのPRに努めた。

〔北九州局〕

10年度も毎週日曜日に“サンデーコンサート”を実施した。その中で、5月の連休には子どもの日にあわせ、2時間に拡大し幼稚園から小学校までの子どもたち33人に出演いただいた。また、9月にはクラリネット奏者の北村栄治さんらを迎えて350回記念コンサートを行った。そのほかりバーサイドスタジオでは、夏休み期間に「NHK移動放送博物館展」を開催し、期間中の来館者は1,000人余りに上った。09年度から始めた「出前コンサート」は10年度も2回実施し、このうち3月の水巻町では新園舎落成記念として初めて保育所でのコンサートを行い、保護者や地域の方に好評を得た。

〔熊本局〕

多くの大学がある熊本県。大学講義でNHKが受け持つカリキュラムがあり、10年度は2つの大学に出かけNHK講座を開催した。学生に仕事の

内容や役割を伝えるのはもちろん、ふれあいミーティングも実施。計22回の講義を行い、1,000人以上の学生と触れ合った。また、毎年恒例の会館特別公開「つつじフェア」では、2日間で1万4,500人を超える来場者があり、番組でおなじみの出演者やキャラクターなども登場し、子どもから大人まで楽しんでもらい大いに盛り上がった。

〔長崎局〕

10年度は、大河ドラマ『龍馬伝』に対して、長崎の皆さんから絶大な声援を得た。その声援に応えるため、最終回の11月28日に、岩谷チーフ・プロデューサーを迎え、『龍馬伝』のパブリックビューイングをスタジオで行った。80人の定員に対し、約230通の応募があり、放送終了後には、「ファンミーティング」も実施した。また、抽選に外れた方々にも長崎局で『龍馬伝』を見てもらえるように、ハートプラザでも同時上映し、より多くの視聴者の皆さんとの触れ合いに努めた。

〔鹿児島局〕

1階ロビーの展示物の定期的な更新や、4階展望スタジオでの体験コーナーの充実などを積極的に行った結果、10年度の放送会館への来館者は過去最高の5万905人となり、1月には新会館移転後4年目で来館者数が20万人を突破した。また、6月にはサッカーワールドカップのパブリックビューイングを、11月には隣接する商業施設と共催で会館公開を開催し、大いに盛り上がった。特に会館公開では大河ドラマ『龍馬伝』に西郷隆盛役で出演した高橋克実さんのトークショーや、地元物産品展などを実施し、1万5,000人が訪れた。

〔宮崎局〕

5月の口でい疫非常事態宣言直後からホームページで情報発信を続け、3か月間で約95万PVを記録した。9月は被災地川南町で「N響 がんばれ宮崎コンサート」、11月には2万人を集めた高鍋町の鍋合戦で大規模なふれあいミーティングを開催、この他3か所の小学校で最新技術を紹介する「出前授業」を実施した。復興を応援する「ファイト！みやざき」のキャッチコピーを広報誌「MG通信」や、県内タクシー約2,000台へのステッカーで全面展開し、NHK宮崎をアピールした。新燃岳噴火では、データ放送やホームページで噴火情報をきめ細かく伝えた。

〔大分局〕

4月25日に、別府市で行われた“アースデイおおい”に参加し、ワクワク・ゴロリの「つくってあそぼショー」のイベントでは、約6,000人の親子連れでにぎわった。

10月9日、10日の会館公開では、大河ドラマ『龍馬伝』全国巡回展を実施し、さまざまな趣向を凝らし、約2,000人の地域の方々に楽しんでもらった。

また、大分局のスタジオホールキャンパスでは不定期でパブリックビューイングを行い、240インチのプロジェクターで、地元プロサッカーチームや高校野球の試合の観戦を行うとともに、地域のスポーツを盛り上げるために放送が担うべき役割について、来場した視聴者とふれあいミーティングを行い好評を博している。

〔佐賀局〕

佐賀局では、『私が初めて創^つったドラマ〜怪獣を呼ぶ男』を制作し12月10日にBSHiで全国放送した。ドラマの放送に合わせてさまざまなドラマ広報活動を行った。10月中旬にスタッフブログを開設し多くの若年層の支持者を獲得した。10月下旬にはロケ取材・見学会を開催し、新聞・雑誌社に広くPRした。11月にはロケパネル展を複数の会場で行った。特に佐賀駅の展示では展示場までの道しるべに怪獣の足跡をつけるなどして多くの方に興味をもっていただいた。ドラマは大好評で全国の視聴者から再放送の依頼が寄せられた。

〔沖縄局〕

10年度も、より地域に密接した会館を目指し、10月には4回目となる会館公開「NHK放送体験フェスティバルinおもろまち」を開催し3,000人以上の来場者があった。会館内では最新の放送技術を展示、屋外のテントステージでは、地域の子供たちなどによる沖縄空手の演舞や沖縄伝統芸能「エイサー」などが披露された。沖縄の文化を取り入れた地域と融合したイベントを展開し、NHK沖縄を大いにアピールすることができた。また、7月18日には、第92回全国高等学校野球選手権大会沖縄県大会決勝戦の中継で、メールで視聴者から応援メッセージを受け付け、総数568件のメッセージをテレビ・インターネット・ケータイサイトで紹介をする3-Screens展開を実施した。